日本刀剣電脳倶楽部

一陽来復クロニクル
平成15年（2003年）編

あの頃、みんな若かった！

始めに

日本刀剣電脳倶楽部の過去ログは、参加された皆様の経験と知識が集約されたデータ集であり、ビギナーからベテランまで幅広い方々が参加した有益な情報源です。

今回、参加された皆様の経験と知識を「同好の士」に提供するため、閲覧や印刷に適した形に編集を行いました。
これらは、少なからず皆様のお役にたてるものと信じますが、ご利用に際して次のことにご注意ください。

1．掲載されている情報は投稿当時のものであり、また、個人の意見であるため正確さを保証するものではありません。

2．情報を利用することによって、何らかの不利益・不都合が生じた場合も利用された方の自己責任とし、投稿者および電脳倶楽部は一切の責任を負いません。

3．一切の商業利用を禁じます。

4．二次利用を希望される場合は、必ずご一報ください。

[1240] お・め・で・と・う　ございます～！！＼(^O^)／ 9
[1246] 明けましておめでとうございます 11
[1251] 初売り 12
[1253] 新年『佳兆』来る。 13
[1256] 忠臣蔵は、ドキュメントでは 14
[1261] 草創期の日本刀 15
[1263] 実は実阿なんです～。(^_^;)。 16
[1265] 銘について 20
[1282] 紙上鑑定を学ぶことの是非 23
[1286] 『成蹊堂』さんと特別鑑賞会開催。ってどこで？ 25
[1298] よしこの方針でいこう！ 29
[1300] 復刊(^_^) 29
[1308] 実阿 33
[1314] 古備前の短刀 34
[1315] 太刀はどうなる？ 35
[1328] また雪ですわ！ 36
[1325] 江戸之刻 38
[1341] 角川大映。 41
[1354] コンプトン博士とそのコレクション 42
[1365] 書籍ご紹介 45
[1372] カウント 16 万件 46
[1350] 時代劇マガジン　ＶＯＬ．２ 47
[1381] 109 刀剣展 49
[1385] グローバル！電脳倶楽部 50
[1387] 刀剣鑑定要訣 50
[1399] 贈呈本 54
[1406] 産業貿易センター 56
[1409] 刀工大鑑　得能一男著 56

[1418] 新春名刀展 57
[1425] 軍刀の魅力を探る！ 60
[1428] 技法と作品 63
[1434] 最近読んだ本と読んでいる本。 64
[1442] 刀を見に行きました。 66
[1447] 小諸でも展示会。 66
[1448] 刀の本 67
[1455] 暦のとおり 69
[1463] なんでも鑑定団 71
[1469] 名著・希少古書が続々 72
[1459] 皇国興廃在此一戦 75
[1482] 戦前の刀剣雑誌から 79
[1487] 迷い・不安定な心 80
[1497] 若い人　では？ 88
[1509] 内記様へ。それと久しぶりです。 89
[1510] 真・善・美 89
[1513] 名品刀絵図聚成　田野邊道宏著　大塚工藝社　平成１１年初版 92
[1515] 戦前の押形集 92
[1521] ４０才からの刀剣趣味 94
[1529] 桜散り　早や田植え 96
[1531] 石黒久左衛門師 97
[1533] たぶん『石田正宗』だろうと思う。 98
[1537] ははは・・・ 100
[1558] 面白くなりそうですね 104
[1571] ゆくへも知らぬ 109
[1573] 石田正宗は見たけれど・・・。 111
[1575] 宣伝じゃないですよ～～。(^_^;)。 111
[1579] 演武大会。 112

[1581] 無題 113
[1588] 即売会 114
[1592] 堀井刀匠 115
[1604] GW ですねー２ 117
[1605] 穴のあいた海部刀 118
[1608] あずみを見て参りました～～。(^。^)Y-.。O○ 118
[1615] 『改竄証書にご注意』だそうです。さあ、困った～。(>_<)。 121
[1619] あずみ対魔界転生 122
[1626] 五郎・国之 124
[1630] ☆彡書籍ご紹介 125
[1631] 漫画の御紹介。 126
[1632] 大丈夫です 127
[1638] 訃報。 130
[1644] 地震と刀 130
[1648] 去年の今頃…。 131
[1653] 草創期の日本刀展 133
[1657] 末備前刀について 134
[1659] 平成１５年新作刀展覧会 143
[1691] もう、わっかりませ～～ん。^_^; 146
[1701] 「掛川」 147
[1703] はじめまして。 149
[1721] 子連れ狼ＰＡＲＴ２ 151
[1726] 「赤影」逝く 152
[1729] お伺いしたいことがあります 153
[1733] ゼクス 155
[1737] やっちまったぜ！ 155
[1745] 刀和の『義人模』 156
[1746] 東日本唯一の武具専門博物館 157

[1750] 鉄（刀）に関する本、二冊.....158
[1717] 壬生義士伝 159
[1756] 真鍋純平刀匠から.....161
[1757] 青い目の・・・。 161
[1763] さよならの向こう側 162
[1760] 鎌倉は暑かった・・・・.....162
[1771] 無題.....164
[1781] 火垂るの墓 169
[1782] 第二回海部刀等名刀鑑賞会ご案内 169
[1784] １５日を迎えて『靖国神社』とは 170
[1787] リンクに際してのご連絡.....170
[1790] やっと県もやってくれそう！!(^^)!.....171
[1793] 英雄.....172
[1794] 気をつけましょう.....172
[1795] 電脳倶楽部スタッフ殿 174
[1804] 焼物その他の真贋について.....175
[1802] 偽物についての大王の見解.....175
[1807] 偽物と知らずに持つことの結果 177
[1808] 鉄の展示館 179
[1810] 恐れいります.....182
[1811] 楽しみな北陸地区大会 182
[1827] 刀剣押形 183
[1828] 今日の子連れ狼.....188
[1831] 大阪歴史博物館.....188
[1833] 談論風発 188
[1839] あずみ.....189
[1847] 討論掲示板を見よ！ 189
[1852] 閻魔大王の昔話.....189

[1865] 閻魔様 191
[1853] 第４２回全国大会 194
[1873] 私所持の短刀について 196
[1875] 久しぶりの故郷 197
[1886] 近畿・中国・四国の現代刀工展 198
[1887] 刀剣展情報 199
[1891] 蝉しぐれ 201
[1892] 第十六回大刀剣市 202
[1898] 「武家の名刀」展。 204
[1903] MY WEB SITE 206
[1908] 将軍家ゆかりの名刀展 206
[1911] 警察 207
[1912] 148 万円 208
[1915] 日本刀鑑定要訣 209
[1917] 刀身彫刻 209
[1925] 男の日本刀・女のブランドバッグ 211
[1928] 古武術 212
[1918] オンデマンド 212
[1930] 蕎麦と日本刀 213
[1927] 鯉口が・・・ 216
[1943] 元帥刀拵 218
[1952] 即売会 219
[1954] ゆうパックの規制緩和 219
[1960] 場所 221
[1961] 現代刀匠小品展 222
[1955] ふざけるな 222
[1977] 無題 226
[1993] 名品刀絵図聚成 228

[1995] 長州屋展示即売会情報 230
[2001] 渋谷にて 230
[1983] ＯＦＦ会開催のご案内 231
[2007] 大刀剣市。 233
[2011] 刀身彫刻師の橋本琇巴氏の作品展 234
[2013] 同田貫について 235
[2031] 日記 238
[2036] 大相撲と東京行き 241
[2044] 復活 245
[2052] 若い人、頑張って！ 246
[2012] 大太刀 247
[2062] フラストレーション？ 250
[2064] 事前チェックはすみましたか？ 252
[2071] 居合 253
[2073] 鎧の鑑定機間 254
[2079] 大刀剣市を含む上京レポート 256
[2105] お初です 266
[2100] 号『村雨』の助廣 268
[2121] しとしとぴっちゃん。 272
[2123] 文化祭にて 274
[2129] 何でも鑑定団データベース 276
[2132] 皆様どうされていますか 276
[2132 へのレス] 無題 279
[2149] 阿州住氏重 282
[2162] 天正の泰吉 285
[2164] 試し斬り 287
[2172] 無題 288
[2174] 審査会場にて 288

[2178] 備前の名刀展.....290
[2182] 徳島県支部特別鑑賞会 292
[2183] 豚斬りの真説ご紹介 296
[2200] ラスト・サムライ 298
[2202] 手入れ用布 299
[2215] 本の紹介です。 304
[2223] 「ラスト　サムライ」みてきました。.....305
[2224] 愛蔵の刀は・・・ 306
[2246] 鍔の手入れはどのように？ 310
[2256] とうとう！（＾＾） 311
[2244] 海部刀の謎を探る 312
[2267] 錆味はよくなるか 316
[2268] 郷土刀　とは？ 317
[2241] 忠臣蔵釣客伝.....320
[2284] 電脳デビュー　☆ 324
[2301] 郷土刀とは 330
[2306] 登録書 333
[2317] 忠臣蔵釣客伝.....334
[2332] 今年もお世話になりました.....338
[2341] 刀剣行く年来る年 340

[1240] お・め・で・と・う　ございます～！！＼(^o^)／

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/01/01(Wed) 07:36

皆様。
明けましておめでとうございます。

経済的にだけではなく、あらゆる面にて厳しい状況が待ち受けていると思われる本年でございますが、刀剣や刀装具を観て心に一息入れて前進して参りたいと存じます。

只今からその前進を一歩飾るために、本年初出勤でございます～。
(T_T)いえ！(^0_0^)精神で参ります。

本年もよろしくお願い申し上げます。m(__)m。

[1240 へのレス] Re: おめでとうございます～！！＼(^o^)／

投稿者：隠居 投稿日：2003/01/01(Wed) 08:13

電脳倶楽部の皆さん、おめでとうございます。
去年からこちらへお邪魔していますが、今年も益々刀談義に大輪の花が咲きますよう、願っております。
私は正月の間に所蔵刀の手入れをすることを長年の習慣にしております。
何口かの所蔵刀を丹念に手入れしていきますと、刀の趣味をやっていて本当によかったと心底から思います。そして今年も頑張ろうというファイトが沸々と湧き起こってきます。刀から勇気を貰うのです。
そういう無言の力を刀は持っています。下手な神さんより効き目がありますよ。

[1240 へのレス] Re: お・め・で・と・う　ございます～！！＼(^o^)／

投稿者：花散里 投稿日：2003/01/01(Wed) 08:31

皆様、あけましておめでとうございます。
本年も、皆様のより一層のご健勝をお祈りし、また叱咤ご指導よろしくお願い申し上げます。
私もご隠居さんと同じく、毎年元旦には刀の手入れを恒例としています。
気持ちが引き締まり、その年一番の行事として相応しいと思います。
これからも、よろしくお願い申し上げます。

今外を見ますと雪が降っています。神奈川県で元旦に雪が降るのは、私の記憶にはありません。いつもとは違う年になるのでしょうか？(^_^;)
今年こそ、帰りたい人が帰れ、会いたい人に会える年でありますように。

[1240 へのレス] Re: お・め・で・と・う　ございます～！！＼(^o^)／

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/01/01(Wed) 16:12

あけましておめでとうございます。本年も宜しく御指導ください。

小諸も大晦日は雪模様でした。幸い大して積もりませんでしたが。
早くも東京の暖かさが懐かしいです。
しかし雪景色の浅間山もなかなか、です。

[1240へのレス] Re: お・め・で・と・う　ございます～！！＼(^o^)／

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/01/01(Wed) 17:49

『私もご隠居さんと同じく、毎年元旦には刀の手入れを恒例としています。』
ご隠居さんと花散里さんに倣い、私も仕事から帰って早々に手入れと鑑賞を致しました。
年末には伝家の槍を手入れしていましたが、正月にはそのような恒例としたものを持っていませんでしたので、今年から取り入れることにしました。(^^ゞ。

１００Ｗの電球を用意して、子供のいぬまにじっくりと鑑賞しました。
集中した気持ちが時間の経つのを忘れさせます。

実は元旦早々、出勤前に郵便局に寄ったのですが、そこで停車中に高齢者の運転する軽トラックにバックでぶつけられて車も心も少々凹んでいましたので、刀を鑑賞することで、もやもやしたものが吹き飛んだようです。

そんでもって、同僚には正月から当たりですか！宝くじでも当たってませんか～。などと言われましたので、ちょっと期待しているんですがね～。(^^ゞ。

[1240へのレス] Re: お・め・で・と・う　ございます～！！＼(^o^)／

投稿者：沼六屋 投稿日：2003/01/01(Wed) 18:17

明けましておめでとうございます。
新年早速の仕事始めご苦労様です、本年もよろしくお願い致します。

[1240へのレス] Re: お・め・で・と・う　ございます～！！＼(^o^)／

投稿者：鬼丸 投稿日：2003/01/02(Thu) 07:20

電脳倶楽部のみなさん　明けましておめでとうございます。
昨日は、朝５時に起床し、伊豆一宮三島大社に初詣に参り
帰宅後おせち料理を食した後に蔵刀二口の短刀を手入れしました。
元旦の朝というのはあたりの物音ひとつせず静寂の中での刀の手入れはまた、
いつも違った凛とした感じで身が引き締まる感じでした。

本年も沢山の刀剣情報・刀剣談義を宜しくお願いします。

[1240へのレス] 草創期の日本刀展

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/01/02(Thu) 07:43

草創期の日本刀展もそろそろ開幕ですね！

昨年からとても全国的な展開が活発になってきております。
ぜひ今年も上京して拝見したいと存じます。

[1246] 明けましておめでとうございます

投稿者：達也 投稿日：2003/01/02(Thu) 01:23

はじめまして。達也と申します。
ところで早速質問なんですが、現代刀匠で大業物クラスの刀を作る人って
いるんですかね？とにかくよく切れる現代刀を教えて欲しいッス。
よろしくお願い致します。

[1246 へのレス] 明けましておめでとうございます

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/01/02(Thu) 07:38

『源　範国』
はじめまして。
真改 2001 と申します。
よろしくお願い致します。

上記、刀匠をご紹介致します。
大業物というのがどのような基準で現在考えられているのかは存じ上げませんが、源　範国刀匠は非常によく斬れる刀匠ということで定評があるそうです。
昨年は、徳島県郷土文化会館にて徳島の現代刀匠展を２月頃に開催したのですが、ご子息の源　国次刀匠の刀が展示され、その刀も非常に斬れ味が素晴らしいということで全国的に評価されているそうです。このことは、日刀保徳島支部会員の方がおっしゃっており、数人が注文されておりました。実際、その注文された刀が展示されておりました。
しかも、非常に安い。

とにかく斬れるという基準で語るなら、とても気になる刀匠の一人ではないでしょうか。
試斬をした凄いビデオも存在するらしいですが、なぜか公にはできないらしくて拝見できませんでした。なんでだろう？？

[1246 へのレス] どうも。

投稿者：達也 投稿日：2003/01/02(Thu) 17:04

ありがとうございます！その人の刀はどういうところで買えるんですかね？
まあまだ金はないんですけどね。情報があるサイトとか知ってたら教えてほしいで
す。その試し切りビデオ見てみたいですね。宣伝になりそうだけど・・・

[1251] 初売り

投稿者：ikkak 投稿日：2003/01/03(Fri) 19:01

昨日某刀剣商の初売りに行ってまいりました。
びっくりしたのは吉原荘二(現国家)刀匠の作品！
中心を隠して「奇跡的に保存のいい鎌倉時代の太刀です」
といわれれば信じていたでしょう。
確かに天才だと思いました。

[1251 へのレス] Re: 初売り

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/01/03(Fri) 22:54

○存の○品に掲載の外装付きの吉原荘二(現国家)刀匠の作品でしょうか？

Ａ美術にも兄の作品で同じ位の時期の一文字の作品が出ていますが、実物を拝見したい衝動に駆られるような見事な出来と感じます。

知るところでは、３箇所にて都内では展示即売会が開催中と思います。
うらやましいですね～。
毎年同じことを言っております。(^_^;)。

また気になった作品などあれば、宣伝とは思いませんので、実名入りで差し支えなければどんどんレポートをお願い致します。

地方に居ますとそれが一番の楽しみなんです！
お願い致します。m(__)m。

[1251 へのレス] Re: 初売り

投稿者：国家 投稿日：2003/01/04(Sat) 00:34

初めまして
初の投稿させて頂きます。
私も東京の大丸で催されている展示即売会行ってきました。
無名手掻極めの刀と無名石州廣綱極めの短刀が印象に残りました。
両方とも重要でした。
４日は、銀座で開催される刀剣感謝祭に行く予定です。
今年は、現代刀に昨年作ってもらった赤銅の縁頭・鍔で拵えを作成したいと思っています。
此からも投稿させて頂きますので宜しくお願い致します。

[1253] 新年『佳兆』来る。

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/01/03(Fri) 23:41

河内国平一門だより『佳兆』が来ました。

その中に、『天福』と河内刀匠の直筆のお年賀が入っておりました。
表には、私の名前も書いてくださり、昨年の『一陽来復』のお年賀と一緒にまたまたお宝が増えました。
自分はいつもパソコンのソフトで宛名を書いているので、そのことを棚にあげて置いて、『やっぱり手紙や葉書は直筆がいいな～。』と思うのです。
上手い下手は関係なく、その人を思い出す髣髴とさせつ文字はなんともいえない味があると思うのです。
文字を通して、その人の面影が浮かんできます。

なら、お前もやれ！と天の声が・・・。
なんとか努力します・・・。(>_<)。

さてさて、同封の中にはメインの佳兆と佐野美術館で開催される『草創期の日本刀』展のパンフ、そして、四天王寺宝物館の『四天王寺新春名宝展』のパンフがありました。
一つも折り目のない綺麗なパンフで、このようなこと一つから見ても送り主のお人柄を感じとることができますね。

パンフの中でも特に、草創期の日本刀展のパンフに書いてあった『平将門』所持の太刀とはどんなものかが非常に気になるところで、大河ドラマ『天と地』の加藤剛扮する平将門がとても好きだった私にとっては是非、見ておきたい太刀の一つなのです。

そして、四天王寺展では『七星剣』と『丙子不椒林剣』が、なんといっても私にとってはメインです！！
直刀の持つ神々しさというイメージも、古代への憧れからくるものなのでしょう。

さらに、佳兆の記事では、『我が人生に悔いなし』と題して、御歳７３歳になられる福島県の『国島　将永』刀匠のお話が載っています。
６０歳の定年の後に刀匠への資格を得るべく入門された経緯や思い出のお話が載っております。

また、『出来る。出来る。必ず出来る。』と書かれた大きな書があったと書かれた投稿もあり、今回の佳兆は特に私にとっては一層印象深いものになりました。

好きな言葉に『天　我が財を生ずるに必ず用あり』という杜甫か李白か忘れましたが、その漢詩にあった言葉が私を勇気づけてくれる言葉の一つですが、『出来る。出来る。必ず出来る。』はもっともっと勇気づけてくれそうです。

[1253 へのレス] Re: 新年『佳兆』来る。

投稿者：兜虫 投稿日：2003/01/04(Sat) 01:29

あけまして、おめでとうございます。

真改 2001 殿。
四天王寺展では『七星剣』と『丙子不椒林剣』の「七星剣」は
よくよくパンフレットを見れば「複製」と書いてありますぞ！
ご注意ご注意。
(^・^)

[1253 へのレス] Re: 新年『佳兆』来る。

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/01/04(Sat) 14:31

複製とは気がつきませんでした。(^_^;)。

しかし、今度はその複製の作者が誰か、ということが気になります。
ご存知の方がいらっしゃいましたら、ご教示下さいませ。m(__)m。

[1256] 忠臣蔵は、ドキュメントでは

投稿者：隠居 投稿日：2003/01/04(Sat) 09:48

花散里さん、皆さん、よいお正月をさせて貰いました。
とくに二日の忠臣蔵、昼から深夜までの１０時間、たっぷり楽しませてくれました。「庶民がつくった壮大なドラマ」との説でしたが、何年ぶりか観て、赤穂義士物語は「その細目まで虚構の物語ではない」という感じがしました。つまりこの壮大な物語は元々「赤穂義士伝」であって、義士に関して巷間に伝えて来た「伝聞」を綴り合せたものである筈です。士道を貫いた義士たちに根も葉もない作り話を当て嵌めてそれを喜ぶほど、われわれの先祖は無分別ではない筈です。
一藩を挙げて小なりといえ大名の屋敷に斬り込むという、前代未聞の仇討ちですからこれに関わった義士たちの苦労話はたとえ些細なことでも大切に伝聞されて来て当然です。現代に生きるわれわれがこれらすべてを「作り話」と考えるのは、３００年間に生きた過去の日本人の人生観や道徳観をあまりにも低くみることではないでしょうか。
忠臣蔵をつらぬくものは「武士道」であり、「奉公の精神」です。日本刀美の本質とも無関係ではありません。
私たちの年代は大東亜戦争の末期に、矢頭右衛門七と同様の心境で同じようなことをやりました。だから、とくにこの物語を実話だと感じるのかもしれません。とにかく「感動しました」

[1256 へのレス] Re: 忠臣蔵は、ドキュメントでは

投稿者：花散里 投稿日：2003/01/04(Sat) 15:30

忠臣蔵、見ごたえありましたね。
通常の映画やドラマはせいぜい２～３時間程度ですから、さすが１０時間ともなると微に入り細に渡り、堪能させていただきました。

話の骨格である「討ち入り」は事実を基にしているのは勿論のこと、３００年もの間語り継がれ繰り返し上演されていることからも、庶民がこれを「義挙」と感じたであろうことは間違いないと思います。
寛延元年（1748）に大阪の竹本座で、人形浄瑠璃として初演された仮名手本忠臣蔵が有名ですが、

実は義士切腹のわずか２週間後に江戸の中村座で最初の上演がされています。（さすがに、幕府により３日で中止させられたとか）
その後も、近松門左衛門による浄瑠璃『基盤太平記』が人形芝居として、また歌舞伎の演目としてもたびたび上演されていました。
ですから、仮名手本忠臣蔵は忠臣蔵の集大成として、討ち入りから４７（！）年後の寛延元年を選んで、初演が行われたのでしょう。
記憶が生々しい事件の直後から庶民に支持されていたわけですから、もちろん「作り話」などでは無いでしょう。

私が想像するに、後から付け加えられていった物語とは、武士は勿論のこと畳職人や長屋の人々、蕎麦屋・俳人・天野屋利兵衛であり俵星玄蕃であり、庶民から浪人・旗本まで絡むさまざまなエピソードの部分だと思います。
「こう、あるべきだ」、「こう、あって欲しい」という気持ちもさることながら結局のところ、皆さん、自分たちもぜひ物語に参加したかったんでしょうね(^_^)
「庶民が作った」とは、その辺りのことを言いたかったのですが、言葉足らずだったようで申し訳ありませんでした。

[1256 へのレス] Re: 忠臣蔵は、ドキュメントでは

投稿者：隠居 投稿日：2003/01/04(Sat) 17:19

花散里さん、そうでしょうな。義士からみの逸話はもともと断片的にあって、その隠れて不明な筋書き部分を絵草子作者などが「庶民の納得する物語」に次々と仕上げていったのでしょうか。
明治になっての桃中軒雲右衛門の「赤穂義士伝」にもネタ本があった筈でしょうから・・・。しかし浪花節や講談には打ってつけの物語ですね。
年末によく報せて頂きました。

[1261] 草創期の日本刀

投稿者：鬼丸 投稿日：2003/01/05(Sun) 16:16

本日、佐野美術館特別展「草創期の日本刀」展を観覧して来ました。
美術館への途中にある商店街の軒先には、今回の特別展の案内ポスターがいたるところに貼られ、町中が今回の特別展を盛りあげている感じがしました。

今年も、昨年の正宗展同様に開館を少し過ぎた１０時半には駐車場は満杯館内も沢山の人が展示品を食い入るように観ておりました。

館内で日刀保支部の先輩方がすでに到着されており、簡単に年始の挨拶をすませ、すぐに展示刀を観覧、今回沢山の蕨手刀を拝見し感動を新たにしました。写真や、図録などでは観たことあるものばかりで実物は初めてであり、なるほどと唸ってばかり次に初期日本刀（１１世紀頃）の太刀とご対面、反りが極めて浅く鎬が刀身中央により茎のところでグっと反り

小切先がカマス切先となっていて、解説には平将門佩用と書かれており
ました。この鎬が刀身の中央によるということは大和の古千手院に一脈
通ずるものがあるのではないか？などと勝手に思いを募らせ、続いて
時代別の舞草・宝寿・月山と普段鑑賞できない奥州名作古刀を鱈ふく
鑑賞しました。
今回、特に印象に残ったのは、国宝「豊後国行平作」附革包太刀拵え
（通称：鬼丸拵え）の太刀が特にすばらしかった。伝来はと言うと
細川幽斎が烏丸光広に古今伝授の際に記念として贈ったものだそうです。

最後におみやげとして今回の特別展図録を２１００円也を購入、ビデオ
も予約して参りました。

駆け足で今回の特別展の感想を投稿させていただきましたが、やはり
昨年の正宗がとてもすばらしかったので少々消化不良ぎみではありますが
一見の価値はあると思います。
あと、この特別展は「大阪歴史博物館」と「一関市博物館」で開催されると
特別展図録に記載されていました。ですから関東・東海・甲信越の方々は
このチャンスをお見逃しなく。　d(^-^)ネ！

また、来週には渡辺妙子先生のギャラリートークが拝聴できるので来週も
行ってきまーす。　　それでは(^_^)/~~~バイバイ!

[1261 へのレス] Re: 草創期の日本刀

投稿者：太刀 投稿日：2003/01/07(Tue) 22:54

鬼丸様お久しぶりです。佐野美術館の展示を早速ごらんになったのですね？私も行きたいのですが、今月は仕事でテンパッて行けそうもありません。鬼丸様のように近くに住んでいらっしゃる方がうらやましいです。

展示会に出品されているいくつかの奥州刀は持ち主の方に実見させていただいたことがありますが、なかなか普段は目にできないシロモノだなーと思いました。関連しそうなものでご参考までに、ちょっと面白い太刀の写真を後で画像掲示板にアップさせていただきたいと思います。丁度、新年でとてもめでたいので、コレクションの宝寿の短刀もアップしたかったのですが、PC のフロッピードライブが死んでしまいました。新年からついてないです。

[1263] 実は実阿なんです～。(^_^;)。

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/01/09(Thu) 20:54

一昨日、突然に夜の訪問者がありました。
『○○さ～ん。今から刀を見に行けへんで～。』と。!(^^)!。
徳島弁で『刀を見に行きませんか。』という意味なんです。これ・・・。

で、なんと知人が勉強するならもって帰ったら・・・、と言って貸してくれたという『実阿』の重要刀剣と、

未だ無冠の三尺の西蓮の大太刀の二口が待っておりました。
鑑賞宅も郷土の元『剣術道場跡』。
その昔、阿波藩士もはるばる通ったという由緒正しい道場主の子孫のお宅でした。

実は『実阿』の刀。それも重要刀剣の実阿を拝見するのは、１１月に拝見してから２回目なのです。非常に稀な刀であるうえに、重要刀剣指定品を続けて拝見できるのは、地方柄からもいっても凄いように感じました。
まして、西連の太刀もあるのですから、これで左でもあれば揃い踏みでした。

左に関しては、二年前に『太閤所持の左短刀』を拝見したことがありますので、実体験としては貴重な揃い踏みになったと言えます。

西連の太刀と実阿の太刀は非常に地鉄に似通った印象を受けました。
しかし、一方で１１月に見た実阿と今回の実阿では地鉄の印象が異なり、重要刀剣指定品で極めが同じであっても、受ける印象の違いに大きな差があるのだということを実感しました。
同じ刀工でも当然の如く、一口一口全部違うのでしょうから、これは当たり前かもしれません。
今回の実阿も審査前には『宝壽』の可能性もあると言われていたのですから、北と南と離れている地での刀が似通っているというのも、面白いことですね。
たしかに地鉄に綾杉がかったところがふんだんにあり、１１月に見た実阿ともし並べたなら、きっと同じ物とは思わなかったでしょう。
勉強になりました。

これらを鑑賞した後で、鑑賞宅のご主人の御好意で家伝の刀を拝見しました。
実用本位の刀が多く、ご主人様も『一介の藩士では実際のところ、この程度の刀がやっとだったのでしょう。』とおっしゃっておりました。
珍しいところでは、長押に掛かった槍。
拝見はできませんでしたが、なんと！『山城守歳長』の前名が入っている珍しい槍ということでした。名前をちゃんと記憶していない私が情けない・・・。
(T_T)。

ということで、合計十口ほどの刀を鑑賞しました。
来週はこれに続けと言わんばかりの楽しい鑑賞の企画が待っております。
それも追ってレポートしたいと思っております。
よろしくお願い致します。
m(__)m。

[1263 へのレス] Re: 実は実阿なんです～。(^_^;)。

投稿者：ikkak 投稿日：2003/01/10(Fri) 00:52

さすが真改殿、御人徳のたまものでしょうが様々な方とご交流なされ
見識を深められるのはおうらやましい限りでごいす。

次回は是非画像が欲しいでござる。

出来不出来はこの際関係なし！
記念写真のノリで気楽に刀の画像をアップしてくだされ。

[1263 へのレス] Re: 実は実阿なんです～。(^_^;)。

投稿者：隠居 投稿日：2003/01/12(Sun) 09:24

真改さん、えらい物をご覧になりましたね。西蓮、実阿父子は俗に言う「古筑前」とか「坊主鍛冶」とか云われる古い鍛冶で、手に取って見る機会なんぞ、滅多にあるもんしゃないですよ。現に私など展示してあるものにしても経眼した回数はごくごく希で、鍛冶の名前はともかく刀の出来は頭にさっぱり入っていません。
西蓮には「吉法師西蓮」とあり、その親が良西（入西ともいう）ですから、「揃い踏み」なら、坊主または法師鍛冶の三代良西、西蓮、実阿のほうが・・・。

[1263 へのレス] Re: 実は実阿なんです～。(^_^;)。

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/01/12(Sun) 10:58

ありがとうございます。
西連・実阿という刀工の刀がご隠居さまをしても、それほどの稀有なものとは存じ上げませんでした。
本当に良い機会に恵まれたと、天に、そして人の縁に感謝致します。

良西は数年前に日刀保の特別鑑賞会にて、短刀在銘品を拝見したことがあります。この時の短刀は在銘品として非常に高名なもののようでした。
刀剣美術誌には掲載されたいたと思いますが、ひょっとしたら、鈴木嘉定氏の『短刀』にも掲載されているかもしれません。

しかし、私はその時はまったく誰の刀なのか想像もできませんでした。
拝見した刀工の特徴を記憶し続けるというのは、本当に難しいと思いました。
なにせ、今ではすっかり忘れてしまっているのですから・・・。
お恥ずかしい限りです。

ご隠居さま。話は変わりますが、日本刀鑑定要訣は現在古書で定価の６倍から１０倍という値段で売買されているようで、入手は極々困難なようです。
押し型集では日刀保の田野邊先生の名品刀絵図聚成は６００部限定品で相当な高値が付いているようです。
刀剣関連書の発行は部数も少なく、後から欲しいと思っても復刻も困難で、後から続く者にとっては、そこそこの刀を買うくらいに困難となってきているようです。
以前はよく目にしていた、『日本刀随感』ですらもまったく見かけなくなりました。
実物拝見困難で、押し型から勉強したいと思っていても、なかなか図書にめぐまれません。

[1263 へのレス] Re: 実は実阿なんです～。(^_^;)。

投稿者：隠居 投稿日：2003/01/12(Sun) 11:52

真改さん、日本刀鑑定要訣が古書として定価の６倍から１０倍。ひぇっー、ものすごい値上がりですなー。
押し形は６００部くらいがちょうどいい部数なんです。バブルの頃は別ですが、３万円ほどの押し形を２０００部出すと必ず半分余っています。こうなると出版元は大赤字ですから、今頃は賢くなったのでしょう。
こういった図録の類は、支部でまとめ買いすると値引きしてくれますし、次から予約を打診してきます。田野邊先生の押し形もわれわれはこの予約で購めました。ついでに申しますと、田野邊先生の押し形は抜群の出来で、いかに克明細心に描かれたものか、先生の人となりがよく分かる秀作です。
他に出来栄え傑出の押し形といえば、犬塚徳太郎著「刀剣押形大観」定価６万円でしょう。これは皮張り天金の厚手和紙使用の豪華本で、一生学べる名著です。これは出版元にまだあるようです。
また犬塚徳太郎「新解刀剣鑑定法」も生涯必携の名著ですが、当然「在庫ナシ」でしょうね。これと思う本は古書店にも中々出ませんネ。

[1263 へのレス] Re: 古名刀の蔭に

投稿者：隠居 投稿日：2003/01/13(Mon) 09:13

真改さん、たいへんな古名刀を鑑賞された蔭に貴重なことがかくれているように思いますので、どうかと迷いましたが申し上げます。

それはあなたが鑑刀させて頂いたお宅に伝わっていた刀のことです。これについて「実用的な刀」というだけに終っていますが、剣術師範のお家というだけにご当主は「普通の藩士だけにこの程度のもの」と仰っていたとか。この言葉からこのお方、かなり刀の道に通じた方とお見受けします。
そして剣術師範役といえば少なくとも２０石３０石以上の藩士だと想像しますが、一応用に足る刀を選ばれたでしょうし、位列は低くてもそれなりのものが伝わっている筈で、その刀たちにつよい興味が湧きます。
私自身、昔地方の名家の所蔵刀三十数口を見せて頂いたことがありますが、その際、有名銘柄は殆ど偽物でしたが、そのかわり地方刀工の作に目を見張る秀作がありました。これ一口見ただけで１日をつぶした価値が十分ありました。今になっても「あの○○はすごかったなあ」と友人と話しています。
名刀の蔭に銘刀あり、ではないでしょうか。

[1263 へのレス] Re: 実は実阿なんです～。(^_^;)。

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/01/13(Mon) 19:50

この言葉からこのお方、かなり刀の道に通じた方とお見受けします。
＞私もそう感じました。
現在、日刀保に入って勉強しているというような方ではありませんが、古い世代の日刀保では活躍

していたような印象を受けました。

拝見した中で印象に残ったのは、『坂倉関正利』刀と、大磨りあげの大和伝と観る『異様なまでの鎬の高い、鎬地の広い』刀そして、兼房のような丁子を主体にし、やや三本杉も感じられる刃を焼いた『兼○』の平造り脇差です。

正利は茎鑢目が鎬地『切り』、平地『逆筋違い』に、村正の『正』に極似した明示が観られるもので、いかにも斬れるといった印象がありました。
この刀は先代が先の大戦に帯刀したというものだそうで、連れて行っていただいた方が、幼い頃の記憶ながらも６０を過ぎた今も非常に印象に残っている刀だそうです。

多くの刀が実戦で使用されてきたのでしょうか・・・、細身の刀でした。
しかし、二本指して歩くならとても現代刀のようなものを二本も指して歩くのはどうでしょうかと、考えてしまいました。

今度お邪魔した時は、刀もさることながら、絵図面や剣術に関する資料などを拝見し、画像で紹介をお許し願えればと思っております。

そして、山城守歳長前名の槍。
これも長押から直に拝見できればと思っております。

[1263 へのレス] Re:剣術指南役の刀

投稿者：隠居 投稿日：2003/01/14(Tue) 06:42

真改さん、剣道指南役のお家の伝来刀に興味がありましたが、やはり期待どおりお家に相応しいものですね。
坂倉関正利、三本杉風の兼○、鎬筋高く鎬地ひろい大和伝つよい大磨上（南北朝期と見られる）刀いずれも武用の利刀ばかりで、選んだ人の見識の高さが偲ばれます。
いいお話でした。

[1265] 銘について

投稿者：薩州住無学 投稿日：2003/01/11(Sat) 23:36

お尋ね致します。刀剣の銘文で「藤原云々、源云々、平云々」と有りますが、この「藤原、源、平」の部分は刀工が勝手につけて刻むものなのでしょうか？また、ある人の門人になったときに継承するものなのでしょうか？なにか決まりのようなものが有るのか何方か教えてください。

[1265 へのレス] Re: 銘について

投稿者：花散里 投稿日：2003/01/12(Sun) 01:00

いわゆる「源平藤橘」は、氏（うじ）の代表的なものです。
氏には源平藤橘以外にも、蘇我・物部・大伴など数多くの種類があり、同属集団の名称のことです。
薩州住無学さんの家にも、どれかの氏が伝わっているはずです。

基本的には養子などに行った場合を除いて、他家の氏を名乗ることは無いはずです。

もっとも、徳川家などは最初は藤原氏を称していましたが、「征夷大将軍になれるのは源氏のみ」という暗黙の制約により後になって源氏（新田氏）と称しています。（系図などというものは、売買や創作の対象でした）

この辺りの話は野崎先生がお詳しいので、ぜひフォローをお願いします。＞野崎先生

[1265 へのレス] Re: 銘について

投稿者：野崎 投稿日：2003/01/12(Sun) 06:41

中世・近世とも確実な系譜がないと源平藤橘を名乗れませんから、名門から奥さんを貰ったり養子縁組をして系図に載せてもらい、氏を名乗ることを許されるのです。江戸の大名が将軍家のほか京都の貴族からさかんに嫁を迎えたのもその線です。
　忠臣蔵の浪士切腹を決定した儒学者の荻生徂徠はちょっと代わっていて、荻生氏の先祖は物部氏でしたから中国風の号は「物　茂卿（ぶつもけい）」と名乗っていました。

[1265 へのレス] Re: 銘について

投稿者：隠居 投稿日：2003/01/12(Sun) 07:07

薩州住無学さん、刀剣の銘に切っている「氏」は「藤原」が多く、古刀よりも新刀になってのち、各地にみられます。
ご質問はこれを自分勝手につけたものか、それとも入門した系統によりつけたものかということですが、一門が同じ氏をつけるケースの多いことから後者のように思われます。（古刀期の高田物には平高田と藤原高田がある）
しかし新〃刀期になると途中で変えている刀工もありますから、時代により変化しています。
刀工と一口に言っても、古い時代には技術集団として社会的地位も高いのですが、時代が下がると「鍛冶職人」ですから、自分自身には名乗るべき「姓氏」はない刀工が多かったのです。だから「○○守」と同様、これらの姓氏も僭称である場合が殆どです。

[1265 へのレス] Re: 銘について

投稿者：隠居 投稿日：2003/01/12(Sun) 07:59

刀工がきる源平藤橘の姓について、一門が同じ姓を名乗ることが多いのですが、清麿の場合は清麿が（兄の正雄と共に）「源」であるに対し、弟子の清人は「藤原」です。これなどは明らかに自分勝手な名乗りですね。徳川政権の末期ともなると、こういう刀工の「名乗り」についても自由活発な風潮を感じます。これをみても、「時代」を抜きにして姓氏の問題は語れないと思います。

[1265 へのレス] Re: 銘について

投稿者：隠居 投稿日：2003/01/12(Sun) 09:52

刀工だけでなく一般の武士も戦国時代からは姓氏を勝手に名乗ったふしが見受けられます。木下藤吉郎や宇喜田がその例です。

また織田○○○平朝臣信長というように、姓氏を二つ使っているケースもよくありますので、源平藤橘のような古くからの姓は特別扱いしたように思われます。
野崎先生、こういうところをご解説ください。

[1265 へのレス] Re: 銘について

投稿者：花散里 投稿日：2003/01/12(Sun) 12:45

福永酔剣氏の「日本刀鑑定必携」に掲載されている、「知名工銘鑑」で数えてみました。
結果は、藤原が２７０名。源が７９名。平が２４名。橘が１６名でした。
しかし、改めて数えてみると次のようなことが分かりました。

１．同一刀工で異なる氏を銘として切る者
包道（摂津）－「伊賀守**源**包道」、「伊賀守**藤原**包道」
信吉（山城）－「信濃守**藤原**来信吉」、「洛陽住信濃守**源**信吉」
将応（武蔵）－「東武**源**将応」、「稲垣陸奥守**藤原**将応」
２．兄弟で異なる氏を銘として切る者
大道（美濃）－「**源**陸奥守大道作」（初代大道）
大道（美濃）－「伊豆守**藤原**大道」（初代大道の弟、大通とも）
３．一門で異なる氏を銘として切る者
清麿（武蔵）－「**源**清麿」、「**源**正行」
清人（武蔵）－「羽州荘内住**藤原**清人造之」
信秀（武蔵）－「栗原筑前守**平**朝臣信秀彫同作」
正雄（武蔵）－「**源**正雄」

これらから考えると、刀工の氏は私称なのでしょうか？

[1265 へのレス] Re: 銘について

投稿者：隠居 投稿日：2003/01/12(Sun) 14:38

花散里さん、ご苦労様！　やっぱり藤原が多かったですか。カンが当って良かった。でもこれには多少の根拠があります。
というのは、粟田口の太刀に「左兵衛尉藤原国吉」があり、また大和にも「金吾藤貞吉」があってこの「藤」は藤原の略称ですから、古い刀工が藤原を名乗ったことが著名であり、新刀期になってこれに倣ったと思われるからでした。
さて僭称かどうかですが、「信濃守藤原来信吉」でいいますと、藤原も来も僭称というか自称でしょう。この場合証拠を今示すことが出来ませんが、すこし調べると自称の証しが出るでしょう。

[1265 へのレス] Re: 銘について

投稿者：花散里 投稿日：2003/01/12(Sun) 20:28

＞織田○○○平朝臣信長
については、氏（うじ）は平、姓（かばね）は朝臣、名字（苗字）は織田ということだと思いますが。

[1265 へのレス] Re: 銘について

投稿者：野崎 投稿日：2003/01/12(Sun) 21:19

日本国鍛冶宗匠伊賀守金道に献金して下級貴族から氏姓を買うこともできたようです。官位や受領名なども買えたようです。

[1265 へのレス] Re: 銘について

投稿者：薩州住無学 投稿日：2003/01/12(Sun) 22:25

皆様、有難う御座います。時代が下がってくると結構あいまいな部分が出てくるのですね。なぜ今回この質問をしたのかというと、今手元に研磨前の「源助信」在銘の脇指があり、どこの刀工か調べているからです。ある刀剣商の鑑定では尾張の助信（尾崎助隆門人）と言うことでしたが銘鑑に「源」と刻った銘が載っていなかったので確信が持てず、他では「源」を冠した刀工がいるので何か関連があるのだろうかと思ったのです。まあ研ぎに出したほうが確実なのですが今金欠で・・・。おそらく新々刀なので、この方法では分からないかもしれませんね。

[1282] 紙上鑑定を学ぶことの是非

投稿者：隠居 投稿日：2003/01/16(Thu) 05:09

あるお方から「紙上鑑定を始めようと思うが、ご指導を」とメールで云ってこられました。メールでご返事してもいいのですが、他にもそういうお方がおられる場合を考慮し、この場をお借りしてご返事することにしました。

【紙上鑑定の欠点】

紙上鑑定は鑑定の力がつくもので大変いいのですが、「実刀の鑑定」で刀の初期的な見方が分かった上でないと、どこまで行っても初心の域を出ません。

例えば、紙上鑑定では「地景交じりの地鉄」とあれば、そのような地金と受け取れますが、実際は細かい「網の目状の地景」だとしますと実刀を見て分からない人が多いのです。ですから初心者ほど相州伝の混ぜ金による（一目で分かる）派手な地景に感動します。備前や美濃の本質的な真の地景が認識できないか、評価できないのです。

同様のことが、刃中の働きについても云えます。紙上鑑定では「小足入り」「金筋入る」とあっても、この刀を実際に見ると細かい働きである場合、「小足」も「金筋」も認識しにくい場合もあります。だから新刀や新々刀にみられる大仰な「太足入り」や「芋筋風の金筋」を立派だと思ってしまいます。つまり細かく働いた真の働きがいつまでも分からなくなってしまうという、刀剣研究の上での致命傷を初心の間に持つことが多いのです。

ですからこの結論として、紙上鑑定をなさるのなら、平行して実刀鑑定を学ばれることをぜひお奨めしたいのです。

[1282 へのレス] Re: 紙上鑑定を学ぶことの是非

投稿者：隠居 投稿日：2003/01/16(Thu) 06:20

とは申しましたものの、日刀保の大都市の支部では会員が多すぎて鑑定会が渋滞状のため、新入会を制限しています。日刀保以外の会でも無制限ではなく、「人」を選びます。困ったことですね。

[1282 へのレス] Re: 紙上鑑定を学ぶことの是非

投稿者：鎬 投稿日：2003/01/16(Thu) 09:45

隠居様のご意見、身に沁みます。
実刀鑑定になると、地鉄をどの肌か見れない。見ても自信がない。
実刀鑑定では中心見れないのに誌上鑑定では中心のヒントで刀匠を絞ってしまう。
などすこし違うなと感じていました。
誌上鑑定と実刀鑑定の両方で勉強することが良い方向性ですね。
亀の歩みですが、一歩づつ前進します。

[1282 へのレス] Re: 紙上鑑定を学ぶことの是非

投稿者：隠居 投稿日：2003/01/16(Thu) 11:29

鎬さん、誌上鑑定で中子を表現するのは過剰サービスなんです。いつ頃か誌上鑑定の応募者が少なくなって考え出されたもので、きびしい刀剣研究団体では出題に中子を一切表現しません。仰るように中子から先に答を見つけようとし、実力涵養にならないからです。
刀剣鑑定は、まず姿形、造り込みで時代をきめ、
次に、この姿造り込み、とくに切先の形、地金などで国をさぐり
地金と刃文の特徴から系列を想像します
中子の特徴は、見ない方がよく、見るなら最後に確認します

これでやっていかれて当らなければ、それが勉強です。答えてすぐ当っては勉強になりませんよ。頑張ってみてください。

[1282 へのレス] Re: 実刀鑑定の奨め

投稿者：隠居 投稿日：2003/01/17(Fri) 06:26

鎬さん、実刀鑑定と云うと二の足を踏む方が多いものですから、この際そうてない面を一言しておきます。
【実刀鑑定の長所】
「持って分かる反りと重さ」これは紙上鑑定とは違った有利な点で、どんな初心者にでもすぐ分かります。
それに実物から受けるナマの感じは紙上鑑定では伝わりません。例えば一文字の本科と現代刀の写しが並べてあった場合を想像してください。つよくほとばしるような映りと豪華絢爛たる刃文、これは如何に上手に模作しても本物とは天地の差があります。これは小学生でも分かります。

そして何より大事なことは、「位が分かる」ことです。俗にいう「兵隊の位」で、刀には大将から兵卒まで備わった品格があり、これが分からないと何年刀道楽をしても無駄です。要するに「味噌も糞も区別がつかぬ」のでは話になりません。これを見分けるのが鑑定です。
つまり刀剣鑑定は「理くつ」でなく「感性」に負う部分も大きいのです。だから大学の先生が入会されても一緒に入ったラーメン屋さんに追いつけず、やがて止めていくというケースもあるのです。（インテリほどあきまへん）
このように実刀鑑定は刀を知るのにもっとも手近で、早道なのです。如何ですか、お分かり頂けましたか？

[1282 へのレス] Re:訂正

投稿者：隠居 投稿日：2003/01/17(Fri) 08:24

「インテリほどあきまへん」は誤解をうみますね。「自尊心が高すぎて初心者のうちの１００点中０点１０点という低得点に耐えられない人」と云ったほうがいいようです。

[1282 へのレス] Re: 紙上鑑定を学ぶことの是非

投稿者：鎬 投稿日：2003/01/17(Fri) 09:25

ありがとうございます。
幸い楽しい刀友がおりますので
低得点に楽しく耐えながら叱咤激励しあい
鑑定力を高めたいと思います。

[1286] 『成蹊堂』さんと特別鑑賞会開催。ってどこで？

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/01/16(Thu) 12:43

去る１５日、２０時から私宅におきまして成蹊堂さんをお招きして特別鑑賞会を開催しました。
参加者は、成蹊堂店主様。真改 2001。真改 2001 父（親国ではありません）。○島先生の４名で行いました。
南北さんもお誘いしたのですが、あいにくとお仕事の都合で参加ままならず、少ない人数で贅沢な鑑賞会を開きました。(^^ゞ。

当日の鑑賞刀は次の通りです。
則重短刀（山内家伝来）
青江幸次太刀（重美　大磨りあげ）
加州真景短刀（則重子）
乕徹刀（い興はね虎　寛文二年山野加右衛門　弐ツ胴截断　金象嵌銘あり）
初代和泉守兼定脇差（大永年期　額銘）
国広短刀（来国俊写し）
手掻包永刀（大磨りあげ）

の７口の名刀を鑑賞しました。
時間の都合でここからのお話は画像と共に今夕に掲載致します。

よろしくお願い致します。
m(__)m。

[1286へのレス] Re: 『成蹊堂』さんと特別鑑賞会開催。ってどこで？

投稿者：真改2001 投稿日：2003/01/16(Thu) 21:50

○島先生の持参した刀に『西連太刀』と『則光脇差』がありました。

鎌倉を旅行中に衝動買いしたという『則光』がとても良くて、長さはないが、とても品格のあるものでした。
同じ脇差で之定がありましたが、いかにも斬れるような印象はもちろんでしたが、綺麗に詰んだ地鉄からは常に見る美濃刀のような肌立つ感じはなく、刃明るく、額銘にしてまでも残したかったその意味が分かるような気がしました。

国広短刀は内反りの体配からも三棟からも本歌の『来』かと思いました。
実際拝見しても、私などに違いなどわかるはずもなく、本歌と並べて解説を受けて後にどうにかこうにか分かるような気がする程度のものかなと、思いました。

青江幸次太刀は健全過ぎて言葉になりません。
四国のさる大名家の伝来品ということで、大名家にある刀というものの凄さを改めて感じました。
直刃に小足がしきりに入り、美しすぎる地鉄はなんとも言えぬものです。

則重は典型的な作柄で、私が見ても直に則重か！と言い当てることのできる刀でした。これもやはり大名家伝来品。

加州真景は『石州直綱』のような地鉄で、あまりにも冴え亘る刃は新々刀かと恥ずかしながら思うほどでした。

帋徹は帋徹。文句なし。参加者全員が手に持って記念撮影。
『今宵の帋徹は良く斬れる！』近藤勇の台詞でお馴染みと、父に解説すると刀を知らない父も納得！
手袋を着けて鑑賞しました。

手掻包永はその刃紋は言葉で表現することは不可能です。
ここを御覧下さい。この国宝の手掻包永に本当に刃紋が似ていました。

駆け足でレポート致しましたが、本当に有意義な時間でした。
２年ぶりに私宅にお越しいただきました成蹊堂様に、この場をお借り致しまして、厚く御礼申し上げます。
ありがとうございました。

またお時間が許されましたら、お越し頂ければと存じます。
m(__)m。

[1286へのレス] Re: 『成蹊堂』さんと特別鑑賞会開催。ってどこで？

投稿者：花散里 投稿日：2003/01/17(Fri) 22:34

おおっ！　なんとも豪華な、鑑賞会じゃありませんか(^O^)／
大名家所蔵刀や重要美術品を、ご自宅でゆっくり鑑賞ができるなんて羨ましい限りです。
まさに現代だからこそできる、超贅沢ですね(^_^)
写真からも、真改2001さんの興奮が伝わってきます。
成蹊堂さんと言えば、そろそろ勉強会の時期ではないでしょうか？
どのような趣向を凝らしていただけるか、楽しみです(^_^)
（催促してたりして(^^ゞ　）

[1286へのレス] Re: 『成蹊堂』さんと特別鑑賞会開催。ってどこで？

投稿者：隠居 投稿日：2003/01/18(Sat) 13:21

真改さん、どてらいゴージャスな鑑賞会ですなぁ。そして鑑賞の大筋が
則光・・・備前伝
兼定・・・美濃伝
来国俊写し国広・・・山城伝
則重・・・相州伝
包永・・・大和伝
と五箇伝になっており、これをずらり並べて観る機会は、自宅でなくて

[1286へのレス] Re: 『成蹊堂』さんと特別鑑賞会開催。ってどこで？

投稿者：隠居 投稿日：2003/01/18(Sat) 13:34

すんません、続きです。

公共の場所であったとしても、中々取り揃えがむつかしいでしょう。
五箇伝を揃える場合、大和伝の確実な優品がすくないですし、又相州伝の在銘で確かなものが中々入手難だからです。
（正宗貞宗は無銘ものが多く、国指定のもの以外は確実性に問題があるので、相州伝上工となれば則重と左だからです）

真改さん、五箇伝を一夜にして観られたご感想、一言されては如何。

[1286へのレス] Re: 『成蹊堂』さんと特別鑑賞会開催。ってどこで？

投稿者：ikkak 投稿日：2003/01/18(Sat) 19:27

なるほど！
確かにおっしゃるとうり五箇伝がそろっていますね。
うーんほんとにすごい経験をなさいましたね。
画像もUPしていただきありがとうございました、愉しませていただきました。

[1286へのレス] Re: 『成蹊堂』さんと特別鑑賞会開催。ってどこで？

投稿者：真改2001 投稿日：2003/01/18(Sat) 21:50

なんと！
ご指摘を受けるまで、五箇伝が揃っているとは全く考えも及びませんでした。
恐縮です。
則光・・・備前伝
兼定・・・美濃伝
来国俊写し国広・・・山城伝
則重・・・相州伝
包永・・・大和伝
これらの刀を拝見するのは初めてでしたので、則光と則重以外は入札鑑定であったなら、私の回答では当たりはなかったでしょう。
国広は『ざんぐりした』感じもなく、まったく『来』かと思いましたし、兼定は綺麗に詰んだ地鉄からは美濃とはまったく想像ができないもので、上品且つ覇気の感じを受けた直刃は、美濃特有と言われる尖り刃を探すことも私には不可能で、どこに持っていけばよいのか検討もつかない状態でした。
手掻包永に至っては、常に観る大和伝の刀とはまったく異なり、直刃ばかりを大和と思っていてはとんだ事になる！という経験をさせてもらいました。相州伝の上工作かと思ってしまいました。
そうすると、青江幸次も山城伝ですね。

ikkakさん。
画像を興奮した合間に頑張って撮ってみましたが、雰囲気だけしかお伝えできなかったと思います。
刀剣の写真は本当に難しいです。

[1286へのレス] Re: 『成蹊堂』さんと特別鑑賞会開催。ってどこで？

投稿者：隠居 投稿日：2003/01/19(Sun) 08:03

真改さん、分かって頂きましたか。
普通の研究例会で五箇伝が並ぶケースは希ですからね。しかし例会の出題にも何らかの「テーマ」を持たせたいもので、拝見する側は、並んだ刀全体から「出題者の意図」をさぐる習慣を身につけておきますと、永年の中にそういう感覚が備わってくるものです。要するに、刀を取り合わせて持って来られた方への「打てばひびく感受性」の問題です。
昔はこれが見抜けないと、きびしい師匠ならうんと油をしぼられました。今はわが子でも「叱る」親はいないし、叱ると誰も周りにいなくなります。

さて、兼定ですが、よく詰まって麗質な地金に明るく締まった直刃、足入りもなく尖り刃もない。この場合帽子がやや地蔵風に倒れていないと、美濃にいけませんね。しかし鎬地か刃寄りが柾ながれになっていませんか。「否」のとき、そこらを精査されますと「兼常」あたりが候補になります。

新刀期親物、つまりこの国広をはじめ、康継、忠吉、重国、古刀そのものに見える作がありますか

らね。これは本歌とみるのがまともな筋で、恥じることはありません。私など同じ刀で何回だまされたか・・・。

包永、この刃が大和の刃なんですね。大和イコール柾、とばかり思っていると大違いです。勉強になりますね。しかし、いい機会でしたね。

[1286へのレス] Re: 『成蹊堂』さんと特別鑑賞会開催。ってどこで？

投稿者：ikkak 投稿日：2003/01/19(Sun) 18:18

真改殿
画像はあれで十分だと思います。楽しくやりませう

[1298] よしこの方針でいこう！

投稿者：ikkak 投稿日：2003/01/21(Tue) 05:46

日曜日の午前中確かサンデープロジェクトのときでしたが

ＣＭで刀匠がトンテントンカンやってるとこが出てきて
刀の切っ先がぬーっと画面をおおいクレジットには第２５代関兼房の文字が、

刀の世界がまじめにとりあげられていてうれしかったです。
他に誰か見た方いらっしゃいますか？

[1298へのレス] Re: よしこの方針でいこう！

投稿者：守重 投稿日：2003/01/21(Tue) 07:14

私ももっと前にみたことがあります。刀身のドアップ、迫力がありますね。日曜日に「行列の出来る法律事務所」とかいう番組で、後継ぎがいない刀匠に弟子入りした弟子が悪い女に騙されて師匠を裏切り、師匠が訴訟を起こす、とかいうことやっていました。ここまで来ると結果は前例とかいうよりも、モラルとか感情等が多少考慮される結果にうーーむと思いましたが、他にみた人いますか？

[1300] 復刊(^_^)

投稿者：花散里 投稿日：2003/01/21(Tue) 22:00

この掲示板でも時々話題になりますが、愛好家の悩みの種とも言えるのが「刀剣関係の書籍」。
元々出版部数が少なく、気が付いたら既に絶版。
慌てて、古書店で探してみると値段は定価の数倍～十倍くらい・・・
刀に限らず勉強には欠かせない書籍が、今や高嶺の花。本によっては、数年も探してようやく手に入るものも多くあります。

そんな中、光芸出版から復刻叢書として「日本刀の真贋」が、昨年１１月に出版されました。
以下に、後書きから引用します。
「本書の初版は、今から二五年前の刀剣ブームに沸き立つ一九七七（昭和五二）年。当時、全国の愛刀家は、

競うように日本刀（付属する鐔小道具も含めて）を買い始めており、そこから発生した様々なトラブルをアンケート方式で汲み上げ、事例に即しつつ刀剣問題に係わる諸傾向・対応策・対応策を分かりやすく纏めたのが本書といえる。
　時代背景がすっかり変わり、日本刀売買は国際化し飛躍を遂げ、愛刀家の環境も整い、刀剣界は成熟し、過去の熱狂が嘘のような趣を呈している今日、しかし刀剣トラブルは起こり続け、いやそれどころか絶え間ない。しかも大半はニセモノ絡みで頻発する。例えば、暴露されたはずのニセモノあるいはその係累が、いわば亡霊みたいに蘇って悪さを働くこともあれば、また新たに密造されたニセモノが大手を振り、あるいは複雑な経路を伴って流通することもある。だからニセモノは決して減らず逆に激増するのだ。そのような現代にあって、かって愛刀家が体験した失敗等を見直すことの意義は極めて大きい。
　本書を復刻し改めて刊行する所以である。
　なおこの復刻版には、絶版「日本刀の偽銘」中の「偽銘の見どころ勘どころ」（偽銘押形図版５４点）を付録として収録し、充実をはかっている。
光芸出版編集部」

今日、たまたま書店で見つけ、さっそく購入しました。
光芸出版は、手軽な値段で数多くの入門書を発行してくれていましたが、今やその多くが絶版ですので、これからも復刊をぜひお願いしたいです m(__)m

「復刻叢書　日本刀の真贋　光芸出版編」
ＩＳＢＮ４－７６９４－０１１４－０　定価：本体２，５００円＋税
平成１４年１１月６日　初版第１刷発行

[1300 へのレス] Re: 復刊(^_^)

投稿者：真改２００１　投稿日：2003/01/21(Tue) 23:03

私も、ヤフーショッピングで発見しまして、先先週に手に入れました。
が、読んでません。(T_T)。
が、古い版は読んでいます。

失敗談や他人に話したくない話の中には肥やしになることも沢山ありそうです。
全部が全部、自分以外の責任にあるかというと、決してそんなことはなく、自分の中にも多くの責任は存在するはずです。
歴史は繰り返すと言いますので、復刊された機会に読んでみてはいかがでしょうか。

[1300 へのレス] Re: 復刊(^_^)

投稿者：こてつ。　投稿日：2003/01/22(Wed) 01:17

ヤフーショッピングで注文してしまいました。
…読まねばっ。

[1300へのレス] Re: 復刊(^_^)

投稿者：守重 投稿日：2003/01/22(Wed) 07:13

私は１ヶ月前に書店で見つけ、現在せっせと読んでいます。これは必読書ですね。

[1300へのレス] Re: 復刊(^_^)

投稿者：花散里 投稿日：2003/01/22(Wed) 09:16

私も、まだ全部は読んでいませんが、「日本刀の真贋」「隠された刀の欠陥」「刀の工作」「刀の売買」の章（それぞれ、実例とアドバイス）、「刀の鑑定と格付け（座談会と識者の意見）、「偽銘の見どころ勘どころ」と章分けされ濃い内容だと思います。
アドバイスの内容も、分かり易く的確ですしね(^_^)
「人の振り見て、我が振り直せ」ではありませんが、他人の失敗の経験に自分の体験を重ね合わせ、結構感情移入や同感できたりします。

[1300へのレス] Re: 発刊当時の舞台裏

投稿者：隠居 投稿日：2003/01/23(Thu) 08:31

この本が再販されましたか。出版当時は偽物にマル特やときに重要の証書がついて出回ったりし、その証書が贋せの場合と「そうでない」場合があって日刀保の審査そのものが問題化しました。たしか私も持っていた筈ですが、花散里さん、著者のメンバーが日刀保関係者ではなかったように思いますが、如何でしょう。

[1300へのレス] Re: 復刊(^_^)

投稿者：花散里 投稿日：2003/01/24(Fri) 08:10

アドバイスしているのは、犬塚徳太郎氏・得能一男氏ですね。
日刀保の諸問題には、かなりページを割いています。「日刀保のＳ氏の鞘書き」などの話題もちょくちょく出てきますし(^_^)
同じ出版社の「刀屋入門　日本刀の売り方買い方」などと、同じ傾向の記述が見られますね。

[1300へのレス] Re: 復刊(^_^)

投稿者：隠居 投稿日：2003/01/24(Fri) 08:41

花散里さん、やっぱり、そうでしたか。
昭和４５～５５年ごろ、○特、重要で怪しげな刀が徘徊し、取りざたされたものです。こういうタガのゆるんだ審査が行われた時代があり、その証書の付された刀が今でも出回っていますから、証書をたよりにした判断は危険です。そのことを故犬塚徳太郎先生は繰り返し提唱されていました。
この土日に本を探し出して読んでみたいです。

[1300へのレス] Re: 復刊(^_^)

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/01/26(Sun) 20:39

本が届きました。まだザッと目を通した程度ですが…。
どのお話も身につまされそうです。
昔っから怪しい刀ってのはあったんですねぇ。
いまでもネットオクの中には怪しげな鞘書き・証書の付いた「名刀」がお手軽価格で出てきます。
いや、一番怪しいのはそういう刀を実しやかに売りつけんとする「人」なんでしょうけど…。
良い本を教えていただきました。勉強になりそうです。

[1300へのレス] Re: 復刊(^_^)

投稿者：真改2001 投稿日：2003/01/26(Sun) 21:20

実名、職業記載で堂々と書いていますから、投稿した人の真剣さが伝わってきます。
戦前の刀匠の話も出てきたりして、実にリアルです。

同じような繰り返しを少なくするためにも、この本を宣伝するわけではないですが、読んでみたらと思います。

私個人の体験としては、ある刀剣関係の職方から購入した脇差に、研磨後に片刃切れが出たことがあります。
大きな傷や欠点が出ればお買い求めいただかなくても構いませんということだったにも関わらず、これは表裏に刃切れが出ていないので、刃切れではないということで購入することになってしまいましたが、その後に友人に譲渡し、さらに後にとある刀剣商へ下取りに出したところ、『立派な片刃切れ』と言われました。
それ以来、その刀剣関係の職方さんとのお付き合いは全くやめてしまいました。

後に読んだ『間違いだらけの日本刀選び』得能一男著にも、『片刃切れも立派な刃切れの一つ』と書いてありました。

このような体験も、本に記載されていることと同じようなことなんでしょうね。

[1300へのレス] Re: 復刊(^_^)

投稿者：ikkak 投稿日：2003/01/28(Tue) 05:25

私も会社の帰り道あるかなーと思って渋谷のブックファースト(日曜に杏さゆりが握手会やってました)に行ったらありました。
早速買って読んでますがいやー読み応えあります。
蔵刀や通信販売誌にのってる刀がすべて怪しく思えてきました。
得能師のことを一部の方が良く言わない理由がわかったような気がします。

[1308] 実阿

投稿者：ikkak 投稿日：2003/01/25(Sat) 06:11

今月号の０に西蓮と実阿、さらに日本刀最古の年紀(1159)入りの行正も
載せてあります。
いやー古刀の一流どころはやっぱり別格ですねー

[1308 へのレス] Re: 実阿

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/01/26(Sun) 20:59

私のところにも来ました。
麗と言っても差し支えないと思いますが・・・。
別に宣伝とは思いませんし。

というわけで、麗を見ましたが、何とかの法則みたいにですね、実阿とか西連とか実にタイムリーです。
特に成蹊堂さんで観た実阿の重要刀剣は、麗所載の佐野美術館の実阿の地鉄とよく似ていたと思います。
私見ではもっと肌が綺麗でした。画像と実物を比較するというのは無理でしょうけど、そんな感じを受けました。
同じく、成蹊堂さんでは、西連の重要刀剣が出ています。
なかなかお目にかかれませんよね。

[1308 へのレス] Re: 実阿

投稿者：ikkak 投稿日：2003/01/27(Mon) 05:32

お言葉を返すようですが"welcome"で「宣伝行為は原則としてお断り」とありますし
商業誌や刀剣商さんは匿名にしたほうがよいのでは？

確かになんとかの法則ってのは私も感じますね、タイミング的に SK 堂さんの
鑑賞会の話を聞いてから０の記事を書いたとは思えませんし

刀剣商の方の話で同一工や一門の刀が立て続けに入ることも良くあると読んだこともあります。
刀が刀を呼ぶというのでしょうか。

[1308 へのレス] Re: 実阿

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/01/27(Mon) 06:46

**『お言葉を返すようですが"welcome"で「宣伝行為は原則としてお断り」とありますし
商業誌や刀剣商さんは匿名にしたほうがよいのでは？』**

**この辺りことは、過去にも論争がありましたので、これ以上は申しません。
ikkak さんの投稿表記方法には ikkak さんのお考えがあるでしょうから、それはそれで尊重致しま**

す。

また、当ホームページでの『宣伝行為』については、管理人合議体で話し合いますので、よろしくお願い申し上げます。

論争をするつもりはございませんので、これを御覧の皆様もよろしくお願い申し上げます。
m(__)m。

[1314] 古備前の短刀

投稿者：千手院義弘 投稿日：2003/01/27(Mon) 09:21

ひさしぶりに投稿させていただきます。
前回と同じくみなさまに教えていただきたいのですが、古備前の短刀を図録、押型などで見たことがありません。
気になるとすぐに調べるのですが、今回はお手上げのようです。
掲載されている書籍などをご存知の方どうぞ教えてください。
よろしくおねがいします。

[1314 へのレス] Re: 古備前の短刀

投稿者：隠居 投稿日：2003/01/27(Mon) 19:21

千手院さん、古備前に短刀はありません。備前に限らず山城でも粟田口久国則国あたりが始祖と云われています。
もっとも「刀子（とうす）」は別で、奈良平安時代の刀子については、これまで刀剣の中で取り上げられていません。

[1314 へのレス] Re: 古備前の短刀

投稿者：野崎 投稿日：2003/01/27(Mon) 21:05

　そういえば元寇の戦訓で発明されたとかいう説がありましたね。

[1314 へのレス] Re: 古備前の短刀

投稿者：千手院義弘 投稿日：2003/01/27(Mon) 21:37

隠居様,野崎様どうもありがとうございました。
どうしても（太刀と短刀は同じ時代に誕生した）と思い込んでいたのでとても勉強になりました。
これでは、いくら探してもないはずですね。

[1314 へのレス] Re: 古備前の短刀

投稿者：隠居 投稿日：2003/01/28(Tue) 08:41

野崎先生、短刀は鎌倉時代には作られたようで、元寇よりも早かったように思います。もっとも短刀の起源について述べられたものを多くは知りませんが、「短刀　光芸出版」の著者現日刀保専務理事鈴木嘉定氏は、著書の中で平安時代にもあったが実用品であったため（損耗して）残されていな

い、というようなことを述べておられます。しかし他の学者で、平安時代に「短刀なし」と断言している方もあります。（川口渉氏）
ですが、平家物語では平敦盛と熊谷直実が須磨の浦で一騎打をする場面があり、熊谷が敦盛の首をあげますね。ということになると組討の際の「め手指し」という形の短い刀が欲しいです。武器の様式は戦闘の変化によって生まれるものだからです。
どうなんでしょうか。

[1314 へのレス] Re: 古備前の短刀

投稿者：野崎 投稿日：2003/01/28(Tue) 22:17

『平家物語』では『腰刀』という短い刀で格闘したりしていました。
「太刀は従者に持たせたが護身用の短い刀は常に腰にさしていた」、と古語辞典にありますから脇指のように使っていたのでしょうか。
　あと「鎧通し」という刺剣も使っていましたし。

[1314 へのレス] Re: 古備前の短刀

投稿者：隠居 投稿日：2003/01/29(Wed) 06:59

そうでしょう。短か刀、よろい通し、馬手指し、すべて短刀ということですね。千手院さんの云われるように、「太刀に短刀」は必需品らしく思えます。振袖中子で内反りの短刀あたりが、古い形のようですね。

[1315] 太刀はどうなる？

投稿者：野崎 投稿日：2003/01/27(Mon) 18:20

先ほど（1 月 27 日 18 時のニュース）新横綱の誕生が報じられました。
土俵入には太刀が要るのですが、結局日本の刀を日本の刀匠が新調するのでしょうか。日本刀の完成には元寇の戦訓もかなり入っていますのでちょっと考えさせられます。
近代モンゴルではトルコ式の S 字形をしたセーバー（サーベル）を使っていたと思います。

[1315 へのレス] Re: 太刀はどうなる？

投稿者：隠居 投稿日：2003/01/27(Mon) 20:02

そうですね。ジンギスカンの青竜刀では困りますな。でも髷をして君が代を歌ってますから、太刀でしょう。
貴乃花までは相撲協会顧問の林盈六先生が選んだ筈ですが・・・林先生、お元気なんでしょうか？

[1315 へのレス] Re: 太刀はどうなる？

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/01/27(Mon) 20:40

たしか貴乃花の太刀拵えは家伝のもので、刀身は月山刀匠親子が打ったものではなかったでしょうか。
そんな記憶が片隅にあります・・・。

[1315 へのレス] Re: 太刀はどうなる？

投稿者：ikkak 投稿日：2003/01/28(Tue) 05:28

今の大相撲を見ているとまさに現代の日本の縮図なのでしょうか。
優勝者は１クラスをのぞいてハンデをもっているはずの外国人、
もう見る気もうせました。
太刀もモンゴルの青龍刀でいいです。
黒海の土俵入りはサーベルか？

[1315 へのレス] Re: 太刀はどうなる？

投稿者：隠居 投稿日：2003/01/28(Tue) 06:23

代々の横綱の太刀については例えば「愛刀百華撰　林盈六著」に触れており、この著者林医師が相撲協会の顧問だから当然先生の斡旋で選ばれるもの、と思ったまでです。
ちなみに林先生が選んだ過去の太刀は、いずれも大名家伝来の古名刀で、値段も三桁以上であることは確実です。なにしろ化粧回しに数千万かける世界ですから。
こういう経緯から申しますと、バブルの頃の大横綱貴乃花ですから、月山では・・・ちょっと格落ちですね。いい「たにまち」がいなかったんですかネ？

[1328] また雪ですわ！

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/01/29(Wed) 08:11

最高気温１度の予想に、早起きで５時から空模様を見ていましたが、まったく変化がないので安心していたら、土砂降り？の雪ですわ！
ほんま。(>_<)。

子供と犬は喜んで駆け回っているかもしれませんが、大変です。
転倒や怪我に気をつけて下さいね。
皆様。
m(__)m。

[1328 へのレス] Re: また雪ですわ！

投稿者：ikkak 投稿日：2003/01/29(Wed) 18:55

東京もメチャ寒です。
とくに風が冷たく芯から冷えます。
天気は西から崩れるらしいので２，３日後には東京も雪なのでしょうか？
今年のインフルエンザは症状がひどいみたいなので皆様お気をつけ下さい。

[1328 へのレス] Re: また雪ですわ！

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/01/29(Wed) 21:28

この冬は異常ですね。小諸ももうこれで何回目の雪か…数え切れないくらいに降ってます。もちろん今夜も～っ。
散歩など外出の機会が増えるかと思いきや、家の中でジットリ仕事してます。故郷に帰ってきて、東京より不健康な毎日送ってるような？
それでも冬が厳しければ厳しいほど春が嬉しいものです。
いい大人なんだけど、ちょっと…待ち遠しいです。

[1328 へのレス] Re: また雪ですわ！

投稿者：久 投稿日：2003/01/29(Wed) 23:04

真改様、花散里様
　吹雪のドカ雪を見たいのなら是非新潟へ！
雪が降っても消える前に新たなドカ雪が降ります。春まで消えずに残って
おります。
今日朝起きたら５０ｃｍ積もっていました。山沿いは平野に
比べかなり降るので毎日車を掘ってから仕事へ向かいます。
体が完治していないのに毎日４時間は雪掻きをさせられているので
つらいのなんのったらありゃしません。

体が完治するのは何時の事やら、、、。今も外は吹雪です。

[1328 へのレス] Re: また雪ですわ！

投稿者：花散里 投稿日：2003/01/30(Thu) 00:18

久さん、お大事に m(__)m
病み上がりで雪掻きは辛いですね。かと言って、放っておく訳にもいきませんし・・・
露天風呂にお盆を浮かべ雪見酒、などと呑気なことを言っていられるような降り方ではないようですね(^^ゞ
雪が降るのが前提の、上信越の高速道路が通行止めですからね(^_^;)

[1328 へのレス] Re: また雪ですわ！

投稿者：鎬 投稿日：2003/01/30(Thu) 10:08

雪ですね。大阪も昨日は積もってましたよ。
歩道橋が凍ってて危なかったです。
たしか小諸は雪が少ないところでしたよね。
昔何度か、釜飯を食べながら行った事があります。
小諸でレンタカーを借りて軽井沢とかいったんですよ。
刀友と大阪ドームでの骨董市に行く予定ですので
珍品がありましたらレポートしますね。

[1328へのレス] Re: また雪ですわ！

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/01/30(Thu) 14:06

＞鎬さん
「峠の釜飯」でしょうか？駅弁としても定番でしたね～。
春は城跡にある懐古園の桜が見物です。
…大阪ドームかぁ、行ってみたいけど遠いなぁ…。

[1328へのレス] Re: また雪ですわ！

投稿者：蘭国住出島屋那太郎 投稿日：2003/01/30(Thu) 16:33<HOME>

今日は久々に此方も！！！雪ですっ！

[1328へのレス] Re: また雪ですわ！

投稿者：神無月 投稿日：2003/01/31(Fri) 20:56

上京してから４年になりますが、北海道出身なんで雪のない冬は冬というかんじがなんかしませんね。
今年はまだ実家へ帰っていないので雪景色が恋しいです。

[1328へのレス] Re: また雪ですわ！

投稿者：真改2001 投稿日：2003/01/31(Fri) 23:20

結局、水・木と降りまして、木曜日の朝などはカチコチンのアイスバーン。
(>_<)。
４０分かけて歩いて出勤致しました。(T_T)。

金曜日の朝刊には、雪に対する認識の甘さが大々的に書かれており、チェーンも持たない人が多い徳島の現状が浮き彫りになりました。
何を隠そう、私もチェーンを持っておりまチェーン。
まあ、年に一度あるかないかの雪のためにチェーンを買う人は少ないかな～。

雪はさておき、地震に対する備えはきっちりとやっておかねばなりません。
南海沖大地震も３０年以内にあるとか。
徳島新聞でも、各市町村の地震被害を予想する記事が毎日のように出ています。
備えあれば憂いなし。とはよく言ったものですね。

[1325] 江戸之刻

投稿者：鎬 投稿日：2003/01/28(Tue) 15:24

日経新聞に「江戸之刻」なる時計が載ってましたね
とても興味が湧きましたよ。
みなさんどう思われますか？

ひょっとして、持ってるとか？

https://www.1no1.jp/contents/site/edonotoki.html

[1325 へのレス] Re: 江戸之刻

投稿者：花散里 投稿日：2003/01/29(Wed) 23:58

この時計、面白いですね(^_^)
どうやって、「不定時法」を「定時法」の時計に当てはめるのかと思ったら、なるほど針の進み方を工夫するのではなく、針が指す表示部分を交換するんですね。
この時計があれば、「ひい、ふう、みい、・・・なな、や・・・今何刻だい？」の面白みに、もっと早く気が付いていたかも知れません。

[1325 へのレス] Re: 江戸之刻

投稿者：鎬 投稿日：2003/01/30(Thu) 09:58

不定法なるもの初めて知りました。
いろんな考え方があるんですね。
江戸時代に行ってみたいな。

[1325 へのレス] Re: 江戸之刻

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/01/31(Fri) 23:28

今日買った、パワーウオッチという雑誌にも載っていました。

相変わらずどの本もロレックス一色といってよいか、結局はロレックスなのかといった感じの時計関連の本ですが、G ショックなどの電波時計とソーラー電池そして、２０気圧防水。これ以上の実用時計はないと思われるほどの時計も載っていて、時計の幅広さが伺えて、それはそれで楽しい記事となっております。

いまや時計は時間を知るという機能よりも、装飾としてのイメージが先行しています。
事実、携帯電話が普及した今では、携帯電話で時を知るという方が多いように思います。

でも、私も自動巻きあるいは手巻き・クオーツを問わず、時計の持つ雰囲気が大好きです。

[1325 へのレス] Re: 江戸之刻

投稿者：菊久 投稿日：2003/02/01(Sat) 06:19

真改 2001 さんも、時計大好き人間ですね。
私も、時計（腕時計）は大好きで、その日の気分によって変えてゆきます。
でも、なぜかデジタルは好みでなく、アナログばかり。

[1325へのレス] Re: 江戸之刻

投稿者：野崎 投稿日：2003/02/01(Sat) 21:57

真夜中が正子（しょうね）で午前０時、それが九ツ。八、七と減っていき夜明けが「明け六ツ」、五、四と来て真昼は正午、九つ。夕方が「暮れ六ツ」。これに十二支が関わって「丑三ツ時」のように使います。

夜明けと日没が季節によって変わると昼夜の時間も変化していきます。数字に一から三がないのは古代の都の門で時間を知らせた太鼓の鳴らし方から来ているとか。

江戸時代の時計は文字を書いたカードを動かして調節しました。『割り駒式文字板』といいますが、文字がさかさまでは読みにくいので、針を正午の位置に固定して文字盤のほうが回転するものが多かったようです。

こういう時制では分針、秒針はナンセンスですね。

[1325へのレス] Re: 江戸之刻　追加

投稿者：野崎 投稿日：2003/02/01(Sat) 22:05

丑三ツの三は、夜を初更から五更に分けた内の三更の終わりが丑の刻ということだそうです。

[1325へのレス] Re: 江戸之刻

投稿者：真改2001 投稿日：2003/02/01(Sat) 22:44

そういえば、只今から『正午の時報をお知らせいたします。』などという声を聞いていたように思います。
最近は時報も電話から聞いたことがないのですが、今は『午後１２時丁度をお知らせ致します。』と言っているのでしょうか。

正午は１２時ということに決まっていると思っていましたが、なぜ正午というのかについては、全く深く考えたことはありませんでした。
勉強になりました。

[1325へのレス] Re: 江戸之刻

投稿者：鎬 投稿日：2003/02/03(Mon) 14:45

まもなく「江戸之刻」を手にされる貴兄からの
使用レポート待ってますよ～
私はアンモナイト（1000円）を手にしました。
残念ながら、針は付いてませんが
充分楽しめますよ。

[1325へのレス] Re: 江戸之刻

投稿者：野崎 投稿日：2003/02/04(Tue) 20:32

不定時法では天体観測が不正確になるというので、幕府天文方では１日

を 12 辰刻（午前０時が子、午前６時が卯、１２時が午、午後６時が酉の十二支）＝100 刻＝8400 分（ぶ）に分ける定時法で観測していました。

1 辰刻は現在の約２時間にあたり、「一刻を争う」の刻はこの刻、現在の約１４分のことだという説があります。

それで江戸城の時の太鼓は午の刻の初め、午前１１時に鳴り、庶民の時刻を知らせる時の鐘は太陽の南中する午の刻の中間（正午、１２時）に鳴りますから、昼食をいつから取るかなど江戸時代を通じて混乱していたそうです。

和時計の文字盤を見るとき注意して下さい、文字盤が固定され、昼夜でテンプが変わらないのが定時法の時計です。

[1341] 角川大映。

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/01/31(Fri) 23:54

「大魔神」が復活するそうですね。
「ゴジラ対ガメラ」…は止めて欲しいす。

[1341 へのレス] Re: 角川大映。

投稿者：花散里 投稿日：2003/02/01(Sat) 10:35

私が子供で怪獣映画が全盛の頃、新作が封切りになるたびに見に行きました。
各社それぞれの怪獣映画があったわけですが、私のご贔屓は「ギャオス」でしたね(^_^)
「事の善悪」はともかく、あのシャープなフォルムが大好きでした(^^ゞ
「大魔神」は、話の舞台も江戸時代（？）であり、庶民の守り神的な描かれ方をして、他社の怪獣映画とは毛色が違いまるで「怪獣映画界の水戸黄門」(^_^;)
復活するそうですが、基本的なシチュエーションは同じなのでしょうか？

[1341 へのレス] Re: 角川大映。

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/02/01(Sat) 22:51

大魔神はテレビで映画を放送していたものしか見たことがありません。
映画なんて高価な娯楽で、田舎の方ではなかなか見に行くことができませんでした。
親戚の家に遊びに行くとたまに連れて行ってくれましたが、ドリフの映画を見たりしておりました。（なんちゅう選択！）
映画館も次々と閉鎖して、近隣にはまったくなくなりました。

大魔神は怖いという記憶がとても強いですね。
ところで、来週は赤影を子供と一緒に見ようと思っております。
どんな反応を示すか楽しみにしております。
今は赤影でなく『忍風戦隊ハリケンジャー』というのが子供の中の忍者ヒーローです。
お父さんの小さい頃の『お父さんのハリケンジャー』である！と教えたいと思います。(^^ゞ。

[1341 へのレス] Re: 角川大映。

投稿者：鎬 投稿日：2003/02/03(Mon) 14:49

大魔神は何度もテレビで見たのですが
よく覚えていません。。。
顔が変わる場面だけ印象に残ってるんですが
小さかったからかな？
「壬生義士伝」が良いらしいですね。
刀友と新年会したとき熱く語ってくれたんです。
見てみたい～

[1354] コンプトン博士とそのコレクション

投稿者：samurai 投稿日：2003/02/06(Thu) 20:04

コンプトンコレクションという言葉をよく耳にしますが、コンプトン博士とそのコレクションについて教えて下さい。
よろしくお願いします。

[1354 へのレス] Re: コンプトン博士とそのコレクション

投稿者：花散里 投稿日：2003/02/07(Fri) 00:00

ｓａｍｕｒａｉさん、こんばんは(^_^)
これは、私もぜひ知りたい。
刀剣店のホームページや、通販誌で時々目にするお名前ですね。
コンプトンコレクションは、名品揃いだと聞いていますが。
どなたか詳しい方、解説をお願いします m(__)m

[1354 へのレス] Re: コンプトン博士とそのコレクション

投稿者：隠居 投稿日：2003/02/07(Fri) 19:09

コンプトンコレクションは、今では「元コンプトンコレクション」と言う方がよろしいのでしょう。
つまりコンプトン博士の没後、米国で何回か売立て（オークション）があり日本から多くの刀剣関係者が入札に参加しました。
コンプトン博士は鍔のコレクションも有名で、刀は本間薫山博士の見立てで蒐集されたと聞き及んでいます。いわれる通り中々の名品ぞろいです。

[1354 へのレス] Re: コンプトン博士とそのコレクション

投稿者：鬼丸 投稿日：2003/02/07(Fri) 21:08

ウォルター・Ａ・コンプトン博士
米国人にして日本文化の海外普及に尽力、特に刀剣研究家として知られる。
バイエルン・アスピリンで世界的に有名な会社の社長さん

照国神社の国宝備前三郎国宗の太刀を米国本土で偶然に発見、
この太刀を日本に無償で返還すべく東奔西走
その功績などにより、勲四等受勲、宮中への観菊会への招待を受けるなど
私ども日本人でも浴することの出来ない数々の栄誉に輝いている。

博士は、数寄者として日本刀を愛玩するだけではなく、その優れた
美術品を生んだ背景としての日本人をも理解するほどの親日家であるとの
ことです。
余談ではありますが、他にロンドンのヘスティング元帥やロビンソン氏
（故人になられているとおもいますが）両氏も愛刀家・親日家として
知られています。
なお、コンプトン博士は一桁代の重刀審査に所蔵刀を幾振りかお出しに
なり、合格なさっております。とにかく御所蔵刀は名品ぞろいであること
は確かののようです。

[1354 へのレス] Re: コンプトン博士とそのコレクション

投稿者：鎬 投稿日：2003/02/07(Fri) 23:30

「コンプトンコレクション」
どなたかの名前だろうとは
予想してましたが、なんとそれほどのお方とは
鬼丸さん勉強になりました。
ありがとうございます。
コンプトン博士がアスピリンを発明したのかな？
だとすれば、めっちゃお世話になってます。

[1354 へのレス] Re: コンプトン博士とそのコレクション

投稿者：那太郎 投稿日：2003/02/08(Sat) 10:40<HOME>

このような書籍があり、所蔵品の内容を確認する事ができます。
*ONE HUNDRED MASTERPIECES FROM THE COLLECTION OF DR. WALTER A. COMPTON
*NIPPON-TO: Art Swords of Japan
*JAPANESE SWORDS & SWORD FITTINGS FROM THE COLLECTION OF WALTER A. COMPTON: parts I, II, and III

[1354 へのレス] Re: コンプトン博士とそのコレクション

投稿者：花散里 投稿日：2003/02/08(Sat) 19:50

皆さん、ご教授ありがとうございます m(__)m
鎬さんの感想と同じく、予想以上の方でした。
それにしても、国宝の国宗が偶然発見されたと言うことは、戦後に進駐軍の兵士によってアメリカに渡ったのでしょうね。

それら多くの刀達は、今頃どのような状態なのでしょうか？
手入れもされず朽ち果てていくのだけは、勘弁して欲しいものです。

[1354へのレス] Re: コンプトン博士とそのコレクション

投稿者：真改2001 投稿日：2003/02/08(Sat) 20:07

コンプトン博士の名前はよく聞きますが、詳細を知りませんでしたので良い機会に恵まれて、本当に勉強になりました。

他の方の質問ではありますが、私も上記の如く勉強になりましたので、皆様に感謝致します。
ありがとうございます。m(__)m。

ところで、
*ONE HUNDRED MASTERPIECES FROM THE COLLECTION OF DR. WALTER A. COMPTON
*NIPPON-TO: Art Swords of Japan
*JAPANESE SWORDS & SWORD FITTINGS FROM THE COLLECTION OF WALTER A. COMPTON: parts I, II, and III
の本は、今でも買うことができるのでしょうか？
那太郎さん。

[1354へのレス] Re: コンプトン博士とそのコレクション

投稿者：samurai 投稿日：2003/02/08(Sat) 20:14

はじめましてのご挨拶ができておりませんでした。
お許し下さい。
あらためまして、皆様。
ありがとうございました。どうやって博士のこととそのコレクションのことを調べたらよいか不明でしたので、たいへんありがたくあつく御礼もうしあげます。
またわからないことがありましたら、お教えを請いにまいりますので、その時はご指導よろしくお願いいたします。

[1354へのレス] Re: コンプトン博士とそのコレクション

投稿者：花散里 投稿日：2003/02/08(Sat) 20:21

ｓａｍｕｒａｉさん、これからも、いつでもお越しください(^_^)

[1354へのレス] Re: コンプトン博士とそのコレクション

投稿者：那太郎 投稿日：2003/02/08(Sat) 23:28<HOME>

コンプトンコレクションの書籍類は、時々、オークションで見かけます。
アメリカの「ＳＡＴＣＨＯ」という本屋さん（？）で一部見ました。
http://www.satcho.com/References.htm

ＮＩＨＯＮＴＯ．ＣＯＭ//ハゲヤマ氏にもありましたが売却済みです。
http://www.nihonto.com/itemsalebooks.html

[1354 へのレス] Re: コンプトン博士とそのコレクション

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/02/09(Sun) 16:05

コンプトンコレクションの書籍類は、時々、オークションで見かけます。
＞
チェックして参ります。
情報をありがとうございました。
m(__)m。

[1354 へのレス] Re: コンプトン博士とそのコレクション

投稿者：野崎 投稿日：2003/02/09(Sun) 18:44

Yahoo のアメリカで compton collection japanese sword で検索したら数百件でました。でも大半が「元コンプトンコレクション」だったのでもう散逸してあちこちに売られているのですね。

[1365] 書籍ご紹介

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/02/09(Sun) 16:03

図説・戦国甲冑集
【決定版】名将の逸品から足軽胴まで 戦場を彩る当世具足のすべて
監修・文＝伊澤昭二

上記書籍をご紹介します。
昨日、休日返上で出張だったのですが、時間があったので近くの本屋さんで『蒼天の拳』とか『仮面ライダースピリッツ』を買って、ウロウロしていたのですが、たまたま見かけたので買ったのがタイトルの本。

時代劇マガジンはその本屋さんにもなかったのですが、この見つけた本はなかなか分かりにくかった甲冑のことについて、名品の写真をオールカラーで載せてその着用方法や細かいところまで、見事に解説してあります。
ぺらぺらとめくって流し読みしても、画像だけでも大変楽しめる本となっています。
甲冑に関する付属品にまで写真と解説が及んでいますので、入門書としてよろしいのではないでしょうか。

有名武将の甲冑や伝来品の写真も豊富で、刀に限らず、大名道具は違うな！と思ったしだいです。
字を読むと眠くなりがちですが、写真を見ているだけでも楽しいので、一度御覧下さい。
学研から歴史群像シリーズとしての最新刊となっております。

[1365 へのレス] Re: 書籍ご紹介

投稿者：花散里 投稿日：2003/02/10(Mon) 21:04

日本の甲冑には、独特の様式美がありますね。
中には奇抜なデザインのものも有りますが、多くは現代人の目から見ても美しさを感じます。

[1365へのレス] Re: 書籍ご紹介

投稿者：真改2001 投稿日：2003/02/10(Mon) 23:10

だいぶ前に画像に載せたことのある、激戦という兜のおまけの付いたお菓子のオリジナルの変わり兜も載っていたりして、あっと驚くタメ～ゴロウ～～！となっております。
(^0_0^)。

[1372] カウント16万件

投稿者：野崎 投稿日：2003/02/14(Fri) 06:18

今朝（2月14日）見ましたらカウントが16万件を越えていました。すごいですね。ますます活気に満ちた発展をお祈りします。

[1372へのレス] Re: カウント16万件

投稿者：真改2001 投稿日：2003/02/14(Fri) 07:39

ノートンのインターネットセキュリティーが働いていて、いつもカウンターが見えなくなっておりますので、１５万は超えていたな！と思っていましたが、いつの間にやら１６万超です。

皆さんで参加するという形態が受け入れられた証だと思います。

これからもよろしくお願い致します。

[1372へのレス] Re: カウント16万件

投稿者：花散里 投稿日：2003/02/14(Fri) 12:13

１６万件ですか・・・感慨深いものがありますね(^.^)
これも、ご参加くださっている皆様のおかげです。
御礼申し上げます m(__)m
そろそろ、新機軸も打ち出したいものです・・・ねっ！　空爺さん(^.^)

＞真改2001さん
インターネットセキュリティを導入していても、カウンターを正しく表示させる方法はあります。
後ほど、メールを差し上げます。

[1372へのレス] Re: カウント16万件

投稿者：那太郎 投稿日：2003/02/15(Sat) 16:50<HOME>

＞花散里様、
当方もノートンインターネットセキュリティーでカウンターが見えません。
うちにもメール下さ～～～い。お願い致します。

[1372へのレス] Re: カウント16万件

投稿者：真改2001 投稿日：2003/02/15(Sat) 17:30

花散里さん。
メールをありがとうございました。m(__)m。

おかげでカウンターが表示できるようになりました。
気がつけば、１６万を２００も超えてカウントされています。
行ったり来たりしても、カウンターが動かないように空爺さんが設定してくれているので、正味に近い数が表示されていると聞いていますので、この数字は本当に素晴らしいですね！

[1372へのレス] Re: カウント16万件

投稿者：花散里 投稿日：2003/02/15(Sat) 17:43

＞真改2001さん
カウンターが表示できるようになり、良かったですね(^_^)
１６万件、膨大な数字ですよね。

＞邦太郎さん
メールを差し上げましたので、お試しください m(__)m

[1372へのレス] Re: カウント16万件

投稿者：那太郎 投稿日：2003/02/15(Sat) 18:40<HOME>

＞花散里様
わかり易い説明文ありがとうございます。がんばってやってみます。
継続は力なり！

[1350] 時代劇マガジン　ｖｏｌ．２

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/02/04(Tue) 01:44

気がついたら出ていました（笑）。表紙は映画の「壬生義士伝」。
タツミ出版（タツミムック）のＨＰに内容が紹介されています。
「あずみ」の主演、上戸彩ちゃんのインタビューもあるそうです。

[1350へのレス] Re: 時代劇マガジン　ｖｏｌ．２

投稿者：真改2001 投稿日：2003/02/05(Wed) 11:19

前の土曜日に映画を見ようとして、黄泉がえりと壬生義士伝のどちらを見ようかと迷った挙句に･･･。(~_~;)。

壬生義士伝は次回にします。m(__)m。

[1350へのレス] Re: 時代劇マガジン　ｖｏｌ．２

投稿者：鎬 投稿日：2003/02/06(Thu) 15:54

「壬生義士伝」見ました～
泣きましたよ。。。それもめっちゃいっぱい
「大和安定」を渡す時なんか
まわりを気にせず号泣してしまいました。
真改さんタオルが必要ですよ。

[1350へのレス] Re: 時代劇マガジン　ｖｏｌ．２

投稿者：真改2001 投稿日：2003/02/09(Sun) 16:07

黄泉かえりを見たついでにパンフを買いましたが、侍が左右逆に刀を指していましたね。
ちょっと違和感がありました。
しかし、楽しむ分には問題ない？

[1350へのレス] Re: 時代劇マガジン　ｖｏｌ．２

投稿者：鎬 投稿日：2003/02/13(Thu) 18:33

そうなんですよ
左利きは逆に刀を指すのでしょうか？
疑問が残りますが
映画では、左利きなので逆に刀を指していましたよ。

[1350へのレス] Re: 時代劇マガジン　ｖｏｌ．２

投稿者：真改2001 投稿日：2003/02/16(Sun) 06:52

どこの本屋に行っても『ない』ので、比較的大きなところまで足を伸ばしました。
結果、『売れないので、最近返品したばかり。』とのこと。
え～、でも検索したら、１月に出たばかりですけど～。

ということで、取り寄せをお願い致しました。
(T_T)。

[1350へのレス] Re: 時代劇マガジン　ｖｏｌ．２

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/02/16(Sun) 14:19

そ、そうですかぁ～、やっぱり売れてないのかぁ。
僕も地元では買えそうに無いのでネットで買いました。
送料がかかるのがツライです。
「あずみ」の刀、漫画と同じになってます。柄が漫画のイメージより長いかも？短刀と刀の茎が両

方入ってるからでしょうかね。「上戸彩」ちゃんの主演にはちょっと抵抗あったんですけど…記事や写真を見たら…いいです。かっこいいです。ナイスキャスティングです（笑）。

[1381] 109 刀剣展

投稿者：ikkak 投稿日：2003/02/16(Sun) 18:42

渋谷でおこなわれていた刀剣展いってきました。
以前一回行ったこと有ってそんなに期待してなかったんですが
いやーどっから持ってきたの？といいたくなるような品揃え！
備中国住人貞次、片山一文字、尻懸則長、延寿、栗原信秀、虎徹、政光、盛光、了戒、長谷部、
現代刀では宗勉(珍しく脇差)などなど名作が目白押し！
しかもしかも一昔前では考えられないような値段でクラクラしちゃいました。（特に虎徹）
あいにくの雨と渋谷という土地柄からあまりお客さんは入っていませんでしたが
たっぷり愉しませていただきました。

[1381 へのレス] Re: 109 刀剣展

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/02/16(Sun) 19:56

この刀剣店は最近ほんとに凄い物が出ていますね。
昔のお客さんがそろそろ長いものから手放そうか、といった感じがするような古い認定書の類のものが付いた、めったに目にしなかった物が出ていますね。

備中国住人貞次、延寿、栗原信秀、了戒、長谷部の辺りは記憶に残っています。

高級自動車を買ったと思って、長期ローンで行きますか？
(^_^;)

[1381 へのレス] Re: 109 刀剣展

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/02/16(Sun) 19:59

そうそう、重美の刀剣もちらほら見聞きするようになりました。

重要文化財や国宝以外は、もう、私たちにも触れることくらいは可能になってきたようです。

[1381 へのレス] Re: 109 刀剣展

投稿者：ikkak 投稿日：2003/02/17(Mon) 04:36

そうですか重美ですか、うーんほっしーほっしー
ここの刀剣店は正直ノーチェックだったのですが
通販誌買おうかなー

[1385] グローバル！電脳倶楽部

投稿者：花散里 投稿日：2003/02/19(Wed) 14:26

今から３週間前、2003 年 1 月 27 日(月) 07 時 43 分 ～ 2003 年 2 月 02 日(日) 16 時 01 分 までの、サーバーアクセス記録を調べてみました。

jp (Japan)、net (Network)、nl (Netherlands)、com (Commercial)、sg (Singapore)、mil (USA Military)、uk (United Kingdom)、edu (USA Educational)、tw (Taiwan)、pl (Poland)、no (Norway)、nz (New Zealand)、fr (France)、it (Italy)、se (Sweden)、br (Brazil)、ua (Ukraine)、ru (Russia)

世界中のいろいろな国から、電脳倶楽部をご覧いただいているんですね(^_^)v
これからも、よろしくお願いいたします m(__)m

[1385 へのレス] Re: グローバル！電脳倶楽部

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/02/19(Wed) 23:18

御覧頂きまして、ありがとうございます。m(__)m。

なお申し上げますれば、参加型の電脳倶楽部だけに、お国自慢も含めまして諸国の刀剣事情や、私はこういう風に思ってますとか、なんでもかまいませんので、どしどしご参加下さいませ。

お待ち申し上げております。

[1385 へのレス] Re: What a lot of access!

投稿者：Translator 投稿日：2003/02/20(Thu) 05:57

In January, we received many accesses from abroad as ever. Thank you very very much for your contact from Netherlands, Singapole, US, UK, Taiwan, Poland, Norway, New Zealand, France, Italy, Sweden, Brazil, Ukraine, Russia and other countries.
We hope you could write your home's news of traditional swords to this BBS.
Thank you again for your cordiality contact.
Hana-Chiru- Sato and Shinkai

[1385 へのレス] Re: グローバル！電脳倶楽部

投稿者：真改２００１ 投稿日：2003/02/20(Thu) 20:08

笠地蔵様。
いつもいつもお助けいただきましてありがとうございます。m(__)m。

[1387] 刀剣鑑定要訣

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/02/19(Wed) 23:26

『刀剣鑑定要訣』
とうとう手に入れました！
苦労しました。(>_<)。

価格は相当なものですが、内容はそれを上回っております。
発売当時に帰りたい～～～。
(^_^;)。

最初から順番に読もうと思いましたが、ダウンしそうなので(^^ゞ、ネット上で画像を見ながら本の内容と見比べたり、知人友人の刀剣を思い出しながら読んでみたりしながら、この本を楽しんでおります。
今までみた刀剣書とは違った感じを受けますが、なんといいましょうか、目から鱗ものあるいは目が覚めたような感じを受ける内容となっています。

高いけれど、見つけたときがチャンスです。
皆様にもお勧めいたします。

刀と同じくらいに本にもお金をかけなさいと刀兄に教えられたことがあります。
良い本が出たときは買っておくべきですね。

[1387 へのレス] Re: 刀剣鑑定要訣

投稿者：隠居 投稿日：2003/02/20(Thu) 06:50

真改さん、よかったですね。
刀剣の良書は長く使うものですから、考えようでは安い投資だと思います。私の刀友で６万円の押し形大観を２冊買った者がおり、２冊必要な理由が彼によると「１冊はよく見るためバラバラになってしまうから」なんだそうです。本との相性がいいと、こういう熱読者がいますから、刀の本は特殊ですね。
「要訣」も館氏の若いときからの鑑定知識の集大成であり、達眼の士であり克明に観刀手記を積み重ねられた館氏にして始めて成しえた著作ですから、刀剣関係良書の十指に入る書だと確信します。

[1387 へのレス] Re: 刀剣鑑定要訣

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/02/20(Thu) 17:24

はい。
念願がかなって・・・。(*_*)。

この本を見るときは、古文書を見るように、白手袋をはめて丁寧に丁寧に見るようにしております。
m(__)m。

[1387 へのレス] Re: 刀剣鑑定要訣

投稿者：隠居 投稿日：2003/02/20(Thu) 19:30

白手袋ですか・・・。
館平吉氏は片岡銀作氏などと同様、刀以外に本業をお持ちのいわゆる「アマ」であり、言い方を変えると「旦那衆」ですが、このアマがプロ以上の業績を刀剣の世界であげておられるわけです。そして本業の方もご立派なんだそうで、本業と刀の道との両立を決して中途半端でなくやりとげられ

た点がわれわれ刀剣趣味者のもって鑑とすべきところだと思います。
ぜひ真改さんも館さんにあやかって第二の館平吉を目指して下さい。

[1387 へのレス] Re: 刀剣鑑定要訣

投稿者：真改２００１ 投稿日：2003/02/20(Thu) 20:05

その道を途中で投げ出さずにやり遂げることは、本当に偉業だと思います。
道は無数にありますもの・・・。
きっと、私にも何かの道はあると思っております。

片岡銀作さんの本も昨年でしたか、行秀と宗次の押し型集を買いました。
かなりの高齢であったと記憶しております。
好きなことをいくつになっても実践できることは、すばらしくて楽しいことですね。

広く浅く頭を突っ込んでは、そそくさと立ち去っているような今の私では、とてもとても雲の上の人のお話です。
でも、そういう人も最初は私たちと同じ初心者のころももちろんあったわけですから、一歩一歩を大事に頑張りたいと思います。

書籍のことになりますが、今では知られていない名著が沢山あるように思います。
機会があれば、題名の紹介とさわりの部分だけでも多くの方からご紹介頂けますれば幸いです。
ここは情報交換の場としても最高の提示ができるところだと思っております。

皆様、よろしくお願い致します。

[1387 へのレス] Re: 刀剣鑑定要訣

投稿者：隠居 投稿日：2003/02/21(Fri) 09:19

第一に挙げるべき名著は「日本刀大鑑」全１１冊大塚工芸社です。
理由は、各国各派鍛冶の国宝重文等最高作品を、傑出した写真画像で示し、佐藤寒山先生の詳細な解説が付されていることです。欠点はサイズが大きいので書架から簡単に取り出して読めない点ですが、これは贅沢な悩みですね。また値段が６～７０万しますが、（１冊当り５万円程度）安脇差１本の値段で愛刀家垂涎の一級書籍が持てるのですから、一生涯の学習資料であり宝物であることを思えば決して高くありません。

[1387 へのレス] Re: 刀剣鑑定要訣

投稿者：swordsmith 投稿日：2003/02/21(Fri) 10:55

不思議なもので 60 万の脇差は安いのでは？と思うのですが、本となると…　イカンイカン、安い脇差より得るものは遥かに多いのでしたね。しかし清水の舞台も本を抱えていざ飛び降りるとなるとずいぶん高く感じてしまいます。f^_^;

[1387へのレス] Re: 刀剣鑑定要訣

投稿者：隠居 投稿日：2003/02/21(Fri) 13:10

ほんとにそうですね。本の上限は５千円という愛刀家もいますし、３万円の図録も実際に買うとなると考えますね。
しかし、この大鑑の写真は臨場感があって素晴らしいですよ。なにしろあの大塚工芸社が「潰れる」と噂が出たくらいやり直しをして作った本と聞いています。「写真では地刃は分からない」と云われるのですが、これは別です。買ってしまえば後悔しないものなんですがねぇ。

[1387へのレス] Re: 刀剣鑑定要訣

投稿者：花散里 投稿日：2003/02/21(Fri) 18:13

「要訣」は、以前ご隠居さんに紹介されてからず～っと探していますが、見ませんね～。
今や希少価値も加わってしまって、高値になっているんでしょうね。

[1387へのレス] Re: 刀剣鑑定要訣

投稿者：隠居 投稿日：2003/02/21(Fri) 19:27

花散里さん、そうですか。昔は「筆写」したようですから、そのことを思えばＣＯＰＹで写本をつくりますか。「新解刀剣鑑定法」犬塚徳太郎著なども古書で出る気配はありませんし・・・。写本はどのくらい掛かるんでしょうか？

[1387へのレス] Re: 刀剣鑑定要訣

投稿者：花散里 投稿日：2003/02/21(Fri) 23:46

ＣＯＰＹそのものは、紙１枚で１０円前後でしょう。
しかし、著作権がありますから、いろいろと難しいですね。
また、書籍の復刻サービスを行う会社があり、復刻したいと言う人が１００人集まれば、著者や出版社に交渉を行い話が纏まれば復刻してくれます。（インターネット上からの投票形式）
ただし、著者や出版社の承諾が取れない場合もありますが・・・
これだけ、コンピューターやインターネットが発達しましたので、徐々に出版の形式も変わっていくのではないかと、期待しているのですが。

[1387へのレス] Re: 刀剣鑑定要訣

投稿者：真改2001 投稿日：2003/02/22(Sat) 23:36

良いコピー機になりますと、本を傷めずに（つまり押し広げて当てなくても）簡単にコピーができると聞いたことがあります。
それも数年前ですので、もっと進化しているのではないでしょうか。

図書館とか、最新のコピー機を置いていそうですけど。

でも肝心の貴重な図書をなかなか貸していただけないところが、ネックでしょうか・・・。

[1399] 贈呈本

投稿者：守重 投稿日：2003/02/21(Fri) 22:02

3-4 年位前に「日本刀受難記」という本を著者直々より購入しました。2000 円前後だったと思います。その後、著者より贈呈本の小冊子が４回も送られてきました。著者自らワープロ打ちして綴じて発送するという手の込んだものです。
「続日本刀受難記-日本刀と西南戦争」
「元帥刀と軍刀（軍刀の歴史）」
「皇室行事と日本刀（節刀・壺切の御剣）」
「巡査帯剣の歴史」の４冊。
４回目は昨日届きました。個人の研究とはいえ、なかなか活字になっていない分野であるため、重宝しています。送料まで著者が負担しているので、なんか申し訳ない位です。
また、一部の人しかに出回っていないようなので、何時か「日本刀受難記」の如く、出版されることを期待しています。

[1399 へのレス] Re: 贈呈本

投稿者：花散里 投稿日：2003/02/22(Sat) 00:11

守重さん、著者さんから直接買われたのですか？
どうやって、知ったのですか？
そんなやり方があるなんて、知りませんでした(^_^;)

後学のため、そこのところをもっと詳しく m(__)m

[1399 へのレス] Re: 贈呈本

投稿者：守重 投稿日：2003/02/22(Sat) 09:22

勿論、書店でも購入できる本ですが、確か刀剣雑誌（柴○？）に紹介されていて、「直接著者に申し込む」と書いてあったと思います。そのためか著者の名簿に載せていただくことになったためか、その後の資料も戴けることとなっています。「日本刀受難記」は市場ではなかなか見かけない本ですが、廃刀令の頃と戦後の刀狩についていろいろと書かれています。「米沢の上杉家や鶴岡の酒井家から接収された刀剣類は、、、、警察-進駐軍に引き渡され、、、MP 護送で貨車で酒井港に運ばれ、、、船積みされ酒田港外の日本海に投棄した。。。」なんてことが書かれているのを読むと泣けてきますね。。。
現在残っている刀剣はホントに運が良いと思うようになつてしまいます。

[1399 へのレス] Re: 贈呈本

投稿者：花散里 投稿日：2003/02/22(Sat) 10:58

守重さん、ありがとうございます m(__)m
一般販売していない「個人出版」の書籍ならともかく、通常のルートで販売されている書籍を著者から直接購入できるとは思いませんでした。
贈呈本が来るというのは、魅力ですね～(^_^)

それにしても、日本海に投棄とは・・・(-_-;)

[1399へのレス] Re: 贈呈本

投稿者：真改2001 投稿日：2003/02/22(Sat) 23:33

麗にそういったのがあったとは・・・。
不覚でした。

通販誌の中身も、刀だけでなく、隅々まで見ていかなくてはいけませんね。
貴重な情報をありがとうございました。
m(__)m。

[1399へのレス] Re: 贈呈本

投稿者：無学 投稿日：2003/02/25(Tue) 11:38

<船積みされ酒田港外の日本海に投棄した。。」なんてことが書かれているのを読むと泣けてきますね。。。
武器として生まれてきた以上外国の人から見れば危険な物としか写らなかったのでしょうけど、いったいどれほどの刀が処分されたのでしょうか。中にはかなり良い物もあったのでしょうね・・・つくづく残念です。目先の価値や認定書云々にとらわれず難を逃れた刀全てに愛情を注ぐことこそ愛刀家の信念ではと改めて考えさせられます。

[1399へのレス] Re: 贈呈本

投稿者：守重 投稿日：2003/02/26(Wed) 22:41

この本によると、大分県では６万本、長野県では51202本、新潟県では数千本と書かれています。47都道府県合計では軽く100万本は越えてしまうのではないでしょうか？　因みに長野は溶鉱炉で溶かしてしまったそうです。勿論戦場での没収もあったことでしょう。更には警察の剣道の竹刀や防具も接収・破棄の対象となったと言うことなので、「武器」としての刀剣というより、「さむらい」精神としての刀剣を恐れていたのではないでしょうか。現在国内で登録されている刀剣は210万振り？だそうですので、敗戦でかなりの刀剣が失われたのは悲しいですね。様々なハードルを越えてきた現在残っている刀剣全てに愛情を注ぎましょう。

[1399へのレス] Re: 贈呈本

投稿者：無学 投稿日：2003/02/28(Fri) 16:16

没収はアメリカ軍が中心に行ったのでしょうが、現在海外にも日本刀コレクターが多いのはなんとも皮肉な事です。過去の事を今更どうこう言っても始まりませんが、外国の人は日本刀の何処に興味を惹かれたのでしょう。単に「サムライ」とか「チャンバラ」「忍者」が珍しいだけだと悲しいですが・・・。何方か海外のコレクターに知り合いの居る方にお話を伺いたいものです。（決して海外のコレクターに対する偏見では御座いませんので悪しからず）

[1406] 産業貿易センター

投稿者：高刀 投稿日：2003/02/25(Tue) 00:04

ここ来るの２度目です。こんばんわ。
ええと、以前横浜産業貿易センターに刀のお店のようなものが入る
という話しをここのＢＢＳで聞いたように思うのですが、
産業貿易センターはネット上だと、店舗内容の場所が工事中なので、
今、どうなってるか、おわかりになる方いらっしゃいますか？
職場の近くなので、そういう店が入っていたら嬉しいのですが、
しばらくは、忙しくて行けそうもないけれど。

[1406 へのレス] Re: 産業貿易センター

投稿者：Nishikawa 投稿日：2003/02/25(Tue) 11:54

こんにちは、前回お答えした者です。
山下公園前の産貿センター２階に開店されていました。
一ヶ月ぐらい前、展示即売会があり、行って来ました。
エスカレータ正面の扉をくぐり、右に曲がり最初の角を直進した所に有ります。
余り詳しく書くと、宣伝になってしまうかもしれないので、差し支えなければ
メールをください。
わかる範囲でお答えできると思います。

[1406 へのレス] Re: 産業貿易センター

投稿者：高刀 投稿日：2003/03/01(Sat) 23:45

ありがとう！ありがとう～！
ホントに近くなのに、忙しくて立ち寄れないんですよ。
今度、行けそうな時に直接行ってみようと思います。
当分無理かな～。お返事いただけて嬉しいです。

[1409] 刀工大鑑　得能一男著

投稿者：隠居 投稿日：2003/02/26(Wed) 06:13

光芸出版、お買いになった方いませんか。

[1409 へのレス] Re: 刀工大鑑　得能一男著

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/02/26(Wed) 20:32

この本は、書店で見かけました。
刀工名と価格が載っていたように思います。

ご隠居様は、お持ちなのでしょうか。

[1409 へのレス] Re: 刀工大鑑　得能一男著

投稿者：ikkak 投稿日：2003/02/27(Thu) 04:53

復刻されたやつですね。柴田さんの即売会で買いました。

[1409 へのレス] Re: 刀工大鑑　得能一男著

投稿者：隠居 投稿日：2003/02/27(Thu) 06:53

「刀工大鑑」各工の作柄、茎仕立てや銘字の特徴を書いているそうですが、石井昌国氏など過去のものよりこういう類なら得能一男氏が格段に適任と思い、単に刀工の生国系図を調べることだけでなく、鑑定判断の際の資料にまで使えるような濃い内容ではないかと期待しているのです。今まで適任と思えるお方の著作は皆無だった領域です。
Ikkaku さん、如何思われますか？

[1409 へのレス] Re: 刀工大鑑　得能一男著

投稿者：ikkak 投稿日：2003/02/28(Fri) 05:22

たとえば真改の場合でいうと、作風とともに茎に関しても

「茎は刃上がりの栗尻で入山形もある。鑢目は大筋違ともいえる急な筋違鑢を
かけて、磨出しに化粧鑢をかけている。銘は初期作は、「和泉守国貞」あるいは
「井上和泉守国貞」と切り、寛文７年８月から裏銘だけを草書に切るようになっている。２代国貞の銘で初代の銘と異なるもっとも見易い相違点は、国の中の字が
初代と異なる点で平仮名のうの字の点の打ちこみが正反対になっている」

とあります。刀工によって説明量の多寡はありますが鑑定の参考資料としても使えると思いますし重宝しています。

ただこれも初版が昭和５２年であり、そろそろ最新の技術を使った検索機能つき
の「デジタル押形集＋解説」本(データ集)がないかなあと思ってます。

[1409 へのレス] Re: 刀工大鑑　得能一男著

投稿者：隠居 投稿日：2003/02/28(Fri) 06:11

Ikkak さん、有難うございます。そうですか。昭和５２年初版で改訂版が出てないとすると完全性という点からは不満は残るでしょうが、ベストでなくてもベターということでしょう。

[1418] 新春名刀展

投稿者：ikkak 投稿日：2003/03/02(Sun) 19:39

いい天気だったのでサイクリングがてら刀剣博物館にいってきました。
いつものとうりどこからこんなの持ってきたのという大物ぞろい。
特に国宝の(来)国行２尺５寸３分は素晴らしかったです。

団体さんが２０人くらい来ていたので聞いてみたら目黒区社会教育館の方たち
でした。T 先生が解説していたのでちゃっかり一緒に聞いちゃいました。

[1418 へのレス] Re: 新春名刀展

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/03/03(Mon) 20:34

解説付きで見学できるのが一番いいですね。
思い込みの激しい私なんかは特にいい！

日刀保の全国大会に参加すれば、国宝とはいかないまでも、それに近い刀は鑑賞させていただけるのでしょうか。
まったく参加したことがないので、ご存知の方がいらっしゃいましたら、お教え下さい。m(__)m。

ところで、早々と、刀剣美術誌には今年の大刀剣市の日程も１月号でしたか、もう載っていましたので、ホテルや飛行機の予約は早めにしたいと思います。

[1418 へのレス] Re: 全国大会の意義

投稿者：隠居 投稿日：2003/03/04(Tue) 06:45

刀剣会の全国大会についてですが「全国大会に出ると国宝などの名刀が見られるか」というお尋ねですが、全国大会は地方支部が中心になって催されるもので、その地方ゆかりの名刀やその地方金工の傑作である小道具や拵が鑑賞できます。熊本なら肥後鍛冶肥後金工の名作というようにです。
「国宝重文」ももちろん拝見できる場合がありますが、山形で正宗の国宝を観るより古月山や庄内金工の名作を見るほうが意義があります。
また刀の趣味は支部の研究会に出席して当て鑑定によって目を上げて行き、次に支部の代表として全国大会の一札鑑定の難関にいどみ、ここで天地人の三席に入るのが刀剣人の夢であり楽しみのコースです。そして東京の○○、徳島の△△、と目されるような好き者になれば刀を買うだけでなく「研究」という果てしなく深い楽しみが沸きます。
そして

[1418 へのレス] Re: 全国大会

投稿者：隠居 投稿日：2003/03/04(Tue) 06:55

・・・地方支部の「記念出版本」が入手できるのも全国大会のメリットです。過去にも「赤松正則研究」「水心子正秀一門」等々ハイレベルの図録や文献が出ました。
また支部の仲間と車中や旅館で刀談義を徹底的にやれるのも楽しいことですよ。

[1418 へのレス] Re: 新春名刀展

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/03/04(Tue) 21:55

その地方ゆかりの名刀やその地方金工の傑作である小道具や拵が鑑賞できます。熊本なら肥後鍛冶肥後金工の名作というようにです。
＞

なるほど！
地方支部主催のというところがミソですね。
記念出版本も、主催地になると決まったら『負けじ』と気合も入りそうです。

一度も参加したことのない全国大会ですが、日程が合えば一度は参加したいものです。
昨年は神戸でしたか・・・。たしか。
参加すればよかった。

全国大会の楽しみかたの一つがよくわかりました。
ありがとうございました。

[1418 へのレス] Re: 新春名刀展

投稿者：那太郎 投稿日：2003/03/05(Wed) 00:16<HOME>

神戸での全国大会には参加しました。
刀剣類は、それこそ名刀が１００振り以上、壮大な会場に一同し、
年代別国別にならべられています。
全ての刀剣を手に取って見る事ができる（！）のですが、そこには、長い長い
行列が出来ていて、気に入った御刀を長く見ていると、次ぎの人がら怒られたり
して、、、、色々気を使いながら、、、しかし、好き者にとっては、天国のよう
な催しです。
刀剣の教科書をそのまま、実物を手に取って鑑賞できるのですから、、、、
中には、本で見た事のある御刀等があり「あっ、これは所載品の、あの雲次短刀だっ！」なんて言葉にならない感動の連続でした。
一日中「もう足が痛い。」と言う位まで、朝から晩まで見る事ができます。
平安時代の山城、大和物から観ていって、鎌倉時代の備前刀に行くと、やはり日本刀の最高棒は鎌倉後期にあるかな～？と感じさせられました。
そうやって観て行き、応永頃になると「ん～、刃が随分寂しくなってくる～。」
なんて言う気分になって来て、新刀でがらっと変わると、国広など、また感動してしまうのですが、古い五家伝の古名刀の余韻が残ってしまいます。
それで、虎徹とか清麻呂などを見て「ん～、やっぱり自分は古刀のほうが、好きだな～。」なんて言ったりしている。
その後、会場外で「大刀剣市」を開催しているので、足を運ぶと「数時間で思いっ切り肥えた「目」と「価格」の現実に引き返され愕然とするのです（笑）
また、インターネットで知り合った日本国内の支部の方、海外の方々とも実際に
顔を合わせて交流できましたし、夜はそれぞれ OFF 会が盛り上がりました。
刀剣鑑賞、愛好家交流とも大変充実できると思います。
実際は「体力」がかなり必要です。
今年は、東京でしたっ？？

[1418へのレス] Re: 全国大会

投稿者：隠居 投稿日：2003/03/05(Wed) 09:01

那太郎さんの仰るように、一度に沢山の名刀を見るのは「体力」が必要ですね。しかし普通の場合、展示刀には「筋」というか「由縁」があって、例えば旧藩主の所蔵刀とか、その土地の著名コレクターの所蔵品とかの「いわく因縁」です。こういう「目玉商品」中心に見ておけば頭にしっかり入ります。
また全国大会ではその土地の事物、名所旧跡、歴史も自然の中に知ることになり、風土が生んだ作品の味が分かるような気分になります。

[1425] 軍刀の魅力を探る！

投稿者：真改2001 投稿日：2003/03/06(Thu) 22:49

あまり、見向きもされていなかった軍刀（その外装込みで）ですが、ヤフーオークションやその他の刀剣店をネット上で見ておりますと、結構活発にしかも魅力的なお値段で売買されているようです。

手にした軍刀のしっかりした重さは、一つの歴史のありようを伝えているように思います。

最近、気になる軍刀がありました。
菊の御紋が兜金についていた軍刀です。非常に珍しいと思いました。以前。目貫に菊の御紋が付いた軍刀がある刀剣店で売りに出ていましたが、いずれかの宮家のものとすれば、宮家の軍刀でも様々の仕様があったということでしょうか。

美術刀剣というジャンルとは違った魅力のある軍刀ですが、ちょっと活発になってきたように思います。
刀剣趣味のある人もちろんですが、軍装マニアも収集の対象でしょうし、交わって関わる人が多いことが活発な原因の一つでしょう。

そうそう、現代刀では大隈刀匠の太刀が、某オークションに出ていました。
大隈刀匠の刀が売りに出ているのは初めて見ました。
非常に珍しいと思います。めったに市場でお目にかかることはないように思います。

まあ、ちょっと覗いて見て下さい。

こんなことを書くと、もっともっと活発になるかもしれませんね。
それを期待しているんですけどね・・・。(^0_0^)。

[1425へのレス] Re: 軍刀の魅力を探る！

投稿者：隠居 投稿日：2003/03/07(Fri) 08:31

１５年ほど前、元総理大臣海軍大将鈴木貫太郎の刀が売りに出されたのを思い出します。刀銘、法量は
源秀明　昭和二年五月吉日　刃長二尺二寸三分、元巾一寸三厘先巾六分七厘。
　海軍正式長剣拵で藍鮫研出し鞘、柄は金色柄糸深刻巻、山桜花文高彫の鍔金具、金色糸編の手抜

緒が付いており、手擦れのない保存の良いものです。
この刀に「天雲海濶」の立派な横軸までついて、六十万円。
鈴木貫太郎元首相は海軍次官、兵学校長、連合艦隊司令長官、軍令部長という海軍の要職を経て昭和四年六十三才で侍従長就任、二二六事件のとき拳銃の弾４発を受けながら頑として一歩も引かなかった。
この過去の栄誉語り、かつ現代刀のトップクラスでこの価格、も少し値上がりして当然と思います。

[1425 へのレス] Re: 軍刀の魅力を探る！

投稿者：真改２００１　投稿日：2003/03/07(Fri) 20:35

秀明といえば、軍艦三笠の砲身で鍛えた短刀で有名な刀匠ですね。

１５年前といえば、バブルも真っ盛り！
お金も余っていて、軍刀よりも時代の刀に投資としての目が向いていたのかもしれません。
ちょうどＮＴＴの株が３００万円を超えていたのもこの時期ではなかったでしょうか。

私が刀の通販誌を購読しはじめてからは、隠居さまのお話のような著名な方の所持されていた軍刀が売買されていたような記憶がありません。
もっとも、軍刀に興味を持ち始めたのは最近ですから、見落としていたというほうが正解かもしれません。

しかし、軍艦三笠の砲身で鍛えた短刀や靖国刀などは、流し読みしていた通販誌の中にあっても、掲載されていた記憶はちゃんと残っております。

オークションでは、このような軍刀の中でも雲上の類にあたいするようなものは見かけたことがありません。
しかしながら、軍刀のジャンルが活発になってきているように感じます。

多くの出品があることを期待しております。

[1425 へのレス] Re: 軍刀の魅力を探る！

投稿者：野崎　投稿日：2003/03/08(Sat) 05:37

　皇室の菊花紋は宮家によって細部にデザインの違いがあります。大きな紋章図鑑には出ていると思いますのでご確認されてはいかがでしょうか。

[1425 へのレス] Re: 軍刀の魅力を探る！

投稿者：真改２００１　投稿日：2003/03/08(Sat) 07:06

野崎先生。
ありがとうございます。

たとえば、葵の御紋の違いも将軍家とその他の徳川一門とでは異なった意匠を用いていたということを伺ったことがあります。

しかし、確認を行ったことはございませんでした。

ちょっと書店に行きまして、家紋図鑑を見てきます。

[1425へのレス] Re: 軍刀の魅力を探る！

投稿者：真改2001 投稿日：2003/03/08(Sat) 19:35

家紋の本を見て参りました。
菊のご紋も宮家で随分と意匠が違うようです。
この前のヤフオクの軍刀の紋章は天皇家の十六葉の菊だったように思いますが・・・。もう画像が見えませんし。

ついでに、葵の御紋も見ましたが、どうも将軍家と尾張・紀伊の各徳川家との違いが画像だけではよく見分けがつきませんでした。
拡大画像と解説があれば、『なるほど！』と思ったかもしれません。
しかし、ぱっと見て違いがわからないと意味をなさないような気もします。

[1425へのレス] Re: 軍刀の魅力を探る！

投稿者：野崎 投稿日：2003/03/08(Sat) 19:40

十六葉八重菊は両陛下と皇太后、皇太子ご夫妻、皇太子孫ご夫妻だけご使用。親王は十四葉一重裏菊形、四宮家と十四元宮家はそれぞれ意匠の違う菊花紋です。一つの宮家に数種類がある場合もあるそうです。
でも一般の家紋事典では出ていないかも。

[1425へのレス] Re: 軍刀の魅力を探る！

投稿者：真改2001 投稿日：2003/03/08(Sat) 20:09

十九年式新型軍刀がある刀剣店とあるオークションに出ています。

年代からしても非常に珍しい軍刀といえるのではないでしょうか。
でも、姿形の美しさは一般に知られている軍刀の方がやはり美しい。
物資の乏しかったせいもあって、このような軍刀が考えられたのでしょうか。

[1425へのレス] Re: 軍刀の魅力を探る！

投稿者：花散里 投稿日：2003/03/08(Sat) 20:16

「葵のご紋」も、一般的には一種類と思われていますが、実は代々の将軍の間でも違いがあります。
徳川十五代の将軍は少しづつデザインが異なる、十種類の葵紋を使用していました。
葉の葉脈の数や配列が違ったり、茎が太いとか細いとか。

よ～く見ないと、分かりませんよ(^.^)

[1425へのレス] Re: 軍刀の魅力を探る！

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/03/09(Sun) 01:56

水戸黄門の印籠がよ～っく調べたら「偽物」だった…なんてなったら面白いですね。…斬られちゃったりして。
黄門様ファンの方がいらしたらゴメンなすわぁ～いっ！！

[1425へのレス] Re: 軍刀の魅力を探る！

投稿者：花散里 投稿日：2003/03/09(Sun) 12:38

＞こてつさん
少なくとも、テレビドラマの水戸黄門に出てくる印籠は違いますね。
ＴＢＳテレビのホームページ→水戸黄門→水戸黄門大学→社会学部→道具箱「ここをクリック」に、印籠の家紋・・・として、記述があります。
製作者側のホームページに、「印籠の家紋は、水戸徳川家の家紋ではなく将軍家の家紋」と、はっきり書いてあります(^_^;)

[1425へのレス] Re: 軍刀の魅力を探る！

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/03/09(Sun) 22:30

＞花散里さん。
うわ、本当に違ってたんですね…。
暴れん坊将軍のハバキにある葵紋は…どうでしょ？
小さくって分かりそうもないですね（笑）。

[1428] 技法と作品

投稿者：古古鉄 投稿日：2003/03/08(Sat) 03:40

始めて、投稿させて頂きます。
大野正著の技法と作品と言う本が有りますが、其の内二冊、刀工編と研磨編は手に入れたのですが、鍔、刀装編の情報があまり無く、図書館でも見たことが無いのですが、発行されているのでしょうか？知っている方がいましたら、教えて下さい。
もう一つ、青雲書院発行の相州正宗の研究と言う本の情報も有りましたらば、教えて下さい。

[1428へのレス] Re: 技法と作品

投稿者：真改２００１ 投稿日：2003/03/08(Sat) 07:13

いろいろ、検索エンジンに掛けてみましたが、該当項目が見当たりませんでした。

情報提供、よろしくお願い致します。

古古鉄様。
失礼致しました。

真改 2001 と申します。
今後ともよろしくお願い申し上げます。

[1434] 最近読んだ本と読んでいる本。

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/03/08(Sat) 19:57

菊の御紋のことを探しに本屋へ寄ったら、偶然に『続戦国自衛隊』という漫画本を見つけました。
半村良原案ということでしたが、もう１０年ももっと前かもしれませんが、『戦国自衛隊』という映画がありました。
その原作漫画の続編ということですが、最近の軍事情勢とよく似ている最初の展開設定です。２０００年の初版ということですが、今を彷彿とさせます。

タイムスリップは同じですが、天下分け目の関が原の合戦が二巻までの舞台となっております。おもしろいかどうか二巻まで買ってみようと思いましたが、私的に実に面白い。明日も続きを買ってこようと思っております。
戦国自衛隊もそうですが、魔界転生も赤影も大魔人も復活して、実に楽しみです。

また、漫画とは別に『森　雅裕』の『鉄の花を挿す者』『鉄のある風景』を読んでいます。
今泉刀匠や山鳥毛を題材にしたミステリー仕立てでもあり、刀剣に興味がある人には専門的なことも出てきたりして、実に面白い内容となっております。
岡山が舞台であることもあり、学生時代に４年間過ごしたこともあるので地理の具合も頭の中で描くことができて、これまた私的に大変面白く一気に読んでしまいました。

鉄のある風景は大野刀匠や高野刀匠、あるいは著者所蔵のの土方歳三と同じ兼定刀にまつわる外装作成秘話？などなどの随想が書かれています。
著者の兼定刀と土方歳三の兼定刀がまったく同じ年期の兄弟刀であるというのも大変興味深い内容です。

と、いうことで、せっかく買った『日本刀の真贋』をなかなか読破することができずに、他の本をせっせと読んでしまっております。(^^ゞ。

最後に、森　雅裕さんの本は結構辛口で面白いですよ～～。(^0_0^)。

[1434 へのレス] Re: 最近読んだ本と読んでいる本。

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/03/09(Sun) 22:40

『鉄の花を挿す者』…捜してるんですがなかなか見つからないんですよね…。けっこう前に出ている本なので古書サイトを捜してるんですが。

「戦国自衛隊」の続編があったとは知りませんでした。
描き下ろしなんでしょうか？どこかで連載されていたんでしょうか？
早速捜してみます。
似たような設定で「ジパング」って作品がありますね。

太平洋戦争中に海自のイージス艦が現れる…という作品です。
こちらも面白いですよ。

[1434 へのレス] Re: 最近読んだ本と読んでいる本。
投稿者：真改 2001 投稿日：2003/03/10(Mon) 20:25

戦国自衛隊は描きおろしのようです。

ヤフーショッピングで『戦国自衛隊』と検索しますと、出てきます。
現在は７巻まで出ているようです。

さて、ジパングですね！
さっそく買ってみることにします。
情報をありがとうございました。

鉄の花を挿す者
＞刀剣を題材にした小説では最も面白い物の一つではないでしょうか！

[1434 へのレス] Re: 最近読んだ本と読んでいる本。
投稿者：花散里 投稿日：2003/03/13(Thu) 00:13

最近読んだ本は、「戦国名刀伝」です。

登場する刀は、「にっかり」、「すえひろがり」、「竹俣（たけのまた）」、「かたくり」、「このてがしわ」、「伊達脛中（だてはばき）」、「石州大太刀」、「まつがおか」です。

ただし、あとがきから抜粋すると
「総じて「眉唾」の説ばかり記しているが、それはその方が読んで楽しく人を描くに便有りと思ったからである。小難しい刀剣談ではなく、御伽噺のひとつとして御承知あれば、これに過ぐる喜びはない。」
とあるように、学術書の類ではありません m(__)m

でも、たまには肩の力を抜いて、このような本を読むのも楽しいですよ(^_^)

戦国名刀伝　東郷 隆　文春文庫　ISBN4-16-746110-2　定価（本体 600 円＋税）

[1434 へのレス] Re: 最近読んだ本と読んでいる本。
投稿者：こてつ。 投稿日：2003/03/13(Thu) 02:57

＞花散里さん。
偶然ですね、僕もその本持ってます。知り合いから貰いまして…。
もっともこれから読むところですが…。

[1442] 刀を見に行きました。

投稿者：高刀 投稿日：2003/03/12(Wed) 21:44

数が少なかったせいか、自分が思っていたような魅力ある作品には出会えませんでした。長い剣より、短刀などの方が好きなんですけど、少なかったので
残念。でも、初めて生で見ました。

[1442 へのレス] Re: 刀を見に行きました。

投稿者：Nishikawa 投稿日：2003/03/13(Thu) 12:22

行かれたんですね。展示即売会ではなく、常設展示期間は数が少ないかも知れませんね。
二子玉川近くにある五島美術館で「古刀と新刀の名品」展が開催されていると思います。
確か、今月 30 日までだったと思います。良い物が沢山展示されているので、一度行かれてみてはいかがですか？私も、本当は３月初めの小刀作製受講日に行きたかったのですが、都合で行けませんでした。今月の連休あたりに行って来ようと思っています。
５月の連休には、表参道にある有名な刀剣展でも展示会が有ると思います。

[1442 へのレス] Re: 刀を見に行きました。

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/03/14(Fri) 06:10

もし見た刀がガラス越しだったとしたら・・・。
私も現代刀ですが、ガラス越しに拝見していて『なんじゃ～こりゃ～。』と最初は思っていたのですが、どうぞどうぞと手にとって拝見させて頂きますと、全然違うじゃないですか！

やはり、刀は手に取ってみてなんぼという感じがします。
展示即売会でも手にとって見た刀とそうでない刀は、印象が随分と違います。

そういう意味でも、刀を手に拝見できる環境のあるところがよろしいかと思います。
しかし、ガラス越しでしか拝見できない刀は貴重な刀で、それでもいいから見てみたいと思わせることも事実ですけどね。
特に正宗展と数年前の日本のかたな展は良かったですよ。

[1447] 小諸でも展示会。

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/03/15(Sat) 17:43

長野市にある刀屋さん、永○堂さんが小諸の懐古園近くのホテルで１５・１６日と展示会を開いています。
「武士の表道具展」。やはり山浦一門が人気があります。
初めて「兼虎（花押）」を見ました。細身の短刀（九寸一分）で帽子の返りが大変長かったです。地鉄も良く詰んでいます。
他、真雄の脇差、和泉守兼重（藤堂家伝来）の刀や真改国貞（寛文十二年）の脇差、北窓治国、兼元（三代？）、源左衛門信国の脇差（重刀）等々。
現代刀では宮入一門が並んでいました。

昭平の短刀、高橋次平の脇差、清宗の刀、小左衛門行平の短刀等々。
次平は初めて見ました。最近ヤフオクにも刀が出ていましたが…これから少しずつ市場に出始めるのかも知れません。
なかなかいい値段が付いていました。（ヤフオクの方が安かった…）

お客さんの入りは…東京で開かれる展示会に比べると、けして多くはないですね～。

[1447 へのレス] Re: 小諸でも展示会。

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/03/16(Sun) 15:07

山浦一門に人間国宝一門。豪華で素晴らしい郷土の刀工がいらっしゃって、本当に驚きです！

現代刀はあまり市場にでてこなかったように私も思いますが、これからはどんどん出てくるのかもしれません。
楽しみです。

個人的には『北窓治国』が目に付きます。
一度、個人のお宅で拝見しましたが、なかなか真贋の判定の困難な刀工の一人と聞いておりますので、機会があれば拝見したいものです。

十一代兼定もそうですが、郷土を代表する全国的な有名刀工のレアな作品は、今日の不況下であっても、なかなか売りには出てきませんね～。(ーー;)。

[1448] 刀の本

投稿者：隠居 投稿日：2003/03/16(Sun) 10:32

「名品刀絵図聚成　田野邊道宏著　大塚工藝社　平成１１年初版　３万８千円」
を「買って裏切られない刀の本」の一つとしてお奨めします。
田野邊先生が選んだ古刀１８５口新刀１４口新々刀１口、計２００口の原寸大中子写真と全身押形（縮尺）絵図です。Ａ２版（３５×５０ｃｍ）の大形本です。
古刀１８５口新刀１４口新々刀１口という配分には不満のある向きがあるやも知れませんが、これは田野邊先生の好みが出て当然だと思います。今まで総花式にずらり並べた図録とは根性の入れ方が違います。
大塚工藝社の写真が最高であることは知られていますが、田野邊先生の押形もその忠実さと克明さにおいて今日の最高峰であるといわれています。
先生自らが選んだだけあって、その解説も詳細にわたって力説されており、実刀を観るような雰囲気を伝えます。
健康の不調で展示会に出て行けなくなった私には、この本により名刀を実感できることは大きな楽しみです。

[1448 へのレス] 田野邊先生の押形

投稿者：越中国住人 投稿日：2003/03/16(Sun) 12:51

田野辺先生の押し形は、大変素晴らしいと思います。刃文に流れ、勢いがあり名刀の品格を感じられるように描いておられます。

私は、押し形を田野邊先生に見てもらっているのですが、なかなか上手くいきません。先生に、筆を入れていただくと今まで止まって見えていた刃文に流れが感じられるようになり実物の印象を感じられるようになります。
特に相州伝上位の刀工などのように沸出来のものを描くのが難しいのです。
また、私がよく指摘されるのは「見えるものすべてを描くと真っ黒になり品が無くなるし、手にとって見たときの印象と違った雰囲気の押し形になる。描こうとする刀の一番の特徴を強調して描くように」と言われるのですが、未熟な私には、見たものをそのまま描くことさえ難しく、どこを強調し、どこを省略するのかのポイントを見定めることは出来ません。
とにかく、続けて描くことが大切と自分に言い聞かせ押し形を描いています。
今日は、「片山一文字」の則房の全身押し形を描いています。

[1448 へのレス] Re: 刀の本

投稿者：隠居 投稿日：2003/03/16(Sun) 15:12

越中国住人さま、押形をお描きとはご立派です。仰るように沸づくりのものを描いていると知らぬ間に濃くなって止まらなくなりますね。
またその反対に青江の細直刃のような地味なものも、こまかい働きが描きにくいです。これは結局どんどん描いて年月を重ねた者が、いつの間にかうまくなっていますね。

[1448 へのレス] Re: 刀の本

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/03/16(Sun) 15:17

実はこの『名品刀絵図聚成』は一度、ヤフーオークションで見たっきりです。
それも１０万円を超えていましたし、古書市場ではいまだ幻です。
見たことない！(>_<)。

今になって思えば、買うべきでした。
といっても、買おうと思ったときにはすでに売り切れ！
予約完売状態で、知人の方もすでに売り切れですと早い段階から言われていたと、残念がっておられました。

じっくりと古書市場、オークション市場を見ておかないとこの先、いつお目にかかれるかわかりません。
第二段第三段の田野辺先生の押し型集が発刊されることを期待しております。

[1448 へのレス] Re: 刀の本

投稿者：隠居 投稿日：2003/03/16(Sun) 15:51

真改さん、こういう限定本は「予約」でないと無理です。
この「名品刀絵図」も予約で確か一割引き、１５３と番号が墨書されています。時には著者の署名もあります。支部で数をまとめて申し込むのが賢明ですね。
この手の本は、これが高価なほうで普通は３万円までですし、１５～１８％引の場合もあります。

出版元としても固客の存在は心強いのです。３万の本１０冊で３０万円、安脇差の一本も買えない金額です。値打ちですよ。

[1448 へのレス] Re: 刀の本

投稿者：隠居 投稿日：2003/03/16(Sun) 17:23

真改さん、地方支部でも一人か二人は雄山閣や大塚工藝社に固定客として登録された数寄者がいる筈ですから、そのお方について申し込まれると、一寸した図録の出る度に必ず案内があります。「名品刀絵図聚成」クラスは年に一度もなく二三年に一度くらいですから「オール買い」と旗を上げっ放しにしておいても年割りにすれば金額はしれたものです。
先ほど３０万円の脇差にたとえましたが、脇差は値下がりしても刀の書本は値下がりしませんから、この意味からも購入をためらわれる理由はありません。本格的な図録は二千部ほどしか作りませんから、予約でなければ入手困難です。

[1455] 暦のとおり

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/03/23(Sun) 07:04

早いものでもう三月も下旬にさしかかり、年度末ということで、どこもかしこも新年度へ向けての準備と整理で大忙しの様相です。

この掲示板への書き込みも管理人の私からしても少なくなり、子供との生活中心の決まった時間割の中にさらに年度末ゆえの仕事の多さが加わって、刀の手入れどころか、なかなかこうやって書き込むことすらおろそかになっておりました。
m(__)m。

今日は昨夜から泊り込みで年度末と３月のまとめを行っておりました。
コタツで眠っていると、時々自宅で寝ているような錯覚をおこして起きてしまいます。
そうか。今日は日曜日か。また１週間経ったな。刀の手入れと鑑賞もしないとな。などと、朝起きてからすぐに思うので、まあ、仕事がちょっと忙しくなったからといって、刀を観ることを忘れていない自分にホッとしたり、苦笑したりするのです。

小さな子供がいますと、いくら刀が好きでも、机の前や横にお気に入りの刀を置いて何かをするというわけにはさすがに参りませんので、恋する人とまではいきませんが、刀を見る時間ができますと、何かしら久しぶりに会った友人のような感じがするのです。特に最近はそのような感じがします。
春休みになって、ますます子供の生活のリズムに慣れてきますと、友人にはなかなか会えなくなりそうで、いつ会いに行こうかと思案に暮れることもあります。

『お父さん。なにしよん。そっちに行ってもええで？』と一番下の娘が言いますと、友人にはごめんと言ってユーターンして、子供と一緒になって遊んでしまうのです。
まあ、こういった時期もそう長くはないのかもしれませんが、大切な時期であるとの世間一般の親ばかですので、そうなってしまいます。

徳島でももう今週には桜が開花し、７日くらいで満開を迎えます。

サクランボの花は満開を通り越し、杏の花も咲いたか散ったかで、モクレンの花がそれを補うかのように開き始めております。
そのような暖かくなった気候とともに、刀剣展示即売会の案内もちらほらと聞こえてきました。楽しみですね。
長男の小学校入学の真新しい昔ながらの、制服姿をちょっと先に見せてもらって、きりっと締まった制服の美しい姿に目を細めながら、『刀が似合いそうだな。』などと、ちょっと変わった感想を一人思い浮かべながら４月を迎えたいと思います。

もう７時ですね。
あとちょっとしたら、帰りましょう。
明日も仕事ですし・・・。

今日は少しでも友人（刀）に会う機会がとれますように。(^o^)。

[1455 へのレス] Re: 暦のとおり

投稿者：花散里 投稿日：2003/03/24(Mon) 23:50

この「年度」というのは、日本だけなんでしょうか？
毎年の事ながら、３月はあわただしいですね(^_^;)　道路工事も多いし・・・(^^ゞ
暖かい年だと、お花見もろくに出来ませんしね。

反面、気温が高くなり春を感じるようになると、刀の手入れには良い季節ですね。
まだ寒い内は、暖かい部屋に刀を持ち込むと、うっすらと露がついたりします。
なるべく温度差を少なくしようと、部屋の温度を下げすぎると落ち着いて鑑賞も出来ません。
ちょうど今頃の季節が、刀の手入れにはもっとも適していると思います。
風に乗って流れてくる花の香りを感じながら、心静かに刀の手入れと鑑賞。
「よくぞ、日本人にうまれけり！」

[1455 へのレス] Re: 暦のとおり

投稿者：刀士郎 投稿日：2003/03/26(Wed) 11:32

真改さん　花散里さん　お久しぶりです。
本当にご無沙汰でした。
昨年の大刀剣市から年末にむかい、仕事の大波に襲われまして
年を越してもその余波で地獄のような忙しさでした。
それでも　一月末に東京出張のあいまをみて
例の第二婦人を迎えに言ったのですが　ときすでに遅く
真改さんのところに嫁入り済み。
時間に余裕が出来た今日この頃ですが、仕方が無いので本妻と
毎日仲良くにらめっこしてます。
ところで、大刀剣市のあと花散里さんもご覧になった鉄鍔ですが

縁があり第二婦人のかわりに私のところへきています。
透かしのサクラを撫でながら「春だなー」ってうっとりしてます。

[1455へのレス] Re: 暦のとおり

投稿者：真改2001 投稿日：2003/03/26(Wed) 19:24

皆様。
お久しぶりでございます。
やはり、皆様も年度末ということで、より一段とご多忙だったのですね。

刀士郎さん。
何度かお電話したのですが、留守電ということでお話ができませんでした。
電話がつながっていたら、きっと私のところへは来なかったでしょう。(^_^;)。
私としては刀士郎さんの手に行かないのなら、これは私が押さえないと『遠くへいってしまうかも～。』という不安にさいなまれ、お預かりしている次第です。
(^^ゞ。

それと、鉄鍔ってあのロザリオのでしょうか！？
これは興味ありますね～～。
ぜひ、画像をお願いします。m(__)m。

[1455へのレス] Re: 暦のとおり

投稿者：刀士郎 投稿日：2003/03/26(Wed) 21:29

真改さん
残念ながらロザリオではございません。
お値段も十分の一、甲冑師。
法螺貝に花筏透かし図の早乙女です。
それでも本当に気に入っていて、本妻の一文字と交互に見比べてます。
いっそのこと、一文字に拵えをあつらえてこの古鍔をかけようかしらん、
などと考えてます。

[1463] なんでも鑑定団

投稿者：真改2001 投稿日：2003/03/27(Thu) 06:52

ここをクリックしますと、Ｔネットオークションという所へ入ります。
テレビのなんでも鑑定団の『私のお宝売ります』のコーナーです。
徳島ではリアルタイムに鑑定団が見ることができませんので、今回の甲冑の売りますがあるとは知りませんでした。

話題ということで、御覧下さい。
でも、甲冑って思ったよりも相当お安くなっているように思います。

[1463 へのレス] Re: なんでも鑑定団

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/03/27(Thu) 13:00

この回の放送は見ました。
今まで柴田会長の鑑定は比較的高め、番組的にサービス価格を出しているのかな？と思っていたのですが、この放送の中ではどちらかというと辛めの価格査定だったように感じました。
これも不景気だから…でしょうか。

[1469] 名著・希少古書が続々

投稿者：隠居 投稿日：2003/03/29(Sat) 07:23

「古書山」の目録１７号を見て驚きました。永年姿を見せなかった刀の名著が続々出ていますね。

日本刀の近代的研究	小泉久雄	１８０００～２００００円	数冊
日本刀の禅的鑑賞	山田　英	７０００～８０００円	２冊
日本刀の科学的研究	俵　国一	１００００円	１冊
日本刀　本質美	山田　英	８０００円	１冊
日本刀剣全史	川口　陟	４５０００円	１冊

これなど、人に常々お勧めしていましたが「サッパリ見ない」との風評が長年続いていました。ところが今回、なんたることでしょう。不況の関係でしょうか？　何にしても愛刀家には朗報です。

[1469 へのレス] Re: 名著・希少古書が続々

投稿者：花散里 投稿日：2003/03/29(Sat) 19:47

いずれも内容は存じ上げませんが、タイトルからは「日本刀の禅的鑑賞」に心が惹かれます。
「剣禅一如」という言葉もあるように、刀と禅は切り離せない関係なのかもしれませんね。

これら刀の書籍は、今やへたな刀より手に入れるのが難しいですから、見つけたときがチャンスですね。

[1469 へのレス] Re: 名著・希少古書が続々

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/03/29(Sat) 21:17

日本刀柴田の柴田和男さんも、刀和の最後にこう書いておられました。

«景気が低迷していて、刀剣業界にも影響していますので、今から１６年前に出版した『刀剣鑑定の決め手』を再三、雄山閣から再版の話があり、時期尚早だからと断ってきましたが、どうしてもという話でしたので再版することにしました。»

偶然といいましょうか、なんといいましょうか。名著といわれるものがこれから復刊される可能性が出てきたということでしょうか。

私も、隠居様のご推薦の書籍はタイトルも知らないものばかりで、このような名著といわれるものが、世に出てくるようになったことは、今の私たちにとってありがたいことです。
どんな内容か、ちょっとさわりだけ教えいただくわけには参りませんでしょうか。(^^ゞ。
よろしくお願い致します。

[1469へのレス] Re: 名著・希少古書が続々

投稿者：隠居 投稿日：2003/03/30(Sun) 07:24

「日本刀　本質美に基づく」「日本刀の禅的鑑賞」山田　英著
明治天皇のお声がかりで設立された中央刀剣会で神津伯師の愛弟子であった著者が、いかなる刀が名刀であるかという“名刀の条件”というか刀の価値観について“武家目利き”の立場からまとめたものです。また国宝重文の中にも正宗貞宗郷などその資格なきものが混在していること、美濃刀の歴史と価値など。

「日本刀の科学的研究」俵　国一著
東京帝国大学教授の著者が冶金学、金属材料学の立場と江戸時代の古文献を引用して「折れず曲がらずよく切れる」日本刀の秘奥を探った研究書。顕微鏡写真など図やグラフで分かりやすく興味をもって引き込まれる。古文献が全文引用されているのもいい。天才的論客岩崎航介博士はこの俵先生を慕って文学士でありながら工学部へ新入学し、先生の元で日本刀を学んだ。

「日本刀の近代的研究」小泉　久雄著
中央刀剣会の逸材であった著者が日本刀を学ぶ教科書としてまとめたもの。各刀工の特徴見所が克明にのべてある。
この本が今回数冊も出ています。不思議です。

それから「復刻が続いていること」の理由ですが、「不況だから」も一つの理由でしょうが、「人がいないこと」が大きな理由です。つまり刀剣をプロとして師について学び、極めた達人がいなくなったことです。
名著はその意味でも実に貴重です。
あ、それから花散里さん、「日本刀の禅的鑑賞」には禅のことは全く触れていません。「禅的」というのは著者の好きな言葉で「心底から」という意味でしょう。

[1469へのレス] Re: 名著・希少古書が続々

投稿者：隠居 投稿日：2003/03/30(Sun) 14:41

日本刀剣全史　川口　陟著　１冊は全８冊１組の誤りでした。
これは昭和４８年発刊時４万円弱でしたから、あまり値上がりしていません。内容は題名のごとく刀剣に関する様々な法令事象の歴史で、上質紙ハードカバー箱入り、読み応えする本格的著作です。

[1469へのレス] Re: 名著・希少古書が続々

投稿者：花散里 投稿日：2003/03/30(Sun) 21:32

＞ご隠居さん

解説いただきまして、ありがとうございます。
そうですか、「禅的鑑賞」は直接は「禅」とは関係ありませんか。
それにしても、「武家目利き」というのは良い言葉ですね。
美術的な観点から刀を見るのも結構ですが、やはり「機能美・本質美」の研究も大事でしょうね。
刀に限らず、どんなものでも本質や機能を究めたものは美しく、心惹かれるものがあります。

[1469 へのレス] Re: 名著・希少古書が続々

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/03/30(Sun) 21:40

隠居様。
ご解説ありがとうございました。

さっそく、『「日本刀の近代的研究」小泉　久雄著』こちらを求めてみました。
最近は、私たちの世代にとっては幻と化していた名著が隠居様のお話からたくさん伺うことができ、また、それに呼応するかのように書籍が手に入るようになってまいりました。
ありがたいことです。
幻の名著がすでにご紹介いただいたものが、『早く読んで、役に立ててくれ～。』と叫んでおります。
(>_<)。
頑張って読んでいきたいと思っております。

持っている人には幻でもなんでもなくとも、私たちにとっては本当に、幻の本ということが現実に展開されているのですから・・・。
一番最近の本では、田野辺先生のあの本でしょうか。
すでに幻！(@_@;)。

来月のお小遣いでは、『「日本刀の科学的研究」俵　国一著』を狙っていきたいと思います。

また、余談ですが、
『天才的論客岩崎航介博士』とご関係の非常に深い方が、こちらの倶楽部にもちょくちょくお越しです。(^^ゞ。
パソコンも復活したようですから、よろしくご参加下さいますよう、お願い申し上げます。

隠居様。この度はまたまた、すばらしい紹介をありがとうございました。m(__)m。

追伸
ひょっとして、多数のオークション関係でここを見て、出品が増えるかもしれませんね！
それはそれで、楽しみです。
自分が欲しい情報等を間接的に流して手に入れるのも、兵法の極意でしょうか。
(^0_0^)。

[1469 へのレス] Re: 名著・希少古書が続々

投稿者：隠居 投稿日：2003/03/31(Mon) 00:49

花散里さん、「根本は何か」ということは、何についても大事なんでしょうね。
真改さん、「日本刀の近代的研究」「日本刀の科学的研究」ともに生涯の間、何度も読み返すことになる良書です。

[1459] 皇国興廃在此一戦

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/03/26(Wed) 19:45

今月号の日本刀柴田『刀和』の中に、三笠砲鋼秀明銘の短刀が出ています。
解説を読みますと、廃棄された主砲を用いて海軍将校の短剣が**数多く製作された**とあります。そして、この皇国興廃在此一戦の文言を刻したものが**僅かながら製作された**とあります。ということは、やはり、この皇国興廃在此一戦の彫がある短刀は特に希少性が高いといえます。
これは、拝見したい逸品です。(*^_^*)。

また、大野義光刀匠の両刃造りの佑定写しの短刀が出ていますが、作は平成３年。
この年は、大野刀匠が林原美術館で個展を開いた年と思います。
最も充実した年の一つではなかったでしょうか。
お値段も１００万円ということで、他の現代刀匠の作品と比較してもその評価の高さが伺えます。
長い刀でも新作以外で市場に出てますと、なかなか１００万円を超えるものはあまりないように思います。
両刃造りとあいまって、非常に貴重な大野刀匠の作品ですね。

銀座情報に載っていた『初代忠吉』の『村正写し』も良いし、現代刀の広木弘邦刀匠の太刀も乱れ映りが出いているということで、興味が尽きません。

麗の海軍短刀拵え入りの関兼光短刀も個人的に欲しかったのですが、時すでに遅く、売約済み。(>_<)。

今月号の通販誌各誌は見所がいつにも増して、たくさんあります。

[1459 へのレス] Re: 皇国興廃在此一戦

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/03/27(Thu) 01:49

以前どなたかが御紹介された「旧日本帝国陸海軍軍刀」には以下のように説明されていました。以下抜粋～

『海軍水交社の依頼により、昭和 3 年～7 年の間、日本海々戦の旗艦として有名な戦艦三笠の破損砲身残鉄(黄海々戦時)を使用して (株) 日本製鋼所室蘭工業所瑞泉鍛刀所の名門刀匠堀井秀明(兼明・俊秀は同人=大正 7 年入所、昭和 18 年没)一門が作刀。三笠長剣(229 本)・甲種三笠短剣(皇国興廃在此一戦彫刻 973 本)・乙種三笠短剣(451 本)が造られた。』

９７３本という数字は…どうなんでしょうか？
資料が残っていたのでしょうか？
本当だとしたら果たして多いと見るか少ないとみるか…？

[1459へのレス] Re: 皇国興廃在此一戦

投稿者：真改2001 投稿日：2003/03/27(Thu) 06:22

なるほど！
もし、この数字が正しいとしたら、多いと見るべきか少ないと見るべきか判断に迷いますね。

私も皇国興廃在此一戦の短刀を見たのはこれが二本目。
長剣にいたっては、三笠の砲鋼を使用した物かどうかの区別は彫やその他に示すものがあるのかどうかさえ知りません。

実際、海軍のものは陸軍のものに比べて非常に現存数が少ないと聞きます。
麗の中にあった海軍短剣拵えしかり。
これも、中に真剣が入っているものとなると、これまた少ないかもしれません。
菊水刀しかり。
外装も海軍の現存数は陸軍のそれと比較しても少ないということです。

甲種三笠短剣(皇国興廃在此一戦彫刻973本)が今、どれだけ健全な姿で残っているでしょう。
靖国刀の作刀数だって相当数に上ったと聞きますが、現存数は・・・。また、見かける機会は・・・。

[1459へのレス] Re: 皇国興廃在此一戦

投稿者：守重 投稿日：2003/03/27(Thu) 11:58

私も見ました。みてみたいです。
皇国興廃在此一戦入り
三笠刀は以前に一度地方のオークションにて見かけたことがあります。15万円程度でしたでしょうか。今考えると買っておけばよかったと思っています。
海軍刀が少ないのは、やはり戦いに負けると海に沈んでしまうのと、刀身が不錆鋼（ステンレス）のため、戦後国内での登録が不可で廃棄になってしまったものが多いことが原因でしょうか。。。海外では度々海軍刀をみかけますが、まず輸入が不可なので、見かけるたびに残念に思います。

[1459へのレス] Re: 皇国興廃在此一戦

投稿者：花散里 投稿日：2003/03/28(Fri) 12:19

海軍での刀の用途は、基本的には儀礼用でしょうね。
特に磁気羅針盤への影響を避けるために、艦橋へは持ち込み厳禁だったようですから、部屋に置いたまま艦と共に海底へ・・・そんな訳で、現存数が少ないのでしょう。

阿川弘之氏の著作で、軍艦に招待された一般人から「刀は何に使うのですか？」の質問に対し、「リンゴの皮を剥くんです。」と答えた場面があったように記憶しています。(「軍艦長門の生涯」だったかな・・・？)
確かに陸戦隊でもない限り、海軍ではあまり刀を使わないですよね(^.^)

[1459へのレス] Re: 大野義光刀匠の両刃

投稿者：隠居 投稿日：2003/03/28(Fri) 12:37

真改さん、大野刀匠の両刃ですが、長さは八寸くらいでしたか？
去年の現代刀新作展で大野さんのお弟子の高野行光刀匠が一寸をはるかに超した大型の両刃を出しており、どうしてこんなに大きくしたのかと尋ねたところ、「定寸くらいの長さではどうやっても焼き入れで曲がってしまうから」と答えたと云います。義光刀匠はこの意味でも、現代刀工の中で傑出した存在と云えます。

[1459へのレス] Re: 皇国興廃在此一戦

投稿者：真改2001 投稿日：2003/03/28(Fri) 19:54

ご隠居様。
その通りで、八寸八分五厘です。
また、同じ平成三年作の重花丁子の世界に掲載の両刃造り短刀は、もう少し短いようです。
こちらは、直刃です。
やや、こうなんと言いますか、筍といいますか、少し首をかしげたような曲がりが、難しいのでしょうか。
短刀には短刀の世界があるのですね。
定寸くらいの長さではどうやっても焼き入れで曲がってしまうから＞こういうことは全くもって作刀者以外に知るよしもないです。

[1459へのレス] Re: 大野刀匠

投稿者：隠居 投稿日：2003/03/29(Sat) 08:13

そうです。諸刃は槍のように左右対照形でなく、棟側が巾せまく、かつ少し反っているところに独特の味があり、ここに精悍さというか動きを感じさせる源があるのですが、それだけに焼入れすると曲がるのでしょう。
こういう点で、古刀の諸刃には小振りで姿の美しい名品がありますね。
忠光、勝光、古水田、古二王、豊後・・・六寸程のすばらしいのがあります。

[1459へのレス] Re: 皇国興廃在此一戦

投稿者：桜 投稿日：2003/04/01(Tue) 14:17

菊水刀みつけました！！
http://ohmura-study.net/732.html

[1459へのレス] Re: 皇国興廃在此一戦

投稿者：真改2001 投稿日：2003/04/01(Tue) 19:57

すわっ！売り物か！と思い駆けつけました。(^_^;)。

でも、軍刀を語るホームページだけに、所蔵の軍刀もすばらしいものばかりですね。

菊水刀。
う～ん。いいな～～。

[1459へのレス] Re: 皇国興廃在此一戦

投稿者：桜 投稿日：2003/04/02(Wed) 02:00

最近、靖国や菊水の人気が上がっているようですね。刀に人気があるのですかそれとも軍刀拵えが良いのだろうか？

[1459へのレス] Re: 皇国興廃在此一戦

投稿者：隠居 投稿日：2003/04/02(Wed) 06:46

軍刀のＨＰを見ました。海軍士官の佩刀について「身分の象徴」とありましたが正にそのとおりだと思います。昔は都道府県で数校しかなかった旧制中学からその一二番の学力の者が海兵陸士を受験したもので、「毎年海兵陸士に○人合格するか」が学校のレベルを決めました。私の学校などは（岡○県での著名進学校ですが）海兵は三年に一度入る程度でした。ですから海軍士官は誇り高い存在で短剣はこういった意味をこめた身分の象徴で、私たちが少年の頃は憧れたものです。

[1459へのレス] Re: 皇国興廃在此一戦

投稿者：真改2001 投稿日：2003/04/02(Wed) 23:41

最近、靖国や菊水の人気が上がっているようですね。刀に人気があるのですかそれとも軍刀拵えが良いのだろうか？

＞靖国刀や菊水刀が美術刀剣として人気が出てきたのは、数年前の米国からの逆輸入の研究成果やトム岸田氏の靖国刀と言う本が出版されたこと、また、同じ時期に靖国刀の展示会があったことなどが挙げられるのではないでしょうか。

浮世絵と同じで、その価値が逆輸入された結果、人気が出てきたと思います。
その証拠に、同じ靖国刀匠が作刀した刀でも、戦前の靖国刀匠銘の刀の方が、戦後作刀を再開した刀よりもダントツに、店頭から姿を消すスピードが違います。
時代背景を考えたうえでのその時に製作された刀に価値があって、同じ刀匠が作刀したものというよりも、刀＋時代背景に人気があると思います。

また、外装も同じような考えもあるかもしれませんが、外装の美しさもさることながら、最後の実践刀という意味合いもあると思います。
また、隠居様のいわれるように少年の頃憧れたゆえに好きです、という人もないとはいえません。

求める人の理由にも様々あって、美術鑑賞用として、または実際に格好まで真似をして付ける方もいるかもしれません。
居合や試斬に用いるために刀を求めることを考える人もいるでしょう。

一概に人気の理由を推し量ることは難しいようにも思います。

上手く表現できずに申し訳ございません。
人気の理由も十人十色ではないかと、思う次第です。

余談ですが、隣町の町長は陸士卒という話をうかがったことがあります。
一度、お話などをうかがってみたいです。
また。『おじいちゃん日本のことを教えて』の著者のアサヒビール名誉顧問の
中條高徳氏も著書の中で、陸士の学生であったことを書いていたように記憶しております。
間違っていたら、すみません。
m(__)m。

[1459 へのレス] Re: 皇国興廃在此一戦

投稿者：隠居 投稿日：2003/04/03(Thu) 11:09

どんな理由にせよ、若いお方が陸海軍軍刀に価値を見出されることに、嬉しさを感じます。これらの刀剣は「国難に殉ずる」という純粋な心で、当時選び抜かれたエリート達がもったものです。要するに飾り物ではないということです。

[1482] 戦前の刀剣雑誌から

投稿者：隠居 投稿日：2003/04/02(Wed) 11:00

昭和６年「刀剣と歴史」「質問」欄
【問】拙者は一剣客に有之自分所有の刀の刃味を試し度思居候、就ては御面倒ながら左記要点を御教示賜り度御願申上候。
一、巻藁の製法及水に浸し置く時間、これは人體の何れの部分に相當する物なるや。
「答」巻藁の造り方は米俵一俵を程度とし中に栂手大の竹を一本乃至二本入れて堅く締付て結ひ、水に三十分乃至一時間も浸し置かばよろし、要するに巻藁全體に水が浸み込めばよろしきわけなり、一本の巻藁は人間の胴一つに相當すると言ひ傳へり。

・・・とこういうやりとりです。これが僅か７０年前のこと、１冊１０００円で古雑誌を買って読めば、タイムマシンに乗ったようなものです。如何ですか？

[1482 へのレス] Re: 戦前の刀剣雑誌から

投稿者：隠居 投稿日：2003/04/02(Wed) 12:24

これは下で話題になっています「三笠刀」や「菊水刀」の時代の話です。当時「剣客」と名乗る人士がいたわけですし、「○○に候」というのが一般的な手紙文でした。こういう時代背景と共に「軍刀」をみて頂きたいです。

[1482 へのレス] Re: 戦前の刀剣雑誌から

投稿者：花散里 投稿日：2003/04/02(Wed) 20:09

いらしたんですねぇ。
初期とはいえ昭和の時代に、剣客と名乗り、候文を使われる方が。

しかも、ご隠居さんのお話では、それも珍しくないとか。

物質的には発達し便利になった現代ですが、精神性は同じ民族とは思えないほど変わってしまったようです。
ただ日本に住んでいるから日本人、というのは寂しいですね。

[1482 へのレス] Re: 戦前の刀剣雑誌から

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/04/03(Thu) 00:52

技術的な面はもちろん、精神的な部分がかなり現代の日本人とは違うんでしょうね…。自称「侍」はけっこういますけど。

[1482 へのレス] Re: 戦前の刀剣雑誌から

投稿者：花散里 投稿日：2003/04/03(Thu) 22:40

「武士道」解題 著/李登輝 小学館 ISBN コード：4093873704 本体 1700 円+税

「１００年前に書かれた新渡戸稲造の『武士道』には、現代の日本人が忘れてしまった普遍的思想が貫かれている。その深遠な日本精神を、戦前日本の教養教育を受けて育った台湾の哲人政治家が、古今東西の哲学知識を総動員して解説した。ノーブレス・オブリージュ―高貴な身分の者に課せられた義務。著者は「武士道」の本質をそこに見出す。本書に対して、阿川弘之氏（作家）、石原慎太郎氏（作家・都知事）、櫻井よしこ氏（ジャーナリスト）、小林よしのり氏（漫画家）、金美齢氏（台湾総統府国策顧問）、深田祐介氏（作家）ほか、数多くの識者が絶賛し推薦。混迷する日本の政界、財界の指導者たちに読ませたい、そして若い世代に読み継がせたい至言の宝庫が、ここに誕生！」

元「日本人」である、李登輝氏の著作。購入して読まねば m(__)m

[1482 へのレス] Re: 戦前の刀剣雑誌から

投稿者：隠居 投稿日：2003/04/04(Fri) 06:25

新渡戸稲造の「武士道」は色んな人が引用していますね。一度読んでみたいと思っていました。李登輝氏の解説なら原文だけより更に興味を引きます。早速申し込みます。おおきに

[1487] 迷い・不安定な心

投稿者：内記 投稿日：2003/04/03(Thu) 01:00

最近、刀の鞘を抜くたびに「町人の刀いじり」なる言葉がいつもリフレインします。刀屋でもなく、鑑定家・評論家でもないのに、刀を覧る目や気持ちが、刀剣書やいわゆる評価基準の見方しかできないのです。
　気持ちが安定するどころか、刃中が寂しいなとか、引けキズが多いな、とか、研ぎに出そうかなとか、不安定な心理状態になってしまいます。
　おのれの物欲に対する卑しみか、列位等への反発の裏返しとしてのブランド志向崇拝へ警笛なのか、うまく分析できません。
　ただ、いつも少し小ばかにしたような「町人の刀いじり」なる言葉が虚しく木霊するばかりです。

先日、店頭で海軍短剣を拝見したい旨伝えたところ、「この手は好きじゃないんだ」との返答に瞬間的に嫌悪感を感じました。

店主は商売とはいえ、納得できない自分がいるのに、ただ、お追従笑いをした自分を「卑怯者」と罵りました。

なのに、今日もまた、鞘を抜き、白熱球に、刃をかざす自分がいます。自己嫌悪。季節は満開の桜花。困ったものです。

[1487 へのレス] Re: 迷い・不安定な心

投稿者：隠居 投稿日：2003/04/03(Thu) 05:58

内記さん、あなたのお悩みは、あなたの純粋性を示すものと存じます。
「町人の刀いじり」、正に多くの現代人がそうです。それを免れようと自己流に古畳を切ったりする「にわか剣客気取りの乱暴者」がいますが、こうしたチャンバラ趣味は文化財である刀を痛めますから、日本刀の敵です。
位列や金額を書いた刀剣書でなく、真面目な解説書にふれてください。そして刀の扱いは作法どおりしてください。礼をもって刀を扱えばそういう卑下されたお気持はただちに霧散する、と確信いたします。それが刀です。

[1487 へのレス] Re: 迷い・不安定な心

投稿者：内記 投稿日：2003/04/04(Fri) 05:50

ご隠居さま　拙い文章に対し、心温まる

[1487 へのレス] Re: 迷い・不安定な心

投稿者：内記 投稿日：2003/04/04(Fri) 06:52

心温まるご教授いただき誠にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。
約 24 時間おじゃま致しておりましたが、これにて退散いたします。この間
およそ 200 人以上の方々（おそらく主催者、管理人スタッフ様も含め）が、通過されたようですが、皆さんお悩みはないようで、誠に、結構なことと感心いたしました。

江戸時代に昇華した「武士道」は、強く儒学の影響をうけ、何ゆえ今日まで、語り継がれているのか、私なりに考えると、悩みに悩み、考えた末の本物の思想だからなのだと思っております。決して人から、あるいは、神仏から、棚ぼた式に頂いたものではないからだと思います。

「生産せざる者」の生きる意味、物理的に出来ないのではなく、してはいけないと制約され、その中で、生き続ける理由を、長い月日をかけて、
考え続けた結果が、「武士道」では、ないのでしょうか。

花は桜木、人は武士　　誰もがあこがれる、またそうありたいものだ、という目標、規範でもあったのでしょう。

だからこそ、現代人も、新渡戸稲造の武士道を、ノブレスオブリージュ
などを持ち出し、自分が、あたかも武士であると、もしくは、高貴な人間だと錯覚し、高みの見物か、人から聞いた、能書きを滔々と語ってしまいたくなるほど、「武士道」は、憧れの対象として完結されたすばらしい思想体系だと、思います。

　しかし、現代人は、すべからく、町人です。戦後、士族がなくなり、
等しく町人にならざるを得なくなってしまいました。ここにかつての生産せざる者の、裏返しの悩みが、生じるとは、お思いになりませんか。
　士族としての教育、躾を受け、精神的にも、かつての武士以上に、侍でなければ、ならないと育てられたものは、姿かたちが、町人で、平等社会の損得勘定になじめず、美意識をその価値の基準に優先する。悲劇を超えた喜劇のようです。
　平等社会の中で生産もし、生活の糧を得、生きていく、しかし倫理・価値基準は、生産せざる者の時代のままで、
　町人の刀いじり　　悔しいな

　長々とおじゃまいたしましたが、これにて、失礼いたします。
ご隠居さま、本当にありがとうございました。

[1487 へのレス] Re: 迷い・不安定な心

投稿者：花散里 投稿日：2003/04/04(Fri) 08:41

内記さん、こんにちは。花散里と申します。
＞長々とおじゃまいたしましたが、これにて、失礼いたします。
などと仰らず、これからもよろしくお願いします。

私などは、決して悩みが無い訳ではありません。
ただ、考えている間に出遅れてしまっただけです。
戦後の「町人国家」に生まれ育ち、なお刀が好きな者にとっては、繰り返し自問する問題だと思います。
このサイトにご参加されている方々、ご覧の方々の多くが同じ気持ちではないでしょうか。

週末にでも、ゆっくりと考え推敲いたしますので、今しばらくのご猶予を m(__)m

[1487 へのレス] Re: 迷い・不安定な心

投稿者：隠居 投稿日：2003/04/04(Fri) 09:17

内記さんのコメントは、現代日本人のいびつさを抉り出した感があります。

「士族としての教育、躾を受け、精神的にも、かつての武士以上に、侍でなければ、ならないと育てられたものは、姿かたちが、町人で、平等社会の損得勘定になじめず、美意識をその価値の基準に優先する。悲劇を超えた喜劇のようです。」

殊にこのくだりは、「士族としての教育」を「エリートとしての」と読み替えれば、多くの青年が「金儲け優先」の世の中に生き甲斐を失い、追求すべは真善美聖の価値をなにに求めるべきか、迷っておられるものとも拝察いたしました。
私自身は十六才で特攻要員であった予科練に志願し、又今日、もし一旦緩急あれば国家に奉じる精神は「意識」として堅持しているつもりです。「生産せざる者（働かざる者）」が世のために生きる

のはこの意識なくてはならぬ筈です。「この意識が一体国家社会に具体的にどう役に立つか」は別の問題であろうと考えます。

[1487 へのレス] Re: 迷い・不安定な心

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/04/04(Fri) 19:20

内記様。
真改 2001 と申します。
よろしくお願い致します。

内記さんのお話を何度も読んでいましたが、私自身もそういった悩みがかつてありました。
私は、あることがきっかけで、位列・ひけ・欠点といわれるものなどを気にしない気持ちを持つに至りました。それは、刀剣収集趣味をやめたのではなく、といいますか、刀を買わないことになったのかといいますと、そうではなくて、今もいつも刀を求めたいという気持ちは常時持っている困った自分がいるのですが、こうなんといいますか、世間一般の金額評価やそういったものが気にならないのです。
数年前はたいそう気になっていた自分がいました。

刀を見るときの今の私は、刀を刀として素直に見ることができているように思っています。
偉そうなことを言っていたとしたら、お許し下さい。

また、
『しかし、現代人は、すべからく、町人です。戦後、士族がなくなり、
等しく町人にならざるを得なくなってしまいました。ここにかつての生産せざる者の、裏返しの悩みが、生じるとは、お思いになりませんか。
　士族としての教育、躾を受け、精神的にも、かつての武士以上に、侍でなければ、ならないと育てられたものは、姿かたちが、町人で、平等社会の損得勘定になじめず、美意識をその価値の基準に優先する。悲劇を超えた喜劇のようです。
　平等社会の中で生産もし、生活の糧を得、生きていく、しかし倫理・価値基準は、生産せざる者の時代のままで、
　町人の刀いじり　　悔しいな』

のお言葉につきましては、私には難しすぎて、正直なところ返信のしようもない状態です。
私自身は、『士族としての教育、躾を受け、精神的にも、かつての武士以上に、侍でなければ、ならないと育てられたもの』ではないだろうし、どのようにこの言葉の意味を理解していけばよいのかが、理解できないのです。

どうも、刀が好きな者ではありますが、理解度が低くて恐縮です。
もっと、噛み砕いてお話いただけますと、もっと返信したいと思う方も出てくるかもしれません。
勉強不足の手前勝手で本当に恐縮ですが、『およそ 200 人以上の方々（おそらく主催者、管理人スタッフ様も含め）が、通過されたようですが、皆さんお悩みはないようで、誠に、結構なことと感心いたしました。』などと、おっしゃらずに、お願い申し上げます。m(__)m。

[1487へのレス] Re: 迷い・不安定な心

投稿者：隠居 投稿日：2003/04/05(Sat) 08:04

自分の文章を読み直しますと、自分では普通のつもりでも今の方々には右翼的言辞と受け取られかねないのではあるまいかと心配いたします。なにしろ現在は「平和・人権・福祉」の時代、「国家」「一旦緩急」「奉じる」などの言葉を使うこと自体が、もってのほかのことでした。ことに自分自身の過去を語りましたことは、節度を外しました。
このＨＰは日本刀に関する趣味の集いでありますから、政治的とみられる発言は控えるべきなのですが、「武の精神」「武士道」に話題が及びますと年甲斐もなくついつい筆が走りました。お恥ずかしい次第で、深く反省しお詫び申し上げます。

[1487へのレス] Re: 迷い・不安定な心

投稿者：真改2001 投稿日：2003/04/05(Sat) 08:39

隠居様。

ここを御覧の皆様に、特定の方の味方をしているなどと思われたなら、心外ですが、そうしたものではないと先に言わせていただいた上で、私の考えを書かせて頂きたいと思います。

隠居様の
『「武の精神」「武士道」に話題が及びますと年甲斐もなくついつい筆が走りました。お恥ずかしい次第で、深く反省しお詫び申し上げます。』
のお言葉につきまして、私の意見を申し上げれば、まったくそのような『反省し、詫びる』ようなものでは、ないと思います。

刀剣を趣味にしている以上は、「武の精神」「武士道」に言及してくことは、当然の流れと思いますし、自身の体験や知識をお話頂くことは、なによりも貴重なことだと思います。

私が、内記さんのお話の内容がわからなかったことは事実であり、それをもっと分かりやすいようにお話いただけないかと思っただけのことであり、何度も読み返したが、それでも理解できなかったので、返信がないことは他の方もそのように思っている可能性がないとはいえないと感じたゆえに、そういった意味の返信をしたのです。

国を愛することが右翼的と呼ばれるなら、私も右翼でしょうし、軍刀が好きでそれが右翼的なら、私は大変な右翼的者でしょうね。(^^ゞ。

隠居様のご意見を拝見して、政治的発言とは思いませんでした。

ただ、この場で申し上げたかったのは、年齢世代あるいは国境を越えた人が見ている中で、なるべく多くの方が理解できる表現方法をお願いしたかったということです。

文章にすると難しくて、相手に言いたいことの伝えたいことの何分の一も伝わらなくて、誤解やイライラを与えることが多々あるように思いますが、私もこの文章の中で自分の言いたいことがはた

して、上手く伝わっているかどうかが心配で、そうした気持ちは、いつどのような内容の文章でも感じている次第です。

[1487 へのレス] Re: 迷い・不安定な心

投稿者：花散里 投稿日：2003/04/05(Sat) 09:31

＞ご隠居さん
そんなことを言われますと、「産経新聞」と「正論」と「諸君」と「ＳＡＰＩＯ」を愛読し、李登輝氏の「武士道「解題」」をご紹介し、政治的発言をしたくてウズウズしている私なんか、大右翼でございます m(__)m
心情は皆様それぞれお持ちで、発言内容も皆様の御良識にお任せする次第でありますが、国や自然を想い、親や家族を想い、友を想うのは人として自然な感情だと思います。
ネット上ではとかく誤解が生じがちですが、そこはそれ「同好の士」。
発言は出来るだけ好意的に捉え、「楽しい語らいの場」を目指そうではありませんか。
ご隠居さんの周囲へのお心遣い、感謝申し上げます。
今更ながら、これからもよろしくお願い申し上げます。

追伸：
李登輝氏の「武士道「解題」」。昨日、購入しました。
まだ読み始めですが、名著だと思います。
私にとっては、心に沁み、泣け、素直に頷ける内容です。
折に触れ何回も読み直す、座右の書となる予感がします。

[1487 へのレス] Re: 迷い・不安定な心

投稿者：隠居 投稿日：2003/04/05(Sat) 10:49

真改さん、花散里さん、おおきに、分かりました。そして安心しました。
日本刀は武の精神とか武士道と一体のもので、別の言い方をしますと日本の歴史、日本人の心の歴史から生まれ伝えられた道具であり、「精神史の象徴」であると考えています。ところが現代ではこの「精神史の部分」つまり武士道や武の精神が語り継がれず学ばれることなくて、単に刀だけが「美術刀剣」と銘うたれて一人歩きしています。そして美術品としての解説や評価や表面的キズ欠点の有無に、一喜一憂しているのが今日の刀剣趣味者です。このありさまを、内記さんは「町人の刀いじり」と評されているのではないでしょうか。

そして「武の精神」ですが、
強盗が入ってきて妻や娘を辱めようとした、とします。この時見て見ぬふりをするのは武の精神の真反対にあるものであり、ただちに暴力をもって立ち向かうことの是非を別にし、ともかく自分が前に出て対処し、万やむをえぬ場合は体を張って抵抗するのが「武」の在り方だと思います。もちろん金銭での解決や計略での対処も含め、「責任ある対決をする」ということです。
私たちの時代は、男は女と区別して教えられ育てられました。そして男はこういう時にこうせよ、という心得を体得させられました。その中の最も大きなことの一つが家族を守り。国を守ることです。

これが今は何から何まですべて男女同権同責任、狂い始めた原点はここらにあるのではありませんか。

[1487へのレス] Re: 迷い・不安定な心

投稿者：花散里 投稿日：2003/04/05(Sat) 11:42

日本刀があったからこそ、武士道や精神が昇華したのかも知れませんね。
見る者を感動させる美しさがありながら、折れず・曲がらず・よく斬れる。
「自分の精神を形に現した場合、日本刀のようでありたい。」などと。

親として、夫として、男としての、義務と言いますか、存在意義と言いますか・・・それは、確かにありますね。
どう転んでも、男と女は物理的に違うわけですから、それぞれ出来ること・得意なことで、協力し合えばよろしいかと。
「何でも一緒くた」は、違うでしょうね。差別はいけませんが、区別は必要です。

妻をめとらば才たけて　みめ美わしく情ある
友をえらばば書を読みて　六分の侠気四分の熱

[1487へのレス] Re: 迷い・不安定な心

投稿者：内記 投稿日：2003/04/05(Sat) 19:44

　ご隠居さま、
まずは、お詫び申しあげます。私の微力文章の後方支援をかって出て頂いたのに、気がつけば、指揮官は敵前逃亡、最前線の真っ只中に・・・
　本当に申し訳ありませんでした。真改さん、花散里さんにもご迷惑をおかけしました。
　「わかり易い文章」はどうも書けそうにありません。例えていうなら、
片思いの女性に、何とか気持ちを伝えようと、ラブレターを書きます。
相手は、自分のことを知らないし、いきなり、本題も切り出せないし、かといって、主張しすぎると、嫌われそうなので、遠まわしに遠まわしに、そして、少し、自分では、謙譲のつもりで、卑下した言い回しをします。
最悪なのは、真夜中に書いてしまうことです。
　朝、自分で読み返して、赤面します。しかし、少なくとも、自分で書いたものなので、自分には、理解できます。これがいけない。
　もらった相手は、ちんぷんかんぷん、支離滅裂、。
意味を説明せよ　と言われても、「自分の気持ちです」　「宜しくお願いします」　と言って走り去ってしまった。

　真改さん、ごめんなさい。ご隠居さまの解説のとおりです。
＞ところが現代ではこの「精神史の部分」つまり武士道や武の精神が語り継がれず学ばれることなくて、単に刀だけが「美術刀剣」と銘うたれて一人歩きしています。そして美術品としての解説や評価や表面的キズ欠点の有無に、一喜一憂しているのが今日の刀剣趣味者です。

　これ以上、私が補足することは、全くありません。
ご隠居さま、ありがとうございました。ご迷惑をおかけしました。
　唯、私はとても、うれしかったです。
あの「ラブレター」は私なりの「檄文」でもありました。
　ご隠居さまのような方の若き血潮を沸々とたぎらせたとしたなら、本懐であります。
　ただ、そのことによって、ご隠居様が、ご発言に対し、「お恥ずかしい次第」とお思いになられたことは、私の本意では、ありませんので、お許しください。

　この記事は、タイトルが「爽やかで楽しい」とは、程遠いので、
「刀と武士道」？のようなタイトル変更で、どなたかご発言を開始して
いただけないでしょうか。

　　辛抱が足らず、捨て台詞とも受け取れる発言を残し、敵前逃亡した、私は、自分で、不適切、かつ、マナー違反と判定致しましたので、この
お仲間から、削除させていただくことにします。
　皆様、ご迷惑をおかけ、いたしました。ご隠居様、本当にありがとうございました。

[1487 へのレス] Re: 迷い・不安定な心

投稿者：花散里 投稿日：2003/04/05(Sat) 20:24

＞内記さん
遠まわしな言い方なら、私も負けません(^^ゞ
電脳倶楽部は、政見放送や試験会場ではありませんので、ご遠慮は無用です。
ここでは、様々な方々のご参加をいただき、そのおかげを持ちまして私のような者でも、切磋琢磨させていただいております。（微力のため、徐々にではありますが）

ご隠居さんも、むしろ内記さんに共感されたからこそ、援護射撃を買って出られたのでは、ないでしょうか？
見方を変えれば、ご隠居さんと内記さんとで、私のような若輩者に対する教育とも受け取れます。
ことに内記さんの投稿をきっかけに、ご隠居さんの貴重な経験・体験をお話いただけたことは、他では得がたいことだと思います。

これからも、ご参加願えませんでしょうか？

[1487 へのレス] Re: 迷い・不安定な心

投稿者：内記 投稿日：2003/04/05(Sat) 20:27

追伸：
　真改さん、私は、広大な武家屋敷で、「若様」と呼ばれて、育った訳ではありません。　他界した父母から四書五経を直接学んだものでもありません。
　「みっともないから、立ち話はするな」とか、「立ち居振る舞いには気をつけよ」「恥ずかしくないのか！」その程度のことであったとおもいます。しかし、今思うに、よい躾をしてモラッタナーと感謝しています。

　この程度でも、立派な士族としての躾であったと私は、誇りに思います。自分も、わが子に伝えているつもりですが、この程度が、とても大変なことと感じています。　誤解があるようなので、ここだけは、追加説明させていただこうと思った次第です。
　天下国家を語る前に、まず自分の子供の躾から　と私は、考えます。

[1487 へのレス] Re: 迷い・不安定な心

投稿者：隠居 投稿日：2003/04/05(Sat) 22:43

内記さん、「手締め」に出て来られたこと、よかったです。
そう、あなたの書かれたことは正に「檄文」ですね。「刀を持つなら武士の端くれ位の根性を持て！」と言わんばかりのお気持ちが、行間に溢れています。ただ、ストレートでなく、ブーメランのように捻ってあるから真改さんならずとも解りにくい。しかし、その熱い心はじんと分かります。
「刀と乞食は三日やったら止められん」と云われています。あなたも必ずや刀剣との関係を続けられる筈です。ならばこのサイトでまた再び「檄」をとばしてください。楽しみにして待っています。

[1487 へのレス] Re: 迷い・不安定な心

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/04/06(Sun) 07:10

天下国家を語る前に、まず自分の子供の躾から　と私は、考えます。

日本刀は武の精神とか武士道と一体のもので、別の言い方をしますと日本の歴史、日本人の心の歴史から生まれ伝えられた道具であり、「精神史の象徴」であると考えています。ところが現代ではこの「精神史の部分」つまり武士道や武の精神が語り継がれず学ばれることなくて、単に刀だけが「美術刀剣」と銘うたれて一人歩きしています。そして美術品としての解説や評価や表面的キズ欠点の有無に、一喜一憂しているのが今日の刀剣趣味者です。このありさまを、内記さんは「町人の刀いじり」と評されているのではないでしょうか。

はい！
完全に理解できました。
私もそのお考えに一も二もなく、賛同いたします。
私も３人の子供と一緒に成長中です。
学業おろそかでも『父に恥をかかせるような、おろかな行為だけはすまい。』と無言で教えてくれたことに、いつも感謝をしております。

いつでも、ここに来てお話下さいませ。

[1497] 若い人　では？

投稿者：野崎 投稿日：2003/04/04(Fri) 21:23

　海軍士官に女子高生が「その短剣は何にお使いになるのでしょう」と
質問したら「これでありますか。リンゴの皮をむいたり・・・」
　と答えたので「ダァー」となるくだり、石坂洋次郎の『若い人』ではなかったでしょうか？阿川先生のもその引用かも。

[1497へのレス] Re: 若い人　では？

投稿者：花散里 投稿日：2003/04/05(Sat) 09:46

私は、石坂洋次郎氏の著作を読んだことがありませんので、阿川弘之氏の著作で読んだものと思われますが・・・
この手の話は、海軍関係者に広く普及していそうですから、どこが原典かというと難しいものがあるのかもしれませんね(^_^)
「若い人」早速読んで見ます m(__)m

[1497へのレス] Re: 海軍びいき

投稿者：野崎 投稿日：2003/04/05(Sat) 18:42

阿川先生は「海軍は技術者がそろっており、『兵器ではない、大和魂で戦うのである』と精神論をふりまわす陸軍とは違う。最新兵器を国産し、使いこなせないと戦争には勝てない。竹槍筵旗（ちくそうせきき）では近代戦にならぬと考えていた。
陸軍の軍旗は陛下より親授されたもので、戦闘中は軍旗護衛小隊がつき、玉砕の時はご真影とともに奉焼するが、海軍の軍艦旗は消耗品で古くなるとすぐ廃棄して新品に取り替える。
軍刀もいったん海上に出れば連合艦隊司令長官から釜焚きまで月月火水木金金の激務。潮風に弱く手入れが頻繁に必要な炭素鋼より錆びにくいステンレスで十分、と考えていた」という趣旨をあちこちで書いておられます。そのあたりで出て来たのではないでしょうか。
陸軍なら「朝敵の喉首を掻き切るのであります」と答えたでしょう。海軍はスマートですからね。

[1509] 内記様へ。それと久しぶりです。

投稿者：幹 投稿日：2003/04/05(Sat) 23:27

自身の都合で暫らくこの世界を離れていましたが、復帰してもよかったのですが、宗
教がらみのはなしと思われるのがいやで、この世界を傍観していたものです。自分は宗教とかがきらいです。
うまくは表現できませんが本当に刀が好きなら、商売人に負けず、自分の信念をもって人を探せば金銭度外視の人間関係が築けるはずです。現にここにこられている方々、それぞれ

[1510] 真・善・美

投稿者：♪「昔の名前～で出て～」いけません♪ 投稿日：2003/04/06(Sun) 05:47

幹様、ありがとうございます。
「黙って聞いていたが、もう我慢の限界だ、本当に刀が好きなら・・」というお気持ちでお声を掛けて頂いたのだと感謝しております。
また、暗いタイトルを、変更していただき、ほっとしているのですが、・・・
誠にぶしつけなお願いですが、タイトル変えていただけませんでしょうか。勝手申し上げて本当に申し訳ありません。穴があったら入りたいほど
の心境です。

　先程、ご隠居さまから、身にあまるお餞別を頂戴し、お見送りまでいただき、修行の旅に出た・・・はず？なのに、「おーい！　内記～！　刀忘れてるぞ！！」と幹様に注意され、　ま・さ・か・・・と膝ガックン状態となり、照れ笑いしながら、忘れ物を取りに参りました。
　「立鳥跡を濁さず」とも申します。自分の散らかしたごみの後片付けもろくにできず偉そうな事をさえずりましたことお詫びいたします。
　不愉快に思われる方も多々おられるかと存じますが、今しばらく、片付けのお時間のご猶予いただきたくお願い申し上げます。

　幹さまがおっしゃる「自分の信念をもって人を探せば金銭度外視の人間関係が築けるはずです。現にここにこられている方々、」　のご発言もっともだと思います。本当にその通りだと納得いたします。
　2日間でしたが、私はこのサイトにおじゃましてそれを、痛感いたしました。　ご隠居さまには、失礼かと存じますが、素晴らしい方と会話できたことに感謝しているのです。これまたくだんの、「片思い」かも知れませんが、素敵な人間関係が築けた、と、悦に入ってたところでございました。また、私の説明不足（本当はへそが曲がっている為）から、友人も無く、一人孤独に刀の手入れを唯一の趣味とする暗い男　との印象が、あるやも知れませんが、二十数年前は、筑波や鈴鹿サーキットで、二輪のレーサーを全開でぶん回しておりましたし（もちろんノービス（初心者）クラス）、ここだけの話、今でも峠では少々血が騒ぎます。車も大好きで、タイヤのない（ホイールも）5万円の英国車を、金銭度外視の整備屋の友人の手をかりて、半年かけて直して（お金が無い為）車検を通し、夏の暑い盛りに英国車にはクーラーが無いと家内をだまし、遊んでおりました。
　カメラも好きで、高校時代3年間のアルバイト代をつぎ込んだ「ニコ○Ｆ」は、現役の愛機です。機械式時計も・・・もういいですよね。
　そんな訳で、刀剣に限らず、色々な趣味の友人はじめ、これらの種類の幹様の言われた
「商売人」ともお付き合いがあります。しかし、「商売人」と勝負をしたことはありません。また、する気もありません。土俵が違う気がします。
刀剣の「商売人」だけが特異の世界ではなく、アンティック時計も中古車も、一物一価の取引には、同じようなことが、起こり得る気が致します。
　幹様、ご心配をおかけいたしましたが、大丈夫ですよ。
これでも少しは、「学習機能」もありますし、良き友にも、助けられ、暮らしております。ご安心ください。

　すっかり片付けが、遅くなってしまいました。そろそろお暇を。
幹さま。足元になにやら残っているやに見えますが、この暗がりでは、よくわかりません。夜が明けましたなら、ご隠居さま、真改さま、花散里さま、ほかたくさんの皆様がいらっしゃると思います。幹さまの足に絡まってしまった様子なので、皆様とご検分お願い致します。今の私には力不足で、片付け方がわかりません。
　真・善・美とかかれているように見えます。
私のような者の発言を黙って見て居られなくなり、ご鞭撻頂いたのも何かのご縁と思います。　久しぶりにご討論されては、いかがでしょうか。

　幹さま。全くの私見ですが、お許しください。
私は、生きる上での指針を、哲学・歴史・経済のバランス感覚を大切にと言いますか、重要に考えています。歴史というのは、年表の史実ではなく、時代のエネルギーそのもの、従って過去だけが、歴史でなく、自分

達の今現在も同一線上のことと捉えられる感覚（但し、学ぶべきは過去で、楽観的無責任な未来主義はどうでしょうかネ）。　経済とは、経済数学を駆使して計算する今流行りのマネーゲームではなく、常識としての経済感覚例えば、バブル期に株や土地が値上がりし続ける異常さへの懐疑、価格破壊を続けると、自分のトーちゃんの会社もいつかは潰れるという常識的な感覚。　　さて、残る哲学ですが、簡潔には説明できません。

ただ、これを「宗教」と置き換えて、考える方々もいてよいのかな。と思います。

幹さまの。＞宗教とかがきらいです　とおっしゃる「とか」には私のいう哲学も含まれるのですか？

「宗教」と「「宗教活動」とは別々に考えるのが、論理的とも思います。また、「教義・経典」と「布教活動」とも別のものではないのかな？

私の好きな刀にも、火の神様や、鉄の神様、がいると信じているのですが、変ですかね？　誤解を恐れずに、乱暴に申し上げると、「好き嫌い」で、終わらせるもしくは、完結させられる問題ではないような気がします。　「信教の自由」は、やはり保障されるのが理想ですよね。

「武士道」だけに限定せずとも、「真善美」本気で討論できないですかね。

サイトに馴染まない問題なんでしょうか　ご隠居様　どうなんでしょう？

すみません。すっかり甘えてしまいました。20 年ぶりに父と語らった気がしました。くれぐれも御身体ご自愛ください。またいつかお会いできる日を楽しみにしております。

皆様、大変失礼致しました。これにて暇乞い申し上げます。　　内記。

[1510 へのレス] Re: 遅ればせながら・・・

投稿者：>菊久 投稿日：2003/04/06(Sun) 08:04

内記様のコメントを読ませていただき、私自身グサリときました。

私は、文章が下手なので上手く表現できないのですが、グサリと来た事は事実です。

私は、いい時代に生を受けたと思っています。なぜなら、私のようなものでさえ、好きな「刀いじり」が出来るんです。

私は、四十数年前初めて父に見せてもらった一口から、いつかは自分もと思いつつ、今やっと自分の刀が持てるようになりました。

私の友人から云わせると、「ただの鉄の棒に、よくそんな大金を払えるネ」なんて言われますが、人が受ける価値観というのはホント、十人十色・・・人それぞれ自分の考えを持っているのですから、その友人が刀をただの鉄の棒と見る事を云々する気はありませんし、変えようとも思いません。しかし、刀を離れると友人は友人なんです。

う～む、いったい私は何を書こうとしているのか・・・

兎に角（なにがトニカクか分からんけど）、自分は自分なりにと思っています。「義を通し・蛮を通さず・恩を忘れない」そんな自分を築いて生きたいと願っています。

内記様も、モータースポーツをやられていたんですネ。

私も二十年位前、二輪じゃないけどダートラやラリーを楽しんでました。

追、
　旅先からの文を楽しみにしています。

[1513] 名品刀絵図聚成　田野邊道宏著　大塚工藝社　平成１１年初版

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/04/06(Sun) 08:59

名品刀絵図聚成　田野邊道宏著　大塚工藝社　平成１１年初版
が、過日、ヤフーオークションに二回目の登場をしておりました。

落札額は７万１千円でしたが、これは相当お安く買うことができた事例でしょう。
先に出たオークションの額が１２万くらいだったか。これは入札者がでませんでした。
古書ではそれ以上しておりますし、だいたい、この本自体が古書で出ているのが『ない！』といっても過言ではありません。

私も入札をと思いましたが・・・。

考えますと、オークションでの売買の前例ができますと、次回もこれくらいの予算を考えておけばよいという基準にはなりますので、復刊されることはないことの多い刀剣関係の書籍ということもあって、再度このような名著が出るようなことがあれば要注意です。

[1513 へのレス] Re: 名品刀絵図聚成 田野邊道宏著 大塚工藝社 平成１１年初版

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/04/06(Sun) 13:38

見ました、それ。こちらで話題になってしばらくしてからの登場でしたね。
ひょっとして…業者さんも色々とチェックしているのかもしれませんね。
それにしてもでかい本でしたね。もしも本屋で買ったら持ち帰るのが大変たろうな…。

[1515] 戦前の押形集

投稿者：千手院義弘 投稿日：2003/04/08(Tue) 07:39

最近戦前の押形集の購入を考えています。古書の目録などに目を通すのですが、内容まではわかりません。
おすすめの押形集などがあればおしえてください。
財力があれば手当たりしだい買いたいのですが、それに一発勝負で買う勇気もありません。
よろしくおねがいします。

[1515 へのレス] Re: 戦前の押形集

投稿者：隠居 投稿日：2003/04/08(Tue) 20:00

戦前の押形とのご指定ですが、古来の押形では「光山押形」「土屋押形」「継平押形」などが有名です。しかしこれらは木版刷り時代のものですから、茎にして　も写実性が乏しく、専門家が研究資料とする場合を別にして学習の対象にはなりません。お勧めするのは◎および○です。

◎日本刀工辞典　藤代義雄松雄　昭和４３再版　藤代商店
◎鑑刀隋録　小泉久雄　丸善昭和１５初版５千　世界昭和４４　２万

○新刀古刀大鑑　川口陟　全２冊　南人昭和５　４．５万
△古今鍛冶備考　山田朝右衛門著　雄山昭和５０復刻５００部限定
△鍛冶平押形集　池田末松　雄山昭和５９復刊　２．６万

「日本刀工辞典」は、版の小さいのが玉にキズですが、茎の拓写は義雄氏発明ノローラーでとったため写実性に優れる。新刀篇古刀篇あり、座右の書に叶う。
「鑑刀隋録」は海軍大佐とある方が初版、少将とある二版が装丁に優れる。
押形の場合は、刃文の描写の技術、印刷技術の上から、戦前のものはかなりのハンディがあります。

[1515 へのレス] Re: 戦前の押形集

投稿者：隠居 投稿日：2003/04/08(Tue) 20:45

ここで皆さんに知って頂きたいのは古今鍛冶備考の「５００部限定」です。雄山閣や大塚工藝社が図録などの予約を取りに来るメンバーがこの５００人で、この中には博物館も含まれますから個人は４００人と言われています。
日刀保会員○千人と言いますが図録の「常連客」はたったこれだけです。この事実をこの５００部限定が示しています。

[1515 へのレス] Re: 戦前の押形集

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/04/08(Tue) 21:40

そういえば、私が買った『日本刀の近代的研究　小泉久雄著』も復刻の方で、限定５００か５５０だったと思います。

そうですか。
限定の理由はここにあったのですか。
大変よくわかりました。

[1515 へのレス] Re: 戦前の押形集

投稿者：千手院義弘 投稿日：2003/04/08(Tue) 22:26

隠居さま、大変わかりやすく説明していただきありがとうございました。
「戦前」と、こだわったのは戦中、戦後に供出や紛失や没収などで、多くの日本刀が消えました。大変残念なことです。「もしかしたら戦前の押形集を見れば現在にはない名刀たちが見れるのではないか。」と、思ったからです。
学習の為と言うよりも昔こんな刀があったという証というか資料というかそういうものがほしかったので皆様に聞いてみた次第です。
上記の本は、何年かかっても集めていきたいとおもいます。

[1515 へのレス] Re: 書き込みのある古書の味

投稿者：隠居 投稿日：2003/04/09(Wed) 06:46

真改さん、「古今鍛冶備考」全三巻は、明治時代の活字版摺り和綴じ本を活字本にしたという意味の

復刻です。そして写真製版した原本には犬養毅元首相の書き込みがあります。つまり古書業界でいう「書き込みあり」というキズ本ですが、その書き込みを見たい数寄者相手に５００部つくったという凝った本です。
「古書を買う」ことは「前の読み手の跡を引き継ぐ」ということですから、味のある書込みならこのようにファンができるわけです。この本なんか、今村長賀ら武家目利き派の鑑定家と親しく、自身も目利きであった犬養木堂翁の入れた書き込みがあることで、一体感をもつというんでしょうか前の読み手に同感できることに、感動があります。

[1521] ４０才からの刀剣趣味

投稿者：隠居 投稿日：2003/04/09(Wed) 14:41

刀剣趣味も３０才代では「初心者」で通るし,黒を見て白と云ってもバカにされません。ですが４０を過ぎて、刀も二三振り買ってから備前物を見て美濃と答えたりするようではどうでしょう。これでは２０代３０代の若い人から笑われませんか。もし笑われて頭に来たら、研究会に出て勉強してください。恥を掻くのは今のうちです。５０を越すともう恥がかけません。
囲碁の例で申しますと、二三段になっておくと、まずどこの碁会所でも相手がいますが、級クラスでは相手にされません。
刀剣もまったく同じです。入札鑑定でせめて３～４０点取れればあとが続きますが、出る日も出る日も０点や１０点では止めたくなります。これでネを上げるのは大学の先生や弁護士、医者。頭の悪いのが丸出しではプライドが許さないのでしょう。（これを押して続けた教授は私の知る中ではたった一人だけです。）
そこへいくと「商売人」は見かけによらず優秀です。居酒屋の亭主、うどん玉の工場主、みんな目利きになります。１０年もやれば５口とも堀川が並べてあっても、全部きれいに当てますよ。
１０年はすぐです。４０才のお方、頑張ってください。

[1521 へのレス] Re: ４０才からの刀剣趣味

投稿者：刀士郎 投稿日：2003/04/09(Wed) 21:16

ガーン！　どうしよう。私、丁度５０です。
ご隠居さん　こんばんは
少しハンデがほしいです。４９才からのスタートですから辛いものがあります。
若い頃には　新しいものでも簡単に覚えられたのに、チョットむつかしく思えることもさいさいです。「ヤッパリ頭が悪いだけですが。」
まあ　しかし　先日始めての入札鑑定で５口のうち３口は　なんとかスジにのっていたようなので頑張ります。
それに私「エリート」でなく「商売人」ですので　まだ見込みが残っているかも？・・・。なんて・・・。
老眼鏡の度をあげようかしらん・・・。

[1521 へのレス] Re: ４０才からの刀剣趣味

投稿者：隠居 投稿日：2003/04/10(Thu) 07:01

刀士郎さん、
５０ですでに初段くらいなら、この２，３年でぐんと進歩されること疑いなし。「頭」と云っても単

語を覚えるような頭が要るわけじゃないですから大丈夫。「好きな刀」なら自然に記憶に残ります。むしろ忘れるほうが難しいですよ。５口の中、一番好きなものをしっかり見ておかれることです。【時代という時系列】と【産地の鉄質と鍛法などの技術系列】をさぐり、タテ軸とヨコ軸の交差点にある刀工をしぼり出す、全刀工２万の中主要刀工５００、この推理ゲームは武士社会が生んだきわめて知的な遊びです。刀工に要求された時代背景の変遷、鉄と鉄器の技術史、こういうものへも自然理解が深まります。そしてなにより「天狗の鼻」をくじかれて人間がまるくなります。昔の武士がそうであったように、嫌味のない「本当の知識人」に近づけるのではないでしょうか。

[1521 へのレス] Re: ４０才からの刀剣趣味

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/04/10(Thu) 20:09

まさに『４０才からの刀剣趣味』とは、私にピッタリと当てはまりました！

でも、思うのは、最初の学び始めの頃が案外と素直に観ていたので、すっと当たっていたような気がするのに対して、今は、あれこれと思いをめぐらし過ぎてしまい、反対にみてとっているようなところがあるのが気になります。

同じ濤乱刃の刀で、水心子と二代包貞をまったく逆に見たときは、正直言って情けないどころか、真っ白になって何も考えられなくなったことがあります。

本と実物の照らし合わせはやはり、大切だ！と痛感した思い出です。

恥ずかしかった～。

[1521 へのレス] Re: ４０才からの刀剣趣味

投稿者：隠居 投稿日：2003/04/11(Fri) 06:10

真改さん、たしかに初心の頃は案外成績がいいもので、ひねくり回すとだんだん遠くなるんでしょうね。
「水心子と包貞を逆に間違う」つまり「包貞を水心子に入れた」ということですか？これは何度も新々刀濤乱刃で一本とられた者しか、こういう間違いはしません。でも包貞なら手柄山へ入れるほうが筋かもしれませんよ。（矢筈がかった刃の混じる点）
毎月例会へ出て、１年に勉強する刀はわずか６０本、これではじれったいので別に３つの会や支部に属して、かけもちで例会に走り回る熱心な人もいます。こうやると年に１５０口以上は勉強できます。全国大会の一札鑑定で天地人三位入賞者はこういう熱心な人です。

[1521 へのレス] Re: ４０才からの刀剣趣味

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/04/11(Fri) 07:51

この話は３年前の支部の特別鑑賞会でのことなのですが、５口並べた物のうちで、しかも、隣併せに並んでいたものでした。

新々刀は『無地鉄』風ということばかり考えていて、包貞の鉄を見たときにとても常にみるような『大坂新刀』とは思えなかったので、水心子の比較的働きがよくみてとれた地鉄を新刀に考えてし

まった結果でした。

同じような刃紋で、今までに見る機会もなかった名刀を前にして、それが隣り合わせに並んでいたら・・・。
徳島支部の定例会は実物の刀はほとんど見る機会はないようで、もっぱら刀剣美術誌の誌上鑑定の研究に熱心な会を持つだけのようです。
年に一度、本部から来る特別鑑賞会の機会だけが、本物の刀を見る唯一のものといっても過言ではありません。
上京して、刀剣店を回らないと、刀に触れる機会はないといってもいいでしょう。

熱心なお隣の香川支部へ参加をしたく、数年前に会員の方に聞いてみましたが、他府県の居住者は入会できないとのことでした。

まあ、本を片手に刀剣店に来られたのでは、店員さんもさぞや驚かれることでしょう！(^_^;)。

地元でも昔から熱心な先輩は、年に数度は上京しておられるようで、時間とお金が大変なようです。

[1521 へのレス] Re: ４０才からの刀剣趣味

投稿者：隠居 投稿日：2003/04/11(Fri) 08:45

例会とはイコール「入札鑑定会」のことですが、これを「特別鑑賞会」と名づけるのは、「入札鑑定をしない」ということでしょうか。日刀保では支部長が保証するかぎり幾らでも研究刀を貸し出すシステムになっていますから、毎月でも出来る筈ですから、出来ないのは講師がいないか費用が出ないとかの、何らかのよほど特別な事情がありそうですね。そして香川支部が「県外者ダメ」というのも偏狭なことですね。会員が多すぎるのでしょうか。
昔の刀屋の親父さんは、常連客には茎を見せないで刀を見せ、当て鑑定させていました。私などはこれで大分勉強しました。今でもそういう刀屋さんがいると思います。頑張ってください。

[1521 へのレス] Re: ４０才からの刀剣趣味

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/04/11(Fri) 13:26

ありがとうございます。

特別鑑賞会という名前で毎年一回だけ本部から講師を招くと同時に、刀も五口お借りして入札鑑定を致します。

月ごとの活動は前記の如く、誌上鑑定の研究みたいです。

[1529] 桜散り　早や田植え

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/04/11(Fri) 13:33

徳島県下も高校、中学校、小学校、幼稚園と、全ての入学入園が終了したようです。
例年ですと、入学シーズンになりますと、すでに桜は散って葉桜となり、入学は桜の花とともにというイメージからは程遠いものなのですが、今年はどういうわけか、桜も半分以上は残っていて入学のお祝いをして

くれているようでした。

周囲を見渡しますと、桜はもちろんのこと、桃の花、菜の花、大根の花、もくれんの花、椿にぼけと色々な花が咲いています。
珍しいところでは、御衣黄なる黄色い牡丹桜とでもいいましょうか、そのような桜の花が我が家でも咲きはじめました。

そんな中、すでに徳島でも田植えが始まり、近所でもあちこちで田植えがなされております。
早いところでは、お盆前には収穫するところもあって、なんと昔と季節の感じ方が変わってきたことかと、思ったり致します。

[1529 へのレス] Re: 桜散り　早や田植え

投稿者：花散里 投稿日：2003/04/12(Sat) 21:14

桜もそろそろ、葉桜になってきましたね。
例年は、年度末の忙しさと重なりなかなか花見もできませんが、今年は家内と愛犬と数年ぶりにゆっくりと花見ができました。
桜以外ですと、私の家の近所は「梨の花」がちょうど満開です。
「多摩川梨」として昔は有名だったそうで、私も幼い頃に梨狩りをしたことがありますが、今は宅地化が進み梨園の数も少なくなりました。

今は品種改良で、食用の植物から感じられる季節感が、昔とはすっかり変わってしまいましたね。

[1529 へのレス] Re: 桜散り　早や田植え

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/04/14(Mon) 17:40

今日「懐古園（小諸城跡）」に行って来ました。
まだ桜は蕾でした（笑）。あと一週間から十日はかかるかな？

[1529 へのレス] Re: 桜散り　早や田植え

投稿者：花散里 投稿日：2003/04/14(Mon) 22:54

＞こてつさん
関東でこれから花見ができるのは、羨ましいですね(^_^)
桜だけでも結構ですが、城（跡）との組み合わせは値千金(^O^)／

[1531] 石黒久左衛門師

投稿者：ikkak 投稿日：2003/04/13(Sun) 19:35

今月号の刀剣美術で知りましたが
刀剣研磨師の石黒久左衛門師がお亡くなりになりました。
師には不注意から錆を出してしまった刀の研ぎを以前お願いしたことがあり、

その際も御不調とのことでご子息に研いで頂いたことがあります。
師のご業績に敬意を示しご冥福をお祈りしたいと思います。

[1531 へのレス] Re: 石黒久左衛門師

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/04/14(Mon) 22:29

靖憲刀匠もお亡くなりになっていたようですね。

謹んでご冥福をお祈り致します。

[1533] たぶん『石田正宗』だろうと思う。

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/04/14(Mon) 22:26

小学校一年生の長男が、今日、学校から持って帰ってきたパンフレットの中の一つに、徳島県立博物館の１５年度第一回企画展『歴史を決めた戦い－信長の台頭から家康の覇権まで－』と題するものがありました。

長篠合戦・賤ヶ岳合戦・関ヶ原合戦・大坂の陣と称して、それぞれにゆかりのある物を展示するようです。
その中でも、刀関係で見てみますと、たった二つなのですが、その一つがなんとあの『石田正宗』のようなのです。
所蔵は東京国立博物館。石田三成所用刀　無銘　正宗
とあります。
間違いないでしょうか？

あともう一つは、賤ヶ岳合戦のコーナーでの『加須屋真雄所用大身槍　銘　助光』です。
長浜城歴史博物館蔵とあります。
この由来がわかりませんので、ご存知の方がいらっしゃいましたら、ぜひここでお教え願えればと存じます。
m(__)m。

また、５月１１日には鉄砲と長篠合戦と題して、日本城郭史学会代表の西ヶ谷恭弘氏の講演も企画されているようです。

徳島という地方での企画展ですが、時々、良いのをやるんですわ！
前にやった『甲冑展』なんかも圧巻でした。
刀に入る前の時期のことでしたが、圧倒された記憶があります。

蜂須賀家伝来の刀の一振りでも県として、買って欲しいのですが、予算がないのでしょうかね～。

お隣香川には、京極家伝来の『にっかり青江』を市の予算でちゃんと買ってるし、葦葉郷でしたか、これなどは寄贈されているのですよ！
徳島でも奇特な御仁はいらっしゃいませんでしょうか。
天下の大塚製薬とか天下の日亜科学（世界初の青色発光ダイオードの開発で有名）とか、世界に通用する企業もあるのに、もう一つ徳島の昔の文化継承に対しての何かがないような気がします。

岡山の林原美術館のようなものがあれば最高だなと思います。

話がそれましたが、平成１５年４月２２日から５月２５日まで開催しますので、隣県の皆様はぜひおこし下さいますよう、お願い申し上げます。
m(__)m。

[1533 へのレス] Re: たぶん『石田正宗』だろうと思う。
投稿者：花散里 投稿日：2003/04/14(Mon) 22:52

＞『加須屋真雄所用大身槍　銘　助光』

別名　糟谷真雄（かすや　さねお）　賤ヶ岳七本槍の一人、でございます m(__)m

[1533 へのレス] Re: たぶん『石田正宗』だろうと思う。
投稿者：真改 2001 投稿日：2003/04/15(Tue) 22:02

七本槍のお一人でしたか！

ご教示ありがとうございます。m(__)m。

あとの６人は誰でしょうか？なんて聞いたら怒られますか？(^_^;)。

[1533 へのレス] Re: たぶん『石田正宗』だろうと思う。
投稿者：野崎 投稿日：2003/04/15(Tue) 23:08

志津（賤）が嶽七本槍は：
　『常山紀談』では福島市松（正則）、加藤虎之介（清正）、加藤孫六郎（嘉明）、片桐助作（且元）、平野権平（長泰）、脇坂陣内（安治）、糟屋助右衛門（武則）の七人でした。手柄筆頭は福島正則で五千石を受けています。

[1533 へのレス] Re: たぶん『石田正宗』だろうと思う。
投稿者：花散里 投稿日：2003/04/15(Tue) 23:30

野崎先生の仰るとおりです。
糟「谷」ではなく、糟「屋」でした(^_^;)m(__)m

[1533 へのレス] Re: たぶん『石田正宗』だろうと思う。
投稿者：真改 2001 投稿日：2003/04/17(Thu) 17:45

七本槍のご解説ありがとうございます。m(__)m。

[1537] ははは・・・

投稿者：野崎 投稿日：2003/04/15(Tue) 21:35

いやー　疲れた（『投稿画像掲示板』参照）。面白いけれど黙っていて「日本の最高権威である『日本刀電脳刀剣倶楽部』も私の意見を認めた」などと思われても困りますのでね。
　日本語訳にも苦労しました。あ,そこの方、『尊皇攘夷！天誅！』などと言わないで下さいね。

[1537 へのレス] Re: ははは・・・

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/04/15(Tue) 21:59

アメリカにも日刀保の支部ができるそうですので、そちらでの討論も面白いかなと思います。

野崎先生。お疲れ様でした。
ｎｉｆｔｙの翻訳も変になるので、大体の意味しか判りませんでしたので、大変よく分かる解説で助かりました。

帝の剣か～。
でも、ロマンある展開で、そういう見方もあるのかと感心したりしておりました。(^_^;)。

日本の最高権威と思われては、ホント、困っちまいます。(>_<)。

[1537 へのレス] Re: ははは・・・

投稿者：花散里 投稿日：2003/04/15(Tue) 23:35

野崎先生に「負んぶに抱っこ」だった私が言うのも変ですが、面白かったですね。
「清光」から、正宗・御剣にまで話が展開するとは・・・(^_^)

[1537 へのレス] Re: 間違っていたら・・

投稿者：野崎 投稿日：2003/04/17(Thu) 05:33

　私の反論、和訳もつけてありますので専門家から見ておかしいところがあったら教えてください。
　末備前に二工出来があるのは知っていますが清光の作品もそうなのか確信はありません。

[1537 へのレス] Re: ははは・・・

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/04/17(Thu) 07:52

詳細は隠居様にご解説を頂ければ幸いですが、末備前の刀全般について『刀剣鑑定読本』から抜粋してみますと、
『焼き幅広く、匂い本位でまれに沸づいたものがある。』とあります。

相州伝と見紛うばかりの備前物ということになれば、相伝備前といわれる南北朝期の『長義』を彷彿とさせます。

もっとも、得能一男氏の『間違いだらけの日本刀選び』の中には、『刃紋と地金の関係』に話が及び、

備前であっても相州風であるというのは『最盛期の代表的な鍛錬法によって製作されたものが、そうであった。』ということで、『大模様の刃紋を焼いた場合は、地金は大板目。直刃を主に焼いている時代には、小板目にならざるを得なかった。』と解説されています。

ようするに、刃紋と地金の関係は、どの刀工にもどの製作地にもあてはまる原則なのだということと解説されております。

[1537 へのレス] Re: ははは・・・

投稿者：隠居 投稿日：2003/04/17(Thu) 19:10

こんばんは、今、問題の文章をみました。スティーブさんですか、外国の方とすれば日本刀についてご存知のほうなのでしょうね。でも、ハンディをつけないで物を申しますと、無茶苦茶です。
１． まず、正宗を日本のトップ鍛冶のように捉えているのがなんとも片腹痛いところです。「ふじやま、げいしゃ」が日本の代表というようなものとすれば止むを得ませんが。
２． そして次に南北朝初期の正宗と、室町末期の清光とを対比して論じることも意味をなしていません。
３． さらに、地景と映りとを取り違えているか、あるいはチケイそのものが理解されていないようです。
４． そして本論から外れますが、末備前に「沸本位の相州風のもの」があるか？という点ですが、これはないです。
「希に沸づいたものがある」との説は間違ってはいませんが、百口中一口もあるわけではありません。「刃中に荒沸がついたものがごくまれにある」のはかなり末備前を知り尽くした者のいうことです。「沸出来はない」と考えた方がまともでしょう。

こうして考えますと、国際交流というのはしんどいですね。年寄ではあきまへん。

[1537 へのレス] Re: いや。その・・・

投稿者：野崎 投稿日：2003/04/17(Thu) 20:34

皆さま、援護射撃を有難うございます。スティーブさんのＨＰを拝見しますとビジネスがらみのようで、ご商売の邪魔をしてはいけないと、控え目に言ったのですが・・・。

[1537 へのレス] Re: ははは・・・

投稿者：隠居 投稿日：2003/04/18(Fri) 06:12

野崎さん、業者の方ですか。日本の業者でもこういうレベルはたくさんいますね。ちょっとかじって商売をはじめますから、心臓はつよいものです。

[1537 へのレス] Re: ははは・・・

投稿者：御刀天国 投稿日：2003/04/18(Fri) 13:11

初めまして。小生はカナダ在住の愛刀家です。この度のスティーブさんの投稿には考えさせられるものがありました。外国人愛刀家の抱える現実を垣間見た思いです。日本刀について学びたい外国

人はたくさんいると思いますが大きな壁があります。言葉の問題もさることながら、最大の壁は良き指導者がいないことと、勉強用の刀剣の不足です。勢い書物に頼らざるを得ませんが、本からは絶対学べないのが地金の働きや鉄味等です。スティーブさんも地景を誤解しているようですが、これは、彼の罪というより、本から学ぶ知識の限界でしょう。また、骨董店やガンショウなどで手に入れることのできる刀剣にはコンディションの悪いものが多く、雑刀、偽物等、いわゆるまともな物が少ないのです。シカゴ、フロリダ等の大きな刀剣会に属しているならともかく、正宗はおろか古刀上作を目にする機会も、なかなかありません。それでもなんとか勉強しようとしている人もたくさんいますので、日本の皆様応援してくださいますようお願い申しあげます。

[1537 へのレス] Re: ははは・・・

投稿者：守重 投稿日：2003/04/18(Fri) 13:49

ある本の著者が間違って翻訳したり読み間違えたものを本に掲載してしまうと、その言葉が常用化されてしまうようです。その一つが「刃切れ」ではないでしょうか。米国では殆どの人が「HAGIRI」と言う言葉を使っています。日本人でさえ、刀剣用語の意味だけでなく読みさえ出来ない難しい漢字も頻出しています。外国人に理解できないのも尤もです。

[1537 へのレス] Re: ご尤もです

投稿者：>隠居 投稿日：2003/04/18(Fri) 15:58

御刀天国さん、はじめまして、仰ること一々ご尤もです。
私の知っている米国人愛刀家は、一人はハワイの大工さんで、もうお一人はロスのビジネスマンですが、毎年日本へ来られるだけあって「当て鑑定」にも参加されたり、中々の目利きです。
この方のように、日本に来られると二三回のことで大いに違うのですがね。せめて御地での展覧会などで、しっかりした刀をご覧になる機会がありますように、お祈りしておきます。ウツリとかチケイとかは、実際にご覧になるほかないですからね。

[1537 へのレス] Re: ははは・・・

投稿者：那太郎 投稿日：2003/04/18(Fri) 20:32<HOME>

野崎先生、お疲れ様です。先生のスマートな対応ぶりに感銘しておりました。
こう言った場面は結構ありまして、御刀天国さん同様、日頃の現実を垣間見る思いは同感です。自己流で学んだ場合には簡単な事がいつまでも分からなかったりしますが、文化や歴史の全く違う環境での独学は、根本的な思考の違いから、とんでもない方向に発展する可能性もありますから要注意ですね！しかし学習意慾旺盛な方は沢山いますから正しく勉強されている方々も沢山います。一昔前バブルの時期に多くの名刀が日本に買われて行きましたが、彼等にとっては、知識の薄さから多くの名品を逃した訳で、その経験からさらに学習ブームが高まっています。また欧州には騎士道があり、武士道との共通点も多くありますので文化や歴史に対する背景も相互理解し易い部分もあります。またその中でも全く正反対な部分等もあり、大好きな刀剣を通してですとより勉強し易いのではないでしょうか。また逆に私達が西洋の歴史や武器武具の勉強をする事も有意義です。

[1537 へのレス] Re: ははは・・・

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/04/18(Fri) 20:33

御刀天国さん。
はじめまして。真改 2001 と申します。
よろしくお願い致します。

言葉の障害さえなければ、置かれている立場は地方の私のような者の現状とよく似ているようです。

もっとも、拝見させていただける諸先輩方がいるだけ、恵まれた環境といえます。

スティーブさんの提供された画像で、これだけのコミュニケーションがとれました。
言語の違いはあれど、画像を中心に色々お話ができれば、少しずつでも何か得られるものがあるのではと期待するものです。

これに懲りませず、どんどん画像や投稿をお願いできればと存じます。

スティーブさん。
☆大刀剣市に合わせて来日できれば、素晴らしい通訳が期待でき、また、英語もできる刀剣商さんもいらっしゃいますし、実際に刀を拝見しながら、楽しく過ごせると思います。
実際、大刀剣市のある場面では、刀剣商さんと外国の方の英語での会話で売買が成立していたようでした。
外人さんの刀剣商の方もいらっしゃいますしね！

[1537 へのレス] Re: どうも・・・

投稿者：野崎 投稿日：2003/04/18(Fri) 21:25

身の程知らずでしたね。英語ぺらぺらの方々が笑いながら見ておられた。しかも世界中から・・・。

[1537 へのレス] Re: ははは・・・

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/04/18(Fri) 22:13

野崎先生。
そんな風に言わないで下さい。

先生のおかけで、英語のできない私などは、どんなにありがたいでしょう。
また、先生のおかげで、今回のようにより良い方向に投稿も展開したと思います。

これからも、どうかお助け下さいますよう、お願い申し上げます。

[1537 へのレス] Re: ははは・・・

投稿者：那太郎 投稿日：2003/04/19(Sat) 00:19<HOME>

先生、とんでもございません。(^^;)
Mr.Nozaki のおかげで私達も大変助かっております。

[1537 へのレス] Re: ははは・・・

投稿者：御刀天国 投稿日：2003/04/19(Sat) 13:37

えー、こちらは今復活祭のロングウィークエンドです。のんびりとさせて貰っています。ところで身の恥を申すようですが、私も英語が苦手でして、(^^ゞ　野崎先生のお陰で助かっておりますので、これからも宜しくお願い致します。さて、私の周りのカナダ人愛刀家の所蔵品を見せて貰いますと、本当に日本刀の美しさを理解しているのか、いささか心もとないものがありますが、皆親日家であり、日本の文化、歴史等にも関心が高いので、私も出来るだけ、彼らの手助けをしたいと考えております。が、悲しい事に私自身も日本を離れて以来、鑑識も足踏み状態で、なかなかその意を尽くせないのが現状です。そのような時にこのサイトに巡り会ったわけですが、ここに御参加の先輩諸氏は、たいへん博識で、日本刀に対する造詣も深いという事が、よく判りますので、何卒、これからもご指導の程宜しくお願い申し上げます。m(__)m

[1537 へのレス] Re: ははは・・・

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/04/20(Sun) 18:35

初めまして、御刀天国さん。
♪かたな　かたな　かたな…ってお名前の元ネタは「お魚天国」ですね？
…うまい。ニンマリしてしまいました。よろしくお願いしま～す。

[1558] 面白くなりそうですね

投稿者：ikkak 投稿日：2003/04/20(Sun) 15:19

スティーブさんのパワーには圧倒されました。
持論を構築し安易に権威に盲従しない態度はさすが西洋人！

協会にもアメリカ支部ができたそうですが
審査の判断基準を明示しない今のやり方が論理を重視する西洋人相手に
どこまで通用するのでしょう。私も仕事で西洋人相手にしますが論理的に納得させない限り動きません。
特にビジネスがらみになるとシビアですよ。
今は勉強中でおとなしいかもしれませんが軒を貸して母屋をなんとやらに
なるかもしれません。
ジャンルは違いますがフィギュアスケートの団体が分裂しましたね

話は変わりますが今月号の銀座情報の政光いいですねー

[1558 へのレス] Re: 面白くなりそうですね

投稿者：野崎 投稿日：2003/04/20(Sun) 18:51

刀身の科学的分析も今はマサチュセッツ工科大学の方が進んでいるとか聞きましたね。
正宗も村正も惜しげもなく切断して断面を観察してから、電子ビーム溶接でまたくっつけて・・・というジョークを聞いたことがありました。ダマスカス刀の復元で知られるスタンフォード大学のシェルビー教授にも日本刀の論文があります。
あ、出島屋さん、フォローをありがとうございました。

[1558 へのレス] Re: 面白くなりそうですね

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/04/20(Sun) 22:53

加賀清光の可能性で日本語にて返信を付けてみました。
正宗を観て、五ヶ伝もご存知で、外国の方でも相当の知識があると見ましたが、この論争、いつまで続くのでしょうか？(^_^;)。

『面白くなりそうですね。』＞って、まだ続くということですよね！？(^_^;)。
ikkak さんも、ご意見をお願いします。m(__)m。

[1558 へのレス] Re: 資料が出尽くすまで

投稿者：野崎 投稿日：2003/04/21(Mon) 06:23

双方一応の意見が出たら終わりだと思いますが。
真改さんのご意見も簡単に英訳してみます。

[1558 へのレス] Re: 面白くなりそうですね

投稿者：那太郎 投稿日：2003/04/21(Mon) 16:35<HOME>

＞Ikkaku さん
＞「持論を構築し安易に権威に盲従しない態度はさすが西洋人！」
ん～っ！面白いっ！
自分などいつも「ワガママで自分勝手な西洋人」と面倒臭くなってしまうのですが、今度から、こう考えるようにします（笑）
日本人は権威に盲従し過ぎですかね！？

[1558 へのレス] Re: 面白くなりそうですね

投稿者：真改２００１ 投稿日：2003/04/21(Mon) 20:34

野崎先生。
いつもお手数をおかけ致します。m(__)m。

[1558へのレス] 少し考えてみませんか？

投稿者：越中国住人 投稿日：2003/04/22(Tue) 23:26

皆様のお話を聞いていて疑問に思った事があります。
　まず審査の基準についてですが、細かく基準を明文化すると何万人といる刀工について一人１ページとしても何万ページになるでしょうし、個々の刀工のどの程度の作品についてはどのランクに位置付けるか？、保存状態もどこまで許されるか？一振りに欠点と良い部分が混在する際には、どう相殺して判断を下すのか、など上げるときりが無い様に思えます。それこそ何十万ページにもなると思います。それよりは、自分に関係のある個々の事例について問い合わせをするほうが早いと思います。
それに世の中には、純粋に刀の研究に役立てる人もいますが、一部の業者による偽物作りの参考書として審査の盲点を探したり、鑑定のポイントとなる部分の改ざんを助長するととになると考えられ、なんでもかんでも情報公開というのは、返って混乱を生じるような気がします。
現在でも、個々の事例について問い合わせれば答えは返ってくるので問題は無いと思います。
　次にアメリカで正宗でも村正でも切断してという話ですが、それは日本刀を単なる金属の塊としてしか認識していないと考えられます。病気でもない元気な人に学術研究のために身体を切断して実験するようなものです。その後は、しっかり復元して死ぬ事は無いから問題ないという感じで不快です。ジョークでもそれを言葉に出すという事は、もし可能ならそれを行う人であると考えます。わたし個人としては、健全な名刀を破壊してまで科学的な分析などして欲しくありません。
　そもそも日本の習慣や文化、気候風土、思想などを理解しなければ日本刀の真の価値は、理解できないと思います。そう言ったものを無視してアメリカの価値観や倫理感を持ち込み、なんでも理論で割り切れるなどと考えているとしたらそれこそ論外です。
　「本当に良いものは変える必要がない」という言葉が、欧州の物造りをする人の考え方だと聞いた事があります。良くない点は直すべきですが、なんでもかんでも変えれば良いと言うことではないはずです。
アメリカの人も日本刀のよさを理解したいのなら自分達の考えや習慣を押し付けるだけでなくそれを作った国の文化や習慣を真剣に謙虚に学ぶべきだと考えます。
謙虚さが無い人は、勉強、スポーツなど、すべてにおいて進歩しません。
　最後に権威に盲従しているのはどこの国も同じだと思います。アメリカであっても大学教授と一般のサラリーマンが、違った意見を言えば、少しおかしいと思っても大学教授の言う事を支持する人が多いと思います。
皆様の意見にことごとくケチをつけているみたいで恐縮ですが、日本刀を日本の文化そのものと考えている者としてお話しました。
勿論、アメリカ人が、全部おかしいといっているわけでもありません。コンプトン博士のような立派な方もいらっしゃるわけですし、アメリカの刀剣会の方も頑張っておられることですし。
他意はありません。異文化を受け入れるにあたり、なんでもＯＫで良いのかを考えるきっかけになればと思いました。
気分を害された方がいらっしゃるようでしたらお詫びします。

[1558へのレス] Re: 考えてみませんか

投稿者：隠居 投稿日：2003/04/23(Wed) 15:50

越中国住人様のご意見は、つぎの三点だと思います。
① 刀の審査内容など、刀の出来口に関するくわしい資料を書物という形にすると膨大なものになるし、偽物づくりのタネ本になる可能性もある。だから審査に関する資料は問合せた場合にのみ開示することで十分事足りる。
② 名刀を切断して科学的に分析するという話に対しては“ＮＯ”
③ 日本の習慣や文化、気候風土、思想などを理解しなければ日本刀の真の価値は、理解できないと思う。

① の点ですが、審査の内容については私の知るところでは問合せに対しても開示はなかったと思うのですが、最近は違ってきましたのでしょうか？
それとも、不合格の場合にのみ、その理由を開示するのでしょうか。
しかし住人さんがここで述べておられることは、情報というものは多すぎてももて余すことになる、という意味のことでありますから、これに対しては異存ありません。

②マサチュセッツ工大の話が本当だとすれば、それは仰るように文化財に対する破壊行為です。一度切断したものを元どうりに継ぐことは、刀のように複雑な工程を経て造られたものの場合、出来るわけがありません。これは１００％ジョークでしょう。
しかし、金属の組成を調べるためには切断して各構成部分のサンプルを取る必要がありますから、「日本刀の科学的研究・俵国一著」の場合は、切先の折れた刀など廃棄される刀を集めて資料にしています。この研究は古来からの鉄の処理技術を調査研究することを通じて、現代の鉄鋼生産技術の改良に資さんとしたもので、「鉄は国家なり」という観点からも日本の根幹に係わる研究でもありました。室蘭製鉄所が堀井師による日本刀鍛錬所を設けたのも、このような国家的背景がありました。

③については全く異論がありません。ベネディクトの「菊と刀」が米国の対日戦争前に書かれたように、刀は日本文化と日本人の気質にふかくかかわっているもので、刀を真底知るには日本研究が欠かせないと思います。しかしその反面、「良い物は見ただけで分かる」ということも云われています。いいものは何の説明もなく、かつ誰彼を問わず分かるものなのです。つまり鑑定でなく、【鑑賞】という面で云えば、仮に十才の子供であっても良いものは一目でわかる、ということです。
たいへん矛盾した言い方ですが、パッと見ても分かるし、日本文化を勉強すれば尚一層ふかく理解できる、ということではないでしょうか。
外国人、というように広げないで、「欧米人」と限定した場合、「剣」に対する尊重の精神は（中世の佩剣式等々）日本人に似たものがありますし、事実、大東亜戦争で持ち帰った軍刀にしても殆どは大切に保存されていたようですありますから、彼らが愛刀家たり得る要素は、まずあると見られるのではないでしょうか。それにしても私達は、彼らにおかしいところがあれば、やはりその都度、発言すべきだと思います。

[1558へのレス] Re: 黒船来たり　ですね

投稿者：野崎 投稿日：2003/04/23(Wed) 20:21

海外からユニークな投稿をいただいたので話題が盛り上がりました。
昔は「日本文化を知りたければ日本語を勉強して来い」と突き放されたのですが、皆様が真面目に討議されて白熱したのは国際化が進んでいるという事でしょう。
異文化の接触は黒船の昔から難しいものでしたが、接触しないと発展はありません。他の国々からのコンタクトも楽しみにいたしております。

[1558へのレス] Re: 面白くなりそうですね

投稿者：御刀天国 投稿日：2003/04/23(Wed) 23:01

実は、私も外国人に日本刀が本当に理解できるのだろうかと、疑問に思っていた時期がありました。そんな時に、あるアメリカ人の愛刀家の書いた文章を目にしました。彼は、[我々が日本刀の勉強をするのは、安い重要候補を掘り出す為ではない。日本刀の持つ美しさを十二分に鑑賞する為だ] と書いていました。これは、たいへんな見識といえましょう。少なくとも私は耳が痛かった。その時に、こういう真面目な人が居るなら、理解できる、できないは、もはや問うところでは無い。理解しようと努力している、それが大切だと感じたわけです。それにしてもスティーブさんは、勿体無い。どなたか、近在の識者で救いの手を差し伸べてくださる方はおられませんか？

[1558へのレス] Re: 面白くなりそうですね

投稿者：ikkak 投稿日：2003/04/24(Thu) 04:54

よく日本の伝統文化といいますが日本の歴史は奈良時代からと考えても１３００年以上あります。

刀をとってみても現代までに変遷を遂げてきております。
最初に刀に反りがついたとき、「そんなの刀じゃない」という人はいたでしょう。
最初に刃を上向きに差した人を見て「へんなことするな」といって笑った人もいたでしょう。
いま一般的な化粧とぎも最初は邪道とされていたと聞きます。
現在私たちが正しいとしていることが永遠不滅のものとは限りません。

日本文化の本質とは「変わること」だと思っております。
それだからこそ我が大和民族は世界最古の王家をいただき連綿と続き、
核攻撃に耐え、有色人種でただ１国だけ G8 に参加できたのだと思います。

変化するためには刺激が必要ですし異文化や異なった考えに触れることは
「生き残る」ためには絶対必要です。日本刀に関しても同じだと思います。

異文化や異なった考えに触れるためにはまずは自分の価値観や考えを
もち、情報を公開することが必要だと思います。

外国人に日本刀の理解が広まり結果として刀に関する常識が変化していくとしてもそれは日本の「伝統文化」だと思います。

[1558 へのレス] Re: 面白くなりそうですね

投稿者：越中国住人 投稿日：2003/04/24(Thu) 21:38

基本的には、どこの国の人であろうとお互いを知ろうという真摯な心があれば相互理解は可能だと思います。
私は、留学生の支援のボランティアをしていましたので、20 カ国以上の国に親友と呼ぶべき友人がいます。勿論アメリカの人もいます。様々な国の人たちが集まり話をするとお互いにわからない事や対立する部分が出てきますが、お互いを尊敬し偏見を持たず対等に真っ直ぐな気持ちで話せば大抵はお互いに理解できます。日本刀も世界中の人に理解されることは十分に可能な魅力があると思います。
しかし相互理解には対等という事が不可欠で対等ではないとお互いを尊重できませんし、お互いを理解する事が出来ません。
今の日本刀の話においては日本人側がアメリカの考えとやり方にすべて迎合で日本のやり方を軽視している感じがします。
長い歴史の中で培われた来た文化や伝統には変化する部分と変わる事のない真理ともいうべきものがあると思います。古い伝統は、時間の経過に伴いその真理の部分が見えにくくなって来るものですが、現代に生きる私達は、見えにくくなった真理を発見し分かりやすくして次の世代に伝えていく義務があると思います。変えるべきものはかえる。しかし変える必要のないものや変えてはいけないものは変えない。
何を残し、何を変えるかの選択は大変難しいように思います。
最近の日本の状況を見ていると何もかもアメリカに迎合で自分達の祖先が培ってきたものを弊履のように扱う傾向があると思います。
欧州などは、残すべきと判断した文化や習慣は何があっても変えません。その反面、新しいものを受け入れる地盤もあるように思います。古いものと新しいものが上手く住み分けをすることが大切なのではないかと思います。美術や伝統芸能など保存の考え方はは欧州の国々に学ぶ事が多いように思います。
歴史も浅く守るべき文化も少ないアメリカから学ぶものは少ないように思います。アメリカからは、もっと別の分野においてよい所を吸収すべきだと思います。
自国の古い伝統をもたないアメリカ人が他国の伝統を理解するには他の国の人の何倍も努力しないといけないと思います。故にそれを理解しているアメリカ人に対しては、何倍も尊敬する必要があると思います。
皆さんのお話しを聞いていると根っこにある思いに違いは無いと思います。どう実践するかにおいての考えの違いがあるに過ぎません。こう言った議論は無駄ではないと確信しています。貴重な意見をありがとうございました。

[1571] ゆくへも知らぬ

投稿者：野崎 投稿日：2003/04/27(Sun) 05:37

討論は双方意見がでつくした様ですので、強力な日本側反論がなければ終結の様です。

風になびく富士の煙の空にきへて　ゆくへも知らぬわが思いかな
西行法師　『新古今和歌集』

「富士見西行」の話題などに触れたら、「私の正宗刀には富士の刃紋の側に坊主が」などといわれるかも知れませんので和歌だけにしておきました。

[1571 へのレス] Re: ゆくへも知らぬ

投稿者：御刀天国 投稿日：2003/04/27(Sun) 11:51

野崎先生、翻訳有難うございました。
正宗の隠し銘とは初耳ですが、スティーブさんがアイデアを得た文献が在るのでしょうね。享保名物牒に書いてある事を皆さん見たら、吃驚するでしょう、と思わせぶりなことを言っていますが、どなたか、享保名物牒のコピーをお持ちでしょうか？

[1571 へのレス] Re: ゆくへも知らぬ

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/04/27(Sun) 20:13

享保名物牒に書いてある事って、なんでしょう？

[1571 へのレス] Re: ゆくへも知らぬ

投稿者：野崎 投稿日：2003/04/29(Tue) 18:51

正宗は大小 41、焼失が 18、在銘もありますぞ、と言いたいのでしょうか？

[1571 へのレス] Re: ゆくへも知らぬ

投稿者：野崎 投稿日：2003/05/01(Thu) 21:44

『享保名物牒』で「御物」とあるのは「柳営御物」すなわち幕府の宝物です。明治以後に御物というと皇室の宝物になります。「正宗は皇室にたくさん入っている」などと誤解されなければいいのですが。

[1571 へのレス] Re: ゆくへも知らぬ

投稿者：御刀天国 投稿日：2003/05/02(Fri) 01:25

享保名物牒所載の正宗の刀で、上杉家の家臣だった本庄繁長の愛刀であった、本庄正宗（例の短刀ではない）が、戦後進駐軍に持ち去られて、行方不明になっているようですが、これは、大徳川家伝来で九州の神社とは関係が無いようです。この刀は、大磨上無銘で二尺一寸五分半とありますので、清光の銘とも関係無さそうですし．．．。
　　ところで、野崎先生〔常山紀談〕は、岡山藩士湯浅常山の著ということですので、ジョウザンキダンとよむのではありませんか？

[1571 へのレス] Re: 信長公記も

投稿者：野崎 投稿日：2003/05/02(Fri) 21:07

日本で書かれた中国風のタイトルの書物は漢音で読むことが多いのですが、『信長公記』は「しん

ちょうこうき」「のぶながこうき」どちらでもいいのです。
　でも『国史文献書目』などでは「じょうざん」と読んでいましたね、訂正します。

[1573] 石田正宗は見たけれど・・・。

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/04/27(Sun) 20:12

徳島県立博物館で開催中の『歴史を決めた戦い』を見てきました。

加須屋真雄の銘『助光』の槍は、数えただけでも１０以上の刃切れがあって、錆身で鞘のみが付いていました。
資料的価値が高いのでしょうね。

あと、門外不出の『柴田勝家画像』も拝見した中では印象に残りました。

で、肝心の石田正宗はどうだったかといいますと、やはり、ガラス越しでは姿の良さしかわかりません。
刃の働きは無論、地の働きなどわかろうはずもありませんでした。
刀はじかに持って見ないとダメですね。

[1573 へのレス] Re: 石田正宗は見たけれど・・・。

投稿者：野崎 投稿日：2003/04/28(Mon) 14:37

スティーブさんが気にしていましたので
「真改さんは日本語ＢＢＳに、石田正宗は大きな展示ケースの奥にあって鑑賞に不向きでした。私は日本刀の観察は手に取ってやるべきだと思っていますと書いておられます」
と投稿して置きました。

[1573 へのレス] Re: 石田正宗は見たけれど・・・。

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/04/28(Mon) 22:18

野崎先生。ありがとうございます。

正宗展の図録とにらめっこしましたが、ガラス越しに観た正宗と図録の正宗は姿が似ていますとしかいいようがない位に、比較のしようがありませんでした。

ということは、スティーブさんの『コウミツシ刀』が正宗の図録の働きと似ているといったって、私たちには画像でしか見えないわけで、それ以上に両者とも実物を見ることができないわけで、これはどこまで行っても、空回りしそうです。

[1575] 宣伝じゃないですよ～～。(^_^;)。

投稿者：真改 2001 投稿日：2003/04/27(Sun) 21:47

ここのところ、胴田貫の刀やら槍やらをここそこで『売り物』として見かけることが多くなりました。

今、知る限りネット上で売品として確認できたものが、槍３、刀１、脇差１といったところです。

槍の内２本は７０センチを超えています。しかも、一本は生茎で刀身よりも長いときてますから、持ったらどんな重さなんでしょう。(@_@;)。

胴田貫というだけでも珍しいのに、脇差も出ていたりして、大小で欲しくなったりします。(^^ゞ。

折りしも、昨日から『魔界転生』が上映され、中村嘉葎雄が柳生但馬守を演じています。中村嘉葎雄といえば、その兄は『萬屋錦之助』でご存知『子連れ狼の拝一刀』。拝一刀といえば胴田貫。

ちょっと、強引なこじつけでしたか？(^0_0^)。

[1575 へのレス] Re: 宣伝じゃないですよ～～。(^_^;)。

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/04/27(Sun) 21:55

「あずみ」の試写会はいかがだったのでしょう？
「ラスト・サムライ」は１２月の公開。まだ半年以上あるよ～っ。

[1575 へのレス] Re: 宣伝じゃないですよ～～。(^_^;)。

投稿者：花散里 投稿日：2003/04/27(Sun) 22:27

「あずみ」の試写会、先日見てきました(^O^)／
若い子ばかりと思いきや、意外と年配の方も多く来ていましたよ(^^)
内容については、私一人が投稿しても面白くないので、５月１０日に公開されてから皆さんと語り合おうと思ってますので、あしからず m(__)m

---

[1575 へのレス] Re: 同田貫の槍とは・・・

投稿者：隠居 投稿日：2003/04/29(Tue) 08:51

同田貫の大身の槍とは珍品ですね。槍のことだからキタエ（鍛え割れ、同田貫の刀には意外に多い）はないと思いますが、もし錆びておれば研ぎが厄介です。長いので天井から紐で吊って研ぐ経験者でないと、嫌がるでしょうから・・・。肥後加藤（清正公）抱え工ですから、注文打でしょう。朝鮮征伐従軍の槍であるロマンを秘めていますね。それに良い白鞘が付されていないと白鞘のやり直しがあり得ます。値は安いでしょうし、若ければ持ってみたいです。

[1579] 演武大会。

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/04/28(Mon) 21:59

「全日本新陰流演武大会」が新陰流兵法転（まろばし）会主催で開かれます。
日時：５月２５日（日）１２時～
場所：埼玉県立武道館（ＪＲ浦和駅より徒歩７分、埼玉県庁裏）

昨年見学してきましたが、確か入場無料です。
大変静かな中にも緊張感のみなぎる演武でした。

[1579へのレス] Re: 演武大会。

投稿者：ikkak 投稿日：2003/05/01(Thu) 16:45

あー行きたーい
でもその日は岐阜に行く予定が

[1581] 無題

投稿者：菊久 投稿日：2003/04/29(Tue) 07:00

27日の土曜日に友人に誘われ、大阪の生國魂（いくたま）神社で某刀剣会が主催する鑑賞会へ・・・。（初回は誰でも参加料が無しということでしたので^^;)
そのときの鑑賞刀は、「粟田口・藤原忠縄」をはじめ「菊紋・来金道」「近江石堂・一峯」など五口と参考刀「初代・忠広」等、計七口。
入札鑑定も参加したのですが、成績は話すのも「イヤ」って感じ。粟田口なんか分かりそうなものなのに・・・なさけない(-_-;)

毎月第４日曜日に同場所で、開催しているということでしたので興味のある方はどうぞということでした。

[1581へのレス] Re: 無題

投稿者：菊久 投稿日：2003/04/29(Tue) 07:01

27日土曜日→27日日曜日の間違い。なさけない・・・(-_-;)

[1581へのレス] Re: 無題

投稿者：鎬 投稿日：2003/04/29(Tue) 08:52<HOME>

誘ってくれたのに参加できずにごめんね
また「松ちゃん」の一人舞台だったんでしょう。
某刀匠も来られて盛り上がったと
聞いています。次回は是非ご一緒させてください。

[1581へのレス] Re: 無題

投稿者：隠居 投稿日：2003/04/29(Tue) 08:59

菊久さん、刀剣保存会でしたか？
「なさけない」なんて思わないでください。誰でもはじめはそうですし、何十年経っても、時にそういう場合もありますよ。

[1581へのレス] Re: 無題

投稿者：菊久 投稿日：2003/04/29(Tue) 09:35

ご隠居さん、お慰めのお言葉いたみいります。
今後精進していきたいと思っております。

鎬さん、
こちらこそ、また今度機会があればよろしくお願いします。

[1588] 即売会

投稿者：ikkak 投稿日：2003/05/01(Thu) 16:43

GW ですねー

Hey! Say!名刀会
ここは現代刀メインというポリシーがはっきりしたお店です。
鶯谷のいかがわしさ満開の場所にあります。
現代刀に力いれてあるだけあっておいてあるものはどれも現代刀匠の逸品ばかり、
値段が高いというのではなく魅力的な刀という意味ですのでお間違いなく。
やっぱりそれぞれのお店が力をいれている(店主の好み)ジャンルというものがあるようで
刀を買うときはそこんとこ見極めたほうがいいかも
宗勉刀匠のおそらく造り短刀がいかったー。そうそうおそらくの大刀もありました。
「大小でどうですか、宗勉刀匠もお年なので新作はもううでてこないんじゃないかなー」などどセールストークもお上手！若手の刀匠の情報も豊かでした。

Big Circle 即売会
東京駅はやっぱ混んでました。今回はあまり特色を出せなかったように思います。でもお客さんはいっぱいでした。

原宿
品揃えはここが一番か？古刀から現代刀まで値段の幅も広いです。
しかし重刀も安くなったものです。
全体的にいままでに比べて価格帯がガクンと下がっててびっくりしました。
入門用？のものなど X 万円から、Bidders や Yahoo でせるよりお徳じゃないかな？
近くなので明日もいこうかなー

少々わけありでインターネット喫茶から打ってます。申し訳ありませんがメルアドもフリーメールです。

[1588 へのレス] Re: 即売会

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/05/02(Fri) 01:11

こんにちは、ikkak さん、こてつです。
あれ～？僕も今日（一日）東京大○、原宿、鶯谷と行って来ました。
…ニアミスしてるかも？

大○、刀の枕を買って帰ってきました。…値上がりしてました。
肥前刀が多かったです。何でだろ～♪
大慶直胤の幅広の脇差が目立ってましたね。

原宿のお店も初日のせいもあってか混んでいました。
連休の谷間ではありましたが、場所柄、若い男性のお客さんも入ってきたりして…。
あと何故か小奇麗な女性を連れたシャチョさん風の方…(*｀▽´*)。どーゆー関係？
そうそう、何故か長谷部の寸延び短刀の重刀が三口位出ていたような…。
価格を見ると…仰るとおり、全体的に確かに安くなっているような気がしますね。
店員の若いアンちゃんにそう話しますと「精一杯勉強してますから～」とのこと。…だったら重刀、触らしてくれっちゅうの。

平成～には一口、「おそらく作り」の短刀を委託で置かせていただいています。（宗刀匠のものではありません）
もう五ヶ月ほど預けっぱなしなので様子を見に行ったんですが…。売れまへんなぁ…。
不景気になると特に現代刀のリセールは難しいですね。
展示会中では無かったんですが、上林恒平刀匠の刀を見せていただきました。宮入一門なんですが…かなり良かったです。
作刀数も少ないみたいですね。

[1588 へのレス] Re: 即売会

投稿者：ikkak 投稿日：2003/05/03(Sat) 04:24

こてつさん
BigCircle は小物がけっこう充実してるんですよね。
本もけっこうそろえているので楽しめます。
原宿は確かに長谷部の売り物が多かったですね。コレクターの放出でしょうか
もらってきた一覧なくしちゃったので名前が思い出せませんが
おそらく造りの短刀とはごっつい体配のやつですか？
拝見しましたがびびりましたよ。

[1588 へのレス] Re: 即売会

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/05/03(Sat) 16:04

そうですね、ごっついです。
元幅約一寸、刃長２９センチ、表裏に樋が掻いてあります。
白鞘が少し割れてきています。
早く良い嫁ぎ先が見つかって欲しいです…(　┬_┬)

[1592] 堀井刀匠

投稿者：白龍斎 投稿日：2003/05/02(Fri) 00:58

以前、堀井秀明刀匠作の短刀「戦艦三笠残鉄」でお世話になった者です。
今回の連休を利用して、北海道室蘭市にある日本製綱所の「瑞泉鍛刀所」へ行ってきました。現在は四代堀井胤匡（タネタダ）刀匠が作刀しています。私の突然の訪問にも拘らず刀匠自ら対応して下さいました。展示館には、初代からの作品が展示されていました。掘井家は、献上刀等皇室との関わりが深い事を実感しま

した。元帥刀を初めて拝見できた事や秀明（俊秀）刀匠は、２０００振り余りを作刀し、記録を作成しているため、今でも贋作の確認に問い合わせがあること等々、私の素人の質問にも親切に対応して下さいました。刀匠の方と直接お話することも大変有意義なことと実感しました。

[1592 へのレス] Re: 堀井刀匠

投稿者：隠居 投稿日：2003/05/02(Fri) 18:55

白龍斉さん、室蘭まで行かれましたか！　お住いが北海道ですか。われわれでは考え付かぬ北の町ですから・・・。
しかし、いい経験をされましたね。現代刀刀匠として四代続くことは大したことです。人柄のよい堀井刀匠のご清栄を祈りたい気持ちです。

[1592 へのレス] Re: 堀井刀匠

投稿者：真改２００１ 投稿日：2003/05/03(Sat) 18:50

元帥刀がどんなものであったか、詳細が知りたいです。m(__)m。
外装も付いていたのでしょうか？

最近、特に軍刀（内外ともに）に興味が沸いてまいりましたので、最高峰に位置する元帥刀がどのようなものであったか、興味津々です。

また、楽しいレポートがありましたら、よろしくお願い致します。

[1592 へのレス] Re: 堀井刀匠

投稿者：白龍斎 投稿日：2003/05/03(Sat) 22:13

隠居様
初代（瑞泉鍛刀所とは違います。）堀井胤吉は、野鍛冶から大慶直胤と月山貞吉の教えを受け、宮内省に認められた明治期の名工です。但し、生活は相当厳しかったそうです。胤吉刀匠の現在の評価等分かれば、ご教示下さい。
真改様
元帥刀について、パンフレットに写真があるのですが画像のＵＰ方法が分からないので文書にて、ＵＰします。長さ：74.8cm　反り：1.7cm　表銘：昭和十八年六月吉日裏銘:秀俊謹作　薙刀樋と鎬筋に棒樋あり　切先は菖蒲造りに似ている。目釘孔なし　　刃文：細直刃　全体としてサーベルに反りをつけたような感じでした。堀井四代曰く「昭和一八年六月宮内省より十振を拝命。死を覚悟で謹作し完成半ばにて死去。宮内省の許可の下、後継者が完成させる。作刀については、細かい注文事項があるとの事。例えば、銘は、名前のみで苗字等は入れない。目釘孔は、宮内省が受取ってからその後にあける。」従って、この元帥刀は、誰かに下賜した物では無いので、拵えは付いていない。さらに刀匠曰く「畑俊六の元帥刀が会津の博物館に展示してあると聞いた事がある。」畑俊六、私の記憶では、会津出身の陸軍大将、陸軍大臣、東京裁判で受刑（違っているかも）私の推測では、会津の武家屋敷か、日進館あたりに展示してあるように想像する。今度、調べて観に行きたいと思います。その時は、また、ＵＰします。

[1592 へのレス] Re: 堀井刀匠

投稿者：真改２００１ 投稿日：2003/05/04(Sun) 06:19

詳細なレポートをありがとうございました。m(__)m。

『会津出身の陸軍大将、陸軍大臣、東京裁判で受刑（違っているかも）私の推測では、会津の武家屋敷か、日進館あたりに展示してあるように想像する。今度、調べて観に行きたいと思います。その時は、また、ＵＰします。』

＞楽しみにしております。
よろしくお願いします。m(__)m

[1592 へのレス] Re: 堀井刀匠

投稿者：隠居 投稿日：2003/05/04(Sun) 06:29

白龍斉様　胤吉刀の評価ですが、私は実刀を経眼したこともなくどこかにあったという風聞も知りません。直胤門下としては最末期ですから、廃刀令にまともにかかり作刀数が少ないものと思われます。
「胤吉」の名前からみて、直胤と貞吉の両師からとった名前のように思われ、貞吉の愛弟子ではないでしょうか。だからこそ胤吉が貞一と共に宮内省鍛冶になったようですね。

そう云えば、会津若松の記念館らしき場所に元帥刀があったような記憶がありますね。

[1604] GW ですねー 2

投稿者：ikkak 投稿日：2003/05/05(Mon) 19:30

拙メルマガの読者様から情報があり、江戸東京博物館で催されている
「武蔵」いってきました。
さすが東京都！すんごいのがありました。

柳生兵庫助所用の大太刀！中心だけで普通の刀くらいあります。
確か津本陽さんの小説「柳生兵庫助」にでてきましたな。拵つき

柳生連也が家光の御前で柳生宗冬の右親指を打ち砕いた
木刀、つい最近漫画にでてました。血痕残ってます。

武蔵が門人の沢村友好に送った了戒

刀装具ではおなじみ海鼠透かしになぜか又七の名品も。

小笠原信夫先生の解説つき、ほかにも塚原卜伝の木刀など
武蔵自身に関するものは少なかったけど名品がそろってました。

[1604へのレス] Re: GWですねー２

投稿者：真改 2003 投稿日：2003/05/07(Wed) 20:06

ウインドウズのアップ程度が途中でおかしくなったらしくて、２日ほど入院しておりました。

携帯やパソコンがないと妙に落ち着かなくなるのは、病気？
復旧するまで、いらいらしてしまいました。

それにしても、ikkak さんのレポートの内容は凄いですね。
実在の人物の所持していた刀なんて、美術刀剣とは一味違った趣を感じます。

今度、上京したときには行ってみたいと思います。

[1605] 穴のあいた海部刀

投稿者：野崎 投稿日：2003/05/05(Mon) 23:54

ネットサーフィンしていたら徳島県で刃先に穴をあけた海部刀の大小が見つかったとか。
古代の刀、出土刀に刃先に人為的に穴をあけたものがあります。何か振り回すと風がおこって不気味な音がするので降魔とか呪術的用途があったのではないかと言われています。あの海部刀も振り回したら音がするかも。
画像掲示板で質問されたウィリアムズさんから私宛にも御礼のメールがきていました。フロリダ在住の方だそうです。

[1605へのレス] Re: 穴のあいた海部刀

投稿者：真改 2003 投稿日：2003/05/07(Wed) 20:11

パソコンが復帰して、ノートンインターネットセキュリティー２００３を導入したついでに、『真改2003』とさせて頂きました。

まあ、自分の中での進化ですので、基本は『真改』にあり。ということで・・・。

さて、海部刀っていうのは、以前に画像にアップした棟が『のこぎり状』になった刀をご紹介したことがありますが、まことに奇抜な感じがします。
それは、実用からくるものとか、こんなのがあればというアイデアが優先されたからでしょうか。

刃先に穴を開けた海部刀の話題は、知りませんでした。
貴重な情報をありがとうございました。

[1608] あずみを見て参りました～～。(^。^)y-.。o○

投稿者：真改 2003 投稿日：2003/05/10(Sat) 19:55

本日から上映を開始されました『あずみ』をさっそく見て参りました。
花散里さんは、もうすでに試写会にてご覧になっているので、やっとお話ができると、てぐすねをひいて待

っていたのではないでしょうか？(^・^)。

まだこれから見る人のために、多くを語ることはできませんね。

でも、面白かったですよ！

しかし、『オダギリジョー』扮する『美女丸』は、仮面ライダークウガで一躍有名になった人なので、私の中、いえいえ、私たち家族の中では永遠の『ヒーロー』なので、今ひとつ、根っからの悪人に見えませんでした。俳優さんって、当たれば売れるけれど、そのイメージが定着したらそれを払拭するのって、俳優さん本人もそうだけれど、私たち視聴者側も大変です。

それを思うと、来週見る予定の『魔界転生』の窪塚さんは、まったく知らない人なので、そのまま、『あ～～、悪いやっちゃな～～。』と思えそうです。!(^^)!。

[1608へのレス] Re: 多田満仲の息子

投稿者：野崎 投稿日：2003/05/10(Sat) 20:14

「美女丸」という名前は悪魔的な美青年に向いているので白土三平の劇画にも同名の人物が出てきました。モデルは源氏の棟梁多田満仲の子「美丈丸」で、非行に走り父親から死を命じられた時、忠臣が自分の息子を代わりに切腹させた。それで改心して立派な武士になったという伝説があります。

シュワルツエネッカーのように善玉をやれば泣く子も笑い、悪役をやれば大人も震え上がる様な名優はなかなか出ませんね。

[1608へのレス] Re: あずみを見て参りました～～。(^。^)y-.。o○

投稿者：ikkak 投稿日：2003/05/11(Sun) 04:50

真改さん早いですねー
新聞の寸評も見ましたがクライマックスはカメラワーク等すごいらしいですねー

野崎先生は漫画から伝記、映画までほんとに博識ですねー。

[1608へのレス] Re: あずみを見て参りました～～。(^。^)y-.。o○

投稿者：真改2003 投稿日：2003/05/11(Sun) 07:14

たしかに、米国と比較すると日本は・・・。
役どころが変わっても違和感があまり沸かないのが米国ですね。

ロボコップの俳優さんが、イメージが固定するのはイヤといって、辞めたということを聞いたことがありますが、シリーズを持つということは俳優さんにとっては、良い面悪い面とあるようです。

シルベスタースタローンが、ロッキーから転じて、見事な肉体でランボーを演じたときは、大変驚いたものです。

[1608へのレス] Re: あずみを見て参りました～～。(^。^)y-.。o○

投稿者：花散里 投稿日：2003/05/13(Tue) 00:25

公開初日に見に行かれるとは、真改さんもなかなか・・・(^^)
「あずみ」好調のようですね。
確かに一般的な意味の「時代劇」とは違うかもしれませんが、それはそれで構わないと思います。
「アイドル」が主演してベテランが脇を固める、という構図は今だからではありません。
昔からそうであったような気がします。(美空ひばりの若い頃など・・・)
アイドルが出演しているからこそ、若い人たちも足を運びますし、時代劇の良さや面白さも徐々に理解してもらえると思います。
劇画原作であろうと、小説原作であろうと、もっともっと楽しませてくれれば、それに越したことはありません。
時代劇、大歓迎です(^_^)

[1608へのレス] Re: あずみを見て参りました～～。(^。^)y-.。o○

投稿者：真改2003 投稿日：2003/05/15(Thu) 06:11

昨日、サンクスへ寄りましたら、『あずみ』おにぎり！なるものが販売されておりました。(~_~)。

買って帰って、さあ！食べようと思ったら、『ない！(>_<)。』
なんども車の中を探してもない。

結局、サンクスを出て、乗車の際に落としたようです。(T_T)。

また、買って来ようっと・・・。(ーー;)。

[1608へのレス] Re: あずみを見て参りました～～。(^。^)y-.。o○

投稿者：真改2001 投稿日：2003/05/15(Thu) 12:39

隊長。ご報告致します。
おにぎりを発見しました！

『どこにあったのか。』

『はい。助手席の向こう側に落ちておりました。
　しかし、一晩車の中で過ごしたために、すごい匂いを放つ物体と化しておりました。
　以上、報告致します。』

m(__)m。

[1615] 『改竄証書にご注意』だそうです。さあ、困った～。(>_<)。

投稿者：真改 2003 投稿日：2003/05/15(Thu) 21:47

刀剣美術誌に『改竄証書にご注意』というタイトルで、次のような内容の文章が掲載されておりました。

『最近、当協会発行の鑑定書を改竄したものが出回っております。保存・特別保存鑑定書の、銘文や無名の極銘の下に記した「(後代)」や「(別人)」等の但し書きを消去した証書を附して販売される、という事例があります。
特にインターネットやメール販売の写真の場合は、擦り消した痕跡等を確認することが難しいので、ご注意願います。なお、ご不審の鑑定書がございましたら、管理課までお問い合わせください。』

とあります。

買ってからでは、もう遅い！
何か引っ掛かると思ったら、即、相談です。

[1615 へのレス] Re: 『改竄証書にご注意』だそうです。さあ、困った～。(>_<)。

投稿者：隠居 投稿日：2003/05/17(Sat) 07:56

刀に添付される認定書類にまつわる問題は「浜の真砂」のように平成の世になっても尽きないようですね。これは証書の発行者が行った鑑定そのものが不確かな場合と、あとからの改ざんや贋作があるのですから、二重三重に信用できないわけで、これについての詳細は「日本刀の真贋　光芸出版」に述べられています。ここで云われていることは「証書を看板にしている刀屋は要警戒（真面目な刀屋は証書を持ち出さない）」です。いくら素人で刀が分からなくても「人間鑑定」は可能では？

[1615 へのレス] Re: 『改竄証書にご注意』だそうです。さあ、困った～。(>_<)。

投稿者：ごもっともです 投稿日：2003/05/17(Sat) 11:25

ここで云われていることは「証書を看板にしている刀屋は要警戒（真面目な刀屋は証書を持ち出さない）」です。
＞ごもっともです。鑑定書の類がついている刀については「免責」を謳っている刀屋さんもあるようですので、「いくら素人で刀が分からなくても「人間鑑定」は可能では？」のことはとてもたいせつであるということがわかります。

[1615 へのレス] Re: 『改竄証書にご注意』だそうです。さあ、困った～。(>_<)。

投稿者：匿名刀剣商 投稿日：2003/05/17(Sat) 12:05

今年弊店に持ち込まれた物にも三点ほど改竄された証書が付いていました。
そのうち二点が保存、一点が特保でした。
かなり精巧なものでしたのでプロでも見抜くのは至難の業だと思います。
いずれも日刀保に確認のため連絡を取り、発覚しました。
刀をお買いになる際には、安いものではありませんので手間を惜しまず、とにかく日刀保へ鑑定証

の照会をすることをお勧めします。
因みに弊店では鑑定書が付いていようが問題が発覚した場合はお売りした価格で買取しております。
一流と言われる刀剣店や真面目な刀剣商であれば「鑑定書があるので免責」などとふざけた事は言わないはずです。鑑定証はお客様や刀剣商にとってあくまでもセカンドオピニオンでなくてはいけません。
プロの自覚があるならば免責などと恥ずかしくて言えないと思うのですが・・・

[1619] あずみ対魔界転生

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/05/18(Sun) 23:17

徳島県も新知事が誕生して、これからの県政を良い方向にお願いします、という心境です。

さらに、昨日からはSARS感染者の台湾医師が徳島にも観光で訪れたということで、徳島県はてんやわんやの状態でしょう。

で、表題の魔界転生ですが、本日、見て参りました。
日曜日だというのに、人気がないのか、一日一回だけの上映。(>_<)。
しかも、入りは１０人程度。
これじゃ、確かに上映回数も減らされる訳ですね。

内容も、私的にはたいへん不満足。
たしかに、最新のＣＧなどを使って、きれいな映像を見せていましたが、なんといいますか、全体的に『尻切れとんぼ』。
２０年前の沢田研二や千葉真一が主演していたときの方が、良い意味で『おどろおどろ』しくて、怖かった。
そして、柳生但馬守と十兵衛の対決も、本当に炎上させたセットの中で撮影したという話があるように、とても緊迫していました。

俳優も、若山富三郎や緒方拳あるいは丹波哲郎などの渋い役どころがいて、村正の刀も絡んだりして、たいそう面白かったです。

映画を見た時の年齢もあるのでしょうが、萬屋錦之助の子連れ狼が未だ忘れられず、最高と感じているが如く、魔界転生も昔の方が良かったなと、自己分析に至りました。
まあ、あくまで私的な感想ですので、ノークレーム、ノーリターンでお願いします。(^。^)y-.。o○。

あずみ対魔界転生は、そういうわけで、あずみの勝ち～～。!(^^)!。

[1619へのレス] Re: あずみ対魔界転生

投稿者：薩州住無学 投稿日：2003/05/19(Mon) 22:20

まだどちらの作品も観ていないのですが、というかあまり興味がわきません。私も昔の作品が好きなのでＣＧや若い俳優の出ているのはあまり観ません。ただ最近のＴＶ時代劇（特に剣客商売や御家人斬九郎など）は大変よく出来ていると思います。従来のちゃんばらものとは違い品格のある作

品だと思います。江戸の風情や生活感がうまく取り入れられてなかなかの物だと思います。このような雰囲気のある映画だと観に行くのですが・・・。

[1619へのレス] Re: あずみ対魔界転生

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/05/20(Tue) 06:38

藤田まこと主演でテレビでも映画でもヒットしたものに『必殺シリーズ』がありました。
同じ勧善懲悪感のある『水戸黄門』は、テレビではそこそこ人気がありますが、映画でヒットしたというのは、最近の記憶にはありません。

あずみと必殺シリーズが似ているとは言いませんが、あずみのシリーズ化を希望するものです。
剣客商売は本当に風情も物語りも良くできていて、見ていても楽しいですね。長時間の映画に仕上げて頂きたいものです。

昔見た、緒方拳と千葉真一の『激突』という映画も良かったです。(^。^)y-.。

[1619へのレス] Re: あずみ対魔界転生

投稿者：薩州住無学 投稿日：2003/05/20(Tue) 09:31

[あずみのシリーズ化を希望するものです] かなり良い作品のようですね、観に行きたいところですが・・・最近離島に引っ越してしまい映画館がかなり遠い存在になってしまいました。原作マンガの作画者、小山ゆうさんの作品では「おーい！竜馬」を完読させていただきましたが「あずみ」はまだです。「おーい！竜馬」がかなり良かったので原作を読んでから映画を観てみようか、とも思います。竜馬ファンの私としましては「おーい！竜馬」はなんど読んでも涙が出ます。幕末維新期にいかに多くの若い人が命を散らしていったことか。昔の若人は日の本が本当に大好きだったのでしょうね・・・あ、すみません。話題から少しそれてしまいました。

[1619へのレス] Re: あずみ対魔界転生

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/05/20(Tue) 15:54

「あずみ・２」の企画もあるみたいですね。
ラジオ（だったか？）で上戸嬢がそう話してました。

「竜馬」を扱った作品は漫画・映画ともに実に沢山ありますね。薩州住無学さんお勧めの「お～い！竜馬」は原作を武田鉄矢氏が書いておられます。
この作品でも言える事ですが、坂本竜馬を描く場合、どうしても「竜馬がいく」のキャラクターがそのまま出てきてしまうのは、かの作品がそれだけよく出来ているからでしょうか…。
全く違うキャラクターの竜馬も見てみたい気もします。
新撰組なんかは色々な描かれ方してますよね。ヒーローだったり殺戮集団だったり…。

余談ですが…小山ゆう作品では「がんばれ元気」が一番ですぅ～o(〃^▽^〃)o

[1619へのレス] Re: あずみ対魔界転生

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/05/20(Tue) 20:35

『ほっ、ほっ、ほっ』と走る、元気。
アッパーストレートかストレートアッパーか、どっちだったか忘れましたが、ジャンプでは『リングにかけろ』、サンデーでは『がんばれ元気』が好きでした。

『お～い！竜馬』は、ＮＨＫでも放送していましたね。最後まで放送しなかったのではなかったでしょうか。
そんな記憶があります。
原作者の武田鉄也さんの『ＲＯＮＩＮ』という映画も見ましたが、背の低い竜馬が、いい味を出していました。(~_~)。

京都の竜馬のお墓にお参りに行ったはるか昔、『もう少し来るのが早かったら、武田さんに会えたのにね。』と受付で言われたときは、もう～、それはそれは残念無念だったという思い出があります。

[1619へのレス] Re: あずみ対魔界転生

投稿者：薩州住無学 投稿日：2003/05/20(Tue) 20:52

「ＲＯＮＩＮ」はビデオでコレクションしてますが武田鉄也さんの竜馬像がかなり反映されてましたね。また「ＲＯＮＩＮ」での経験が「おーい！竜馬」にもかなり生かされているような気がします。しかし武田さんはかなりの竜馬ファンで、さらに竜馬さんを演じてしまったのですから羨ましいですね。[背の低い竜馬が、いい味を出していました。] かなりの大男に描かれがちの竜馬さんですが実際は１７２cm程だそうです。暗殺された時に着ていた着物から割り出した正確な数字だそうです。ちなみに体重は８０ｋｇほど。剣術で鍛えた体も晩年は太りぎみだったようです。

[1626] 五郎・国之

投稿者：鎬 投稿日：2003/05/21(Wed) 19:28<HOME>

河内国平刀匠の五番弟子：宇戸敏之氏（五郎・国之）が六年間の厳しい修行を
経て２５日に独立火入れ式（福岡県京都郡勝山町）を行います。
今後の活躍を期待してますよ。来月の新作名刀展も楽しみですね。
宇戸君がんばれ～

[1626へのレス] Re: 五郎・国之

投稿者：真改2003 投稿日：2003/05/22(Thu) 06:28

おめでとうございます。
新作刀展覧会の結果を楽しみに拝見致します。

河内刀匠のお弟子さんは、皆さん『○郎』と付くのでしょうか。
そうだとすると、刀を見る機会があるにつけて、何かとわかり易くてよろしいですね。

[1626へのレス] Re: 紹介

投稿者：鎬 投稿日：2003/05/22(Thu) 11:36<HOME>

ではでは、河内國平刀匠のお弟子さん達を紹介させていただきます。
①高見太郎国一（優秀賞１）
②清田次郎国悦（努力賞１）
③藤田三郎国宗（未確認）
④石田四郎国壽（努力賞１新人賞１）
⑤宇戸五郎国之（入選第二席）

月山貞利刀匠一門から今年独立した刀匠もがんばってるよ
原田貞綱（小品展・日本工業新聞社賞受賞）

[1626へのレス] Re: 五郎・国之

投稿者：匿名刀剣商 投稿日：2003/05/23(Fri) 15:56

河内一門はみんな素晴らしいよ

仕事が上手いね

[1630] ☆彡書籍ご紹介

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/05/25(Sun) 01:01

葵美術さんで購入した書籍で、たった今、一気に読みきりました。
あまりにも感動したために、ご紹介申し上げます。

今、日本人としてあなたは『活きていますか。』を自問自答する本です。
日本の文化とは何か・・・、そのような一見難しいような事柄を、小説仕立てで見事に著した、実に心に染み入ってくる本です。

以下は、葵美術さんの紹介文ですが、私では上手くご紹介できないと思い、勝手ではございますが、ご披露させていただきました。m(__)m。

葵美術さん。ご覧になられましたなら、ご容赦下さいませ。m(__)m。

読み応えのある本です。

書名：銭舞い
発行元：　株式会社　文芸社
発行者：　瓜谷　綱延
発行年月日：　2001年5月15日　初版第一刷発行
ページ数：　425P
著者：篠塚　興一郎

著者の篠塚興一郎氏は宮崎県門川町在住。昭和十五年生まれ。知的障害児教育に従事する傍ら、剣道場青雲館を創設、地域青少年の剣道指導に当たる。日本美術刀剣保存協会会員。日本詩人クラブ会員。詩誌「蒼」同人。著書に「雨とでんでん虫」「青雲館道場」「この五十の魂たち」がある。
大変穏やかな人柄の篠塚氏ですが、昨今の根無し草と評される日本人に対しては厳しい考えで捉えておられ、この本の主人公の山常の言わんとする言葉は彼自身の言葉でもある。何故日本人が戦後の繁栄を謳歌する中で自分さえ良ければ良い、又、金銭が全てに優先し人間が本来持たねばならない優しさ思いやり、礼儀正しさ努力、熱意が消えうせてしまったのか、これからの日本はどうなっていくのか危惧の念を抱いて書き綴っている。
特に最近の若者の無目的な行動に日本の将来を考え警鐘を鳴らしている。筆者は日本の伝統文化に注目し、日本人がその素晴しさに注目していく中で人間らしい優しさ思いやり、礼儀正しさを確認して欲しいと訴えているように感じられる。

世界の中で類い稀な日本刀が何故研磨され受け継がれ現在に至っているのか、何故武器でもある日本刀には製作者の銘を入れるのか？何故刀身を見ただけで製作年代、製作者を鑑定出来るのか？そのような観点でこの本を読まれると一層興味が深まると思います。
教育が崩壊の一途を辿り、家庭での家族関係が希薄となる日本の現状を見直してみる良い機会として、是非ご一読をお勧め致します。

[1631] 漫画の御紹介。

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/05/26(Mon) 01:48

すみません、どうも気になる作品があります。
こういうのも…如何でしょう？

２４日（土）発売のビックコミックに掲載されています「公家侍秘録」という作品です。
幕末の京都、公家「日野西家」に伝わる宝刀「粟田口久国」を守る「守役」が主人公です。今回は偽物騒動が起こります。あまり細かくストーリーは説明出来ませんが…なかなかよく調べて描かれています。

この作品、以前も紹介していますが、刀剣にかぎらず京都や幕末頃の風俗等もよく調べて上手に描いています。女性作家のせいか、青年誌、特に劇画にありがちな暗さ・重さがありません。
（劇画を否定しているわけではありません！誤解なさらないよう…）
公家の言葉や京都の言葉等のセリフ回しも大変上手です。

どうぞコンビニで…立ち読みでもけっこうです。
チェックしてみてくださいｏ(〃^▽^〃)ｏ

[1631 へのレス] Re: 漫画の御紹介。

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/05/26(Mon) 20:48

さっそく、読んでみることにします。

昨日は、池上遼一のタイトルを忘れた～。(>_<)
え～～、月弦乃進とかなんとかが主人公の、幕末を舞台にしたＳＦ時代劇画を読んでいました。

この方も、独特の画を描きますね。
『男大空』が好きでした。

[1631 へのレス] Re: 漫画の御紹介。

投稿者：ikkak 投稿日：2003/05/26(Mon) 21:58

こてつさん
読みましたよー。この作家は一作ごとにレベルが上がってますねー
特に刀屋が鞘の見立てをするところのせりふなどはさらっと書いてますが
なかなかの知識では出てこないでしょう。

真改殿
男大空とはなかなかつう好みですね。まるで受けて三角で攻めて四角で固める
でしたっけ？
わたしはやっぱり男組ですね。闇の総理のコレクションはすごかった。

[1631 へのレス] Re: 漫画の御紹介。

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/05/27(Tue) 19:55

まるで受けて三角で攻めて四角で固める
でしたっけ？
>そうそう、そんな感じでした。骨法とかなんとか・・・。

私は、登場人物の一人である『黒太刀』が好きで、特に、先祖の天草四郎時貞の刀を鍛錬して造った『鉄拳鎖』という武器が好きで好きで、読みふけっておりました。

[1632] 大丈夫です

投稿者：野崎 投稿日：2003/05/26(Mon) 20:13

会社からの帰途スーパーの地下食料品売場で地震に遭いました。　棚も倒れず電気も消えずでしたが、外に出たら皆ビルから出て携帯にかじりついているので相当な地震だったと気が付きました。
まあ、私は宮城県沖大地震、実質震度６を経験していますから５の弱くらいでは不感症なのですが。アパートも本棚も倒れず無事でしたし。
阪神淡路大地震の時の様に時間が経過すると被害がはっきりしてきます。震源地近くの方々の無事をお祈りします。

[1632 へのレス] お見舞い申し上げます。

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/05/26(Mon) 20:41

地震があったようですね。
被害が少ないことをお祈り申し上げます。

ところで、私は、阪神淡路大地震の時は、仕事中でした。徳島市にいたのですが、ほとんど何も感

じないほどで、時間をおいて帰宅して驚いた次第です。
場所か地盤か、わかりませんが、随分と感じ方が違うものだと思いました。

また、徳島には中央構造線が走っているので、これがどうにかなったらと思うと、想像もつきません。

徳島でも、南海沖地震を想定しての各市町村の『地震体力』とでも申しましょうか、備蓄等の様子をレポートした記事が連載で載っていた事がありますが、どうももうひとつもふたつも、整備が足りないように感じました。

地震対策として少しですが、私自身は、数日分の食料と水と衣服を常備し、車には非常食を積んでおります。

水が一番でしょうけれど、災害時の対応をあれこれ考えていると、地震用の家一軒もうひとつ用意しておかないと・・・、などと考えるほど、必要なものが頭の中をぐるぐる回ります。

トイレも・・・。

[1632 へのレス] Re: 大丈夫です

投稿者：花散里 投稿日：2003/05/26(Mon) 23:17

比較的に震度が大きい余震が、続いているようです。
関東に住む私も他人事ではないのですが、震源地に近い皆様、お怪我の無いようにお気をつけて。

[1632 へのレス] Re: 地震雷火事おやじ

投稿者：隠居 投稿日：2003/05/29(Thu) 21:03

地震はイヤですね。今回は被害が比較的少なかったようで結構でした。
真改さん、車に数日分の非常食とは用意のいいことですが、阪神大震災で自宅が全壊し一命を取り留めた私から申しますと、少々の用意は「気休め」に過ぎません。私の場合車を別の駐車場に置いていたため、これが助かり家内を乗せて数時間かけて脱出しました。もちろん通常の道は通れませんからカーナビをたよりに４m程度のせまい道を辺鄙な方向に迂回して逃れました。こうなると「運」も大いにありますね。神仏の加護です。私の近〝隣でお子さん亡くなられご両親の呼び声が今でも耳に残っています。大地震は戦時の空襲によく似ています。「地震雷火事おやじ」とはよく言ったものです。

[1632 へのレス] Re: 大丈夫です

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/05/29(Thu) 21:52

気休めかもしれません。
５年間の保存が効くというので、水・食料などと共に常備しております。

私の阪神淡路大震災の記憶といいますと、叔父叔母が東灘区の○○町にいますので、地震直後は父がなんども電話をしておりましたことを記憶しております。

しかし、自宅の電話ではなかなかかからず、ニュースで公衆電話が最優先されると聞き、自宅近くの公衆電話まで走っていったことを憶えています。

携帯電話も当時、私はまだもっていなかったのではないかと思います。ポケットベルが活躍していたと思います。

ところで、その叔父叔母ですが、幸運にも、今までに行ったことのない三男のアパートをたまたま呼ばれて訪問すべく関東に旅行中で、隣近所の将棋倒しの被害に遭うこともなく、難を逃れたのでした。
すぐお隣の奥さんは、倒れた家の下敷きとなり、帰らぬ人となったそうです。
偶然とはいえ、本当に幸運でした。

反対に、従兄弟の奥様のご両親は、倒壊と火災に遭い、お亡くなりになってしまいました。悲しいことです。

そして、その何日か後には、フェリーで徳島の叔父叔母の兄弟達が家財道具を片付けに行ったわけですが、それはそれは、ひどいものだったということです。
父が終戦時には小学校６年生だったということですから、戦争を思い出したということは、よく口に出しておりました。
そのとき、叔父叔母の家の下敷きになっていた将棋盤が自宅にありますが、そんなものはいらないと言った叔父叔母でしたが、父は持って帰り、それが自宅に残る唯一の地震の証となりました。

その後、私は家族で淡路島の断層を見に行きました。
父が専門的なこともあってついていったのですが、あの断層の隆起の凄まじさは、記憶からなくなることはありません。
多くの大学の研究者が測量調査を行っておりました。
また、近くの墓石群が同じ方向を向いて倒壊している姿も一種異様な雰囲気がありました。
そして、テレビで何度も見た、屋根にかけていた青いテントも象徴的でした。

後で知ったことですが、今勤務しているところの職員さんは、同じ職業の方を助けるべく会社から派遣され、寝るところはおろか、水さえままならぬところで人様のお世話をしてきたそうです。
余震もあって、恐ろしかったということです。

そんなことで、私は食料を用意しているというわけです。
また、職業上だけではなく、一般人の初期救急救命の大切さを大事にしたいと思っております。

[1632 へのレス] Re: 地震

投稿者：隠居 投稿日：2003/05/30(Fri) 06:24

真改さん、身近な経験をお持ちですか。そう、「初期救助」が人命を救います。阪神大震災で死んだ従兄弟夫婦と息子は、二人が即死一人が飢え死にと想像されます。家の梁の下敷きになったのですが遺体が掘り出されたのは２３日、金沢消防隊によってです。何日も救助を求めて叫んだようです。当時自衛隊の出動を命じなかった村山首相のいた官邸へ「人殺し」と書いたＦＡＸが殺到したと聞

きました。「救助」ひとつ考えても今の日本には国民を守る具体的な何かが欠けているように思います。

[1638] 訃報。

投稿者：こてつ。　投稿日：2003/05/29(Thu) 02:53

宮入清宗刀匠がお亡くなりになりました。
ご冥福をお祈りします。合掌。

[1638 へのレス] Re: 訃報。

投稿者：鎬　投稿日：2003/05/29(Thu) 08:56<HOME>

ご冥福をお祈りします。合掌。

[1638 へのレス] Re: 訃報。

投稿者：真改２００３　投稿日：2003/05/29(Thu) 21:30

一度だけ、宮入清宗刀匠の刀を拝見したことがあります。
清磨を彷彿とさせる、美しい刀でした。

合掌。

[1644] 地震と刀

投稿者：隠居　投稿日：2003/05/31(Sat) 09:03

地震の話があったついでに“地震と刀”のテーマで話題を提供します。
関東大震災の時に多くの刀剣が焼失した話はもう遠い歴史のかなたに埋没してしまいました。当時の著名な刀剣は大名家や蔵刀家が持っていましたからその多くは蔵の中に置かれていたのですが、猛火のため一部の蔵が焼けてしまい、一箇所で数多くの名刀が消失しました。
これに比べると今回の阪神大震災は火災がごく一部の地域にとどまり、地震プラス火災のダブルパンチは大半の地域がまぬかれました。
私の家では母屋二階の寝室に刀を置いていましたが、そこは和室で１間の床に１間の脇床があり、脇床の一番下の戸棚の中の木箱に１１口の刀剣を入れていました。
地震は当家を直撃し、母屋の二階は柱壁もろとも根こそぎふっ飛ばし、粉々になって庭に崩れ落ちました。
私たち夫婦はいつも５時半に起きるのでここに居なかったのですがもし寝ておれば即死でした。
私たちは母屋に続いた平屋の部分に居て難をのがれたのですが、脱出した後も気になるのは「刀の箱」の安否でした。地震の夜は大阪の家内の実家で過ごし、翌日は車で西宮の全壊した自宅に急ぎました。ご存知のように交通マヒで早朝４時に出て昼に着きました。なんとか二階によじ登り、ここと思う辺りを探しますとありました！。二階は殆ど全部がなぎ倒され吹き飛んだ中で、壁土に埋まって「刀箱」がありました。畳までが吹き飛んで庭にほおり出された中でこの箱が戸棚から出た形でそのまま有った、この不思議なこと、まるで奇蹟でした。
奥の間の脇床に刀架に拵を掛けていたのですが、一口はなんと鞘が割れていました。継ぎ目で割れていまし

たから強くねじったような力が働いたわけですが、わずかな高さから投げ出されたにしては、これも不思議なことです。
このようにたいへん幸いな結果でしたが、これはある種の僥倖であり、こういう刀剣の保管の仕方は皆様にお奨めはできません。ただ、あちこちにバラバラ置くのでなく適当な大きさの頑丈な箱にぎっしり詰まった形で保管するのは、刀が「束」のようになりますから耐衝撃性はうんと強くなる、ということです。
今は「刀金庫」が格安になりましたから、刀の金額によってはこれが一番安心でしょうね。

[1644 へのレス] Re: 地震と刀

投稿者：野崎 投稿日：2003/05/31(Sat) 20:19

出典が思い出せないのですが、九死に一生の危険を乗り切って気が付いたら腰の刀の鞘が割れて刀身がむき出しになっていた、「名刀が自ずから鞘を出て主人を守ったのだと人々は感心した」という話がありました。
ご隠居様を守られた名刀かも知れませんね。

[1644 へのレス] Re: 地震と刀

投稿者：隠居 投稿日：2003/06/01(Sun) 08:01

野崎さん、おおきに。「護り刀」の伝説は一つならずあると思います。私の場合もそう思って感謝することにします。
大地震は物凄い威力を見せました。庭に吹き飛んだ母屋の二階ですが、あとでよく見てみると粉々になった瓦の上に天井板が余り壊れないで載っていました。片付けに来てくれたボランティアの中に若い建築の学者がいて「一度凧のように天井板が空中に舞い上がって屋根が崩れ落ちた上に後から落ちてきた・・・こうしか考えられない」と云っていました。こういう中で命がありその次に大事な刀が助かったのですから。ありがたいことです。

[1648] 去年の今頃…。

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/06/03(Tue) 23:53

日記を見直していて気づきました。
昨年の今頃はみなさん、歌舞伎町の中華屋さんでオフ会してたんですよ～。確か「蛙」をいただきましたっけ。本場の中華でしたね！

「正宗展」と静嘉堂文庫、刀剣博物館とハシゴしましたね。
６月初旬なのに、かなり東京は蒸し暑かったように記憶しています。

またそんな機会を楽しみにしています。
今年は長野からかけつけますので。少々…気が早い？(//￣ー￣//)ゞ

[1648へのレス] Re: 去年の今頃…。

投稿者：菊久 投稿日：2003/06/04(Wed) 06:22

そうなんですかぁ。あれから、もう一年たつんですネ。
あの中華屋さんまでの移動は、映画「ブラックレイン」にトリップしたようでした^^

[1648へのレス] Re: 去年の今頃…。

投稿者：花散里 投稿日：2003/06/04(Wed) 23:39

日時が過ぎるのは、本当に早いですね。一年ですか。
あの日は、新宿駅まで皆さんと一緒に移動したものの、自宅から急用の連絡があり一人無念のリタイヤでした(^_^;)
もっとも、そのおかげで「珍味」を免れた訳ですが・・・(^^ゞ
大刀剣市の前に、皆さんとお会いする機会がありませんかね。
「どこかの刀屋さん」が勉強会を開催してくれるとか・・・(^^)

[1648へのレス] Re: 去年の今頃…。

投稿者：刀士郎 投稿日：2003/06/05(Thu) 14:39

ナント！私、昨日は一日中東京でした。
鍔を二点、保存の審査にもって行きました。
その後　刀剣博物館をはじめ刀屋さんを数件ハシゴして
「鍔小道具画題事典」をはじめ　ヘビーな本を数冊買い込み
最後には可愛いツバメの二所（小柄・笄）を仕込んでヘトヘト
になって帰宅しました。
昨年の今頃はまだみなさんとはお会いしてなかったですが
大刀剣市のさいは、ごいっしょでき大変楽しい思い出になってます。
みんなでワイワイガヤガヤ東京ツアーは一番ですね。
「どこかの刀屋さん」の勉強会って最高のアイデアだと思います。

[1648へのレス] Re: 去年の今頃…。

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/06/05(Thu) 19:27

こてつさん。日記とは『すばらしい！』(^o^)丿。

しかし、１年とは早いものですが、正宗展でみたことを忘れるのも早い。(>_<)。
記憶にとどめるのって、難しいですね～。

昨年６月の東京は本当に暑くって、こてつさんの姿を見たら『ハワイ』かと思っちまいました。(^o^)。
もうすぐ、秘伝？の刀が仕上がりますので（当然、どこかの刀屋さんにお願いしたものですが・・・）、
それを肴にワイワイできれば楽しいのですがね～。

何度も言うようですが、やっぱり刀は手にもって見ないと『いけませんね～。』

[1653] 草創期の日本刀展

投稿者：隠居 投稿日：2003/06/07(Sat) 17:39

大阪歴史博物館で開催中の「草創期の日本刀　反りのルーツをさぐる」を観てきました。今日はこの展示を企画した佐野美術館館長渡辺妙子先生の講演があり、２５０人定員なので１時間前から数寄者が集まり満員で、妙子先生も熱弁を振るわれ時間をオーバーしました。展示品は蕨手刀に続く毛抜形太刀、平安期の太刀で、国宝２重文５重美５を含む５９口、私が驚いたのは宝寿の太刀で地金詰んで美しく田舎鍛冶とのイメージを一変する優品でした。それに平安期京物の優美な姿と澄みきった鉄質、平家の公達が彷彿とする雰囲気です。
正宗展も良いが平安の太刀はまた品格が違います。すごい刀ばかりですよ。６月２８日まで、図録は￥２１００です。

[1653 へのレス] Re: 草創期の日本刀展

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/06/07(Sat) 20:34

源平の戦いの繰り広げられた時代の刀は、それこそ刀（太刀）が一層注目を浴びていた時代ではなかったでしょうか。
鎧甲冑では華麗な大鎧が絵巻物の如く展開するなど、まさに平家物語のような武士の一騎打ちの世界が想像されます。

鎌倉の太刀といえば、私には憧れの中の憧れですが、武士の戦いの時代では源平が火花を散らした時代がもっとも好きです。
大鎧や太刀の姿に、武士の美意識といいますか、戦場の中の美を感じずにはいられません。

鎧武者という言葉からも想像されるのは、源平時代ですし、そういうことからすれば、私自身も刀を思う際に一つ時代を上げなくてはならないと思います。

ところで、その講演にも残念ながら参加でなかった私ですが、昨年の正宗展から思っていたのですが、渡辺妙子館長さんについて、どなたか、お教えいただけませんでしょうか。
迫力ある講演であったと昨年の正宗展の参加者の方が感想を述べられておりました。

[1653 へのレス] Re: 上京の機会にはぜひ

投稿者：隠居 投稿日：2003/06/08(Sun) 07:03

渡辺妙子先生は、元国士舘大学教授、専門は日本刀。本間先生の秘蔵弟子です。ここ２０年前からは佐野美術館におられ、静岡、三島地方で幅広い文化活動をされるかたわら、刀剣研究の道もより一層窮められ、「正宗展」企画のように、、相州物備前物、オールラウンド研究者であり斯界の実力者です。
最近の先生の仮説は日本刀の材質は古くから云われていた「砂鉄」ではなく、「輸入鉄」である、とのことです。これは古名刀の材料分析においてチタンが微量存在することで、砂鉄でない可能性が高まった、とされています。この輸入先もシルクロードによってかなり古くから確立し、平安時代にはこの鉄原料で造ったわが国の優秀な日本刀が輸出されていた、と先生は語ります。日本は明治

以来先進国になったのでなく、こういう古代から世界の中で「文化度の高い富める国」であったということです。また先生は、渡部昇一氏曽野綾子氏などの講師メンバーに加わられたケースもあります。
今回の講演にも先生は「芭蕉布」でしょうか、実に渋い和服姿で、茶人として佐野美術館の茶席を１００％活用されています。上京の帰りにぜひ三島へ一泊され佐野に寄られるコースをお勧めします。一泊の価値は十分にあります。

[1653 へのレス] Re: 草創期の日本刀展

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/06/08(Sun) 22:11

ご隠居様。ご教示ありがとうございました。
渡辺館長さんの企画アイデアに非常に興味を持ちました。

経営とは違うかもしれませんが、企画運営してコーディネイトするのはやはりセンスが大切だと思います。
経営はアーティストだと言う、有名な時計経営者がおられます。
そしてアーティストに定年はない！

刀や展示会にも興味がありますが、渡辺館長さんの生き方にも興味を覚えます。
自伝かなにかあれば読ませていただきたい思うのですが・・・。

渡辺館長さんご自身の刀との出会いとそれを専門とした経緯を講演していただければと思います。
佐野美術館でのホームページにでも、自伝を載せていだけると最高なんですが・・・。

[1657] 末備前刀について

投稿者：薩州住無学 投稿日：2003/06/16(Mon) 14:02

私は備前刀に興味がありますが備前刀の末物に「数打ち物」が多いと書籍にあり、この「数打ち物」は価値が低いとありました。この「数打ち物」とは注文打ちと比べるとどの程度品質が落ちる物なのでしょうか。備前物は鍛刀法が手間が掛かり、同じ時期の戦国時代の刀工よりは入念な作が多いと聞いておりますが如何な物でしょうか。諸先生方お教えください。

[1657 へのレス] Re: 末備前刀について

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/06/16(Mon) 21:22

末備前の最上作は、武将等の所持名入りとか、祐定や清光で言えば『俗名』が入っているものと言われていると私は思っておりますが、品質の程度の差はやはり一振り一振りすべて異なるでしょうし、すべてを押し並べて言えることではないと思います。

などと言っております私は、一度も俗名や所持名入りの末備前の刀を拝見したことがございません。(T_T)。
一度は手にとって拝見したいものです。

私が見たもので最高のものは、こてつさんが所持され、昨年拝見した『祐定』でした。
こういった名品をお持ちの方にその差を自分の物と比較した感想を求めるのもよろしいのではないかと思います。

こてつさん。
よろしくお願い致します。m(__)m＆!(^^)!。

[1657へのレス] Re: 末備前刀について

投稿者：隠居 投稿日：2003/06/17(Tue) 06:49

備前物がお好きなようでまことに結構と同感申し上げます。
注文打と数打ですが、仰るように、これは末備前に対してよく使われ、まれに美濃物にも使われます。
「数打」というのは「束刀」といって「一束いくら」で取引された量産品です。刀脇差の場合、身幅尋常（やや細目）で重ねも厚くなく、こじんまり造られた感じのする姿造り込みで、地金の鍛えも細かく詰んでいず流れた部分があります。そして最も動かし難いハッキリした点が「銘ぶり」です。「備州長船住祐定」と丁寧でないタガネづかいで切られています。世上で「走りながら切った銘」と云われるぞんざいな切り方です。このような刀でないものが「数打でないもの」です。また「備州長船」とあっても応永備前などの古い時代はこの分類に入りません。
「数打でないもの」は数打とは違って造り込みが堂々として、地金が詰みゆるんだところがありません。銘ぶりも「銘切り師」の手になると思われる丁寧な切り方です。「俗名」が入っているかどうかは決め手ではありませんから、ご注意ください。俗名が入っていなくても素晴らしい優作がたくさんあります。
「注文打」はこの「数打でないもの」の中、所持者の名前が切られて「注文打」であることが明らかなものを云います。
刀剣学者でない人の書いた入門書の中で、この別をいい加減にしているものを見かけますから、誤った判別に従わないでください。

[1657へのレス] Re: 末備前刀について

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/06/17(Tue) 07:48

なるほど！
《「注文打」はこの「数打でないもの」の中、所持者の名前が切られて「注文打」であることが明らかなものを云います。》
注文打ちと俗名入りが同じようなもののように思っておりました。m(__)m。

毎回、よく分かるご解説で、本当に勉強になります。
ご隠居様。ありがとうございます。

追加で、日本刀鑑定要訣から引用しますと、
『末備前の茎は注文打ちと仕入れ打ち（数打ち）の区別が解る。よく錬れた鉄を惜しげもなく使っ

たものが注文打ちで、これは錆び乗りが遅いゆえに茎は常に綺麗である。なま金を茎に使ったものは錆び込み、朽ち込みが早く、これはこれは仕入れ打ちである。』

[1657へのレス] Re: 末備前刀について

投稿者：隠居 投稿日：2003/06/17(Tue) 08:28

真改さん、あ、そうでしたか。鑑定要訣はさすが上級者向きですね。まさにその通りで、入念作の茎は錆色が違いますが、この判別は初心者では無理でしょう。

お尋ねになっている「数打」の市場価値についてですが、一般的に低いのは当然ですが、数打の中にも出来がまあまあで研ぎ減りの少ないものが希にあり、裾はひどい物が数知れずあります。一説では日本の刀の半分以上がこの末古刀の数打物で、保存状態のわるいものが大半、ということになっています。
真面目な刀屋さんでは、こういう数打物は扱いませんが、「ネット商」では堂々と販売しています。具合わるいことに、数打は「偽物」ではありませんから、登録可能であり、時代錆びもついているので「末古刀」と麗々しくうたえることです。自己流で刀をやっている人の中に、往々にしてこの数打を掴まされている事例を見ます。

[1657へのレス] Re: 訂正

投稿者：隠居 投稿日：2003/06/17(Tue) 08:59

文章の中でうっかり「備州長船住祐定」と書きましたが、「備州住長船祐定」の誤りです。ついでに申しますがこの祐定が多いのですが、当然ながら勝光もありますし、他の鍛冶名のもあります。

[1657へのレス] Re: 末備前刀について

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/06/17(Tue) 13:25

「俗名」ですが、隠居さんの仰るとおり、必ずしも決め手にはならないように思います。
特に末古刀も本当に終わり頃になると俗名入りが多くなっているようです。その中にはそれほどの出来ではないものもあります。逆に「祐定」二字名でも出来の良いものもあります。
重刀の中には当然「俗名入り」の方が多いですが、俗名の入っていない刀も何口か（少ないですが）指定されています。
地鉄に関しては数打ち物には肌物が多いようです。「鍛え割れ（鍛え傷）」と「地景」の違いを末備前で学んだような気がします。

こ・こんなところで御勘弁を…真改代表…(//￣ー￣//)ゞ

[1657へのレス] Re: 末備前刀について

投稿者：薩州住無学 投稿日：2003/06/17(Tue) 14:38

皆様、ご教授有難う御座います。私の手元にある刀剣書では俗名、年期無しの物はみな数打ち物で出来が悪く芯鉄が出る物が多いとあり「備州長船何某」とだけ有る物は全てダメだと思っておりました。『地鉄に関しては数打ち物には肌物が多いようです。「鍛え割れ（鍛え傷）」と「地景」の違い

を末備前で学んだような気がします。』俗名、年期なしでも鍛えの良い物ならば出来は良いと考えて宜しいのでしょうか？また茎の錆色が良いとは如何なる状態をいうのでしょうか、数打ち物は朽ち込み易いとか・・・。

[1657 へのレス] Re: 末備前刀について

投稿者：隠居 投稿日：2003/06/17(Tue) 15:56

薩州さん、一寸勘違いされているようです。
「備州住長船○○」とあるものは、年紀の有無にかかわらず９９％数打物です。そしてこの数打物の銘ぶりは粗雑な字体です。
「備前国住長船○○」と均整のとれた字体で丁寧に切られている銘であれば、「源兵衛尉」とか「彦兵衛尉」とかの俗名が添えられてなくても、数打でなく入念作だということです。
こてつさんが仰っている「祐定」や「忠光」「則光」などの二字銘は献上銘と云われる入念作で、これも当然俗名はありません。

[1657 へのレス] Re: 末備前刀について

投稿者：薩州住無学 投稿日：2003/06/18(Wed) 08:28

隠居さま、ご指摘有難う御座います。「備州住長船○○」は殆ど数打ち物なのですね。あと銘が雑であるということですね。数打ち物自体には長船物の特長とか良さは無いのでしょうか？まだ手持ちに備前刀がないのでいつかは入手したいのですがなかなか立派な物は手が出ないのでランクを落として考えているのですが・・・。数打ち物でも古刀の良さが少しでもあればと思うのですが如何なものでしょう。

[1657 へのレス] Re: 末備前刀について

投稿者：隠居 投稿日：2003/06/18(Wed) 09:45

薩州さん、刀を買うということは巾の広い考え方があって、一概にあれこれいうことは難しいです。例えばあなたの予算とか、刀に対する研究心（興味）のつよさとか、です。そして「初めての刀」か、「すでに持っている刀」があるのかないか等も、関係があります。
はじめての刀で、ともかく「刀というものを持ちたい」というのであれば、数打物を持つのもいいかも知れません。出来れば先輩に見てもらって、地刃にキズのないものを選ぶことが出来れば理想です。
初めての刀では、手入れの仕方や鑑賞の実際など、初心者として学ぶことが色々あります。中古車を買って運転を習うようなものです。
そしてこの刀を「窓」として、この窓を通じて備前物の良さや刀そのものの良さを想像し理解できれば、一つのステップになります。
ただ、茎（なかご）も刀の価値や鑑賞する楽しみの半分を占めるのですが、この点、数打物では満足できないのは止むを得ません。しかし「時代錆び」があるということで現代刀にはない魅力があるかもしれませんね。
刀の中の「何にしびれるのか」という、本質論にも関係しそうですね・・・。

[1657へのレス] Re: 末備前刀について

投稿者：薩州住無学 投稿日：2003/06/18(Wed) 17:55

私は手元に新刀の脇指と新々刀の短刀しか有りません。古刀が欲しいのですが出来たら備前物をと思っています。知識を書籍からしか得ていないので無知さをさらけ出しておりますが（無学という名を付けたのもそこからです)、近くに愛刀家の方がいないので教えを請うことも出来ずもっぱら独学です。備前刀の特徴が分かる手頃な物はどういったものかと質問してみようと思い投稿いたしました。手のかかる鍛刀法の備前伝の作だったらすばらしい物なのだろうなと、半ば憧れのような感じです。

[1657へのレス] Re: 末備前刀について

投稿者：隠居 投稿日：2003/06/18(Wed) 18:32

そうですか、新刀の脇差と新々刀の短刀をすでにお持ちですか。それなら始めての刀ではないわけで、数打物を奨めるのはどうかと思います。
真改さん、こてつさん、又他の皆さん、どう思われますか。
私は数打物でなく、ちゃんとしたものを御求めになるべきだと思います。末備前の打ち刀で２尺を切ったものは割安な場合があり、他に春光、賀光など傍系鍛冶のもので作のいい割に格安のものがあります。
憧れている間が花かも知れませんよ。

[1657へのレス] Re: 末備前刀について

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/06/18(Wed) 19:26

難しいですね～。ご予算の関係もありますが…。

僕は最初に手にした備前刀は「宗光（後代)」二字銘の脇差でした。
（日刀保の鑑定は無く、得能先生の鑑定書が付いていました。）
肌が立って疲れた鉄をしていたんですが、その肌の立ち方が妙に新鮮に見え購入しました。刃文は腰開きの互の目。物打ち辺りにかかって刃文が激しくなっていきます。樋が掻いてあり、手で刀身を拭うと刀身の微妙な（多少デコボコした）感触が「刀」って感じがして嬉しかったです。
しかし上作の刀にそのような感触があるわけありません。
色々な刀剣店で備前刀の上作に振れるたび「この脇差はけして良い出来ではない」ことが分かってきました。
出来の良くない刀でもそれなりに勉強になる点はあると思います。
その脇差は結局売ってしまいました。が、嫌いで売ったわけではありません。ほんのわずかですが勉強になったような気がしています。

ご隠居さんの仰る「脇差」は良い選択だと思います。
刀より割安な気がします。オークションではなく、刀剣商さんとご相談の上で探せば良い出物があるのではないでしょうか。
…時間はかかるかも知れませんね。

[1657へのレス] Re: 未備前刀について

投稿者：ikkak 投稿日：2003/06/18(Wed) 19:36

やはり薩州殿が何を望んでいるかが一番大事だと思います。拝読するに
「備前の古刀がほしい」ということではないでしょうか。

現実的な話をすると(少々夢がないですが)

購入することを考えるのならば予算は大事だと思います。
「絶対数打ち物はいやだ！人に自慢できるもの、少なくとも馬鹿にされないもの
が欲しい！」というならばそれなりの予算は必要でしょう。
備前の古刀の優品であれば一般人がおいそれとは手を出せない値段になりますし
だいいち売り物に出会うことも少ないでしょう。
大事を取るなら刀屋さんに予算を提示して探してもらうのが良いと思いますが
一見さんだとちょっと難しいと思います。
おせっかいですが中途半端なものはやめた方がいいです。

ネットオクでばくちを打つのも一興です。５００万の刀を買って売るとき半額で
２５０万のマイナスか２０万の刀を買って売るとき半額で１０万のマイナス、どっちを是と
するかは人によって違うでしょう。
ちなみに私、兼元だといわれてやって来たのは備前の新新刀だったことがあります(爆笑)
それでも安かったので損をしたとは思ってません。
それなりの出来ですので気軽に楽しんでおります。

刀の楽しみ方は持ち主の心持ち次第ではないでしょうか。
でも今月号の政光はいいなー、ほっしーほっしー

[1657へのレス] Re: 末備前刀について

投稿者：薩州住無学 投稿日：2003/06/18(Wed) 20:55

皆様、貴重なご意見有難う御座います。自分自身の目を肥やす為にはレベルを上げていかなくてはいけませんね、いつまでも初心者をやっていては成長がありませんし思い切って手持ちの物を売り払ってよい物を買った方が良さそうです。良い物を買って飽きるほど眺めたらきっと新たな発見もあるでしょうし目の肥やしにもなるでしょうね。頑張って上の物を買う為にせっせと働くことに致します。

[1657へのレス] Re: 末備前刀について

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/06/19(Thu) 00:21

私は、祐定の俗名入りで手痛い目にあっております。(>_<)。
やはり、本当の意味での本物、つまり、数打ちでないものをお求めになった方が、後悔しないと思います。

でも、なかなかお目にかかれませんよね。

伊藤三平さんのホームページ『日本刀刀装具の研究』を電脳倶楽部からのリンクから見てください。
そこの通販誌を見ての簡単な感想が出ているところがあります。
参考までにですが、祐定や清光の刀がお値打ちで出ていたということもあるようです。
とにかく今は値段も下がってきているようですので、資金を貯めて、本当の本物を狙い打ちませんか！(^^ゞ。

[1657 へのレス] Re: 末備前刀について

投稿者：花散里 投稿日：2003/06/19(Thu) 00:29

私も、皆様と同じ意見です。
「数打ち」は、お勧めする理由がありませんね。
最近は、「備前」と言えども値段もこなれてきているようですから、ぜひとも後悔しない物を m(__)m

[1657 へのレス] Re: 末備前刀について

投稿者：ikkak 投稿日：2003/06/20(Fri) 20:31

そうそう備前刀といえば長船町から発行された「長船町史、刀剣編」を
ご一読されることをお勧めします。備前刀の歴史を簡潔な説明と
見事な写真でまとめたすばらしい本です。

絶対損はしないと思います。

あと平成元年の佐野美術館「長光展図録」これも備前刀の醍醐味が
堪能できます。

[1657 へのレス] Re: 末備前刀について

投稿者：隠居 投稿日：2003/06/21(Sat) 07:11

ikkak さんの云われる長船町史は値打ち物ですね。刀剣編図録、刀剣編史料の 2 冊でたしか８０００円でしたか。加島進先生(前国立博物館刀剣室長)の解説です。長船町という小さな町がこのような立派な専門書を作って町民全戸に無料で配ったんでしょう。そして希望者に実費で販売した。平成１０年ですね。まだ残部が町にあるんでしょうか？

[1657 へのレス] Re: 末備前刀について

投稿者：真改 2003 投稿日：2003/06/21(Sat) 07:43

長船町史は、私も銀座の柴田で買いました。
問い合わせれば、まだあるかもしれません。下に銀座刀剣柴田さんからのサイトからの情報をコピーさせて頂きました。
きっとあるでしょう！！(^o^)丿。

町史というものは、わが町でも無料で配られましたので、まさにお宝の一冊ですね！

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

『長船（おさふね）町史』のうち
　「刀剣編図録」「刀剣編資料」全二冊
　加島進・田住実・片山新助著　長船町刊
　Ａ４判　上製・箱入り　総 732 頁
　●税込価格 8,000 円（送料 1,000 円）

　長船は日本刀の中心地ともいえます。 とくに古刀期、五百年にわたって作られてきた刀はいつでも各地に影響を与え続けました。
　この本には長船の名刀がずらりと並び、写真・図版・解説がもりだくさんで、まさに圧倒されます。 大冊で重さが 4.1 キロもあり、公共の団体が発行した本ゆえにこの値段ですが、ふつうはこの価格は考えられません。

『備前刀』
　山陽新聞社出版局編集　山陽新聞社刊
　Ｂ５判　95 頁
　●税込価格 1,528 円（送料 310 円）

　山陽新聞社刊の新シリーズの中の一冊で、瀬戸内エリアの歴史・文化・生活・自然を執筆者がカメラマンと連携して、斬新な視点から見つめ直しました。 （内容　備前刀の魅力・備前刀を生んだ岡山の風土・タタラ製鉄・タタラ製鉄跡、

[1657 へのレス] Re: 末備前刀について

投稿者：薩州住無学 投稿日：2003/06/22(Sun) 10:16

ikkak さま、早速長船町史の本注文いたしました。文面からかなり期待できる内容の様ですね。長船物の専門書が手元に無く、刀剣書の値段の高さに最近困っていたところ良い本を紹介頂き有難う御座います。到着しましたら早速勉強します。

[1657 へのレス] Re: 末備前刀について

投稿者：隠居 投稿日：2003/06/22(Sun) 19:12

薩州さん、長船町史注文されましたか、良かったです。８０００円という投資、単に本でというと高いようですが、８０万円の脇差の１％です。へんな刀を買ってしまわないためにも、「いいものを知る」ことが大切です。機会あるたびに「本物」を見ていることがへんなものに引っ掛からない秘訣だと思います。
できれば御地の刀剣会に入会されて月例会などで正真の刀を経眼してください。

[1657 へのレス] Re: 末備前刀について

投稿者：るろう剣士 投稿日：2003/06/25(Wed) 01:40

末備前刀についてのご隠居様等のご意見の数々、興味深く読ませてていただきました。

そこで、一言、遅ればせながら、レスさせていただきます。少なくとも永正年間までの祐定は、永正祐定として賞翫されているように、「備州長船祐定」銘でも重刀が何振りもあり、数打ちではないものが多いといえることです。
また、祐定、清光以外の、たとえば法光、春光、治光、賀光などは「備州長船●●」銘でも、数打ちではないということです。（まちろん数打ち的なものが全くないとはいいきれませんが）。
さらに、時代が下がって、永禄年間でも、「備州長船祐定　天神之門岡本為重重代作之　永禄二年二月日　代十貫文米十石」（岡本為重は浦上宗重の重臣）などの、どうみても数打ちではない、注文銘の入った立派な「備州長船祐定」が幾振りもあります。ですので、注文銘入りのものや俗名入りのものをまずは最上作とみるとしても、「備前国住長船～」銘や「備州長船～」銘のものでもいいものはあるという、その刀を見る者の眼力がためされる一筋縄ではいかないものがあるのではないでしょうか。

[1657 へのレス] Re: 末備前刀について

投稿者：隠居 投稿日：2003/06/25(Wed) 21:11

るろう剣士さん、そうですね。「備州長船祐定」とあるものの中に入念作もあります。ですがこれは「例外」として扱うほうがよろしいのではないでしょうか。
といいますのは、日本国中にある刀の過半数が末古刀の駄物と云われており、桑名打ちを含む末備前の数打物がその中のかなりの数存在すると云われるのです。そしてこれらは殆どが美術刀剣とは呼べない代物であり、真面目な刀剣商では扱わない物ですが売り手の責任を問われないネット商法のお蔭で、平成の世に陽の目をみています。これらの駄ものを含めて見たとき「末備前で備州住長船○○とあるものは９９％数打ち」の言葉が出てしまいました。
あなたのご指摘をうけて、諸本の中でどう説明されているのか、改めて確認いたしました。
本阿弥光遜著「日本刀の掟と特徴」『（数打物）俗名なく、備州長船某とあるもの』小泉久雄著「日本刀の近代的研究」『（末備前の項に）「備州長船何某」と銘を切った物よりも、「備前国長船住何某」と切った物の方が長銘でなくとも一般に出来が良い』
などです。
ですが刀はあくまで「一品性」のものであり、あなたが主張なさいます例外の名品がその特殊性を裏付けるものと存じます。

[1657 へのレス] Re: 末備前刀について

投稿者：るろう剣士 投稿日：2003/06/25(Wed) 23:25

ご隠居様、ありがとうございます。ご指摘の事、よくわかりました。
一般的なものと例外的なものという、つまりは一般的な数打ち物が圧倒的に多いということですね。この時代の備前刀の作刀数の膨大さからみたら、入念作は非常に少ない、ということですね。私も末備前刀を幾振りか持っていますので、このことを肝に銘じていきたいと思います。

[1657 へのレス] Re: 末備前刀について

投稿者：隠居 投稿日：2003/06/26(Thu) 06:24

るろう剣士さん、早速ご理解いただいて有難うございます。ですが「ご隠居さま」は止めてくださ

い。隠居は刀の会の隠居で実際のことですが、ただ刀をさわっている年数が単に長いだけです。
さて、この問題で肝心なのは「名前にとらわれず実質を見抜く目を持つこと」です。具体的に申しますと「注文主銘があるから名刀だ」とか、その逆に「備州住とある末物だからダメだ」とだけ断定的に考えないで、虚心坦懐に刀を直視し、いいものをいい、と素直にみる感性といいますか判断力がほしいですね。それには常に良いものを観て、心や感性を磨いておくことが必要です。
そして「人の持っていない名品」それこそが"数寄者"の持つべき刀ではないでしょうか。「備州住長船祐定」とあるのにかかわらず素晴らしい出来のものなど、俗に「天狗の鼻折刀」といわれる刀こそ、そうですよ。永禄の祐定がまさにそれで、こういう刀こそ大いに自慢できるのです。
意あるところお汲み取りください。

[1657 へのレス] Re: 末備前刀について

投稿者：法城寺 投稿日：2003/06/30(Mon) 21:59

＞ご隠居様、るとう剣士様
こちらにいらしたんですか、あまりお見かけしないと思ったら！
＞皆様
すみません、突然現れまして。ついつい・・。

[1657 へのレス] Re: 末備前刀について

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/07/01(Tue) 06:20

真改２００３です。

法城寺さん。
よろしかったら、電脳倶楽部へも投稿をお願い致します。
多くの人が参加してこそ、楽しみも価値もあり、知識も考え方も増えると思っております。

よろしくお願い致します。

[1659] 平成１５年新作刀展覧会

投稿者：ikkak 投稿日：2003/06/16(Mon) 23:48

現在開催中の平成１５年新作等展覧会に行ってきました。
なんと入場無料！いっぱいお客さん入ってました。

無鑑査の方たちはなにもいうことありません。しいていえば義光刀匠の青江写しの
寸伸び短刀、やっぱさいこー

優秀賞の中では典真刀匠の直刃仕立ての太刀が完成度の高さで目立ちました。
よく積んだ板目肌にちりちりと足の入った働き豊富な直刃を焼き
地味になりがちな構成を技量の高さで見ごたえあるものにしています。

でも見ていて一番面白いのは入選作、みなさん頭ひとつ抜け出るために

いろいろチャレンジされています。

７４歳、国治刀匠は大典太写し、短く反り高く見幅の広い、まとめるに難しい姿を
見事にバランスとってます。さすがこの道(多分)半世紀。すずやかな直刃は典真刀匠
と好対照

宮城の信房刀匠はめずらしい柾目の渾身作、美しい詰んだ柾目に
４重刃くらいかかってます。すすどい感じで保昌もびっくり。
銘が草書体なのもイケてます。

福島の将平刀匠は１６０．８cm の大太刀で勝負、圧倒されました。
白鞘作るの大変だったろうなー、今回は大太刀結構多かったです。

刀身彫りに出品されてましたが宗謹刀匠の応需銘いりの脇差しがこれぞ美術刀剣
という感じで光ってました。

刀装具では埼玉の大川師が尺八図鍔という珍しい構図を品よくまとめて
好感がもてました。

今回の入選作はどこかで売りに出されるのでしょうか？だとしたら国治刀匠の大典太写し
と信房刀匠の柾目は値段チェックしたいです。
不況のせいかどうか皆さん気合の入った作品が多かったと思います。

[1659 へのレス] Re: 平成１５年新作刀展覧会

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/06/17(Tue) 19:14

９月に渋谷東急本店、長野東急で開かれる「現代名刀展」で展示即売になるようですよ。
刀剣博物館での展示は２２日まで。
２３日に上京する予定だったのに…行けないじゃ～ん！？

[1659 へのレス] Re: 平成１５年新作刀展覧会

投稿者：菊久 投稿日：2003/06/18(Wed) 08:26

こてつさん
「新作刀剣展」！
６月２８日（土）～７月１３日（日）まで、大阪城天守閣で展示予定です。
いかがですか？
私は多分、河内國平刀匠の当番の日に行くつもりしてるんですが、よかったらご一緒しませんか？

[1659 へのレス] Re: 平成１５年新作刀展覧会

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/06/18(Wed) 13:54

うわ～っ、迷っちゃうお誘い。
そのまま一気に…大阪オフ会？ｏ(〃^▽^〃)ｏ

で、河内刀匠の当番日はいつなんでしょう？
ひょっとしたら…行っけるかも～？

[1659へのレス] Re: 平成１５年新作刀展覧会

投稿者：菊久 投稿日：2003/06/18(Wed) 21:33

こてつさん、「こんばんわぁ～」です。

いつも、刀匠からご連絡を頂くのですか、まだ今のところ連絡がありません。
情報が入り次第、メールいれます。

もし、こてつさんが来阪出来るのなら、鎬さんやＭさんにも連絡するネ(^_^)
多分、いそがしい鎬さんやＭさんも都合をつけて駆けつけると思いますヨ。

みなさん、「地方ネタ」くっつけて御免なさい m(_ _)m

「大阪オフ会」実現出来れば良いですねぇ～。

[1659へのレス] Re: 平成１５年新作刀展覧会

投稿者：花散里 投稿日：2003/06/19(Thu) 00:23

良いですね～(^^)　大阪オフ会(^O^)／
気心の知れた仲間と一緒に刀を鑑賞できれば、楽しみも倍増。
「地方ネタ」などと仰らず、御遠慮なく m(__)m

しかし、「関東オフ会」は・・・(^_^;)

[1659へのレス] Re: 平成１５年新作刀展覧会

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/06/19(Thu) 00:26

私にとって大阪は、近いようで遠いような感じがあります。

ikkak さんのお話を聞いていたら、実際に見たくなりましたよ～。
２年前に横浜そごうで見たときは、大野刀匠に直接お話を伺うことができたという、非常にすばらしい思い出がありました。

今年は、渋谷の東急ですかね。たしか。
日帰りで、またしても強行しようかと密かに計画しております。
この展示即売会は、実際に手に取って見ることができるという点が、最高なんです。

[1659へのレス] Re: 平成１５年新作刀展覧会

投稿者：純平 投稿日：2003/06/19(Thu) 07:57

皆さん御無沙汰しています。
なんだかオフ会の話で盛り上がっていますが、松田さんの作品をちゃんと見て下さいよ。

私なんかちょっとまいってしまいました。同じ様な現代刀が沢山並んでいる中、
唯一あの刀だけが本物に見えましたけどね。
ちなみに私は２９日の日曜日に弟子を連れて見に行くつもりです。

[1659 へのレス] Re: 平成１５年新作刀展覧会

投稿者：菊久 投稿日：2003/06/19(Thu) 08:36

刀匠純平氏の HP「玄関」を要チェック参考にさせて頂きます。
29 日かぁ～。
行きたくなってきました(^_^)

[1659 へのレス] Re: 平成１５年新作刀展覧会

投稿者：鎬 投稿日：2003/06/19(Thu) 21:53<HOME>

大阪城に行きたい～～
できれば、刀友と時間を共有できれば最高でしょうね。
真鍋刀匠は 29 日なんですね。しばらく刀匠にもご無沙汰してますので
お会いしたいところです。松田刀匠作品ぜひ見たいです。
すべて如何に時間を作るかですね。がんばってみます。
こてつさんがナニワ入りされるなら、その日は
社内逃亡してでも時間を作る覚悟で～す。

[1659 へのレス] Re: 平成１５年新作刀展覧会

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/06/20(Fri) 13:07

ど、どうしよう…。行きたいですね…。
何とか…検討してみます～っ。

[1691] もう、わっかりませ～～ん。^_^;

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/06/23(Mon) 19:31

７月号の刀和が着きました。!(^^)!。

で、出来も価格も感動したのが、表紙の備州長船師景　嘉吉元年十月日。
重ね二分五厘　二尺三寸。
生ぶ茎。

なんと３５０万ですよ！

こんな値段でこんな完璧な古刀が買えるなんて、信じられません。
現代刀が安く設定されるはずです。

脇差だって、新刀古刀を問わず、一流刀工の作品が健全作で１００万円台でありますし、買えませんけど(+_+)
こんな価格で頂いてよろしいのでしょうか？というお値段と感じます。

あ～あ。３５０万あったらな～。師景買うのにな～～。

[1691 へのレス] Re: もう、わっかりませ～～ん。^_^;

投稿者：ikkak 投稿日：2003/06/24(Tue) 05:52

はうあー！
近頃感じていたのですが古刀は人気なくなっているのでしょうか？

[1691 へのレス] Re: もう、わっかりませ～～ん。^_^;

投稿者：右行劣 投稿日：2003/06/24(Tue) 12:38

５月号には、長船経家と小反り守久の太刀が出ていましたね。とくに小反守久、ノドから手がでそうでしたが、懐具合は手も足も出ませんでした。ああ情けない

[1691 へのレス] Re: もう、わっかりませ～～ん。^_^;

投稿者：ikkak 投稿日：2003/06/24(Tue) 23:22

うーん
刀和さんも購読するべきか？

[1691 へのレス] Re: もう、わっかりませ～～ん。^_^;

投稿者：鎬 投稿日：2003/06/25(Wed) 11:50<HOME>

真改さんが「もう、わっかりませ～～ん」なんて言ったら
どうなるんですか？・・？
あっそうか、それぐらい。コレクターには良い時期と言う事かな？

河内國平刀匠が HP を開設されましたよ。
http://www.mugenkan.com/

[1691 へのレス] Re: もう、わっかりませ～～ん。^_^;

投稿者：ikkak 投稿日：2003/06/26(Thu) 05:58

今度の Big Circle 刀剣展にも政光、太刀拵え付がでるみたいですね。
不況も長引いていることですし、
いよいよ古刀の名品が続々出てくるのでしょうか

[1701] 「掛川」

投稿者：菊久 投稿日：2003/06/26(Thu) 07:02

昨日、掛川市にある「ふじ美術館」と「掛川城」へ刀士郎さんと行ってきました。

刀士郎さんと久しぶりに再会し、まずは「掛川城」へ、天守閣から見る掛川宿の落ち着いた町並みはよかったですよ。

次に行ったのは、「ふじ美術館」。
普通、館の入り口に券売窓口があり、そこで入館料を払って入館するものと思っておりましたが、ここの入館はちょっと変わっていて、ロビーの受付電話で入館したい旨を告げます。しばらくすると、事務員が入館券を持って来て、8F の展示場へ案内してくれます。
展示場の中は、五条・兼永、大兼光、影依、尻懸・則長等々古刀期を中心に展示してあり、重要指定だけでも二十数口！と甲冑。
それに、入り口は私と刀士郎さんが入った後は、外から入れないように施錠してしまったため、（別に閉館時間でもなかったのですが）私たちの貸し切り状態！
「これで、ガラス越しじゃなかったら最高なのにねぇー」などと言いながら鑑賞していた次第です。
高速料金と入館料払ってでも、お釣りがあったと思っています。（入館料は刀士郎さんにおごって頂きましたm(_ _)m）

なお、変わっているのは入館方法だけではありません！
なんと、休館日が土・日・祝・年末年始ということで、もし行くような時は休館日にご用心。

[1701 へのレス] Re: 「掛川」

投稿者：刀士郎 投稿日：2003/06/26(Thu) 09:35

菊久さん　オツカレサマ。
高速道路の渋滞をものともせず、５時間かけていらした
菊さんのパワーと数寄者の情熱には、ただただ脱帽です。
ご満足いただけてよっかたです。

みなさん
東海道新幹線の「こだま」で掛川を通過するようなチャンスがあれば
是非、「ふじ美術館」をご覧ください。駅のホームより２分、こだまを２～
３本遅らせるだけの途中下車で可能です。
入館者はほとんどなく、私一人の美術館状態ですから・・・。

[1701 へのレス] Re: 「掛川」

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/06/26(Thu) 19:57

ずる～～～～い。^_^;。

でも、いいとこに行きましたね！!(^^)!。

[1701 へのレス] Re: 「掛川」

投稿者：花散里 投稿日：2003/06/26(Thu) 23:55

菊久さんも刀士郎さんも、しっかり「数寄者」していますね(^^)
私はお城が好きですので、立ち寄ったところにお城があれば必ず見学するのですが、掛川城はまだ拝見したことがありません。
機会があれば、是非立ち寄ってみたいと思います。

また「ふじ美術館」も、良さそうですね。
何でも、「重要刀剣」の展示数では日本一とか。
刀士郎さん、地元に良い美術館があるではないですか(^^)
羨ましい。

[1701 へのレス] Re: 「掛川」

投稿者：刀士郎 投稿日：2003/06/27(Fri) 09:14

掛川城は天守閣を本格的に木造で復元した美しいお城です。
また、敷地内にある市営の「二の丸美術館」は
たばこ道具のコレクションではおそらく日本一です。
小道具がお好きの花散里さんなら　きっと楽しめますよ。
ただし、鍔など刀装具は常設展示ではなくタイミングが必要です。
花散里さんの御登城、お待ちしてます。

[1701 へのレス] Re: 「掛川」

投稿者：鎬 投稿日：2003/06/27(Fri) 12:56<HOME>

うらやましい～～な～
掛川城も大阪城も行きたい！！！
日曜は参加できません。。。ごめんなさいね。

[1701 へのレス] Re: 「掛川」

投稿者：花散里 投稿日：2003/06/28(Sat) 11:08

＞掛川城は天守閣を本格的に木造で復元した美しいお城です。
素晴らしい(^^)
復元したお城は大体鉄筋コンクリートですから、風情がないですからね。
たばこ道具などもあるんですか・・・昔の日本人が、粋や伊達を追求した極致ですね。
これは、ぜひ行かなければいけませんね。

[1703] はじめまして。

投稿者：みやたまさひこ 投稿日：2003/06/26(Thu) 15:39<HOME>

真改２００３様、鎬様。
無玄関の HP を企画、運営、撮影している「みやた」です。
写真撮影が本職です。河内國平刀匠の HP「無玄関」BBS 書き込みありがとうございます。
まだまだ未完成で更新もままならないのですが、少しずつ知恵（恥ずかしながら刀も HP も初心者）を付け進めていきたいです。
今後とも宜しくアドバイスお願いいたします。

[1703 へのレス] Re: はじめまして。

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/06/26(Thu) 19:55

わざわざお越しくださいまして、ありがとうございます。

写真撮影が本職と伺いました。
企業秘密もおありでしょうが、刀剣撮影についてのアドバイスなどを頂戴できれば幸いです。(^^ゞ。

私は、システムも刀剣に対する知識も無いか、中途半端なので、皆様にお助けいただいてここを楽しくするために努力しております。

こちらにも、積極的にご参加頂けますと、管理人一同ありがたく存じます。

今後とも、よりいっそうのお付き合いをお願い申し上げます。

[1703 へのレス] Re: はじめまして。

投稿者：花散里 投稿日：2003/06/27(Fri) 00:04

ようこそ、お越しくださいました m(__)m
先ほど、「無玄関」の掲示板にも書き込みさせていただきました。
ここは、真改 2003 さんを始め、空爺さん（最近は、少しお休み）、鎬さん、南北さん（やはり、最近は少しお休み）、黒鞘組諸氏や見識・良識を兼ね備えたご常連の皆様で運営されているサイトでございます m(__)m
「無法」、「理不尽」、「唯我独尊」以外はＡＬＬ　ＯＫ。
刀とは関係ない話題で異様に盛り上がることもしばしばの、肩の凝らない桃源郷を目指しています。
これからも、お気軽に起こしください。
お待ちしております(^^)

[1703 へのレス] Re: はじめまして。

投稿者：みやたまさひこ 投稿日：2003/06/29(Sun) 00:33<HOME>

刀剣を撮影するには大きなトレーシングペーパーかアクリル板
が必要です。刀は鏡。皆四方八方から上記のいずれかを使い
囲い、レンズの穴を開けてそこからカメラのレンズだけ出し写します。言葉でうまく書けませんが、高度な技術が要ることは確かです。

[1703 へのレス] Re: はじめまして。

投稿者：みやたまさひこ 投稿日：2003/06/29(Sun) 00:37<HOME>

花散里さま
書き込みうれしく思います。親方（河内國平刀匠）も
見ておられますが、PC に少しうとく、まだ書き込みができません
しばしお待ちいただき、懲りずに？？？書き込みお願いします。

[1703 へのレス] Re: はじめまして。

投稿者：神無月 投稿日：2003/06/29(Sun) 14:44

皆さんお久しぶりです。
みやたまさひこ様はじめまして神無月と申します m(__)m
日本刀の写真はどうやって撮っているんだろうと疑問に思っていましたが、その疑問が一つ解けました。
でも、素人には難しそうですね。
刀の全身を撮ろうと思ったら、けっこう大きな物が必要になるんでしょうね。

[1703 へのレス] Re: はじめまして。

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/07/01(Tue) 06:23

みやたまさひこ様。

刀剣写真のご解説、ありがとうございました。
各通販誌や藤代さんの写真の美しさの背景には、相当な苦労と工夫があるのだろうとは思っておりましたが、やはり、プロのお仕事ですね。

[1721] 子連れ狼ＰＡＲＴ２

投稿者：花散里 投稿日：2003/07/13(Sun) 09:29

昨年、北大路欣也主演で一陽来復でも話題になった、テレビドラマ版の「子連れ狼」。
全９話と短いながら楽しませていただきましたが、
なんと、ＰＡＲＴ２が放送されています(*_*)
毎週月曜日１９：００から、前回と同じテレビ朝日系列で。
昨年の「９話」と違い、今回は約半年間に渡って「２０話以上」の放送になるようです。
私は、北大路欣也の拝一刀もなかなか良かったと思っていますので、半年間楽しみにしています。

しかし、先週から既に放送が始まっていたとは・・・
他の皆さんからも投稿がありませんでしたので、やはり皆さんお気づきでは無かったのでしょうか？(^^ゞ

「テレビ朝日番組ホームページ」

[1721 へのレス] Re: 子連れ狼ＰＡＲＴ２

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/07/13(Sun) 14:10

見ました♪
中山忍が出てました。お姉ちゃんに負けずキレイになったなぁ。
…どこ見てんでしょ…(//￣ー￣//)ゞ

[1721 へのレス] Re: 子連れ狼ＰＡＲＴ２

投稿者：守重 投稿日：2003/07/14(Mon) 08:34

皆とっくに知っていると思って投稿しませんでした!!
３週間くらい前に妻が、子連れ狼がまた始まるよ!!とか言っていたので、私はビデオに撮ってあります。

[1721 へのレス] Re: 子連れ狼ＰＡＲＴ２

投稿者：花散里 投稿日：2003/07/14(Mon) 21:55

う～ん(^_^;)
こてつさんも守重さんも、しっかりチェックしていたんですね(^^)
大の子連れ狼ファンを自認する私としては、格好悪～～～っ(-_-;)
しかも、第２話が放送された今日も、ビデオの録画に失敗してたりして・・・(T_T)

[1721 へのレス] Re: 子連れ狼ＰＡＲＴ２

投稿者：ikkak 投稿日：2003/07/15(Tue) 20:50

見ました。
小椋桂の主題歌はなかなか

[1721 へのレス] Re: 子連れ狼ＰＡＲＴ２

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/07/16(Wed) 06:19

いや、先週、番組欄を見ていて『これは絶対見なければ！』と思っていたのに、そのままに流れて、なにかしら『なんか忘れてるな～。』と思っておりました。
これだったのだ！

で、しっかりと今週は見ました。
二男が大吾郎の子役と同じ歳なので、重なって見えるところがあり、私も北大路一刀も大好きです。

これからも、しっかり見逃さず、見ていきたいと思います。

[1726] 「赤影」逝く

投稿者：花散里 投稿日：2003/07/15(Tue) 23:59

「仮面の忍者　赤影」で赤影を演じた坂口祐三郎さんが、７月１３日午後２時２０分、脳幹出血のため福岡県久留米市の病院で亡くなったそうです。６１歳。

赤影のテレビ放送は、私がまだ小学生の時だったと記憶しています。
大好きな番組でした。
白影を演じた牧冬吉さんも数年前に亡くなり、私の心の中にまた思い出が増えていきます。
今の若い方たちには想像できないかも知れませんが、格好良かったですよ。

真改 2003 さんも、がっかりされるでしょうねぇ。

ご冥福をお祈りします。合掌。
「夕刊フジ　芸能ニュース」

[1726 へのレス] Re: 「赤影」逝く

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/07/16(Wed) 06:13

そうですか。(;_;)
また、一人、逝かれてしまわれたのですね。

ついこの間、思い切って赤影の DVD を買ったばかりで、子供たちとも見ていた
ところでした。

私も小さかった頃のヒーローで、画用紙に赤影の仮面を描いて切り抜き、耳に輪ゴムをかけて仮面をつけて、よく遊びました。
数年前に、赤影の仮面が限定で発売され、うれしくて買った思い出があります。

時代劇なのに、現代の兵器（酸素ボンベなど）が出てきたりして(~_~)、それでも違和感なく楽しめて、本当に思い出の深い作品です。

赤影にあこがれて警察官になった人の話も、ラジオで聞いたことがあります。
赤影に限らず、ヒーローに憧れて、今の職業についた人は、案外と多いかもしれません。

ヒーローは、歳をとらず！
ヒーローよ、永遠なれ！ヽ(^o^)丿。

赤影さん、ありがとう。m(__)m

[1729] お伺いしたいことがあります

投稿者：歳 投稿日：2003/07/18(Fri) 09:00

皆様はじめまして。時折覗かせていただいているものです。今日はお伺いしたいことがありまして始めて投稿させて頂きました。実は今海外から刀を送ってもらおうと思ったのですが向こうの税関で止まってしまい切断しないといけないような話になってきました。なんとかうまく解決する方法はないものでしょうか。いきなりの質問で大変恐縮ですがどなたかお知恵をお貸しいただければと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

[1729 へのレス] Re: お伺いしたいことがあります

投稿者：花散里 投稿日：2003/07/18(Fri) 19:37

歳さん、ようこそ m(__)m
日本の税関ではなく、送り元の税関で泊まってしまった訳ですか？
私が以前に、アメリカから短刀を購入した際など、アメリカの税関どころか日本の税関も素通りし

てしまい、それはそれで慌てた覚えがありますけどね(^^ゞ

いずれにしろ、ここの定連さんで輸入実務に詳しいのは、swordsmith さんか、出島屋さんでしょうから、よろしくお願いします m(__)m

---

[1729 へのレス] Re: お伺いしたいことがあります

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/07/18(Fri) 20:08

頼りの『swordsmith さん』『出島屋さん』も共にお引越し中でございます。

お手隙になりましたら、よろしくお願い致します。m(__)m。

[1729 へのレス] Re: お伺いしたいことがあります

投稿者：守重 投稿日：2003/07/18(Fri) 22:56

今まで何回も輸入したことありますが、「むこうの税関」に止まってしまうというのは初めて聞きました。相手国はどこですか？　米国やイギリス等では税関で止まることは無いと思います。あとは告知書の記載方法の問題でしょうか？　「武器」とか書かれたとか？　差出人に連絡して返送の手続きをしてもらったら如何でしょうか？

[1729 へのレス] Re: お伺いしたいことがあります

投稿者：歳 投稿日：2003/07/19(Sat) 18:53

皆様いろいろとありがとうございます。今度はぜひ良い結果をお知らせできますよう今少し努力してみます。誠にありがとうございました。

[1729 へのレス] Re: お伺いしたいことがあります

投稿者：swordsmith 投稿日：2003/07/19(Sat) 23:06

引越し中の swordsmith です。
歳さんには直接お返事いたしました。
なかなか部屋が片付きません。ふぅ・・・

[1729 へのレス] Re: お伺いしたいことがあります

投稿者：花散里 投稿日：2003/07/20(Sun) 21:57

ありがとうございました m(__)m　＞swordsmith さん
引越し、がんばってくださいね(^^ゞ

[1729 へのレス] Re: お伺いしたいことがあります

投稿者：歳 投稿日：2003/07/21(Mon) 12:45

皆様ありがとうございました。また swordsmith さんいつもありがとうございます。大変参考になりました。引越しがんばってください。

[1733] ゼクス

投稿者：ikkak 投稿日：2003/07/19(Sat) 05:44

ちかごろチタンで作った刀が居合用に人気だとか、表面処理したら虹色になってきれいじゃないかな。
どなたか実物ご覧になった方いらっしゃいます？

[1733 へのレス] Re: ゼクス

投稿者：（刀）身から出た錆 投稿日：2003/07/20(Sun) 18:30

ナイフでもチタンに「タングステンカーバイト」というのを蒸着したナイフを作って売っているのがあります。
チタンだけでは切れないようですね。

ということは、チタン居合刀にタングステンカーバイトを蒸着できればよく切れる刀の誕生とはいかないのでしょうか？

素人考えでしょうか？

[1733 へのレス] Re: ゼクス

投稿者：野崎 投稿日：2003/07/20(Sun) 18:53

　チタンの専門家のお話では「チタンは硬くて加工が大変ですが、硬度では焼入れした炭素鋼にかないません。合金にしても熱処理しても駄目です。切れるナイフは特殊鋼が一番です。
　俗にチタンナイフというのはオールチタンの他に特殊鋼の刃物に窒化チタンや酸化チタンの膜を焼き付けて表面を硬化したものもあります。酸化物や窒化物ならセラミックですから硬いですが、粘りがないのでこれだけで刃物は作れません」との事でした。炭化タングステンでも同じです。

[1733 へのレス] Re: ゼクス

投稿者：ikkak 投稿日：2003/07/22(Tue) 22:43

そうですかチタンは加工が大変な割には刃物としての性能はいまいちなのですね....

[1737] やっちまったぜ！

投稿者：（刀）身から出た錆 投稿日：2003/07/20(Sun) 18:26

あ～あ、やっちまった！

刀に錆が出てしまいました。
３日に一回度は必ず手入れしていたのに。

な～んで～だろ～～う？？？

やはり、油を塗らずにそのままで保管というのはちょっと危険です。
でも、同じような保管の方法をとっていた他の刀はなんともないのですけどね。

これ以上広がらないように油をつけて拭きまくってます。

ちなみにそれは、外装入りの刀でした。
最初から白鞘がないので仕方がないのですが。

ショック・・・。

[1737 へのレス] Re: やっちまったぜ！

投稿者：ikkak 投稿日：2003/07/20(Sun) 20:05

心中お察し申し上げます。
ぶしつけですが参考までに刀身のどのあたりに
錆が出たか教えていただけないでしょうか？

[1737 へのレス] Re: やっちまったぜ！

投稿者：菊久 投稿日：2003/07/23(Wed) 07:51

私も、拵え入りのものはあまり油を付けたくないので、一週間位に一回の割合で、から拭い手入れをしているのですが、三日に一度の手入れで錆が出るとなると・・・
やはり、この時期、油を引いておいたほうが安全なんでしょうかねぇ～。
ikkak さん同様、心中お察し申し上げ候。

非常に参考になる書き込み「ありがとうございました」

[1745] 刀和の『義人模』

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/07/26(Sat) 21:49

月刊通販誌が出揃いましたね！

これだけの刀を毎回掲載するのですから、見る方は楽しみなのですが、掲載サイドはたいへんな努力をされているのだと思って、隅から隅まで見るように私も頑張っております。

特に最近は、通販誌購読歴８年の中でも見たことがなかったような刀も載っていて、誌上鑑定でしかそのような名刀を見たことがない、と感じていた名刀が今回も沢山載っております。

麗の『日置光平』もそうですし、刀和の福岡石堂守次もそうです。
イカの頭のような刃文という解説が、過去に守次の誌上鑑定の解説にあったように記憶しておりますが、間違っていたらすみません。で、そのような解説があった刀として記憶していましたが、こんなのもはじめて見ました。(#_#)。

銀座情報では、二代国包。こんなの見たことがありません。
地方の悲しさでしょうね。

私にとって年間の最大の楽しみである『大刀剣市』でも、これまで以上の名品が拝見できることを期待しま

す。

それで、今回最も気に入ったのが、現代刀匠の吉原義人刀匠の『佐々木道誉佩刀　義人模』の太刀です。

実はこれ、数年前にも別の刀剣商さんで写真を見たことがあります。
確かネット上であったと思います。

いや～、大野刀匠の山鳥毛も凄いですが、これも凄い！
これは将来重要刀剣じゃないですか！そんな気がします。
よく見かける現代刀の備前伝丁子刃文ではなく、福岡一文字を彷彿とさせる刃文です。
しかも、解説によれば『映り立つ』とあるではありませんか！

う～～ん。個人的には大刀剣市まで残っていてほしい。見たい見たい！！
傑作とはこのような刀を言うのでしょうか。価格は２５０万円也。

ところで、同じ刀和に刀剣の最後で『備州長船秀光　永和二年二月日』の重要刀剣短刀がでていますが、これがなんと２８０万円。

買えないけれど、庶民の重要刀剣も夢じゃない時代がきたような気がしてまいりました。(~_~)。

[1746] 東日本唯一の武具専門博物館

投稿者：真改２００３　投稿日：2003/07/26(Sat) 21:59

財団法人『佐藤博物館』というのがあるそうです。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

長野県中野市上今井 582-1
電話 0269-38-3735

です。

地元とつながりのある川中島の合戦や飯山藩本多家に関するものを中心にしながら、日本全体の甲冑武具がご覧いただけます。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

以上、たまたま頂戴した『THE 信州』という紙面からご紹介致しました。

[1746 へのレス] Re: 東日本唯一の武具専門博物館

投稿者：鬼丸　投稿日：2003/07/27(Sun) 07:33

ホームページもありますよ。一見の価値あり。

アドレスは下記のとおりです。

http://www.issh.jp/satoh/museum/

[1746へのレス] Re: 東日本唯一の武具専門博物館

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/07/27(Sun) 18:03

知りませんでした。
下水内郡(しもみのちぐん)…ってどこだろう？
長野県って意外と広いんです。
調べて行ってみたいと思います。
情報ありがとうございました～。

[1750] 鉄（刀）に関する本、二冊

投稿者：花散里 投稿日：2003/07/30(Wed) 22:58

鉄（刀）に関する本、２冊をご紹介します m(__)m

【鉄から読む日本の歴史】
講談社学術文庫　窪田蔵郎著 2003年3月10日発行　本体960円 ISBN4-06-159588-1
「鉄を制する者が天下を制する。日本の歴史を切り開いてきたものは、大陸伝来の製鉄技術だった。大和朝廷権力の背景にある鉄器。生産力を飛躍的に発展させた鉄製農具。鋳造鍛錬技術の精華、美術工芸品と日本刀。天下の覇者を決した鉄砲。近代国家建設の象徴、官営製鉄所の創業－－。考古学・民俗学・技術史を駆使し、＜鉄＞と日本の二千年を活写する。」

【鍛冶屋の教え　横山祐弘職人ばなし】
小学館文庫　かくまつとむ著 1998年6月1日発行　本体457円 ISBN4-09-411081-X
「「鍛冶屋っていう職業が、この先どうなるかは、私にはさっぱりわかりません。ただ、日本の鍛治っていうのは、コメ作りと同じで、２０００年来、たいして姿が変わらずに来た技術だってことや、人が生きるために必要なモノっていうのは、こんな単純な仕事場と道具で作ることができたんだっていうことだけは、記憶にとどめておいてもらいたいもんだね」
烈公・水戸斉昭の刀鍛治から、農具・生活刃物を打つ職人へ。茨城県北西部、奥久慈に４代続く野鍛治・横山祐弘氏が語る、鉄の不思議と道具の魅力。懐かしい日本を思い出す、文庫書き下ろし聞き書き集。」

【鉄から読む日本の歴史】は、野崎先生がご協力されています。
【鍛冶屋の教え　横山祐弘職人ばなし】は、３年前の出版ですがまだ手に入ります。

[1750へのレス] Re: 鉄（刀）に関する本、二冊

投稿者：花散里 投稿日：2003/08/01(Fri) 18:33

【鍛冶屋の教え　横山祐弘職人ばなし】を、昨日読了しました。
先祖は別として横山祐弘氏自身は作刀しておられず、刀の話題はあまりないのですが、鉄とはどういうものかが分かりやすく解説されています。
私にとっては、とても面白い内容の本でした。
これから【鉄から読む日本の歴史】を読みますので、読了したらまたご報告します。

[1717] 壬生義士伝

投稿者：ikkak 投稿日：2003/07/05(Sat) 18:09

レンタル dvd になっていたので見ました。
よかったー、佐藤浩一かっこよすぎ
中井貴一も時代劇似合いますよねー
でもヤマトアンテイは大業物じゃなくて良業物じゃなかったでしたっけ。

[1717 へのレス] Re: 壬生義士伝

投稿者：花散里 投稿日：2003/07/08(Tue) 00:20

私はテレビドラマで見ただけで、原作は読んでいません。
原作のあるドラマ・映画などの場合、どちらを先にするかいつも悩むところです。
大体の場合は「原作が先」派なのですが、今回はドラマが先になってしまいましたので、書店でも原作を買うのが躊躇されます(^_^;)
まして今回は、ドラマの記憶・映画・原作と三つ巴ですから。
と言っても、浅田次郎氏は好きな作家の一人ですので、そう遠くないうちに原作を買ってしまうと思いますが・・・(^^ゞ

確かに、良業物ですよね・・・安定(^^)

[1717 へのレス] Re: 壬生義士伝

投稿者：守重 投稿日：2003/07/08(Tue) 08:21

私も先月映画を見ました。隣町の「道の駅」に小さな映画館が併設されていて、1000 円で鑑賞できます。中井貴一、凄い演技力でした。ドラマも良かったですが、やっぱ大画面の映画ものが良いですね。観客は私が一番若くて、隣のおばさんはオイオイ泣いていました。安定は確かに業物ですが、壬生義士伝=安定というイメージが頭に焼き付いてしまいました。

[1717 へのレス] Re: 壬生義士伝

投稿者：薩州住無学 投稿日：2003/07/08(Tue) 14:38

過日放送の「開運！なんでも鑑定団」で若手陶工の方が見知らぬ老人から「君の目には武士の魂を感じる」と貳ツ胴裁断銘入りの大和守安定の刀を貰ったと鑑定に出していました。柴田光男氏の鑑定で正真の３００万円と評価されて、本人も困った表情を浮かべておりましたが、そんな夢のような話があるんですねー。うらやましい限りです・・・。

[1717 へのレス] Re: 壬生義士伝

投稿者：吉村貫一郎 投稿日：2003/07/27(Sun) 09:57

壬生義士伝、原作はテレビドラマや映画では描ききれなかった場面や、
違った描写も多く、本当にお勧めできる久々に手ごたえを感じる本です。

私はもう何回読み返したでしょうか。
会津藩士として捕らえられた斉藤一が、
北の果てへの転封の際に南部領を通過するのですが、
その時に南部領民の暖かさに触れ、涙がとめどなく流れた場面は、
特に気に入っています。
この場面はテレビでも映画でも描かれていません。

文庫本も出版されましたので、是非読んでみてください。
刀の使い方、人を斬るとはどういうことか、
その辺の描写も真に迫るものがあります。

[1717へのレス] Re: 壬生義士伝

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/07/31(Thu) 15:58

先日やっと…テレビ東京の長時間ドラマ版「壬生義士伝」を見ました。映画も原作もこれからです。
…ドラマの方でも泣けました(ノ__・、)。

[1717へのレス] Re: 壬生義士伝

投稿者：花散里 投稿日：2003/08/02(Sat) 18:17

【鉄から読む日本の歴史】の前に、浮気して「壬生義士伝」を読んでしまいました(^^ゞ
まだ読まれていない方に、少々アドバイスを m(__)m

１．通勤・通学などの車中で読んではいけません
２．会社の昼休みなどは、もってのほか
３．妻子の前で読むのもやめた方が良いでしょう
４．辛口のお酒と小皿に味噌を少々用意して、一人心ゆくまで「男の情」を噛み締めてください m(__)m

[1717へのレス] Re: 壬生義士伝

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/08/02(Sat) 21:23

実は私も本日、買ってきました。上下ですよね。

[1717へのレス] Re: 壬生義士伝

投稿者：花散里 投稿日：2003/08/02(Sat) 22:43

はい。上下巻です。
読破するには、タオルが必需品です(T_T)

[1756] 真鍋純平刀匠から

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/08/02(Sat) 21:27

今年後半のカレンダーが送られて参りました。
いつもありがとうございます。m(__)m。

さっそく、一部を刀剣の啓蒙活動に使用すべく、２０代の事務職員男女両君に渡して、解説を行いました。
『え～だろう。この短刀』(~_~)って感じです。

さて、今回の短刀はいつもにまして品よく、直刃で、樋に沿って『映り』が立ち、鎌倉時代の短刀を彷彿とさせる出来となっております。

純平刀匠のホームページへは、電脳倶楽部のリンクから行くことができます。

[1757] 青い目の・・・。

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/08/02(Sat) 21:35

オーストラリアから来ていた英語の先生。
彼は３年前に居合を私と一緒の時期に始めたのですが、明後日に帰国することになりました。

私は諸事情から（って、根性がなかっただけ(+_+)）居合を中止しましたが、彼は３年間の修行で２段にまでなったそうです。

今日は、帰国の挨拶とお礼に来てくださったというわけ。

というのは、稽古を始めたときに私が貸してあげていた『居合刀』（模造刀）を『ありがとうございました。』とお返しにわざわざ私宅にお越しくださったという次第。

私は、月日の流れの早さに驚きながら、日本での稽古の記念にそれをさし上げました。
きっと、３年間の修行の思い出がこの居合刀と共にあると思ったからです。

３年かぁ～。
早いもんですね。

継続することは並大抵ではないです。

[1757 へのレス] Re: 青い目の・・・。

投稿者：神無月 投稿日：2003/08/03(Sun) 16:38

僕は以前、居合を習いたいと思い見学に行った事がありますが、幽霊門下生になりそうなので入門は結局やめました。
でも一度は習ってみたいです。

[1763] さよならの向こう側

投稿者：ikkak 投稿日：2003/08/04(Mon) 06:10

NHKの教養番組を見ました。(中山エミリいい味出してました)

なにやらこの宇宙にはもともとは鉄の原子はなく
水素とヘリウムでできた巨大な惑星が寿命を迎え、内部温度が５０億度を超えたとき
核融合によって鉄の原子が生まれるそうな。
その鉄の原子はやがて星の爆発により遠くの星へ運ばれるそうな。

私たちの愛刀ももともとは何億光年離れた星の散華したかけらだったのかと思うと
なんか感動しました。

[1760] 鎌倉は暑かった・・・・

投稿者：神無月 投稿日：2003/08/03(Sun) 17:08

昨日鎌倉へ日帰りで行ってきました。
４月に岡山へ旅行に行って以来、どこへも行かず引きこもりがちだったんですが、昨日の朝急に鎌倉へ行きたくなり出かけました。
ただ、昨日は暑いうえに５時間くらい歩きっぱなしだったので、大仏ハイキングコースから下りた頃にはクタクタで、肝心の大仏を見ずに帰ってきてしまいました・・・。

大仏の近くにある「山海堂」というお土産屋さんに行きました。
鎌倉へ行く目的の一つだったんですが、思っていたよりも小さなお店でした。
でも、西洋刀剣のレプリカや模造刀はＨＰの画像を見るよりもずっと良くできていて、お金を持っていたら何か買いたかったです。

最近引きこもりがちだったのが、一度遠くへ出かけると、またどこかへ行きたくてウズウズします。
次はどこへ行こう～？

[1760へのレス] Re: 鎌倉は暑かった・・・・

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/08/03(Sun) 22:51

鎌倉は１３年前に行ったことがあります。
確か、そのときも暑かった。(+_+)。

そして、北条一門の墓が点在し、それがそんなに大きな墓でなく、権力者としての大きさに見えなかったので、驚いた記憶があります。

また、今日もニュースで関東の梅雨明けを報道していました。
そのときに湘南が映ったのですが、砂浜を見て『そうそう。この黒い砂に驚いたよな～。』と当時を思い出しました。

山海堂さんのことは、１３年前は知らず、今なら間違いなく訪問してお土産を買っていることでしょうね。!(^^)!。

[1760 へのレス] Re: 鎌倉は暑かった・・・・

投稿者：隠居 投稿日：2003/08/04(Mon) 05:58

鎌倉は歴史を感じる町なので、神社仏閣の宝物館に刀が置いてないか期待したものでしたが、鶴岡八幡宮をはじめ無いにひとしいようなことで、がっかりしました。源家ゆかりの刀の１振や２振、なくてはおかしいんですがね。

[1760 へのレス] Re: 鎌倉は暑かった・・・・

投稿者：花散里 投稿日：2003/08/04(Mon) 08:05

あ、ご隠居さん、鶴岡八幡宮にも刀はあります。
常時公開しているかどうかは分かりませんが、本殿左側の宝物殿にあるはずです。
ホームページにも、「約６０口」とあります。
徳川家奉納の国宝「青江正恒」や、重文「長光」などがあります。
詳しくは、鶴岡八幡宮のホームページをご覧ください。
「鶴岡八幡宮ホームページ」

鶴岡八幡宮で結婚式を挙げ、一応源氏の家系(^^ゞ　花散里

[1760 へのレス] Re: 鎌倉は暑かった・・・・

投稿者：隠居 投稿日：2003/08/04(Mon) 08:28

花散里さん、ホントですねぇ。鎌倉の皆さんたいへん失礼しました。
鎌倉には従兄弟や知人がいて、「二三泊して、ゆっくり見るだけの価値のあるところ」と言ってくれていたのですが、今では二人とも不在になりました。
一寸遠方の場合、行った時に見逃すと、中々機会がないものです。

[1760 へのレス] Re: 鎌倉は暑かった・・・・

投稿者：花散里 投稿日：2003/08/04(Mon) 13:17

鶴岡八幡宮は源氏の守り神ですので、源氏を称した徳川家から大層な刀が奉納されています。(あまり知られていないのですが)
十数年前の話になりますが、「鶴岡八幡宮の刀剣」という図録が発行されたこともあり、今でも時々古書店の案内に載っています。
私は、生まれた所が元々鎌倉の近くであり、高校も鎌倉でした。
謂わば、青春を過ごした地、ですね(^^ゞ
皆さんの仰るとおり、三方を山に囲まれていますので夏の暑さは格別ですが、春秋は快適に過ごせます。(観光客の多さを除けば・・・)

遠方ですが、機会がありましたらぜひお越しください。＞ご隠居さん

[1760へのレス] Re: 鎌倉は暑かった・・・・

投稿者：隠居 投稿日：2003/08/04(Mon) 19:16

花散里さん、おおきに、も少し若ければ早速すっ飛んでいくところですが、どうにもなりません。２０年ほど前になりますか江ノ電鎌倉駅前で釜飯を食べて、鶴岡八幡宮にお参りしました。１０月でしたから紅葉はまだでしたが爽やかでした。相州住人五郎入道正宗作とある小刀造り白鞘のペーパーナイフを買いましたが、これが案外使いよくて以後今日まで重宝しています。商店街は中々おしゃれですね。

[1760へのレス] Re: 鎌倉は暑かった・・・・

投稿者：花散里 投稿日：2003/08/04(Mon) 23:50

鎌倉駅の時計台を背に、小町通りを左に見ながら若宮大路へ。立ち止まって上手を眺めれば一の鳥居と由比ガ浜、下手に折れると二の鳥居。桜並木の段蔓（だんかずら)、そぞろ歩いて三の鳥居から境内へ。欄干に掴まりながら太鼓橋を渡り、左の平家池、右の源氏池の間に参道の石畳。正面の舞殿を避け、大銀杏の梢の下、汗をかきかき石段を昇って本殿へ。お土産は、鎌倉名物「鳩サブレ」。

といった感じでしたでしょうか？(^^)　＞ご隠居さん
今は太鼓橋も渡れなくなり、商店街はさらにおしゃれに。

[1760へのレス] Re: 鎌倉は暑かった・・・・

投稿者：神無月 投稿日：2003/08/05(Tue) 19:29

鶴岡八幡宮にも行きましたが、本殿は修復中で見れませんでした。

暑かったので人気のない本殿脇の階段で休んでいると、リスが近寄ってきました。
ずいぶん人に慣れているようで、僕の手から直接お菓子を貰って、その場で食べてました。
実家の近くの山では良くリスを見かけましたが、あんな街中にもいるんですね。

[1760へのレス] Re: 鎌倉は暑かった・・・・

投稿者：花散里 投稿日：2003/08/05(Tue) 22:03

リスとかタヌキは、昔から多かったですね。
観光客が珍しがって餌をやるので、人に馴れてしまっています。
さすがに最近のように、昔はアライグマまではいませんでしたが・・・(^^ゞ

[1771] 無題

投稿者：隠居 投稿日：2003/08/07(Thu) 19:38

産経新聞社刊「正論　臨時増大号　靖国と日本人」
新聞で知った発売日当日に本屋へ買いに行かせたところ、２軒とも売切れで「出版元にもなし」との返事でした。慌ててあちこち尋ねて回りやっと入手できる見込みです。(現物は来週到着)
皆さん、喜んでください。今年は少し風向きがかわりましたよ。官邸筋は「靖国に代わるもの」を造ると中

国に約束したと報道されていますが、この動きに対する国民の危機感からではないでしょうか。国のために若い命を捧げた英霊たちは靖国にいるんです。この問題は刀とは直接関係ありませんが、刀は武士道に深く関わります。そして武士道とは君国の一大事に自らの身命を賭す、自己犠牲の精神です。それをまさになされた先輩方が放置されている。今国民投票で靖国存続を問えば、たいへん危ふい状況です。諸賢諸氏のご理解を得たく思います。

[1771 へのレス] Re: 無題

投稿者：花散里 投稿日：2003/08/07(Thu) 22:17

「靖国神社に祀るから」と、約束したはずです。
逝った方々との約束は、守らなくてはいけません。後から埋め合わせはできませんから。
「礼儀・廉恥」が、日本人の本質であったはずです。
「仏作って魂入れず」代替施設など、破廉恥で拝金主義の政治屋の考えそうなことです。
そんな政治屋がリードする日本、今の世相も当然かもしれません。

それにしても、残されたわずかな時間に心の拠り所であったであろう刀も、せめて数打ちでもよいから本物を持たせてあげたかったですね。

「正論」←こちらから、はがき・電話・電子メールで申し込めます。

[1771 へのレス] 戦争論　小林よしのり著

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/08/07(Thu) 22:24

先週、偶然に本屋さんでこの本がベスト２の場所に置いてあったので、買いました。
漫画形式だったので、戦争論１．２．３とまとめて買ってみました。

内容は漫画形式で、靖国神社のことも戦争のことも、たいへんわかりやすく書かれてあります。
また、日本がなぜ戦争を始めたか、戦後、政治家はどのように外国とあたってきたかも書かれています。

私たちは、あまりにも先の戦争のことを知らなさすぎたようです。
例えば、戦後補償で、日本は膨大な補償を行っていますが、ドイツはまったく行っていないこと。
それは、ドイツが毅然たる態度でこの戦争を位置づけているからに他なりませんが、日本とは大違いです。
この辺りの事情もよく解説されています。

私はまだ、２の途中ですが、日本を見直しました。
この小林よしのりさんの本は、中学高校生の女性の間でも特に人気が高く、日本を考える良い機会を与えているようです。

なぜ、戦争論というタイトルの一般に避けられるようなタイトルの本が、ベストセラー２に置かれてあったのか。
自分の目で確認中です。

さて、私も産経新聞社刊「正論　臨時増大号　靖国と日本人」を読むべく、ネットで注文しましたが、在庫があるでしょうか。
期待して待ちたいと思います。

一言
『靖国神社に祀られている魂は、祀られている魂の生前の宗教に関わらず、国のために、故郷のために、家族のために戦った魂が祀られています。』
宗教を超えた存在である、そのことに私は驚きと注目をいまさらながらに再認識させられました。

[1771 へのレス] Re: 終戦の日に

投稿者：隠居 投稿日：2003/08/08(Fri) 09:13

早速、ご理解して頂き感謝します。靖国問題は国家神道の問題と戦犯合祀の問題が絡んでいます。
日本では平の将門すら神社になっているんで、神道は「祀る」ための形式ですが、識者とか文化人とかは靖国を宗教とみます。これに創価学会、仏教、キリスト教も同調しています。
また東条元首相以下当時の為政者が戦犯という汚名を着せられて、国民の犠牲になったわけですが、この東京裁判くらい法の正義を無視した裁きはありません。西部ならず者の、リンチ同様だと思います。
北朝鮮問題から国防ということが大きく浮上してきました。「国を守る」のは単に兵器だけではありません。身命を賭すという気概をもった軍人の存在が欠かせないことは当然のことです。靖国に総理大臣が参拝をためらうような今日の事態では、国事に命を捧げる人間出てくるでしょうか？
靖国問題は、今後の日本の基本的な中枢にかかわる問題だと確信します。
なににしてもこの８月１５日の終戦の日に、これらの問題を考えるのは、刀の縁につながる者として大切なことではないでしょうか。皆様、よろしくお願いします。

[1771 へのレス] Re: 無題

投稿者：鎬 投稿日：2003/08/08(Fri) 17:09<HOME>

靖国神社に代わるもの？あるのかな？
「致知」に渡部昇一氏が連載（今月で 100 回）されている「歴史の教訓」を
読み日本人としての自信を、事実を知る事で得ています。
国民全体がもっと歴史の事実を知る事が必要だと思います。
しらないからの意見としか言えない事が多いように思いますね。

[1771 へのレス] Re: 無題

投稿者：隠居 投稿日：2003/08/08(Fri) 21:10

鎬さん、仰るとおりです。日本の歴史、ことに明治以後の現代史は「正しく知る」ことが必要で、小林の漫画「戦争論」も正統派の一つだと思います。・・・と云って老生の年では漫画が買えなくて。

[1771 へのレス] Re: 無題

投稿者：内記 投稿日：2003/08/08(Fri) 23:55

みなさま、ご無沙汰致しております。内記です。
東京近辺の方にお願いがあります。地下鉄東西線の九段下駅より、徒歩 2 分。大きな鳥居が目印です。大きな大きな鳥居です。鳥居の先に大村益次郎の銅像があります。本殿に向かって右側に「遊就館」があります。
ぜひ、行ってみて下さい。
一兵卒から、高級将校まで、何の差別もなく、この國に殉じた、明治（幕末）から大東亜戦争までの英霊の魂が、形となって、わかり易く語りかけてくれます。
　ここが「靖国」、これが「靖国」と。
こまっしゃくれたイデオロギーなど、吹っ飛んでしまうわかり易い「靖国」がここにはあります。
百聞は一見にしかず。ぜひ、お勧めします。
　私は、昔からすこししょんぼりすると、授業の合間や、仕事の途中に、ここをよく訪れました。
帰りは、間違いなく、ポジティブな気持ちで、「よし、しっかり生きよう」となります。
「靖国問題」は、本や話でなく、ぜひ「靖国神社」に行かれて、ご自分の
内なる魂の問題として、一人ひとりが、発言できれば、日本人のコンセンサスとして解決できるのではないか。と、旅の空より祈念致しております。

[1771 へのレス] Re: 無題

投稿者：隠居 投稿日：2003/08/09(Sat) 07:57

内記さん、私もあなた同様、若いお方に遊就館へ一度行って貰いたいと思います。
遊就館は終戦前までは中央刀剣会が置かれ、日本刀の展示や研究会を催していました。ここで刀を学んだ方々が戦後指導者となられたわけで、この意味でも靖国社と刀とは縁がふかいです。
私個人としては伯母の付添いとして、また後年では代理として、Ｈ県遺族会の一員として春秋の大祭に集団参拝していましたが、国や自治体の関与が憲法違反という最高裁判決後は、県も遺族会の世話をしなくなり、靖国社は火が消えたように寂しくなりました。どこの国でも戦死者を祀る場所は、国軍が管理しゴミ一つないよう礼を尽くしています。日本を批判する中韓両国も同様でしょう。
「ダメだよ」と噛んで捨てるように小泉首相の靖国参拝を批判する唐外相をＴＶでみると、頭へ血が上ります。

[1771 へのレス] Re: 無題

投稿者：花散里 投稿日：2003/08/12(Tue) 20:02

支那は、「中華」と称していることからも解かるように、日本・台湾・韓国・北朝鮮・チベットなどの「宗主国」を自認していますから、靖国問題に対してもまるで子供に対するような接し方をするのでしょう。
支那からクレームがつくたびに参拝を中止する日本の首相たちは、参拝していったい何を祈っているのでしょうか？
「為政者として歴史の反省点を鑑み、亡くなられた方々のご冥福を祈り、平和への決意を新たにす

る」ために参拝しているんではなかったんですかねぇ。

最近の日本を「右傾化」などと取る方もおられますが、私は今までの「不自然・奇形的」な国家運営に対する「揺り戻し」と感じています。
もちろん、全てが良いわけではなく、まだまだ議論はしなければなりませんが。
その「揺り戻し」に至る一つの原因は、支那の「節度無い中傷」にあると思います。
「お前は泥棒で人殺しだ」から始まり、「お前の親は泥棒で人殺しだ」、「お前の祖父は泥棒で人殺しだ」・・・このままでは延々と未来永劫続きます。
日本人だって、いい加減うんざりするってものでしょう。
私なんか支那に対し、「ＯＤＡ【円借款だけで累計 2 兆 7000 億円、第三機関を通した援助を加えると、軽く 6 兆円を突破】で金を援助して貰ってるくせに、いつまでも内政干渉するなよ！」って、時々言いたくなりますけどね。

旧掲示板時代に、確か鎬さんにご紹介いただいたと記憶していますが、私がもう一度ご紹介します。
「帝國電網省」ここの、「歴史再考」はとても参考になります。

[1771 へのレス] Re: 無題

投稿者：守重 投稿日：2003/08/13(Wed) 13:55

私もこの本は偶然に書店で見つけ、衝動買いしました。未だ書店にはかなり在庫がありました。現在せっせと読んでいます。
私の町は高齢者が 40%を越える超過疎地ですが、年寄りの家に入ると 90%の家に天皇陛下の肖像が飾られています。82 歳の某氏も毎年靖国に行き、今年も戦友に会いに行くと意気込んでいます。
日本の高度成長、、、これらを築き上げた人々が現在高齢になられ、靖国や亡き戦友とともに頑張って生きているという印象です。皆、戦争は嫌でした、行きたくなかった、と言いますが、悪いことをした、と言うことは 1 人もいませんでした。皆一所懸命国や家族のために戦ったと言っています。
しかし敗戦国はつらいもので、言いたいことも言えず、このまま一生を終えるのは辛いので、せめて靖国の戦友に参るのが勤めだと言っていました。私は靖国は宗教や思想云々を越えた神聖な場所と考えます。当然ですが、国民の代表者達が（心から）詣でるのは当然でしょうね。
世紀の天才、アインシュタインが戦前以下のような言葉を発しました。

「世界は進むだけ進んで、その間幾度も闘争が繰り返され、最後に闘争に疲れる時が来るでしょう。そのとき世界の人類は必ず平和を求めて世界の盟主を上げねばならない時が来るに違いないありません。その世界の盟主は武力や金力ではなく、あらゆる国の歴史を超越した最も古く、且つ、尊い家柄でなくてはならないでしょう。
　世界の文明はアジアに始まってアジアに帰れはアジアの高峰＝「日本」に立ち戻らねばならなくなります。私たちは神に感謝します。神が私たち人類に日本という国を造っておいて下さったことを」

これを米国や支那が聞くと、日本を潰したくなるのは当然ですよね。現に原爆で大量殺戮されてますから。。。

[1771 へのレス] 今日も徳島新聞に、

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/08/15(Fri) 18:13

靖国神社のA級戦犯を中国との有効とのために、合祀を中止せよという趣旨の投稿が載っていました。

戦争へも行ったかもしれない７０代後半の男性のものだったと思いますが、A級戦犯という表現も失礼ですが、この方はA級戦犯といわれる人の合祀だけを除けば問題が解決すると誤解しているようです。

A級戦犯の次はBC級、そして靖国神社自体の存続に及ぶのは目に見えています。
つけこまれるだけつけこまれるという事態をまったく考えていない、甘い考えではないでしょうか。

[1781] 火垂るの墓

投稿者：花散里 投稿日：2003/08/14(Thu) 19:17

「昭和２０年９月２１日夜、僕は死んだ・・・」
衝撃的なモノローグから始まり、終戦直後に餓死してしまう主人公の思い出を切々と描いたこの作品が、今年も今月２２日に日本テレビ系列で放送されます。今年で何年目になるのでしょうか？
今年も、家族と一緒に見ます。
今や、これを見ないと夏が来た気がしません。
既に殆どの方がこの作品をご覧になったことと思いますが、まだご覧になったことが無い方は、ぜひこのチャンスにご覧ください。
アニメと言えど、いろいろと考えさせられる作品です。

日本で、毎年８月１５日の前後にこの作品を全国放送していることの意味を、そろそろ気が付いて欲しいですね。
プロパガンダに基づいた反日教育や、歴史の捏造はもうやめませんか？　＞国内外の反日思想の皆様

[1782] 第二回海部刀等名刀鑑賞会ご案内

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/08/14(Thu) 21:33

来る９月２０日と２１日にわたって、海南町立博物館にて開催されます。

重要刀剣や海部刀を含む３０口の鑑賞刀の目録が同封されていました。
また、常設展示の海部古刀から現代刀匠の写した海部刀まで、自由に鑑賞できるそうです。

近県の方はぜひ、参加してみてはいかがでしょうか。

『海部の上作は郷に化ける。』と言われるらしいですよ！(^。^)y-.。o○。

[1784] １５日を迎えて『靖国神社』とは

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/08/15(Fri) 18:21

靖国神社は、明治二年、明治天皇の

『我が国のために尽くした人々のみたまは　国自ら永久にお祀りすべきである。』

との聖旨により、御創建された。

[1784 へのレス] Re: １５日を迎えて『靖国神社』とは

投稿者：野崎 投稿日：2003/08/15(Fri) 22:17

　靖国神社はその東京招魂社を明治１２年（1879）に別格官幣大社靖国神社としたのが正式の発足となっています。

[1784 へのレス] Re: １５日を迎えて『靖国神社』とは

投稿者：ちょっとまめ知識 投稿日：2003/08/16(Sat) 03:58

靖国神社の御神体であります御鏡と御剣の制作者ですが
清麿１番弟子でした新潟県出身の栗原信秀の作です。

[1784 へのレス] Re: １５日を迎えて『靖国神社』とは

投稿者：隠居 投稿日：2003/08/18(Mon) 10:24

今年も８月１５日にマスコミ各社が靖国神社に待ち構えて、参拝に来た閣僚や政治家にマイクを向けていました。
いつも思うことですが、どこか１社でもこのマスコミ各社にマイクを向けて「何故、毎年この日の靖国参拝を取材するのか」「靖国神社をどう思うか」「靖国参拝を非難する中国韓国をどう思うか」逆取材して流してくれないものでしょうか。

盆の間は墓参をし終戦の日を思い、戦時中のことを思い、戦没した上官・先輩を思い、感謝と慰霊の念をもって過ごしました。お蔭で心が洗われました。

[1787] リンクに際してのご連絡

投稿者：許斐　達也 投稿日：2003/08/17(Sun) 07:13

初めまして。
貴サイトを拝見させていただきました。
当方この度刀剣関係のサイトを開設するにあたり、リンクコーナーに掲載させて頂きたいサイト様に一言おことわりのご案内をさせて頂いている次第です。現在当サイトは試験用サーバーにて、作成と調整をしながらのテスト運用中です。完成、納品後は移転します。９月の正式開設を予定としておりますので、ＵＲＬが決定し次第改めてご連絡致します。

[1787 へのレス] Re: リンクに際してのご連絡

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/08/17(Sun) 19:16

管理人の真改２００３です。

ご丁寧なご挨拶をありがとうございます。
当方はリンクフリーとなっております。

また、商取引に関するような宣伝等の記載はご遠慮いただいております。
よろしくお願い致します。m(__)m。

[1790] やっと県もやってくれそう！!(^^)!

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/08/20(Wed) 18:52

徳島県内のニュース　（紙面から）　（8 月 20 日付）

県立博物館に桃山時代の名刀寄贈　徳島藩医興津家関係者

桃山時代の代表的刀工・堀川国広（くにひろ）（生没年不詳）の刀と脇差し一組が、徳島藩主・蜂須賀家の藩医を代々務めた興津家の関係者から、徳島県立博物館に寄贈された。

刀は長さ六八・四センチ。刀身に不動明王とその梵字（ぼんじ）が彫られている。茎（なかご）と呼ばれる柄を差し込む部分に、国広の門弟・国正が師の作であることを、証明した銘が刻まれている。脇差しは長さ五一・四センチで、茎に国広作の銘があるという。

国広作の刀と脇差しを所有していた興津融（とおる）氏が一九九九年一月に死去したのに伴い、二女のまりさん（55）＝東京都新宿区＝が今年七月に贈った。興津家は、初代春ト（しゅんぼく）が江戸中期の一七四八年（寛延元年）に仕えて以来、蜂須賀家の藩医を務めた。まりさんは、六月にも同家に伝わる刀剣類を徳島場博物館に寄贈している。

博物館は「刀と脇差しの姿や刃文（はもん）に、国広らしい豪快な特色が現れていて、優れた出来といえる。江戸時代の藩主と家臣の関係を考える上で重要な資料」としている。同館では、来年一月から特別陳列「刀剣の美　館蔵品から」の開催を予定していて、併せて寄贈された資料も公開する。

[1790 へのレス] Re: やっと県もやってくれそう！!(^^)!

投稿者：隠居 投稿日：2003/08/22(Fri) 10:16

真改さん、郷土所縁の名刀が公開されるのはいいことですね。国広の彫りは素晴らしく、この刀の彫も櫃の中に彫られた見事なものと想像します。そして「豪快な」刃文とあるので国広得意の相州伝でしょう。古刀然とした古屋打ちも渋くていいですが、桃山時代らしい大出来のものもいいですね。

[1790へのレス] Re: やっと県もやってくれそう！!(^^)!

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/08/22(Fri) 19:10

はい。本当にうれしい話です。
蜂須賀家由来の宝物品は、戦後に随分と売却されて、徳島県下にはあまり残っていないと聞いていますし、刀剣関係にいたっては、いったいどれほどのものが公的に保存されているのか、よくわかりません。

随分前に、愛刀という刀剣通販雑誌に『蜂須賀家伝来虎徹』の太刀拵え入りの刀が出ていましたが、珍しいことに鍔も『阿波正阿弥』の象嵌鍔で、これぞ郷土にふさわしい名刀と思いました。
今は、どこに行ったのでしょうね。

郷土の刀としては海部刀のコレクションが有名ですが、蜂須賀家伝来としての刀剣武具の収集はどの程度まで進んでいるのか興味があります。

今日もニュースで天皇陛下が徳川家の伝来品をご覧になったと、テレビで見ました。
全国各地で、このように郷土の名品が保存管理されることを希望するものです。

[1793] 英雄

投稿者：ikkak 投稿日：2003/08/24(Sun) 19:56

お盆休みに噂の中国映画「英雄」をみてきました。
剣戟に期待していったのですが....
確かにすごいとは思いましがやっぱり雑技団ののり
たそがれ清兵衛や壬生義士伝の殺陣にくらべると深みがないように思いました。

始皇帝「技の名は？」
無名「... 十歩必殺剣」ネーミングセンスない

[1793へのレス] Re: 英雄

投稿者：鎬 投稿日：2003/08/30(Sat) 10:16<HOME>

私は、DVDで「たそがれ清兵衛」をみました。
付録のDVDの中に、主人公が脇差を砥ぐ場面があり
カットされたシーン集の中には、焼き砂に脇差を挿す場面もありましたよ。

[1794] 気をつけましょう

投稿者：あれあれ 投稿日：2003/08/29(Fri) 23:38

刀剣の鑑定書で日刀保の保存もしくは特別保存のついていないものは（重要は別）まず疑いましょう。特別貴重・甲種特別貴重・得能鑑定全て信じていけません。考えて見て下さい。本物はちゃんとどこへ出してもケチをつけられないように制度が変わってからの鑑定書（認定書ではない）がついていますよ。

業者にだまされるのはベラボウだます業者はドロボウですよ。
信用ある業者から買うのがじつは一番お徳です。

[1794 へのレス] Re: 気をつけましょう

投稿者：真改 2003 投稿日：2003/08/30(Sat) 12:54

この手の話は随分と論議されてきましたが、ここに最近みえられた方にとっては、刺激的な話題の一つではあるでしょう。
『あれあれ』さんの投稿によって、たくさんの返信があるかもしれませんが、『誹謗中傷』『暴言』『根拠のないこと』などの発言以外で、責任をもって発言されることについては、まったくかまいません。

そういう意味においては、どんどん発言を期待したいものです。

また、どのような方のどのような発言に関しても、『管理人や管理人合議体』が不適切と判断した内容については、直ちに削除します。
そして、その削除理由などはいちいち申し上げませんので、ご了承ください。
しいて言えば、管理人としての判断がそうさせたということが、理由となりますでしょう。

まあ、この話のような内容の論議はとかく熱くなりがちですので、参加される皆さんは冷静にお願いしたいと存じます。

たとえば、数年前は鑑定書なんてと思っていたが、最近は鑑定書絶対主義になったとか、自分の心の中に鑑定書の可・不可をどちらも肯定する心があって、どちらの立場でも論議したいという、一人論争っていうのもあるかもしれません。

数年前は日刀保のことを否定していたが、今は諸手をあげて応援しているとか、あるいはその逆とか・・・。
時間もたてば、知識も経験も増えて、また変わった意見もあろうかと存じます。

自分の心の中の表裏対決でも構いません。
ルールを守って論議してください。

[1794 へのレス] Re: 気をつけましょう

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/08/30(Sat) 14:53

僕も昨年・今年と○特の短刀・脇差を保存審査に出して、結果「現状」と言う残念な結果になりました。
難しいですね～。仮に保存が取れなくても自分がその出来に納得していれば良いのですが…。
でもそれなら最初から審査になど出さなきゃ良いわけでして…。
やはりスケベ根性がどこかにあったんでしょうね。若い若い(//￣ー￣//)ゞ
一番無難なのは「あれあれ」さんの仰るように信用のおける刀剣商さまから買うことです。
日々是勉強ですな～。

[1794 へのレス] Re: 気をつけましょう

投稿者：薩州住無学 投稿日：2003/08/30(Sat) 23:22

私のように未だ信憑を見抜く糧のない者にとって鑑定書、特に世間的に認められているものが在るという事はその物が間違いないものと安心して購入できます。しかしながらこれらに信用出来ないものがあるということは由々しき事だと思います。嘗て刀剣ブームだった昭和 40 年代の鑑定書、認定書は駄目だと地元の刀剣店で教わりましたが、最近のネットでの刀剣売買が盛んなところを見るとまたブームが起きているのかな？とも思いますが信用できない物がついたものが飛び交うと何を信用すれば良いのか分かりません。刀剣店のすくない地方に住する私にとってネットで売買できる環境は在り難いのですが、やっぱり偽物を買わされるのは嫌ですしね…。

[1794 へのレス] Re: 気をつけましょう

投稿者：軍曹 投稿日：2003/08/30(Sat) 23:58

微妙ですね～得能さんの鑑定も丸特にしても納得できるものもありますからね。いずれにしても自分の目を鍛える事が必要なのではないのでしょうか？鑑定家にしてみれば「俺がこの刀を救わなければ」という気持ちもあるでしょうし。。。

[1795] 電脳倶楽部スタッフ殿

投稿者：閻魔大王 投稿日：2003/08/30(Sat) 01:04

しばらく振りにお邪魔した。
サイトは相変わらず盛況を極め、誠にめでたいことである。
大王はしばらく茶道の世界を極めようと猛勉強をしていたところ、このほうも少しは物になった為、再び初心に戻り少しくこれから刀剣の勉強を始める人に『道を誤らぬよう』アドバイスをしたいと思う。以前に較べおかげさまで忙しさの極みとなっているので頻繁には無理と思うが、たまにはお邪魔するつもりである。
お役にたてば大王の記述はどこでどのように使われても結構である。
それでは今夜はこれでサラバじゃ。

[1795 へのレス] Re: 電脳倶楽部スタッフ殿

投稿者：花散里 投稿日：2003/08/30(Sat) 22:23

おおっ！
これはこれは、閻魔大王様。ご無沙汰いたしております。
もう、かれこれ２年ぶりのご登場ですね(^^)　相変わらずお元気そうで、何よりです m(__)m
閻魔大王が、この一陽来復で展開してくださった貴重な投稿は、もちろん今でもトップページから「初心者基礎口座」としてコンテンツ化させていただいております。

ところで、閻魔大王の再登場と時を同じくして、一陽来復及び討論掲示板では偽物談義が繰り広げられております。
どうやら、「あれあれ」氏は現在の日刀保の「保存刀剣以上」が本物とのご意見を述べられ、「ikkak」氏は必ずしも賛成されてはいないようです。

この「日刀保審査」に関しては、以前より様々な意見が述べられておりますが、最近参加されて閻魔大王をご存じ無い参加者もおられますので、以前同様の「快刀乱麻」的ご意見をぜひお願いいたします。

[1804] 焼物その他の真贋について

投稿者：閻魔大王 投稿日：2003/08/31(Sun) 20:49

はっきり申して実は刀が一番真贋がハッキリしておる。
焼物は（最近の作家物でなく古い物や中国・朝鮮の陶器）無茶苦茶である。なぜか？刀よりはるかに時代付けが簡単だからである。信楽・備前・唐津・萩・志野・黄瀬戸などは茶道具として人気のあるところであるがこれが又鑑定となるとなかなか困難である。（造られた場所はわかっても時代がなかなか）現代作が鎌倉になるほどである（永仁の壷事件）
そんな訳で陶器は個人鑑定（黒田陶々庵など）しか無いのである。
確か日本陶磁器協会みたいなのがあるらしいが鑑定書などは恐ろしくて出せないそうである。
もっとわからないのは茶杓である。これは共筒と言って解り易く言うと竹のケースに銘や作者の花押があったりするものであるが、裸の茶杓を見て誰の作と解る人がいたらこれは神様である。
そんな訳で日本刀が一番研究が進んでおり、茶道具なんぞに較べれば鑑定は比較的正確である。
それなのにだまされる人が多いので大王は困っているのである。

[1804 へのレス] Re: 焼物その他の真贋について

投稿者：花散里 投稿日：2003/09/01(Mon) 22:39

人が生きて来てさらに人生の昇華を望むために嗜むのが茶道であり、その道具に対しても清濁併せ呑む大らかさが必要である。
それに対し、自らの死を飾るための道具が刀であり、心根と同様に厳正なまでの正しさを求めるべきであり、偽物などもっての他。

経済的価値を別とすれば、茶道具や刀剣に求めるところの価値感の相違は、案外その辺りにあるのかもしれませんね。

[1802] 偽物についての大王の見解

投稿者：閻魔大王 投稿日：2003/08/31(Sun) 08:16

この問題は議論するとなかなか焦点が定まらなくのが大王が経験するところである。問題は２点あって
①正真か偽物かをすべての刀につき 100%間違い無く鑑定するのはしょせん無理ということである。そこで『あれあれ』は日刀保の保存以上を一つの基準にしておるようだが、これはこれで一つの懸命な方法である。
現在業者が一番信頼している鑑定書であることは事実であり、その他の鑑定書や認定書での取引にまつわる悲劇は皆が既に充分知っているものと思う。（大王個人的には藤城鑑定もそこそこ信頼しているが・・・・・）
②正真か偽物につき、それほど神経質になる必要があるかと言う事（自分が気に入ればよいという見解がある）
これについては大王は当然のことながら非常に重要なことと思っている。
なぜか？偽物を承知で、偽物の値段で購入し気に入って楽しむのはこれは何も第三者がゴチャゴチャ議論す

る必要の無い事で正にカラスの勝手である。
問題は偽物を正真と思い（だまされ）正真の値段で購入し、正真と思って鑑賞する事の悲劇である。
この辺をしっかり押えてポイントをはずさない議論を展開して欲しいものじゃ。
今日は時間が無くなったのでこのへんでサラバじゃ・・・・

[1802 へのレス] Re: 偽物についての大王の見解

投稿者：花散里 投稿日：2003/08/31(Sun) 15:34

さっそくのお答え、ありがとうございます。
刀に偽物論争は付き物であり、鑑定結果を巡っての悲喜劇もよく耳にするところです。
自分で鑑定のできない私などは、鑑定書と刀屋さんの人間性を見て購入することになりますが、一部の業者さんでは「日本美術刀剣保存協会・日本刀剣保存会・藤代松雄の鑑定書が付いたものは、後から偽物だと判明しても免責」と謳っているところもあります。
その理由も知りたいところですが、そもそもこれを言われてしまいますと、私のような素人は怖くて刀が買えなくなってしまいます。

焼き物などは、どこそこの窯だと言えばそれであたりとし、明らかな傷があっても景色として楽しむ大らかさがあるが、刀の場合は本人が作ったか弟子が作ったかなど非常に細かく突き詰めた見方をする、と聞いたことがあります。
閻魔大王は茶道を学ばれたそうですのでお聞きしますが、刀と焼き物とではかなり姿勢が違うものでしょうか？

[1802 へのレス] Re: 偽物についての大王の見解

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/09/02(Tue) 21:28

あれあれさんのお話も、閻魔大王さんのお話でけりがついたみたいですね！

『偽物についての大王の見解』にあることがすべてではないでしょうか。

『問題は偽物を正真と思い（だまされ）正真の値段で購入し、正真と思って鑑賞する事の悲劇である。』
まさに論点はこの一点にあります。

解決もしくは回避方法は、あれあれさんの言う『信用ある業者から買うのがじつは一番お徳です。』にまとめられております。
ただ、鑑定書認定書等なども改竄されたものが出回っていることがあり、何月号だったか忘れましたが、日刀保でも刀剣美術誌上にて注意を呼びかけておりました。

さらに注目したいのが、銀座情報にも載っておりましたが、ネット上でのオークション。
これが、昨今人気です。
この問題点を銀座情報には詳しく掲載されております。
価格介入などの可能性も解説されており、『楽しむオークション』と『安心を買う刀剣店での購入』の微妙な買い手の心境も書かれています。

私が思う失敗の可能性としては、やはり素人同士の売買です。
それも保存刀剣鑑定書があるからといって全面的に信頼する怖さです。
刀剣も鑑定書も偽という可能性だってありえます。
事実、過去、ある通販誌において、偽○○刀剣の証書が付いた偽銘刀剣が二口も出ていたことがあります。
もちろん、良心的に偽物と解説し、それなりの値段で出ておりましたが、こうしたものが流通しているという事実を認識したいと思います。

[1807] 偽物と知らずに持つことの結果

投稿者：隠居 投稿日：2003/09/03(Wed) 10:31

「偽物を正真と信じて持つこと」についてですが、これは刀に限らず、絵でも陶芸でも美術品一般の問題と共通します。刀に限定された特殊性は少ないのではありませんか。また、真偽（真贋）を感じ取るのは感性であり、これは学んで得られるものとは限りません。志賀直哉の短編で瓢箪好きの小僧が集めた古瓢箪が逸品中の逸品だった話がありましたが、これと同じです。真善美聖を感じ取るのは五感であり、学んで得られるのは知識だけです。刀を見て、どの国の誰の作か、などは鑑定法を学べば分かりますが、「刀の良否」とか「刀の品格」とかの本質は、学んで得られるものではありません。
古参も新人も、鑑賞という面では同列であると思っています。音楽絵画、すべてそうではないでしょうか。
そして「偽物を正真と信じて持つこと」の結果ですが、実にいやですね。これは毎日手入れして見ていますと、何かおかしい、品がない、と気付きます。あとは自己嫌悪に陥ります。私も経験しました。情けない気持でした。

[1807 へのレス] Re: 偽物と知らずに持つことの結果

投稿者：花散里 投稿日：2003/09/03(Wed) 20:56

ご隠居さんの投稿を見ていて、私が初めて刃切れを見つけたときのことを思いだいました。
と言っても、つい昨日のことですけど・・・

刀の傷の中で一番嫌われている刃切れですから、刀剣の入門書には必ず書いてありますよね。
で、その説明は鎬の下辺りから刃先に向けて、一本の線がすっと通っていますから、私は長いこと刃切れと言うものはその本の絵のとおりだと思っていました。
自分ではずいぶんと多くの刀を見てきたつもりでしたが、ある時懇意にしている刀屋さんで説明と共に刃切れの実物を見せてもらったときは愕然としました。
刃切れとはこんな微かな、ちょっと眼を逸らしたらもう解からなくなってしまうようなものだったとは・・・

その場でしっかりと目に焼き付けて、家に戻ってからさっそく自分の刀を出してきて、それこそ食い入るように見ましたら、果たしてありました。短刀の内の一振りに、紛れも無い刃切れが。
一度見つけてしまうと、どうしてそれが昨日まで見つけられなかったのが不思議でしたね。
ほんの１０ｃｍの距離から見ていて、油を塗るときだって私は指で塗りますから、まじまじと見て

いたはずなのですが・・・眺めていただけで、本当に見てはいなかったんですね。
そのときの気持ちは、実に何ともいえないものでした。本を読んでいれば学べると思っていたのは、大間違いでした。
だからと言って、感性が身についたわけではありませんし、いつまでたっても初心者のままで、大体ご隠居さんの投稿の趣旨とは、違った返信になってしまいました m(__)m

その短刀は今、上に出てくる懇意の刀屋さんに預かってもらっています。
その刀屋さんが勉強会を開催するときの教材として、また初心者のお客さんに見てもらって刃切れを勉強してもらうために。

[1807 へのレス] Re: 偽物と知らずに持つことの結果

投稿者：内記 投稿日：2003/09/04(Thu) 01:48

こんばんは。内記です。
友人に陶芸家がいます。彼は、刀剣の知識は全くありません。当然、刀剣書籍も読んだことがなく、専門用語も何一つ知りません。ある時、刀を見せてくれと突然やってきました。2 時間程、直刃、互の目、丁子、のたれ等の刃紋の異なる刀をじっと見ていました。「何で急に刀なんか？」と聞くと、「茶碗のゆう掛けがうまく出来なくて」「文様は刃紋と同じと解った」と言って帰っていきました。その後、無事に茶碗をさる有名茶道家に納めたとのことでした。
　ご隠居さまのおっしゃっていることは、こんなことかなと思いました。
彼は、高名ではありませんが、国立博物館、五島美術館等の先生方からは、相当な評価を得ています。美意識に関しては、天性のものだと思います。陶器について、「本をいくら見てもダメだ」「ガラス越しに国宝を見ても、何の役にも立たない」と言っていました。彼は、陶片を山のように持っています。完器なら国宝級のものばかりです。手で触って、見て、その感触を焼き付ける為だそうです。近頃の刀剣愛好家との差は歴然です。
完器＝無疵・無欠点・うぶ茎・在銘・保存鑑定書　　陶片＝疵（刃切れ・ふくれ・ふくれ破れ）・すりあげ無名・未鑑定

なんだか悲しくなりますね。美しいものを美しいと何故素直に評価できないのでしょうか。彼が作陶家（＝刀匠）の立場だからとの批判は当たらないと思います。本質的に「真善美聖を感じ取る五感」が違うのではないでしょうか。それとも、「真善美聖」ではなく、「評価＝金銭価値」に優先順位をおく為でしょうか。
　昭和の終り頃、東京では自宅の土地評価額（路線価・公示価格等）が毎年上昇することに熱狂する人が大多数でした。いわゆるバブルです。自宅は、売買目的で所有していないのに嬉しくて仕方がないようでした。固定資産税が上がる結果になると戒めたのは、少数派でした。バブル崩壊後は、ご存知の通りです。
　ブームというのは、恐ろしいものです。今、再び刀剣ブームなら、大変危惧するところです。そういえば、運転免許もない人が、フェラーリを買ったのもあの時代でした。
　余計なお世話とは知りつつも苦言を申し上げます。何故、刀剣を所持しているのか。もう一度初心を思い出すのも、偽物・鑑定論争の一考察かと考える所存です。

[1807 へのレス] Re: 花散里さん

投稿者：隠居 投稿日：2003/09/04(Thu) 06:39

花散里さん、そりゃそりゃ大変ですね。切先の中の刃切れはプロでも見逃すほど見えにくいもの。しかし経済的価値は残念ながらきびしいです。ですが、お買いになったところで引き取ってくれる筈です。「刃切れは無条件売価引取り」が業界のルールです。
この「刃切れを見抜く目」というのは、五感ではなく注意力ですが、帽子の場合はとくに難しいです。これは刀屋さんを信用するしか仕方ないでしょう。

[1807 へのレス] Re: 内記さん

投稿者：隠居 投稿日：2003/09/04(Thu) 06:47

良いお話を聞かせて頂きました。それに似たことは私も経験しています。鞘の修繕で、まったく刀に関係ない漆器の塗師に刀を見せたら、いいものとそうでないものとは一目で分かりましたね。それも姿と位からピンとくるようですね。

[1808] 鉄の展示館

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/09/03(Wed) 20:38

長野県坂城町にある「鉄の展示館」のＨＰが出来上がったようです。
画像も大変綺麗に出ていますよ。
↓
http://www.tetsu-museum.info/

今月中旬から開館一周年記念の展示が始まります。
これは…なかなか凄そうです。

[1808 へのレス] Re: 鉄の展示館

投稿者：花散里 投稿日：2003/09/04(Thu) 23:29

長野県坂城町は真鍋純平師や河内國平師の師匠である、宮入行平刀匠ゆかりの地ですね。
９月１３日からの「武家の名刀」、見に行きたいな～。でも、ちょっと距離があるしな～。
開催期間が２ヶ月間か・・・なんとか、なるかな？
なんとか、見に行きたいですね(^^)

[1808 へのレス] Re: 鉄の展示館

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/09/05(Fri) 14:12

小諸方面にお越しの際は是非ご一報ください。
秋の新蕎麦も宜しいですよ♪
長野に越して来てから「刀剣関係」ではあまり良いことが無く、少々ストレス溜まり気味です…。
１１月の刀剣市でブア～ッと…。また顰蹙買いそうな…(;^_^A

[1808へのレス] Re: 鉄の展示館

投稿者：花散里 投稿日：2003/09/06(Sat) 01:26

う～ん、新蕎麦だけでも行く価値ありですね(^^)
真面目に考えます m(__)m

＞１１月の刀剣市でブア～ッと…。また顰蹙買いそうな…(;^_^A
なんのなんの、一年に一度のお祭りではありませんか(^^)
今年は、某刀剣商さんの初出展ということもあり、ここで盛り上がらなくてどこで盛り上がるか、といったコンセプトで参りたいと思います(^^ゞ
顰蹙買うときは・・・ご一緒します（●＾o＾●）

[1808へのレス] Re: 鉄の展示館

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/09/06(Sat) 06:46

ホームページを見ました。
いいですね～。

ところで、１１月の大刀剣市に向かうべく、飛行機の予約を８月にお願いしたのですが、徳島からの始発はすでに満席。(>_<)。
３連休だから人気なのでしょうが、早いね～～～。
今年も１泊２日で参ります。
皆さん、よろしくお願いします。

さてさて、こてつさん、花散里さん。
『顰蹙買い』ってなんて読むのですか？教えてチョ。m(__)m。

わたしも、購買欲をおさえるのに苦労しそうです。(^^ゞ。
初出展の懇意の刀剣商さんのところへ入りびたり状態でしょうけど・・・。
(^。^)y-.。o○。
ご迷惑？そうでしょうね～。(^・^)。

おー！そうそう。花散里さんとこてつさんで３日間のボランティアってのはいかがでしょう？(~_~)。
おーっと！聞き流してくださいな。(^^ゞ。

[1808へのレス] Re: 鉄の展示館

投稿者：菊久 投稿日：2003/09/06(Sat) 06:50

「武家の名刀」展！　11月16日までか・・・。「行きてぇ～!」
朝早く出れば、一日でなんとかなりそう。でも長野まで行くんやから、とんぼ返りではもったいないし・・・。やはり、一泊してどこかの温泉にでも、つかって帰れば最高やねんけどネ。
一泊となると、行きは伊豆廻りで佐野美術館・三嶋大社宝物館を見学して、それから北へ上がって長野入り。一泊して坂城町「鉄の展示館」を見て帰途につくちゅう刀剣鑑賞ツアー・・・ゲヘ・い

いなぁ～。

でも、その前に休めるかどうかが問題ぢゃ(^-^)

[1808 へのレス] Re: 鉄の展示館

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/09/06(Sat) 14:24

今年の大刀剣市は協会の全国大会・銀座の刀屋さんの展示会・原宿の刀屋さんの展示会と重なっています。大忙しになりそうですね～。
僕も一泊してこうかな…。

＞真改さん
顰蹙…「ひんしゅく」でした。よく買うんですよ、行く先々で(;^_^A
大刀剣市ではボランティアの代わりに「サクラ」になろうかと…。
「こ、これは安い！すっげえ掘り出し物だ～っ！」とか言って。
…だから顰蹙買うんですね(//￣ー￣//)ゞ

＞菊久さん
温泉アリの刀剣鑑賞ツアー…ゆ、夢のようです。
温泉には憧ればかりで全く無知なんですが…伊豆あたりも良さそうですな～！

[1808 へのレス] 菊久さま

投稿者：内記 投稿日：2003/09/06(Sat) 20:47

＞菊久さま
お久しぶりです。内記です。
「一泊して坂城町「鉄の展示館」を見て帰途につくちゅう刀剣鑑賞ツアー
でしたら、上田から少し山に入って車で 30 分（菊久さまなら昔とった杵柄でスペシャルステージ、Ｓ・Ｓ区間 10 分？）位の「別所温泉」でゆっくりというのもお勧めですよ。
真田の隠し湯といわれて、池波正太郎氏の「真田太平記」にも出てきたところです。信州はいろんな温泉がありますが、ここは硫黄系のやわらかいお湯で、「うーん、極楽、極楽」となること間違いなし！
ぜひご検討ください。もひとつおまけに、別所は、松茸の名産地です。
10 月は、どこの旅館でもでてきます。私など、松茸を賞味できるのは、
年一回、別所で泊まるときだけなんですから。これを書きながら、今年はいつ行こうかな・・ウンいつ行けるかな・・　行けるのか　・・・
行きたいな・・・　だんだんトーンが下がってきましたゾ。
菊久さま。ぜひ、ぜひ、松茸を・・・　　話がそれたようです。
泊まりのお時間がなければ、「石湯」「大湯」など町の共同浴場が 3 つほどあります。もちろん源泉からざぶんざぶんとお湯が溢れる本物ですよ。
「武家の名刀」展　行くしかないでしょう。安全運転でお気を付けて(^^)

[1808へのレス] Re: 鉄の展示館

投稿者：菊久 投稿日：2003/09/06(Sat) 21:22

よい情報「ありがとうございます」
行くのなら10月ですネ！

刀剣、蕎麦、温泉・・・ですかぁ・・・。
私は、だんだんトーンが上がってきましたヨォ～♪

しかし、内記様。
残念ながらもう、昔の杵柄は真っ白に燃えて無くなってしまったようです。
S・S10Mどころか、内記様で30Mなら私は40はいきそうです(-_-;)

[1810] 恐れいります

投稿者：あれあれ 投稿日：2003/09/03(Wed) 21:21

刀剣界に閻魔大王様がおられるとは恐れ入りました。貴重な御訓示ありがとうございます。
以前ある本で読んだことがありますが、藤代商店は通信販売の草分けで正真と偽物をはっきり分け、しっかり解説して販売していたとの事、これが結構評判でよく売れたとのことでした。これが今の藤城鑑定の信頼につながっているのかもしれません。目先の利益で偽物を正真として売っている一部のくずのような刀剣商はそのうち化けの皮がはがれます。そんなわけであれあれの提案は最低保存の付いた物を信じましょう、購入するなら信頼のおける刀剣商にしましょうとと言う事です。

[1810へのレス] Re: 恐れいります

投稿者：閻魔大王 投稿日：2003/09/06(Sat) 21:12

あれあれ氏はひょっとして業界の人間と推察する。
大王の見解はあれあれの主張を否定するものではない。
日本刀を購入するなら正真を保証している信頼ある刀剣商から購入するのが常識である。決して安い物ではない。よくよく考えると日本刀は良質の鉄にすぎない。目方で計ればなんぼのものか・・・。
時代が間違い無く、作者や流派が本物であるからこそ時には高級マンション以上の評価ができるのである。
偽物を正真とだまして販売し、大きくなった刀剣商は過去に例が無い。

[1811] 楽しみな北陸地区大会

投稿者：越中国住人 投稿日：2003/09/03(Wed) 22:58

今月の２０日に富山県で北陸地区大会が開催されます。展示される刀剣は、重要文化財１口、重要美術品８口、特重１４口などを含む４０口、重要刀装具１０口となっています。一文字、古備前、貞宗、則重、江、則長、特重指定の真改や田野邊先生の押し型の本に所載の盛景など名刀揃いです。
刀剣の解説は、田野邊先生がされる予定です。
素晴らしい名刀を鑑賞できる事は、何よりの喜びです。

[1811 へのレス] Re: 楽しみな北陸地区大会

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/09/06(Sat) 06:38

素晴らしい名刀の数々ですね！

秋から春にかけては名刀展や展示即売会も沢山ありそうなので、楽しみです。
名品を名解説と共に鑑賞することは、最高のひと時だと思います。

いつもの言葉で締めくくります。(~_~)。『うらやましいなぁ～。』(^^ゞ。

[1811 へのレス] Re: 楽しみな北陸地区大会

投稿者：賀州住 投稿日：2003/09/06(Sat) 18:00

始めまして、越中国住人様。
素晴らしい名刀の数々ですね、是非鑑賞してみたいです。
今月の２０日に開催される北陸地区大会は、
どこで開催されるのか、教えて頂けませんか。
誰でも鑑賞できるのでしょうか、
可能なら、お隣り石川県から遠征して見にいってみたいです。
良い情報、ありがとうございます。

[1811 へのレス] 北陸地区大会への参加について

投稿者：越中国住人 投稿日：2003/09/07(Sun) 00:49

北陸地区大会は、日本美術刀剣保存協会の会員対象となっています。刀剣美術誌には会場や時間、会費などが載せてあります。
出来れば広く、一般の方々に自由に公開して日本刀の美しさを理解してもらえる方を増やしたいのですが、なにぶん展示品は、美術館所有、個人所有などの作品をお預かりしているので、ガラス越しでなく直に手に取っての鑑賞会は、どなたでも自由に参加くださいということが出来ないのが現状で、基本的に当日の飛び入り参加は出来ません。支部単独の定例鑑賞会であれば会員外の参加も受け付けているのですが、重文も展示されるので文化庁の指導もあり難しいです。
しかし、私個人としては、日本刀の良さを知るためには典型的な「名刀」から鑑賞していくことが大切だと考えていますし、愛好家を増やしていくことは大切と考えています。
とりあえず、一度ご連絡頂けないでしょうか？

[1827] 刀剣押形

投稿者：鬼丸 投稿日：2003/09/08(Mon) 18:46

最近、「刀剣押形の技法：犬塚徳太郎著」を購入し、それを
参考に時間があれば所蔵刀の拓写を行っている。

これがまた、普段の鑑賞とは違い、今まで気が付かなかった

刀の素顔とでも言うのか、刃文にしろ鍛え肌しろ新たな発見し、
改めて日本刀の奥深さを感じている。

できれば、目標は日刀保の田野邊先生や岐阜県支部長の近藤氏
のような上手な押形を作成できればと思います。

皆さんも押形を作成してみては・・・？

[1827 へのレス] Re: 刀剣押形

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/09/08(Mon) 20:11

私は以前、日刀保の支部で押し型の講習があった時に、こりゃ無理(>_<)だ！と断念しました。
押し型の世界は私には程遠いですね。

しかし、あの田野邊先生の押し型集を拝見していますと、絵画の世界の如く、これもまた、ある一つの世界ですね！

[1827 へのレス] Re: 刀剣押形

投稿者：越中国住人 投稿日：2003/09/08(Mon) 22:40

私は、田野邊先生の手ほどきで押し型を始めて 4 年目になります。最近は３～４か月に一度くらい書きためた作品を鑑賞会に来て頂いた時や本部へ出向いて講評と添削を受けています。今年からは、支部の会誌に掲載する押し型の一部にも使ってもらえるようになり、私の書き方を気に入ってくださった、支部会員の愛刀の全身押し型をとったりしています。
全身押し型は、出来上がると絵画作品のようで見応えがあります。最近は、一文字（重要）、片山一文字則房（特重）、宇多国光（重要）、宇多国房、肥前吉房（重要）、兼長（重要）などを描きました。
田野邊先生には、備前伝の作品について「上手くかけている」と言われますが、相州、大和などの沸出来の作品については、「雰囲気は出ている」と言われますが、直されることが多いので今ひとつなのでしょう。
田野邊先生の押し型の原画も何枚かお手本にと頂いて持っています。
印刷で見るのとは、全然違い、たいへん素晴らしく、そこに現物があるかのように思えるくらいです。
「印刷が仕上がってくると、いつもガッカリします。」先生が言っておられました。苦労した部分や強調したい部分が上手く写っていないのだそうです。
私は、墨で刃文を書いています。墨は、微妙なぼかしや、飛び焼き、煙りこんで消える沸など刀の雰囲気をより品良く書けるように思います。

[1827 へのレス] Re: 刀剣押形

投稿者：御刀天国 投稿日：2003/09/10(Wed) 01:46

真改２００３さんのように、押形の講習が受けられるだけでも羨ましいのに越中国住人さん、田野辺先生の御指導を受けておられるとは、ヨダレが出るほど羨ましい限りです。海外在住者にとっては、指導してくれる人がいませんので、私も犬塚先生の〔刀剣押形の技法〕を手に入れまして参考

にしています。それにしても、自分で描いてみますと、いかに田野辺先生の押形が優れているか解かりますね。太刀の全身押形表裏となると、どのくらい時間がかかるのでしょうか？〔刀剣美術〕の名刀鑑賞のページだけでも日刀保の会費分の価値があると思っています。本当に、あんな押形が描けたらいいですね。

[1827 へのレス] Re: 刀剣押形

投稿者：鬼丸 投稿日：2003/09/10(Wed) 18:28

御刀天国さん　はじめまして鬼丸と申します。

この押形の醍醐味は何と言っても刃文の描画ではないでしょうか？
鉛筆を濃く使いすぎたり力を入れすぎたりすると古刀が新刀のような
出来ばえになったり、消しゴムで修正すると匂い口が沈むような感じ
になったり、それでも鉛筆の場合は修正がある程度ききますが
越中国住人さんは墨を使用するとのことですが相当の技量と集中力の
なせる技だと思います。
上手に拓写できるようなったら画像掲示板に投稿して皆さんのご指導
仰ぎたいと思っていますが・・・？（何年かかるかなボソ）

[1827 へのレス] Re: 刀剣押形

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/09/10(Wed) 22:24

こんにちは、鬼丸さん。
「練り消しゴム」ってご存知ですか？柔らかい粘土のような消しゴムで、鉛筆デッサンなんかでよく使います。細かいところが消せたり、一部だけ鉛筆線を薄くしたい時には、こすらずに押し付けたりすると薄く出来ますよ。
ご存知でしたらご容赦を。

[1827 へのレス] Re: 刀剣押形

投稿者：越中国住人 投稿日：2003/09/10(Wed) 22:30

私は、２尺４寸程度の長さの太刀を記録用に丁寧に全身押し型を書くのに使う時間は、外形の片面で２～３時間、刃文の片面で６～８時間くらいかかります。合計すると両面完成までは、１６時間～２２時間くらいだと思いますが、それだけの時間集中しつづける事は出来ませんので日数的には１週間程度かかります。
また、休日や仕事の合間にしか作業できませんし、我が家には小さい子供もいるので子供が寝ている間しか作業が出来ませんので実際にはもう少し時間がかかります。
刃文を書くときは、周りがうるさいと気がちるので主に刃文を書く作業は、休日の朝３時～４時に起きて書いています。墨で書く方法は、細かな修整は消しゴムで出来ますが、大きな修整は出来ないので一発勝負です。
田野邊先生は、全身を朝始めて夕方までに概ね書き上げることが出来るそうです。
他の美術館へ出張して書くときは、そうしないと都合が悪いのです。

田野邊先生が、守家の太刀の刃文を片面３０分程度で書かれるのを見たことがあります。（勿論作品として仕上げる時はもう少し書き込まれますが）
流れるように描き出される刃文を見ていると息をするのも忘れるくらいの感動があります。

[1827 へのレス] Re:鬼丸さん

投稿者：隠居 投稿日：2003/09/11(Thu) 13:47

犬塚先生の「押形の技法」よく手に入れましたね。人に尋ねられるのですが、押形の取り方について唯一と云える書物で、古書店にも永年出ませんでした。
私は先生の主宰される一泊二日の講習会に二度ほど参加致しました。相当古い話ですが、以後あまりやりませんので腕は上がりません。人の描いたものをあれこれ云うばかりです。現在では田野邊先生が押形の名手でしょう。その先生に指導を受けておられる越中国住人さんはお幸せですね。

[1827 へのレス] Re: 刀剣押形

投稿者：鬼丸 投稿日：2003/09/11(Thu) 19:12

こてつさん、ご隠居さんご無沙汰しております。

こてつさんの仰る消しゴムというのは、粘土みたいに色々な形
に加工できる消しゴムのことでしょうか？
遠い昔に高校の商業科の人たちが和文タイプ字の誤植を消すの
に使っていた記憶があります。

ご隠居さん、「押形の技法」たまにネットの古本屋さんで出るん
ですよ。一年前にも売り出されていたんですが、買いそびれて
先月違うネットの本屋さんに出ていたので間髪入れずにすぐに申しこんで
ゲットしたというわけです。気長にネットの本屋さん巡りをすれば見つ
けることが出来ると思いますよ。

越中国住人さん、２０数時間で出来上がるとはすごいですね。しかし
田野邊先生の片面３０分は神技ですね。私なんぞは、刃文の点打ち
に一日以上かかることしばしばです。
息をするのも忘れる位の感動味わってみたいものです。

[1827 へのレス] 練り消しゴム

投稿者：越中国住人 投稿日：2003/09/11(Thu) 21:47

私も使ってみたいと思います。地斑映りなどを書くときなど有効かもしれません。
情報有難うございます。画材屋さんへ行くと使えるものが見つかる事もあるので有効なものは取り入れていきたいです。
今日は、全身押し型を依頼されていた無銘極め相伝備前の刀を書く予定でしたが、紙が、短刀用に切った短いものしか残っていないことに気が付き断念します。

紙を仕入れてこないといけません。
仕方がないので「ドクターコトー診療所」の最終回をビールでも飲みながら見て寝ることにします。

[1827へのレス] Re: 刀剣押形

投稿者：御刀天国 投稿日：2003/09/12(Fri) 00:56

えー鬼丸さん、その一年前の〔押形の技法〕を買ったのが、多分私です。どうも済みません。(^^ゞ
ところで越中国住人さん、全身押形には、どのような紙をお使いでしょうか？今度訪日の折、手に入れたいと思います。

[1827へのレス] Re: 練り消し。

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/09/12(Fri) 02:48

画材屋さんに行けばだいたい手に入ると思います。
１００円～１２０円くらい。初めは真っ白い消しゴムですが、使いやすい大きさにちぎって（まさに“粘土”のように）真っ黒くなるまで使えます。
鬼丸さんの仰る和文タイプのインク（？）が、消せるものかどうか僕には分からないので…何とも言えないんですが…。
鉛筆や木炭のような細かい粒子状の線は、ペタペタ押し付けながら消すことで微妙なグラデーションが表現出来ますよ。
お役にたつといいんですが(￣▽￣*)ゞ

[1827へのレス] 押し型の紙

投稿者：越中国住人 投稿日：2003/09/12(Fri) 19:32

押し型の紙は、日刀保本部で使っている紙のメーカーと型番を支部の事務局が聞いてきて大量に一括購入して支部会誌を書く私達に供給されていますので「無くなったから下さい」と事務局へ行くともらえるのであまり気にしていませんでした。
今後の事もあるので、メーカーと型番は教えてもらおうと思っています。

[1827へのレス] Re: 刀剣押形

投稿者：鬼丸 投稿日：2003/09/12(Fri) 21:06

こてつさん、消しゴム情報ありがとうございました。

越中国住人さん、メーカー及び型番わかりましたら
いずれの日にか、この掲示板にてお教えください。
よろしくお願いします。

[1827へのレス] Re: 刀剣押形

投稿者：御刀天国 投稿日：2003/09/13(Sat) 00:41

私も、こてつさん、越中国住人さんの情報は、たいへん参考になりました。どうも有難うございました。鬼丸さんの押形の画像投稿も楽しみに待っております。

[1828] 今日の子連れ狼

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/09/08(Mon) 20:06

今日の子連れ狼はいつにもまして、良かったです。

久しぶりに泣けました。
素直に感動した物語でした。
父と子。このテーマで語りかける子連れ狼は、やはり私にとっては最高の世界の一つです。

[1828 へのレス] Re: 今日の子連れ狼

投稿者：ikkak 投稿日：2003/09/10(Wed) 06:31

北大路欣也さんの拝一刀も現代の雰囲気にあっていますね。

[1831] 大阪歴史博物館

投稿者：純平 投稿日：2003/09/09(Tue) 21:57<HOME>

御無沙汰しています。
今回はちょっと耳寄りな情報を。
９月１０日から始まる大阪歴史博物館の第１７回特集展示「日本刀に近づく」
これは面白そうですよ。会期中に刀関係の職人さんの実演や中には見るだけで
は無く参加者自信が体験できる講座も開催されるようですよ。
詳しくは博物館の HP まで。
http://www.mus-his.city.osaka.jp/index.html

[1831 へのレス] Re: 大阪歴史博物館

投稿者：鎬 投稿日：2003/09/10(Wed) 13:47<HOME>

体験講座に参加したいな。
柄も巻きたいし、銘も切ってみたいですね。

[1831 へのレス] Re: 大阪歴史博物館

投稿者：純平 投稿日：2003/09/16(Tue) 12:10<HOME>

講座に参加されるのなら定員が有りますから、速めに申し込んだ方が良いですよ。

[1833] 談論風発

投稿者：ikkak 投稿日：2003/09/10(Wed) 06:28

いろいろな人がいろいろな考えを持っておられ
活発な意見の交換を見ていると参考になります。
これからもよろしくお願いします。

[1833へのレス] Re: 談論風発

投稿者：真改2003 投稿日：2003/09/11(Thu) 13:23

こうやって様々な意見を交換していくことで、他人の意見もそういう考えもあるのか、と思いを馳せることができますよね。

[1839] あずみ

投稿者：ikkak 投稿日：2003/09/11(Thu) 07:37

双頭刃がオークションにでていますね。もちろん模造刀ですが

[1839へのレス] Re: あずみ

投稿者：真改2003 投稿日：2003/09/11(Thu) 13:22

でも、あずみの双頭刀っていうのは、短い方も鞘に入っていましたよね！

飛び出す刃であることから、子連れ狼とあずみの合作か？と思いました。

[1839へのレス] Re: あずみ

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/09/13(Sat) 17:51

オークションに出ている双頭刃、見ました！
実際、映画「あずみ」ではどういう刀を使っていたんですか？
…結局まだ観ていないんです(//￣ー￣//)ゞ
漫画同様、短めの柄で柄頭の短刀には別に鞘が付いている、ってのが見た目が一番キレイだと思うんですが…。
飛び出す刃ってのはどうも…リアルじゃないような…。

[1847] 討論掲示板を見よ！

投稿者：閻魔大王 投稿日：2003/09/12(Fri) 06:55

討論掲示板に久方ぶりに鑑定書(認定書）について講釈を垂れてみた。
時間のある者は一読をお奨めする。

[1852] 閻魔大王の昔話

投稿者：閻魔大王 投稿日：2003/09/13(Sat) 19:06

誰でも最初は初心者であるが、遠い昔大王も初心者であった。
大王はその頃、どうしても欲しい新々刀があり探していたがある時ついに手に入れた。付属鑑定書は得能鑑定。得能先生は『日本刀の真贋』なんて書いておられる偉い先生だから良い、と思い４～５年そのまま所持していたが日刀保が審査料を倍にするというので一応特保をとっておこうと審査に出したら『偽銘』
このときの大王の落胆ぶりは自分の事ながら悲惨であった。

これがきっかけで研鑽を積み現在の大王が存在する。
昔話で悪かったが、大王がなぜこのサイトで偽物講座や鑑定書講座を記載しているか理解されたい。

悲しい思いをしたくないなら、もう一度下記の事を肝に命じよ！！！！！
①日本刀を買うなら信頼ある刀剣商で買うこと。（結果的にそのほうが安い）
②信頼ある刀剣商とは本物を、本物の値段で売る刀剣商のことである。
（又は、偽物は偽物であることを説明し偽物の値段で売る刀剣商のことである）
③正真か偽物かわからない、目の利かない刀剣商は信頼ある刀剣商とは言えない
④偽物の本来の値段は買った価格の５分の１以下と思え。
⑤自分は目が利くと思っている人も、利かないと思っている人も一応日刀保の
保存・特別保存を真贋の基準とせよ（売買する業者がそれを真贋の基準とてい
る事実を無視すべきではない）
もっとハッキリ言えば、最低保存が付いた物しか買わないこと
⑥何の鑑定書が付いているかを確かめるのは刀剣を購入する時の常識中の常識である

[1852 へのレス] Re: 閻魔大王の昔話

投稿者：薩州住無学 投稿日：2003/09/13(Sat) 21:05

閻魔大王さま、初めまして。以前図書館で科学的に日本刀を分析した本を読んだのですが、古刀、新刀、新々刀の断面を比較して鍛刀法の違い、材質の科学的な分析等かなり専門的で難しい本でした。著者の方が「現代の科学をもって日本刀を分析すれば鑑定書の付いているものでもかなり間違いが出てくるだろう」と述べておりました。科学的分析ならば年代等もかなり正確にわかるだろうと思うので、科学的鑑定を行う機関ができたら素晴しいと思うのですが。現存の機関から圧力がかかるかも…。

[1852 へのレス] Re: 閻魔大王の昔話

投稿者：閻魔大王 投稿日：2003/09/14(Sun) 06:29

この本については大王も一応読んではみたがやたら難しかった記憶がある。
同じような本で『作刀の伝統技法』鈴木卓夫著がありこちらのほうは現在でも手に入る。確かにこれだけ科学技術が発達した現在でも昔ながらの目利き鑑定にのみに頼るのはばかげているのかも知れない。ただ科学分析で年代等がハッキリしても相変わらず作刀地や流派の問題・在銘刀の銘振りの真贋問題が残り、本来は両方の角度から検討すべきものであろう。
今の日刀保は田野辺大先生というスーパーマンがおみえになるのでその必要がないのであろう。本当？・・・・

[1852 へのレス] Re: 閻魔大王の昔話

投稿者：純平 投稿日：2003/09/15(Mon) 09:16<HOME>

日本刀に関する科学的な研究は、まだ殆ど行われていないと言って良いでしょう。科学が発達していても、多くの科学者がが日本刀に目を向けない限り意味がありません。前出の「作刀の伝統技法」では作る方から見ても

間違いが多く、とても鵜呑みに出来る内容ではありませんでした。
以前、日刀保が日立金属と共同で、異なった地鉄により刀を作り比較研究した事がありましたが、最初から実施する側にこう有って欲しいと云う願望がみえみえの実験であった為、結果は日刀保の思惑通りで、とんでもない物になってしまいました。
日本刀の科学的研究といっても、今はこの程度の事です。唯一読めるのは俵先生の日本刀の科学的研究ですが、６０年以上前の研究結果で、当時としては驚異的な内容でしたが、分析などに於いては十分とはいえません。

それから、私は若い時、日刀保の認定書付きの刀を買ってひどい目に合った経験が有ります。刀を買うのは「真剣勝負」騙されたら騙された自分が悪い。騙されたく無かったら真剣に勉強をしましょう。数十万円から数百万円する物を買うのだから当然の事だと思います。
結局、刀剣の購入は「自己責任」騙されたと云って人を恨むのはお大人らしく有りませんね「自分で納得の行く刀を納得の出来る価格で買う」より方法が無いのではと思っています。
これでは初心者にはちょっと酷ですか？　それならやはり閻魔大王様のおっしゃるように、信用の有るお店での購入と云う事になりますかね。

[1865] 閻魔様

投稿者：あれあれ 投稿日：2003/09/16(Tue) 22:11

あなたはいったいどなたですか。
私のイメージでは引退した骨董商か刀剣商と思います。
どうしていろいいろの事をご存知なのか私なんかは驚きの連続です。
だから閻魔大王なのである。といわれていますが世の中のことが全ておわかりでしょうか。

[1865 へのレス] そんなことは、ないでしょう！

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/09/18(Thu) 19:36

大王はその頃、どうしても欲しい新々刀があり探していたがある時ついに手に入れた。付属鑑定書は得能鑑定。得能先生は『日本刀の真贋』なんて書いておられる偉い先生だから良い、と思い４～５年そのまま所持していたが日刀保が審査料を倍にするというので一応特保をとっておこうと審査に出したら『偽銘』
このときの大王の落胆ぶりは自分の事ながら悲惨であった。

＞この文面から見ても、『その頃』とは初心者であった時を指しているのだろうし、日刀保が審査料を倍にしたのは５年も経っていないのでは？
だとしたら、おそろしく進歩の早い方でろうと推察します。骨董商や刀剣商ではないでしょう？(^.^)。

失敗が閻魔さんを生み育み、我々に経験や猛勉強したその頭脳から基づく貴重なアドバイスを下さ

っているのだと、私は感じています。
しかも、私は質問に対する答えが明確で論点に関しても明確にされるところが大変好きです！

[1865 へのレス] Re: 閻魔様

投稿者：備前介 投稿日：2003/09/18(Thu) 20:27

普段はただ拝見させていただくだけの人間ですが、参加させて頂いて宜しいでしょうか？
閻魔様のご意見には飾り気が感じられず、普通に会話頂いている感じがあって好きです。ただ、あれあれ様も同様らしいですが、得能鑑定＝×という仰り方には異論があります。

日本刀剣保存協会の鑑定でも最初「偽銘」としていたものが合格し、特別保存までいっているものが多くあります。（私も３振りほどあります）
協会は一定の期間ごとに鑑定人が変わるそうですから、十分に考えられる事です。

鑑定人が変われば結果も変わるということです。
結局、持ち主が何処の鑑定機関を信用するか、でしょう。

私は得能先生の人柄も厳しさも存じていますから、偽銘と見たものを正真とする方ではないことも故人の名誉の為に併せて弁護させて頂きたいと思います。

[1865 へのレス] Re: 閻魔様

投稿者：あれあれ 投稿日：2003/09/18(Thu) 22:13

貴重なご意見恐れ入る。
誤解を受けるといけないので一言申し沿える。
得能先生の鑑定書は悪意の無い物が多い。
従って、大王はの『鑑定書講座』には先生のおめがね違いの物があると記載している。
但し、無銘物にはよくその流派の上位刀工に極められる方であった事は事実である。（これについては正しいとも間違っているとも言えないが・・・）
大王が現在の日刀保の保存・特保を正真の基準としている理由は、昔の認定書とは異なり精度が非常に高いからであるが、それ以上に『市場がこの鑑定書を基準にしている事実』をユーザーは肝に命ずるべきであると忠告しているのである。

尚、大王が非常に短期間に現在の知識を得たと真改氏は敬意を表してくれているが、４～５年前(正確には鑑定書の値段が倍になる４～５年前)、新々刀の偽物をつかんだときは決して初心者ではなかったのである。
実はこの時点ではそこそこの目利きで通っていた。しかしこの新々刀は全く掟通りの偽物で得能鑑定が付き、業者に何人か見せたが全員が正真と認めた物で中途半端なことでは見破れない物であった事を付け加えよう。
今でも本当に偽物だったのか？などと納得してない部分もあるがある一点だけ正真と異なるところが解ったので多分偽物だったのだろうと思っている。
そんなわけで大王も別にスーパーマンでは無い。但し、相当の年数寝ても覚めても２４時間日本刀かかわってきた事は確かである。

それはそうと、皆の者『佐行秀』の例（偽物が重要刀剣になっている）のように特に新々刀の偽物は鑑定家やプロでも見分けがつかない物があるので充分注意されたい。

[1865 へのレス] Re: 閻魔様

投稿者：閻魔大王 投稿日：2003/09/18(Thu) 22:19

あれあれは大王の分身である事がご理解いただけたか？

[1865 へのレス] Re: 閻魔様

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/09/18(Thu) 23:08

私のイメージでは引退した骨董商か刀剣商と思います。

＞それでは、やはり、引退した骨董商か刀剣商なのでしょうか？

しかし、得能鑑定が不安で日刀保に鑑定を出されるという行為から推察すれば、やはり、商売をされていたあるいはされているプロではありませんよね？

[1865 へのレス] 備前介さんへ

投稿者：花散里 投稿日：2003/09/18(Thu) 23:24

＞普段はただ拝見させていただくだけの人間ですが、参加させて頂いて宜しいでしょうか？

などと仰らず、これからもぜひぜひご参加ください。お待ちしております(^^)
備前介さんへのご挨拶だけで、失礼します m(__)m

[1865 へのレス] Re: 閻魔様

投稿者：出戻り太郎 投稿日：2003/09/20(Sat) 00:29

左行秀には確かに怖い偽物があります。数本見ましたが、全て現代偽名。
茎はとにかく完璧なので、正真の押し型との比較では見破る事は困難です。行秀など新々刀の茎の錆はまだ浅く、正真物の茎でもいまだ光っている物もあり、偽作もつくりやすいのでしょう。
　こういう偽物はやはり上身での判断になりますが、私が見た偽作行秀は全て非常によい上身でした。研磨も最上級のものです。しかしながらやはりどこかに現代刀らしいところがのぞいているものです。
　ついでに左行秀の新身も見たことがあります。まだ刃はついておらず、１～１．５ミリくらいの刃先の厚さでした。もちろん現代刀です。これもうまく銘を切っていました。

[1865 へのレス] そうでしたか。

投稿者：あらあら 投稿日：2003/09/20(Sat) 09:38

やっぱり同じ人でしたか。(^^)

[1865 へのレス] Re: 閻魔様

投稿者：備前介 投稿日：2003/09/24(Wed) 15:58

まずは花散里さま、歓迎のお言葉、ありがとうございます。
なにぶん浅学ゆえ、ご不興を買う不安がございましたが、今は以前よりこちらにお邪魔する楽しみが増えました（ ^ ^ ）
閻魔様も思ったとおりの方で、誠実に答えて頂き、ありがとうございました。
また、参加指せて頂きたいと思います。

[1853] 第４２回全国大会

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/09/13(Sat) 19:59

大刀剣市と開催を同じくして、数店の大きな刀剣商さんの展示即売会が開催され、刀剣好きとしては大忙しの数日間となりそうですが、日刀保主催の第４２回全国大会も１１月１日２日と開催されます。

実は成蹊堂さんとお会いする機会があり、全国大会の刀剣鑑賞出品刀の素晴らしさを拝聴するにつき、参加費は相当なものではありますが、参加する価値は何をおいてもある！との考えに至り、いつも大刀剣市をご一緒されている皆さんの参加御意思はいかがかと、お尋ねするしだいであります。

要するに(^^ゞ、全国大会に参加をされますか？ということです。(~_~)。
二人で申し込めば、さらにお安く参加ができるようです。

また、内容としては主に時代の刀剣鑑賞、現代作家作品展、一本入札、祝賀懇親会などなどで、例えば初日に参加した後、２日目に大刀剣市というプランも考えられないかと思います。

その他、強行プランとしては、これに長州屋さんの展示即売会、刀剣博物館、靖国神社の『江戸開府４００年記念刀剣展』への参加をする組み合わせなどが考えられます。

私は１日２日の参加しかできないので、とても全部を見て回る余裕がありませんが、あっという間に１１月が来るでしょうから、今からご意見を頂戴できればと思います。

よろしくお願い致します。

[1853 へのレス] Re: 刀好きなら全国大会参加

投稿者：隠居 投稿日：2003/09/14(Sun) 07:00

刀好きなら全国大会は逃してはならない大切な行事です。支部の期待を担って出席し、一札鑑定で天地人に入るのは好き者の夢です。これが重なると全国のあちこちに友人知人が増え、全国大会が切ってもきれないものになります。こうして年を重ね、各地の「御国物」と云われる名品を知り、刀剣趣味の奥深さが分かってきます。
こうなると「鑑定書」なんぞをふりかざして商売する刀屋に目もくれなくなるのは当然です。

[1853へのレス] Re: 第４２回全国大会

投稿者：花散里 投稿日：2003/09/14(Sun) 09:08

私は神奈川在住ですから、基本的には上京される皆さんの予定・都合に合わせますが、できれば参加したいですね。

[1853へのレス] Re: 第４２回全国大会

投稿者：ikkak 投稿日：2003/09/14(Sun) 18:11

地元ですし生きたい気持ちはありますが....
参加料２９０００円は高いなー

[1853へのレス] Re: 第４２回全国大会

投稿者：菊久 投稿日：2003/09/15(Mon) 06:51

今年の「大刀剣市」・・・
どうあがいても、仕事の調整がつきません・・・

楽しみにしていたのですが・・・
「残念です。」「無念です。」

[1853へのレス] Re: 悩む(・_・;)

投稿者：鬼丸 投稿日：2003/09/15(Mon) 07:10

参加するとなれば、支部の人たちと行動を共にしなければならず、
大会日程を見てみると、１８００～２０００まで懇親会があり、
行動にかなり制限をうけることになります。
昨年のようにオフ会で焼き肉を食べながらの刀剣談義もしたいし、
古今東西の名刀を手にとって鑑賞もしたいし・・・(-_-)ウーム
参加費、刀剣市の入場料、交通費、宿泊費、おみやげなどなど、
あと、我家の財務大臣への説得もあるし、・・・悩むなあ。

[1853へのレス] Re: 第４２回全国大会

投稿者：純平 投稿日：2003/09/15(Mon) 09:03<HOME>

皆さん時間と予算に余裕が有れば必ず参加される事をお勧めします。特に
東京での全国大会では銘品が多く出されるのが恒例です。こんな機会はそ
うそう来る物では有りませんからね。
私は中国系アメリカ人の刀鍛冶？？？　をエスコートして１日から３日迄
東京に行きます。皆さんとは行動を共にする事は出来ませんが、会場で会
える事を楽しみにしています。

[1853 へのレス] Re: 第４２回全国大会

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/09/16(Tue) 20:12

泊まりになるかどうかは微妙ですが、参加したいですね。
公園デビューならぬ全国大会デビューです。
でも当日はアッチ行ったりコッチ行ったり…忙しいだろうなぁ。

[1853 へのレス] Re: 第４２回全国大会　え～～っ！そんな～～

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/09/18(Thu) 19:56

(T_T)
やばい！！
３日って文化の日？
そうです！
２日は出勤かもしれません。当然３日は最初から出勤。
困った～～。

[1873] 私所持の短刀について

投稿者：薩州住無学 投稿日：2003/09/18(Thu) 23:12

某有名刀剣店で無料鑑定をされているとのことで私所持の無銘短刀を出して見た。明らかに新々刀と分かるもので私は系統だけでも分かると助かるとおもい結果を楽しみにしていたのですが…「時代は新々刀、著名な刀工の作でないので個銘は分かりません」とのお返事でがっかりした。細直刃、茎やすり目切、無地風の肌、元重ね 8.5mm…これといった特徴が無いと新々刀の極めは難しいのですね。

[1873 へのレス] Re: 私所持の短刀について

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/09/19(Fri) 05:59

刀剣商さんで新々刀の権威といわれる方に『刀剣柴田の柴田光男氏』と『つるぎの屋の冥加氏』がいらっしゃると言われております。

柴田さんでは口頭鑑定もやっております。無料ではありませんので、お間違いなく。
つるぎの屋さんは大刀剣市に出展されていると思いますので、無料で見ていただけるかもしれません。

私も昔、村正短刀在銘で口頭鑑定を受けたことがあります。
結果？
聞くのはやめて下さい。(T_T)。

[1873 へのレス] Re: 私所持の短刀について

投稿者：閻魔大王 投稿日：2003/09/19(Fri) 06:53

つるぎの屋の冥加氏はもともと刀剣柴田の番頭で、つるぎの屋の屋号をもらい独立した人である。

だいだい柴田光男氏自身も『新々刀屋』などと言われた藤代商店の出身であり、この系列の人は新々刀に強いのである。
蛇足であるが、新々刀には短刀が結構多く無銘の物はなかなか鑑定が困難である。

[1873 へのレス] Re: 私所持の短刀について

投稿者：閻魔大王 投稿日：2003/09/19(Fri) 22:10

新々刀の生ぶ無銘の短刀を購入する際の注意。
古刀の短刀ならともかく、新々刀の短刀はそこそこの刀工ならほとんど在銘である。ご存知のように裏年季が切ってある物も多い。
そんなに有名な刀工で無くとも（例えば二字銘で）銘を切ったものが多い。

以上を考察の上、新々刀の無銘短刀を買う場合にはよっぽど確証のある物以外は作者がわからないと言ってさしつかえない。
特に有名刀工の生ぶ無銘の新々刀の短刀などというものはそれらしい鑑定書が付いていたとしても鵜呑みにするのは非常に危険極まりない。

[1873 へのレス] Re: 私所持の短刀について

投稿者：薩州住無学 投稿日：2003/09/19(Fri) 22:34

私がこの短刀を購入したときは刀身とハバキだけの状態でうぶ出しという事でした。研ぎと白鞘の工作を施して現在私の手元にあるわけですが、登録審査のときに係りの人が「震鱗子克一か景一あたりでしょう」と言ったそうです。研ぎのかかっていない状態でよく分かるもんだと思いましたが私の調べたところでは違うようです。安い価格で購入したのですが私自身気にっているものなのでせめて系統だけでもと思ったのですが…。新々刀無銘の極めは難しいのですね。

[1875] 久しぶりの故郷

投稿者：神無月 投稿日：2003/09/19(Fri) 03:22

約２年ぶりに実家に帰ってきました。
東京はまだ暑いですが、こっちはもう山の木が色つきはじめました。あと３ヶ月もすれば、見渡す限り銀世界になります。
「あ～、やっぱり東京より故郷がいいなぁ」と思うんですが、でも結局は東京で暮らしちゃうんですよね。

[1875 へのレス] Re: 久しぶりの故郷

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/09/19(Fri) 06:06

私は１０年以上も前に東京に住んでいましたが、一度帰郷しました。
再度上京し、就職しようと考えましたが、両親の説得にあい断念。(-_-;)。

東京は住みにくいとか当事も今もこちらではそう言われておりますが、私は住みやすかったし、楽しかったですよ！
子供が出来た今では、地方が良いとは思っております。

しか～～し、東京のどこだったか、子供の医療費を小学校６年生まで無料にする自治体が出たと聞きました。
福祉医療ではやはり都会が進んでいます。
こういう面では、東京に代表される超都会が良いと感じます。

神無月さん。
２年ぶりに帰った故郷は、感動したでしょう？
思いっきり飯食って・・・。(^.^)。
太るんですよ！
帰ってきたら・・・。ハハハ。　)^o^(

[1875へのレス] Re: 久しぶりの故郷

投稿者：こてつ。　投稿日：2003/09/19(Fri) 12:57

僕も故郷に戻ってもうすぐ一年が経ちます。
いやぁ…想像した以上にストレス溜まります…(´▽｀)ゞ
それでも仕事の関係で月に一～二度は上京するんですが、東京はやはり良いなぁなんて痛感してしまいます。
何か…、東京在住時はあれだけ鬱陶しかった人ごみ・雑踏までが変に懐かしく、また居心地良く感じられたりして…。
もちろん故郷にも良いところはいっぱいあるんですが…。

[1875へのレス] Re: 久しぶりの故郷

投稿者：守重　投稿日：2003/09/20(Sat) 11:46

私の家と実家は車で２時間くらいなので、月に１回は帰っています。実家は程々の田舎、今の家は超ド田舎、田舎同志の移動なので大した感動はありません。しかし両親は70歳を越えて二人暮らしの老人、安否確認も帰省理由にあります。今までは治安がよかった実家付近ですが、最近は泥棒が増えて遂に実家も外国人と思われる窃盗団にやられました。田舎も犯罪が増えてるようです。景気回復もよいですが、日本の治安と道徳の回復が急務であると考えます。
東京は月に一回くらい行きますが、とても住みたいとは思えず、たまに行くに丁度よいところと感じます。

[1886] 近畿・中国・四国の現代刀工展

投稿者：純平　投稿日：2003/09/25(Thu) 10:50<HOME>

９月２７日より岡山県の備前長船博物館で近畿・中国・四国の現代刀工展
が開催されます。公開鍛錬や人間国宝の天田先生の講演などの催しも計画
されています。現代刀に興味の有る方は必見の展覧会です。
詳しくは私のHPの「掲示板」の「近畿・中国・四国の現代刀工展」をご覧
下さい。
尚、私は刀匠会を退会しましたので、作品は出品していませんが…。

[1886へのレス] Re: 近畿・中国・四国の現代刀工展

投稿者：鎬 投稿日：2003/09/30(Tue) 19:35<HOME>

案内ありがとうございます。HP見させてもらいますね。

[1887] 刀剣展情報

投稿者：ｎｕｍａｒｏｋｕｙａ 投稿日：2003/09/25(Thu) 19:55

関東近県の刀剣展情報です。

関宿城博物館
千葉県野田市の 千葉県立関宿城博物館 では 『日本刀展』 を開催します。これは野田市と関宿町の合併を記念して行われるもので、野田市美術刀剣会協力の下４８振りを展示します。
９月３０日から１１月３日まで。

太刀　銘）定利（綾小路）　鎌倉時代　重要美術品
太刀　銘）国之（来）　鎌倉時代　重要美術品
太刀　銘）吉包（古備前）　鎌倉時代　重要美術品
短刀　銘）国廣（相州）　鎌倉時代
短刀　銘）兼光（備州）　南北朝時代　（延文五年六月日）
太刀　銘）盛光（備州）　室町時代　（応永二八年二月日）
刀　銘）津田越前助広　江戸時代　（天和元年十月日）
刀　銘）正清（主水正）　江戸時代

■千葉県立関宿城博物館 ： ０４－７１９６－１４００

古河藩の武具
茨城県古河市の古河歴史博物館では、古河藩土井家の刀剣・武具甲冑を中心にした武具展『古河藩の武具　その美とはたらき』 を開催します。古河藩は地理的に江戸の防衛線となるため、歴代の藩主には譜代大名が就いており、中でも土井家は徳川幕府初期の大実力者、老中土井利勝以下４代、また江戸後期に土井利里以下７代が廃藩置県まで古河藩を治めています。『雪の殿様』 土井利位（としつら）も幕末に藩主を務め、幕政にも参与し江戸幕府の財政立て直しに大きな功績をあげています。
１０月１７日から１１月２４日まで

■古河歴史博物館 ： ０２８０－２２－５２１１

土浦土屋家の鐔
茨城県土浦市の土浦市立博物館では、収蔵品展 『土屋家刀剣に見る鐔の意趣』 と題し、常陸土浦 土屋家 九万五千石 に伝わる 刀装具／鐔 の意趣を探っていきます。土屋家は譜代大名として ながく徳川幕府を支え、国宝の 短刀 「筑州住行弘／観応元年八月日」 をはじめ重要文化財４振りを含む古名刀を所有しており、これらは現在土浦市立博物館の所蔵品として広く公開されています。１０月４日から１１月３日まで

■土浦市立博物館　：　０２９－８２４－２９２８

水戸の刀工
茨城県水戸市の茨城県立歴史館では、９月１３日から１０月１３日まで 部門別展 『水戸の刀工Ⅱ』 を開催し、水戸光圀時代の水戸藩お抱え刀工 「吉門」 の刀剣・甲冑を中心に展示を行います。同博物館は茨城県の歴史に関する各種資料を展示公開するほか、史料収集・保存を行う文書館としての機能も備えています。

■茨城県立歴史館　：　０２９－２２５－４４２５

[1887 へのレス] Re: 刀剣展情報

投稿者：隠居 投稿日：2003/09/26(Fri) 19:12

野田といえば醤油で有名なところですね。近ければとんでいくのですが。
土屋家の蔵品もよく、また水戸の吉門もいいです。ご存知ないお方のために一言致しますと、吉門は備前伝の名手です。生国は美濃ですが、美濃の丁子が華麗で、映りが立ち、素晴らしいですよ。
水戸のお留め鍛冶ですから作品が全国に広まることなく、それ故、好き者の間のみで知られていたようです。これは見逃せない会ですね。

[1887 へのレス] Re: 刀剣展情報

投稿者：ｎｕｍａｒｏｋｕｙａ 投稿日：2003/09/27(Sat) 16:42

隠居様
土屋家の刀剣は、前回催された時に観て来ました。
その時に国宝の短刀も初めて目の当りにしました。
今回は、刀装具展らしいですが隣町なので観て来ようと思います。
地元に居ながら水戸の吉門はそれ程とは知りませんでした。
これからは郷土刀にも今以上に目を向けて行こうと思います。
そして何時かは郷土刀を一振り所有出来たら嬉しいですね。

[1887 へのレス] Re: 刀剣展情報

投稿者：隠居 投稿日：2003/09/28(Sun) 07:11

郷土刀についてですが、たとえば会津の長道ですが、通常見る長道は大したものとは思えません。ところが会津に行って記念館に飾られている藩公の寝間刀だった長道を見ると地刃明るく冴えて生気のある素晴らしい名刀です。長道がこのような名工であったのかと同行者ともども驚きました。そしてそこに飾られていた金具類にしても将棋の駒形の目貫や会津塗の鞘など、レベルの高い刀装具が並んでおり、地方文化の高さを感じさせます。これは地方に共通する独自文化で、刀も象徴的なものの代表です。郷土刀愛好を義務感としてではなく、自分の先祖ゆかりの足跡を知らなければ恥ずかしいことなのです。
水戸の吉門にしても刀剣鑑定の同然表にも記載されていませんが、すごい刀ですよ。吉門は大村加朴が水戸に招聘された際連れて行った弟子だとされています。３０年ほど前、刀屋で素晴らしい新刀備前伝の刀を見て、そぼろ助広の傑作か、と云った覚えがあります。値段が思う倍ほどでしたからとても手が出ずあきらめました。先輩に相談したら「持っている刀、売ってでも買っておけ」と

云われ、金を都合してとんで行きましたが売れてしまったあとでした。その後、吉門の売り物はまったく目にしておりません。
新刀備前伝のいい物は切れ味もよく、柳生連也の愛刀「鬼の包丁」が秦光代の作であり、そぼろが最上大業物に選ばれていることでも、刀としての質性に優れたものだと思います。古刀の備前物が良すぎますから、新刀備前伝はわりをくっているようです。吉門を一度よくご覧になってください。

[1887 へのレス] Re: 刀剣展情報

投稿者：ｎｕｍａｒｏｋｕｙａ 投稿日：2003/10/01(Wed) 19:57

＞郷土刀愛好を義務感としてではなく、
そのとおりですね、これから観る事が出来た中で、琴線に感じる事が出来る様な郷土刀に巡り会えれば何よりに思います。

[1891] 蝉しぐれ

投稿者：守重 投稿日：2003/09/28(Sun) 15:23

NHK の金曜時代劇、「蝉しぐれ」なかなかです。来週で最終回ですが、前回と前々回は久々にドキドキしてみました。藩の内紛に巻き込まれた主人公の活躍ぶりがメインですが、殺陣もなかなか興味津々。今まで見たことないような殺陣に新鮮さが感じられました。妻も一緒に感涙、久々にあっぱれ金曜時代劇
!!でした。で、西日本も同様の番組だったでしょうか？？？

[1891 へのレス] Re: 蝉しぐれ

投稿者：隠居 投稿日：2003/09/29(Mon) 20:09

守重さん、関西で蝉しぐれを楽しみに観ています。私の好みでは武蔵をぬいて目下ＮＯ１です。暗い家の中、貧しくても背筋を伸ばして生きていく一家、家族のものの言い方、師と弟子の在り方、今は無き戦前の日本があります。仰る殺陣ですが、カチンと相手の刀を受けるのが私などは耐えられませんが、それを除けばいいですね。こういう良質の時代劇がもっと観たいです。

[1891 へのレス] Re: 蝉しぐれ

投稿者：鎬 投稿日：2003/09/30(Tue) 19:34<HOME>

「蝉しぐれ」藤沢作品の中でも特に好きです。時代劇として放映されていることを知りませんでした。。。残念。NHK さん再放送お願いしますよ～。グローバル化が進むにつれて、民族意識と言うのは強まるように思います。良質の時代劇見たいです。

[1891 へのレス] Re: 蝉しぐれ

投稿者：守重 投稿日：2003/10/04(Sat) 08:33

最終回も感動的でした。私にとってはここ一年で最も良い時代劇でした。なんとなくたそがれ清兵衛系の雰囲気をかんじました。荒んだ現世には想像を絶する時代ですが、このような良質なドラマがどんどんできて欲しいです。当時の平均寿命は現代の半分程度、１日の価値も現代の２倍以上、

其れを考えると如何に自分たちが時間を無駄にしているか、、、考えさせられました。
鎬さん、ハイビジョンで再放送するみたいですよ。NHK のサイトに書いてありました。

[1891 へのレス] Re: 蝉しぐれ

投稿者：ikkak 投稿日：2003/10/04(Sat) 18:53

私も拝見しました。
闇夜の死闘の場面は斬新なカメラアングルとエキゾチックなバックミュージックがすばらしかったです。
最後の別れの場面は抑えた演技に情感があふれじんわり心に響きました。
小室等の音楽最高！

[1892] 第十六回大刀剣市

投稿者：全国刀剣商業協同組合組合員 投稿日：2003/09/29(Mon) 09:28<HOME>

今年も恒例の大刀剣市が下記の日程で開催されます。毎年活況を呈しております大刀剣市ですが、本年は出展店舗数も増え、全国から 60 数店舗有名刀剣業者の参加となり、また時を同じくして財団法人日本美術刀剣保存協会の全国大会が新宿で開催されるため、日本国内のみならず世界各国から多くの愛刀家が上京され、例年以上の盛り上がりが予想されます。一度に数多くの刀を手に取ってみる絶好の機会です。是非ご来場下さい。

第十六回大刀剣市

日時　十一月一日（土）9：30～10：00（開会式）
　　10：00（オープン）～18：00
　　二日（日）10：00～19：00
　　三日（月/祝日）10：00～17：00

場所　東京美術倶楽部　3 階 4 階「大展示室」
　　東京都港区新橋 6-19-15
　　電話　03-5401-1339

交通　JR／浜松町駅・新橋駅から徒歩 10 分
　　都営地下鉄／御成門駅駅から徒歩 3 分
　　都営バス／御成門・新橋 6 丁目から徒歩 2 分

同時併催　＊宮本武蔵ゆかりの名刀展（3 階重文室）
　　＊新作優品室（4 階展示室）
　　＊現代刀匠小品展（4 階）
　　＊我が家のお宝鑑定（毎日午後から随時開催。無料）

現在大刀剣市に出品予定の刀を写真で掲載したカタログを製作中です。当日会場にて入場料込みで 2000

円で販売しておりますが、成蹊堂にて先行予約販売いたしております。一足早く大刀剣市のカタログをご覧になってみませんか。

ご希望の方はメールにご住所、ご氏名、「大刀剣市カタログ希望」とご記入の上、成蹊堂へとお送り下さい。先着 30 名様までですのでお早めにどうぞ。価格は送料込みの 2200 円(大刀剣市入場料を含む）です。直接成蹊堂に受け取りに来られた方、及び 9 月中にお申し込みの方は 2000 円にサービスしております。

現在カタログは製作中で、お届けは 10 月 18 日から 20 日頃の予定となります。

なお、日を同じくして財団法人日本美術刀剣保存協会の全国大会、銀座長州屋さんの大展示会、霜剣堂さんの展示即売会が開催されます。足並みを揃え、同じ日に東京で開催することにより、遠方にお住まいの方に一度の上京でより多くの刀をご覧いただけるよう配慮しております。

今年最大の刀剣イベントです。多くの皆様のご参加を心よりお待ち申し上げております。

[1892 へのレス] Re: 第十六回大刀剣市

投稿者：花散里 投稿日：2003/09/29(Mon) 14:00

大刀剣市も、後一ヶ月に迫りましたね。
年に一度のお祭りであるだけではなく、日頃この掲示板に参加されている皆さんと顔を合わせ、大好きな刀の話で盛り上がれる貴重な３日間です。
去年の大刀剣市でお会いした方々のお顔を思い出し、ロザリオ透かしの信家の鐔・スクラッチ宝くじ・焼肉店でのＯＦＦ会やカラオケＢＯＸ・真改さんの猛ダッシュなどなど・・・あれから、もう一年。早いものですね～(^.^)
また、皆さんとお会いできるのを楽しみにしています＼(^o^)／

それと成蹊堂さん、いつもいつも有益な情報をありがとうございます m(__)m
今回は、大刀剣市の入場券を割引値段でお世話くださるとのこと、重ね重ねお礼申し上げます。(もちろん、私も申し込ませていただきます)
考えてみれば成蹊堂さんは、この一陽来復を商売の場とは考えておられず、いつも刀友に徹して下さっています。
人の迷惑を顧みず、機会があれば道端でも商売を初めてしまう手合いが多い今日この頃、成蹊堂さんのように節度を持ってお付き合いいただいて、感謝の念に耐えません。
これからも、良き刀友としてよろしくお願いします。

[1892 へのレス] Re: 第十六回大刀剣市

投稿者：全国刀剣商業協同組合組合員 投稿日：2003/09/29(Mon) 23:13<HOME>

投稿後 12 時間で早くも 20 人以上の方からお申し込みを頂きました。予想以上の反響のため申し込み枠を急遽 50 人に致します。今月中のお申し込みの方には送料込みの 2000 円（当日入場券付き）とさせていただきます。十月に入っても在庫がある限り受け付けております。もちろん当日会場入り口でもカタログ（入場券付き　二千円）は販売されておりますのでご安心ください。

[1898] 「武家の名刀」展。

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/09/30(Tue) 20:19

坂城町「鉄の展示館」で開かれている「武家の名刀」展に行って来ました。

重美～太刀「則高」、刀「二字国俊（本阿弥光忠折り紙）」、太刀「国宗」、太刀「長光」、太刀「長谷部国信（からかしわ）」、刀「肥後大掾藤原越前康継」、刀「長曾祢興里入道乕鉄」
特重～短刀「吉光（名物　朝倉藤四郎）」、太刀「当麻（金象嵌銘）恐」
長野県宝指定～短刀「正雄　嘉永三年八月」、刀「源清麿　嘉永二年八月日」
２２口の展示で上記の他は全て重刀でした。
これまで写真でしか見たことが無かった「からかしわ」の本物を見ることが出来たのはちょっと感激でした。
二尺六寸、身幅もあり実に見事でした。

また小道具類もかなり良い物が揃っていました。
石黒政美の「牡丹孔雀図　大小鍔」「松樹鷹図　大小鍔」「千代田城図　縁頭」が素晴らしかったです。

こじんまりとした展示室ですが、ここは大変見やすい照明だと思います。
ただガラスが…少し汚れているのが気になりました。
やはり皆さん、顔をガラスにくっつかんばかりに見入ってしまうんでしょうね…。鼻の頭の油やオデコの油がくっついてしまうみたいです。出来れば小まめにガラスは拭いて欲しいものです。

今回はウッカリ筆記具を忘れメモをとれませんでした。
もう１回、いや何回でも行ってちゃんとメモして来たいと思います。

１１月１６日まで開かれています。お近くの方は是非！

[1898 へのレス] Re: 「武家の名刀」展。

投稿者：花散里 投稿日：2003/10/02(Thu) 01:51

坂城町から僅かに１０ｋｍ、別所温泉がありますね。

その別所温泉には、１５０円で入浴できる外湯が４軒。その中の１軒「石湯」の前の標石には、なんと池波正太郎氏の筆で「真田幸村公隠しの湯」！
さらに別の１軒「大湯」は、「木曾義仲ゆかり葵の湯」！

う～む(-_-;)
しかし、私の家からだと、あまり「お近く」ではない・・・
名刀を飽くまで堪能し、温泉に入って肩の凝りをほぐし、腹が減ったらどうしよう・・・

おおっ！　近くに蕎麦屋があるな。
「そばの実を石臼で挽いて、粉にするところからはじめています。素材にこだわり、そばに合うやさしい味わいを引き出している、つゆと共にご賞味下さい。」
営業時間１１：３０～１５:００・・・期待が持てるかも知れない。

「そばの香りを大切にするため、店内は禁煙となっております。」・・・これは、ちと辛いかも・・・(^_^;)

でも、これだけ条件が揃えば、行くっきゃないでしょ(^O^)／

[1898 へのレス] Re: 「武家の名刀」展。

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/10/02(Thu) 15:09

別所温泉は小学校の時、遠足で行きました♪
高校３年の卒業間際、ＨＲを潰してクラスみんなで遊びにも行きました。
味わい深いひなびた小さな温泉町です。
小諸には真雄・清麿の生家もあります。（行った事無いんですが…）
お近くにお越しの際は是非御連絡くださいねｏ(〃^▽^〃)ｏ

[1898 へのレス] Re: 「武家の名刀」展。

投稿者：内記 投稿日：2003/10/02(Thu) 15:28

花散里さま
こんにちは。
先日、菊久さまにもお勧めしたように別所温泉は、いいですよね。家内が肌が弱く、温泉アレルギー（？）でしたが、信州方面ではここのお湯と、奥飛騨の福地温泉の 2 つが肌にあうようで、我家の贅沢な外湯になっています。最近外湯が 2 つでは、ちと寂しい（本当は子供が飽きている）ので、奥方様のお肌におあいする湯を探すのも大切な仕事となりつつあります^_^;

北国街道沿いに海野町があるのですが、江戸時代の町並みが保存され千曲川も風情があり落ち着きますよ。以前、撮影中の竹中直人氏にも遭遇しました。気さくに声をかけていただき好印象でした。この付近のお蕎麦屋さんも、大変おいしく「信州そば」を実感します。

来週、「武家の名刀」展に行ってまいります。
主目的？は、『お肌におあいする温泉調査』で別所温泉の山 2 つ向こうの温泉を研究調査し、帰路、坂城町で少々休憩（！）するという名目です。
家族連れの為、他の来館者に迷惑をおかけしないよう注意して拝見したいと思っています。

こてつさま
ガラスクリーナー持参するとかなり怪しい人にされてしまいますよね。
眼鏡クロスを手のひらに隠し持っていく事にします。
メモがとれる程、余裕があるとよいのですが、家族の理解は、日頃の行いで既に決まっていると、天命を待つことにします。

[1898 へのレス] Re: 「武家の名刀」展。

投稿者：花散里 投稿日：2003/10/02(Thu) 22:45

＞こてつさん
ありがとうございます m(__)m

今一生懸命、スケジュールを調整中です(^_^;)
たまには、私の方から出かけて行ってお会いするのも良いですね。
スケジュールが調整できたら、連絡させていただきます。

＞内記さん
私の家内と娘も、やはり肌が弱いのです(-_-;)
事前に温泉の成分を調べてからでないと、迂闊に入れません。
『お肌におあいする温泉調査』←これ、私も使わせていただきます(^^)

[1898 へのレス] Re: 「武家の名刀」展。

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/10/02(Thu) 23:56

＞内記さん。
信州の秋、良い天気になるといいですね。
刀もお風呂もユックリ堪能してきてくださいませ。
確か上田城跡のお堀の辺りでも何か映画の撮影があったようですよ。
「たそがれ清兵衛」だったか…。うろ覚えで失礼(;^_^A
あと上田市に「刀屋」というお蕎麦やさんがあります。
食べたこと無いんですが、麺に相当コシがあるそうです。
でも何で屋号が「刀屋」…？
ひょっとして御先祖が刀剣商だったんでしょうか？

＞花散里さん。
大刀剣市＆全国大会もありますね～。

[1903] My web site

投稿者：兼豊　kanetoyo 投稿日：2003/10/02(Thu) 21:23<HOME>

ホームページ新装しましたので是非遊びにきてください！！刀談義を咲かせましょう！
http://blog.livedoor.jp/kanetoyo/

[1908] 将軍家ゆかりの名刀展

投稿者：花散里 投稿日：2003/10/04(Sat) 20:46

江戸開府４００年記念「将軍家ゆかりの名刀展」　靖国神社遊就館

平成１５年１０月４日（土）～１２月８日（月）大人３００円（但し、本館常設展示拝観者は無料）

【徳川将軍家ゆかりの刀剣を中心に、重要美術品「刀　名物武蔵正宗」、特別重要刀剣「短刀　吉光」、特別重要刀剣「刀　以南蛮鉄於武州江戸越前康継」、重要刀剣「太刀　備州長船政光」など計４１振りの刀剣を展示します。】
◎日本美術刀剣保存協会協賛

さあ、困りました(^^ゞ
大刀剣市のために上京を考えていらっしゃる皆様、また一つ選択肢が増えてしまいました(^^)
今年の秋は、展示会が目白押しです。スケジュール調整に、悩みましょう（●＾o＾●）

[1908へのレス] Re: 将軍家ゆかりの名刀展

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/10/04(Sat) 23:59

やはりホテルとらないとダメかも…(;^_^A
しらべて見たんですが、連休中のためか、すでに満室になっているホテルもあります…。
う～、悩みます。

[1908へのレス] Re: 将軍家ゆかりの名刀展

投稿者：花散里 投稿日：2003/10/05(Sun) 00:15

＞こてつさん
ホテルの予約なら、「旅の窓口」が便利ですよ。
まだまだ、予約できると思います。
お忙しいとは思いますが、せっかく来られるのですから思う存分(^^)

[1908へのレス] Re: 将軍家ゆかりの名刀展

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/10/06(Mon) 18:07

無事ホテルを予約できました。
ありがとうございました。
東京で美味い飯食うぞ～♪
…何しに行くんだか？

[1911] 警察

投稿者：ikkak 投稿日：2003/10/05(Sun) 05:39

会社の帰りバイクでいつもの道を走っているとおまわりさんがおいでおいでしていました。

「ストップランプ切れてない？」

確かに接触不良でストップランプはついてませんでした。

「今回は注意だけにしますから直しといてね」

”キップ切られなくてラッキー！”と思いましたが家に帰ってよく考えてみると

「なんでわかったんだ？」

ストップランプが切れていることは当然前からはわかりません。
そのおまわりさんは私が通る前から道に出ており、他の車は止めませんでしたので

明らかに私のことを待っていました。（最初は飲酒のチェックかと思いました。）

警察恐るべし！

匿名だからと好き放題いっているとある日突然「ちょっと話し聞かせてくれるかな？」
なんてことになるかもしれませんよ

[1911 へのレス] Re: 警察

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/10/07(Tue) 19:31

私も仕事で昼間っから車で走っておりますが、止める係りの警官の随分と手前に確認を行う警官がいるようです。

信号無視や一旦停止違反、シートベルトなどが多いようです。

この前なんか、警察車両の前をブレーキランプのカバーも白、球も白なので、止められていましたね。
信号待ちでブレーキを踏んでいたら、ランプの色も一目瞭然！
夜にこの白色ブレーキライトを見ると、後ろの車は眩しくて迷惑なんですよね。
逆に昼間だと、白いランプは後続車に対しても確認が行いづらいです。

球は赤、カバーが透明なんていうのが、このごろの流行なんでしょうかね。

[1912] 148 万円

投稿者：ikkak 投稿日：2003/10/06(Mon) 00:05

テレビ見てましたら
あるブランドバッグが１４８万円だそうです！
他にも中古で１１８万円とか

思うんですが今の女性にとってのブランドバッグというのは
昔の男性の刀みたいなもんなのではないでしょうか。

しっかし世界に１個というわけでもあるまいし第一日本の気候では皮製の
バッグは長持ちしないんじゃないでしょうか？

[1912 へのレス] Re: 148 万円

投稿者：兼豊　kanetoyo 投稿日：2003/10/06(Mon) 20:05<HOME>

ある女性に聞いたのですが、ブランドバッグは海外においては壊れたら修理して親子何世代にも渡って使うものだったらしいですよ。（刀みたいですね）それを日本人が買いあさるから今のようにモデルチェンジが頻繁に行われるようになったらしいです。

[1912へのレス] Re: 148万円

投稿者：薩州住無学 投稿日：2003/10/07(Tue) 00:18

この不景気な世の中で高額なバッグが売れるのは流行もあるでしょうが（換金性が高い流行物）やはり品質の良さもあるでしょう。手入れを怠らなければ孫の代でも使えます。メーカーにもリペア部門があり長く使うことを前提に商品を作っています、かつての日本製品がそうでしたね。しかしひとつの物を長く使い続けることに意義があるのにブランド物を買いあさることには賛成できませんね、使い続けることで味が出てくるのに…。

[1915] 日本刀鑑定要訣

投稿者：越中国住人 投稿日：2003/10/06(Mon) 22:09

ヤフーオークションにて舘平吉氏著　「日本刀鑑定要訣」を７,８００円で落札しました。長い間、探していた本なので嬉しいです。最初の価格は７００円だったのですが、入札者が何人かおられて終了寸前まで入札していました。
全国大会に参加される方で、押し型を書いておられる方がおられましたら作品を持ち寄り、技法について情報交換と意見交換をしませんか？
会場のロビーなどで待ち合わせて、少しの時間でもいかがでしょう？
お互いの技術の向上のためによろしくお願いします。

[1915へのレス] Re: 日本刀鑑定要訣

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/10/07(Tue) 19:35

そりゃ～、安いですね！！
私は２万円出しました！
でも、読み応えがありますね。

で、鬼丸さんの上の投稿に復刻紹介があったので、さっそく申し込んでみました。
復刻されたら、うれしいやら、辛いやら・・・。
複雑な心境でございます。m(__)m。

[1917] 刀身彫刻

投稿者：剣豪？さん 投稿日：2003/10/07(Tue) 13:11<HOME>

皆様、はじめまして。
私も２、３年ほど前から刀剣を趣味とする者です。よろしくお願いします。
こちらへお邪魔したのは、私の知人で、刀身彫刻師の橋本琇巴氏の作品展をお知らせしたく掲示板をお借りいたします。
現在、埼玉県狭山市博物館で開催中で、展示に際しては出来るだけ刀を見学者に近づけ、照明にも気を使っており、彫刻は勿論、現代刀匠の作風も充分に楽しめます。（展示品はすべて現代刀匠のものです）

ＵＲＬに「戦国ＷＥＢ」という友人のサイトをリンクいたしましたので、興味のある方は、こちらのＴＯＰ

ページか掲示板（掲示板のほうがより詳しい説明があります）で詳細をご確認ください。私に直接メールを下さっても結構です（ ^ ^ ;
失礼いたしました。

[1917 へのレス] Re: 刀身彫刻

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/10/07(Tue) 19:45

はじめまして。
真改２００３と申します。

その展示会の目録図録のようなものはあるのでしょうか。
あるとすれば、埼玉県狭山市博物館に申し込めば、図録の郵送は可能なのでしょうか。
ご存知でしたら、お教えくださいませ。m(__)m。

私も、大の現代刀ファンです。
刀身彫刻で、最近印象的なのは、といってももう２年も前の話ですが。
真鍋純平刀匠の個展に訪れた際に拝見したもので、太刀に昇竜の彫がありました。
昇竜だったかなぁ。昇竜だったと思います。^_^;。
見事でした！

このたびの展示会の見所や、お気に入りの作品がありましたら、ぜひここで解説紹介をお願いできればと思います。

いかがでしょうか？!(^^)!。

[1917 へのレス] Re: ありがとうございます

投稿者：剣豪？さん 投稿日：2003/10/07(Tue) 20:33<HOME>

真改２００３様、はじめまして。こちらは凄く内容の充実したサイトで、掲示板の話題も面白く、大変参考になります。これからもよろしくお願いします。

図録は、橋本氏による自主制作のもので、￥１５００となっております。郵送などに関して、何分にも橋本氏本人や手伝いの私なども素人ですので、相談しながら、ご希望に添えるようにいたします。図録には写真は勿論ですが、刀身彫刻の作業工程をマンガ風に解説してあり、試みとしては面白いものかと存じます（ ^ ^ ;

初心者の私が見所を説明するのは難しいのですが、
「七星剣」の複製、「長光」写しの太刀、「景光」写しの短刀などは姿や地鉄、刃文など、素晴らしいと思います。「景光」の短刀は私にもわかり易い映りが出ていますし。山口刀匠の青江のような逆丁子も面白く、現代刀展としても、出来の良いものが揃っています。また、一部は刀身を立てて展示してあるのも、珍しい点かと。表裏の彫刻が見れるのと、姿の見え方が違います。個人的には竜や倶利伽羅などは力強く素晴らしいものだと思います。その他、ハバキなども殆どが橋本氏によるものです。

さらに、開催中４回、自身による作品解説や彫刻の実演もありますので、彫金に興味のある方は、是非どうぞ。

刀身彫刻の実演・解説は
１０月１１日（土）２６日（日）、１１月８日（土）３０日（日）となっております。各日午前１０時から１２時まで、午後は１時から３時までの１日２回です。

　狭山市博物館
埼玉県狭山市稲荷山１－２３－１　０４２－９５５－３８０４
西武池袋線稲荷山公園駅　徒歩１、２分。
入場料￥１５０です。実演の見学も含みます。

休館日は１０月６日、１４日、２０日、２４日、２７日
１１月４日、１０日、１７日、２５日、２８日、
１２月１日です。

[1917 へのレス] Re: 刀身彫刻

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/10/08(Wed) 19:21

刀身彫刻の作業工程をマンガ風に解説＞これも初の試みでしょうか。ぜひ拝見したいです。

また、『「七星剣」の複製』＞この辺りの刀剣には、ただ今のところ、長期お休み中の『空爺さん』のお好みのところですね！

近ければ見に行きたいですね！

[1925] 男の日本刀・女のブランドバッグ

投稿者：閻魔大王 投稿日：2003/10/08(Wed) 21:15

大王はいつもいつも比較的硬い話をこのサイトで展開しておるが、題名の件で見解を述べる。
『男の日本刀・女のブランドバッグ』
共通点
①比較的値段が高い
②ブランド名や作者銘が値段を決する
③持っていることに満足感を覚える
④他人が何を持っているか気になる
⑤持ってるものを人に見せたい
⑥偽物がけっこうある
⑦特に他人が持っていないような物が欲しい

相違点
①日本刀は古いほうが価値がある。バッグが最新のほうが価値がある（一部古いビトンなどは例外であるが）
②日本刀は物が切れるがバッグはひもが切れることがある

③日本刀は年寄り主流だがバッグは若い娘が主流である

まだまだ有ると思うので投稿を待つことにしたい
大王は酔っ払ったので寝る

[1928] 古武術

投稿者：ikkak 投稿日：2003/10/08(Wed) 23:02

NHK 人間講座で甲野善紀師が古武術に関しての番組を始められました。
一回目を見ましたがたんたんと自説を述べられ
実技も派手なものではなく静かなものでいかにも日本的でいい雰囲気でした。

[1928 へのレス] Re: 古武術

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/10/10(Fri) 00:54

ＮＨＫのＨＰで調べてみました。
来週の水曜日の午後に再放送があるようです。
忘れずに録画しなくては…。

[1918] オンデマンド

投稿者：鬼丸 投稿日：2003/10/07(Tue) 18:13

雄山閣がやってくれました。
絶版などの本を１冊からでも製作してくれるらしい。

考古学や刀剣書籍を多数出版している雄山閣頼もしい限りです。
詳しくは、下記のアドレスでアクセスしてみてください。
http://www.yuzankaku.co.jp/products/list.php?category_id=64

[1918 へのレス] Re: オンデマンド

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/10/07(Tue) 19:53

貴重な情報をありがとうございます。越中国さんのところにも書きましたが、さっそくに、二冊ほどの書籍をリクエスト致しました。

結果がどうなるか楽しみです。

雄山閣以外の絶版書籍でも、復刊は大丈夫なんでしょうか？

[1918 へのレス] Re: オンデマンド

投稿者：薩州住無学 投稿日：2003/10/08(Wed) 21:33

雄山閣の書籍は刀剣関連の物が多いのですが、勉強に役立てたくても絶版が多くて古書籍の価格の高さに泣かされておりました。今回「プリント・オン・デマンド版」で復刻書籍が出るとの事で大変有り難いのですが、おそらくオリジナルからスキャンしデータ化したものでしょうから刀剣の写

真や押形がオリジナルとくらべどの程度鮮明に復元できるのか気になります。今のところ欲しい書籍がないので注文された方、お手元に届きましたら感想をお教え下さい。

[1918 へのレス] Re: オンデマンド

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/10/09(Thu) 19:43

とりあえず、下記のようなお返事を頂戴致しました。ご参照下さいませ。
m(__)m。

『このたびは、弊社ホームページより POD 書籍のリクエストをいただきまして誠にありがとうございます。
リクエストしていただきました『日本刀鑑定要訣』のリクエストデータは、今後の POD 書籍制作の重要な参考として保管いただきます。

今後『日本刀鑑定要訣』の POD 制作が決まるようなことがあれば、ご案内差し上げますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

この度はありがとうございました。』

[1918 へのレス] Re: オンデマンド

投稿者：鬼丸 投稿日：2003/10/09(Thu) 21:28

私も、同じ返事を頂きました。

ホームページの案内には１冊からでも製作してくれる感じの
内容でしたが、データから原本をつくるなどの工程があると
思われ、なかなかすぐには製作出来ないような感じです。

やはり、『日本刀鑑定要訣』は高値の花なんでしょうか？

[1930] 蕎麦と日本刀

投稿者：内記 投稿日：2003/10/09(Thu) 20:57

坂城町鉄の展示館『武家の名刀』展、行ってきました。
素人の鑑刀感想ですが、感動を忘れないうちにご報告いたします。

平安後期から江戸後期までの名刀が、時代順に展示されており、照明がよく、特に刃の働きがはっきりわかるようになっていました。
重要美術品、特別重要刀剣、重要刀剣を静かにこころゆくまで 22 振りじっくり鑑賞できました。（貸切状態で、3 組ほど来館されましたが、5～10 分程で帰られました）

『重要美術品　太刀　国宗』　備前三郎の 2 尺 2 寸 3 分　徳川将軍家伝来品
乱れ映り鮮明に立ち、丁子乱れ華やかで特に腰元と物打ちの刃紋は圧巻でした。

『重要美術品　太刀　長光』　2 尺 2 寸 9 分　秀吉より拝領の竹中半兵衛所持品

直調互の目乱れ尖り刃交じり足長く入り、葉とび焼き盛ん。覇気があふれ以前拝見させて頂いた『長光』の静かな気品あるものとは、印象が異なり竹中半兵衛『佩刀』という事に思いを馳せました。

『重要刀剣　脇差　藤原清則　文安三年二月日』　1尺7寸も印象に残りました。小板目良く練れ、地沸微塵につき乱れ映り立つ。　応永以降の吉井でこのようによく沸づいたものは見たことがなかったので、吉井を再認識しました。いつか南北朝期の古吉井を拝見したいと思いました。

今回、平安期の古青江『則高』から新々刀の巨星『清麿』まで各時代の代表作を比較観覧することができたことを幸運に思いました。重要の古刀の素晴らしさを再認識しました。
だんだん拙い感想に恥ずかしくなってきました。もう書ききれないほど、すばらしい名品の数々であった事をご報告して終了したくお許し下さい。

＞こてつ様
上田のお蕎麦屋さん『刀屋』おいしかったです。以前からうわさを聞きつけていたのですが、探してまで行こうとは思っていませんでした。
こてつ様のお薦めでよい機会でした。上田は好きな町の1つなので行く回数が増えそうです。ありがとうございました。

地元の人に場所をお聞きしたらご親切に地図を書いて頂きました。（『刀屋』さんに行かれる方は、大通りではないので、事前に場所は確認された方がよいと思います。駐車場は3台位で、店の敷地内ではありません）
（注）『もり』の注文は、『中』が他店の大盛以上です。『大』は高さ4尺近くあると思われ、私は『中』で大満足でした。家内は『小』では、不満足のようでした(^_^;)

[1930へのレス] Re: 蕎麦と日本刀

投稿者：内記　投稿日：2003/10/09(Thu) 21:02

＞『大』は高さ4尺近くあると思われ
あるわけありません。4寸（12ｃｍ）でした。(^_^;)

[1930へのレス] Re: 蕎麦と日本刀

投稿者：こてつ。　投稿日：2003/10/10(Fri) 00:52

＞内記さん。詳細なレポート…勉強になります。
なかなか上手く表現出来ないんですよね。
「拙い感想」だなんてとんでもないです。

上田の「刀屋」さんは御先祖が金工職人だったみたいです。
噂に聞く「大盛り」は…スゴイらしいですね。

良いご旅行になったようで何よりです。
また信州にお寄り下さい。
松代の「真田記念館」も良いですよ。
ともあれ、お疲れ様でしたｏ(〃^▽^〃)ｏ

[1930へのレス] Re: 蕎麦と日本刀

投稿者：御刀天国 投稿日：2003/10/10(Fri) 01:29

重美の長光は、私も見たことがあります。生ぶ茎在銘なのに、すこし細身で、病身であった竹中半兵衛に相応しい太刀と思いました。これだけの名刀が揃っているのに、入館者が少ないようで残念ですね。
　信州の秋かぁ～。温泉かぁ～。名刀展かぁ～。私も日本に帰りたいよぉ～。(T_T)

[1930へのレス] Re: 蕎麦と日本刀

投稿者：菊久 投稿日：2003/10/10(Fri) 06:34

内記さんへ

良いご旅行だったようで、うらやましい限りです。
私も、内記さんのお勧めの「別所温泉」泊。刀剣鑑賞ツアーをプランしているのですが、なかなか仕事と刀友のスケジュールが合わず、行きそびれている次第です。
私のプランは、関西発→佐野美術館・三嶋大社→信州入りして別所温泉泊→坂城町鉄の展示館→帰途。という旅程で考えているのですが・・・これが、前記したようにスケジュールが合わず(-_-;)
もし、どうしても刀友と日程が合わなければ、「ひとり旅」をしようと思っています。
１１月１６日までには、なんとしても「行きたいィ～！」

[1930へのレス] Re: 蕎麦と日本刀

投稿者：刀士郎 投稿日：2003/10/10(Fri) 21:24

菊久さん
私も「行きたい～！」
関西発　佐野美術館の間にひっろてください。
でも、大刀剣市もあるし
休みがとれないかな。

[1930へのレス] Re: 蕎麦と日本刀

投稿者：内記 投稿日：2003/10/11(Sat) 15:15

＞こてつ。さま
やはりうまく表現できないですね。読み返すとおかしな表現が多々あります。皆様が行ってみようかなと思っていただければ、本望です。素人鑑刀記録ということで・・・。(#^.^#)
私も可能ならもう１度行きたいです。時代順に拝見したのですが、南北朝『志津』あたりで‘いっぱいいっぱい”でした。応永の『信国』からは、目が虚ろになり勿体ないことに『越前康継』『国広』『虎徹』『天然子寿昌』『清麿』についてはは忸怩たる思いです。今度は『江戸の名刀』と勝手に題してここからスタートしたいです。あと小道具もじっくりと。

＞御刀天国さま

竹中半兵衛が病身とは存じませんでした。事前知識があれば違った印象になったのかもしれません。右に『畠山一文字』左に『景光』の間にあって細身ながら私には力強く感じました。
米国にお住まいですといっそう郷愁を感じられることと存じます。日本を満喫して申し訳ありません。10月はよい季節です。是非里帰りを（●＾o＾●）

＞菊久さま
すみません。お先に行っちゃいました。お仕事なんとか段取りつけて、『刀剣鑑賞ツアー』実現してください。
ひとり旅ではなくなりそうだし(^_-)-☆
温泉と信州蕎麦が呼んでますよ～。

＞刀士郎さま
はじめまして。
菊久さん焚き付けて宜しくお願いします。長距離となりますので菊久さんが心配です。‘信濃路の旅は道連れ世は情け　ありがたきかな　刀の友は”なんちゃって　(^_^;)

[1930へのレス] Re: 蕎麦と日本刀

投稿者：こてつ。　投稿日：2003/10/12(Sun) 03:19

こんなん出ました…(//￣ー￣//)ゞ

“信濃路を　行く旅人の　仰ぎ見る
　　鉄（くろがね）の里に　紅葉散るらむ”

お恥ずかしい～っ。

[1930へのレス] Re: 蕎麦と日本刀

投稿者：御刀天国　投稿日：2003/10/12(Sun) 04:45

ムムッ！こてつさん風流でげすな。信濃路、温泉とくると、「浴衣の君は薄のかんざし」と唄った、吉田拓郎の「旅の宿」という歌を思い出します。　こんなんどうでしょう、“行く秋や女一人の露天風呂”　なんちゃって。私も「しょうしい」っす。
　　ところで内記さま、竹中半兵衛は、天正七年に三木城攻略中に戦地で病没したそうですが、まだ三十五歳の若さだったそうです。この太刀を選んだというところに秀吉の気配りのようなものを感じました。

[1927] 鯉口が・・・

投稿者：薩州住無学　投稿日：2003/10/08(Wed) 21:48

私の蔵刀の古い拵えの鯉口が痛んで引っ掛かりが悪くなりました。自分で補強する方法ご存知ないですか？へたになにか咬ませて割れでもしたらえらいことでやっぱり業者に修理させるべきか、どこの業者がしているのか費用が如何程掛かるかどなたかお教え願います。

[1927へのレス] Re: 鯉口が・・・

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/10/11(Sat) 06:55

居合刀のような模造刀なら、自分で薄い板を貼り付けて、なんてことをやってもいいのでしょうが、薩州住無学さんのご所蔵の拵えのような貴重な歴史的価値のあるものは、それこそ、一流の刀剣商さんにご相談されるのがよろしいのではないでしょうか。

電話でも親切に概要は教えてもらえると思います。

あと、個人的な想像では、『白鞘師』さんがよろしいのではいないでしょうか。

でも、刀剣商さんの方が、こういった職方さんとの日頃からの付き合いと、経験から、一般人が個人的に動くよりも、早く的確に済ませてくれそうです。

まずは、送料だけでも負担を覚悟して、まずは電話。それから、現物送付で『見積もり』とされてはいかがでしょうか？

[1927へのレス] Re: 鯉口が・・・

投稿者：隠居 投稿日：2003/10/12(Sun) 06:33

鯉口の手直し、薩州住無学さん、
鯉口がゆるむことはよくあることです。これは本拵の鞘でも白鞘でも往々にあります。これは自分で少し手直しすることで簡単に直ります。
ただし、居合などに使って納刀の際鯉口を切先で傷つけたものは無理です。それ以外の鯉口のゆるみは実際はそう減っているものではなく、ごくかすかな減りですから、まず「かすかな手直しだ」と心得てください。
材料は封筒などに使っている茶色のハトロン紙でこれを糊でとめます。糊は事務用の水性のものにかぎります。要するに「素人の手直しはいつでもその部分を取り除くことができる程度に限る」ことです。
鯉口の手直しは、刃側を下にした状態で底に当たる２ミリ巾ほどの部分に、２～３センチほど貼って、収まり具合をみます。もう一度いうと２ミリ巾×２センチのハトロン紙を薄糊で貼ります。こんな一寸したことで・・・と手品のように驚く人もいます。これでまだガタつくようなら、ハトロン紙をあと１～２枚重ねてください。ハトロン紙は鞘の底の巾に合わせて正確に切り、貼る作業はピンセットできっちりはめて下さい。
ハバキの平の面に紙を貼る人がありますが、この面が減ることはまずありませんし、この広い面を左右から直そうとしますと、刀の納まりが狂い、刀のためによくありません。
もし、底だけでまだガタつくようなら、棟の側に貼ることになりますが、これは余りない事例です。

[1927へのレス] Re: 鯉口が・・・

投稿者：薩州住無学 投稿日：2003/10/13(Mon) 14:26

真改２００３さま、隠居さまご意見有り難う御座います。拵えといいましても幕末ごろの拵えであ

まり高価なものでもないので隠居さまの方法を早速試させて頂きました。なるほど可也とまりが良くなり抜け落ちる事無くなりました。以前鯉口のゆるくなった白鞘入りの脇指を扱い悪く鞘から刀身が抜け落ち足に落としたことがありヒヤリとした経験もあって、今回のご教授は大変役立ちました。どうしても都合が悪いときは素直に刀剣店に相談致します。

[1927 へのレス] Re: 鯉口が・・・

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/10/13(Mon) 17:50

実は私も白鞘の状態ですが、柄の中もスカスカ、鞘の中もガタガタ、鯉口もスカスカ。滑り放題の状態のものを所蔵しております。

鞘走りを警戒しておりますが、怖いです～～。

[1927 へのレス] Re: 鯉口が・・・

投稿者：剣豪？さん 投稿日：2003/10/13(Mon) 18:42<HOME>

薩州住無学さま、ご隠居さま、はじめまして。
じつは私も、白鞘の鯉口が緩いのが気になっていまして、どうにかならないかと思っていました。
ご教授、ありがとうございます。

[1943] 元帥刀拵

投稿者：白龍斎 投稿日：2003/10/12(Sun) 11:45

五月の連休に室蘭市で堀井刀匠の元帥刀を観てきたものです。
今回は、皆様の情報をもとに会津へ行き元帥刀と拵えを観て来ました。
場所は、会津藩校「日新館」を復元したところにありました。
展示内容は、当地の出身で陸軍から元帥になった「畑俊六」の持ち物の一部としてありました。
私の感想としては、拵えは、平安時代の貴族が佩用した金で出来た太刀作りの様に思いました。柄は毛抜き太刀のような形で全体に菊紋が施されていました。
刀身には、ハバキの先(中子から切先に向かって)に菊紋が金で施されているのが印象的でした。許可を得て写真を数枚撮ったので画像をＵＰしたかったのですが上手くいきませんでした。会津へお越しの際には、一度見てみればエガッペ

[1943 へのレス] Re: 元帥刀拵

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/10/13(Mon) 17:47

レポートをありがとうございます。

画像を拝見したかったです！(~_~)。

軍刀は、美しいままの姿で残っているのをあまり見たことがありません。
まして、元帥刀ともなれば・・・。といっても、元帥刀自体がどんなものか、今回のレポートを拝見するまで想像もつきませんでした。

軍刀もその外装も、また一つの日本刀の姿であろうと思います。
健全な状態である軍刀の姿をみると、これを保存したいと思う気持ちに駆られます。

そういえば、ジャンルを問わず、ここ一年くらい、美術館や博物館に行ってないもんな～。

[1952] 即売会

投稿者：ikkak 投稿日：2003/10/13(Mon) 19:22

八重洲の即売会行ってきました。さすが老舗！古刀から現代刀まで品揃えに
隙はありません。

目に付いたのは同田貫の大身槍、２尺２寸は迫力ありました。
個人的に気に入ったのは豊後住藤原国行、出来に姿に自信満々という説明が
素直にうなずけます。

そうそう例の一平安代売れてました！あるところにはあるのねー

[1952 へのレス] Re: 即売会

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/10/13(Mon) 20:06

私も、同田貫の大身槍をここ１年で２本見ました！

一本は昨年の大刀剣市で『つるぎの屋』さんで。もう一点は葵美術さんでした。
二点とも、外装付きで豪壮でした！！

あと、成蹊堂さんでも、短いながら槍が出ていますし、刀も出ていますね。

ここ１年で、私が知る限りでも相当数の同田貫の刀や槍がたくさん出ております。

たった今、子連れ狼を見たばかりなので、余計にきになりますね～。(^^ゞ。

[1954] ゆうパックの規制緩和

投稿者：守重 投稿日：2003/10/13(Mon) 21:29

当方、郵便局の回し者ではありませんが、、、以前、刀剣の送付方法について議論があったと思います。10 月１日からゆうパックの規制が緩和されました。今までは最大の長さが 100 センチまでとなっていましたが、この規制が撤廃されて縦横高さの合計 170 センチまでとなりました。お陰でいままで脇差程度しか送れなかったゆうパックも刀が送れるようになりました。保険も書留めにすれば 500 万円まで可能なので、宅配便の 30 万円までと比しても助かります。宅配便では内容を刀と書くと拒否されたケースもありましたが、ゆうパックなら内容表示も堂々と「美術刀剣」と書けます。料金も当地から東京までクロネコ 1610 円に対してゆうパックはたったの 610 円、30 万円の保険つけても 1050 円、この差は大きいです。でも所要時間は宅配便にはかないません。
以前、日刀保に鑑定物件を酒屋でクロネコに頼んだことがありました。1 時間後にその酒屋の前を通ったら、

店のドアの前に置きっ放しにされていました。吃驚。それ以降は必ず支店や郵便局に直接持ち込むようにしています。

[1954 へのレス] Re: ゆうパックの規制緩和

投稿者：花散里 投稿日：2003/10/14(Tue) 00:14

おおっ！　便利になりましたね(^^)
保険と送料のこの差額は、大きいですね。
所要時間と言っても、おそらく１日くらいの差でしょうし。

[1954 へのレス] Re: ゆうパックの規制緩和

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/10/14(Tue) 20:19

取次店に渡すと、『店のドアの前に置きっ放しにされていました。』<これがあるから、いけませんね～。(ー_ー)!!

ゆうパックでの刀剣の配送については、かなり昔から刀剣商さんの間でも論議がされていたようで、私もその談義をした本を持っています。

特に私は佐川急便で痛い目を何度もしておりますし、支店にまで抗議をして無視されて、ホームページに書き込んで後にやっと『ましになった』という経緯を実体験しておりますので、こうした郵便局の規制緩和は大いに歓迎です！！

保険をかけることができるのも大きなメリットで、刀剣博物館でも審査返送に際して、大いに利用していただけると、愛好家は助かりますね。
あの美術品扱いの返送を体験した人は、ものすごい梱包の厳重さと料金の高さに閉口した経験をお持ちと思います。

所要時間も佐川急便と比較すれば、まったく同じくらいか、土日をはさむなら、むしろ、早いかもしれません。
特に私のような地方の者にとってはメリットは大です。
下請け配送業者に、ガレージの中に黙って置いて行かれる、なんてこともないですしね。

郵便局もこの緩和されたことは、もっと宣伝すべきです！
自宅まで取りに来てくれるし、言うことなし。（私にとっては、ですがね。）
!(^^)!。

[1954 へのレス] ゆうパックの規制緩和

投稿者：守重 投稿日：2003/10/14(Tue) 22:25

---郵便局もこの緩和されたことは、もっと宣伝すべきです！---
そうなんですよね、意外にもみんな知らないです。郵便局の宣伝不足でしょうが、真改さんや私のように田舎に住んでいる人間には郵便局は身近です。まして刀剣が堂々と保険付きで送れるのは助かります。刀剣商也刀剣博物館でも審査返送に際して是非採用して欲しいです。

不思議なことがあります。郵便局では国内では合計 170 センチまでのものしか送れませんが海外宛は 300 センチまでのものが送れるのです。摩訶不思議。

[1960] 場所

投稿者：丹下右膳 投稿日：2003/10/14(Tue) 14:16

閻魔大王もご推薦のつるぎの屋というのは、どちらにあるのでしようか？
検索をかけても出てきません。
よろしければ、場所、交通手段などを教えてください。

[1960 へのレス] Re: 場所

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/10/14(Tue) 19:47

私も、大刀剣市で拝見するだけです。
普段のご商売はどうされているのかは知りません。

ご存知の方がありましたら、よろしくお願い致します。m(__)m。

[1960 へのレス] Re: 場所

投稿者：代表監督 投稿日：2003/10/14(Tue) 23:17

つるぎの屋の冥加さんは店舗をお持ちではありません。
突然お邪魔しても対応できない場合が予想されますので、
まずは電話にて問い合わせるのが良いと思います。
ご自宅ですのでここに載せることにより、
何か差し障りがあるといけませんのでここには投稿しませんが、
私に直接メールをいただければお教えいたします。

[1960 へのレス] Re: 場所

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/10/14(Tue) 23:45

あいたたた！知りませんでした！
削除を希望します。御手数かけて申し訳ありません。
代表監督さま、ありがとうございました。
…お礼はまたいずれ…(;^_^A

[1960 へのレス] Re: 場所

投稿者：花散里 投稿日：2003/10/15(Wed) 00:19

＞こてつさん
ご要望により、削除させていただきました m(__)m

[1961] 現代刀匠小品展

投稿者：千手院義弘 投稿日：2003/10/14(Tue) 15:18

１１月１.２.３日の大刀剣市で同時併催される「現代刀匠小品展」のことなのですが。出品される小柄、小刀、刀子などは販売される様なのですが値段がどれぐらいなのか行ったことがないのでわかりません。あと和鉄で出来た工芸品などもあるそうですがどういったものがあるのか、値段がどれぐらいなのか、作者によっても違うでしょうが覚えている範囲で構わないのでどうぞ皆さん教えて下さい。

[1961 へのレス] Re: 現代刀匠小品展

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/10/14(Tue) 19:16

う～ん、買い物していないものでハッキリとは覚えていないんですが…。
目釘抜きとかは数千円位ではなかったでしょうか？
小刀とかは数万…。１０万までは行きませんです(;^_^A
文鎮（ペーパーウエイト）などもありました。
銘切りのサービスもあったように記憶してます。
…ん？これは有料だったかも…？
すみません、もっと詳しく覚えてらっしゃる方いらしたらお願いします。

[1961 へのレス] Re: 現代刀匠小品展

投稿者：千手院義弘 投稿日：2003/10/15(Wed) 22:12

こてつ様、十分参考になりました。
時間があれば寄って何か記念になる物を買ってみたいと思いまして皆さんに聞いてみました。
ありがとうございました。

[1955] ふざけるな

投稿者：閻魔大王 投稿日：2003/10/13(Mon) 21:31

じばしんの大阪刀剣市がこの連休に開かれた。
某刀剣商が平成 14 年日付けの甲種特別貴重の祐定を出品していたそうであるが世の中どうなっているのだ。
閻魔大王怒る。

[1955 へのレス] Re: ふざけるな

投稿者：花散里 投稿日：2003/10/13(Mon) 22:17

ぶはははははっ(^O^)／
その認定書、ぜひ拝見したいですね～(^^)
ある意味、出品した方も見事なものです(^_^;)　大きな大きな、墓穴を自ら掘ってしまった訳ですね。

[1955 へのレス] Re: ふざけるな

投稿者：菊久 投稿日：2003/10/14(Tue) 08:08

これが
正真！「ガタナヤ」ですネ。

私も後学のため、花散里さんと同じくその鑑定書を見てみたいものです。

[1955 へのレス] Re: ふざけるな

投稿者：菊久 投稿日：2003/10/14(Tue) 08:14

訂正「鑑定書→認定書」

[1955 へのレス] Re: ふざけるな

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/10/14(Tue) 19:52

どうやって作るのか、完成度はどの程度なのかっていうのも気になりますね。

[1955 へのレス] Re: ふざけるな

投稿者：備前介 投稿日：2003/10/14(Tue) 21:59

最近は保存認定書も偽造されているとか。
偽物も日々進歩してるということでしょうか（＾＾；

平成１４年の甲種特別貴重を作る人間もですが、大刀剣市という、大舞台で売っている人間の厚顔無知さにも、ちょっと呆れてしまいますね。

[1955 へのレス] Re: ふざけるな

投稿者：村正二代 投稿日：2003/10/15(Wed) 14:30

日刀保には確認は取っていないですけれど、甲種特別貴重等の証書が汚れたり、破損した時は新規に発行してくれると聞きました。
だから平成１４年の証書があっても、おかしくないと思いますが
どうでしょうか？

[1955 へのレス] Re: ふざけるな

投稿者：真改 2003 投稿日：2003/10/15(Wed) 17:04

日刀保に電話で確認しました。

結論から先に申し上げます。
過去の認定書であろうが、鑑定書であろうが、明らかに協会発行のものと確認できる状態であれば、過去の支部発行のものでろうが、交換のうえ再発行されるようです。
このあたりの条件は個々の証書の状態にもよるので、個々に協会にて判断されたうえの処置になる

ようです。

しかし、再発行された証書（認定書や鑑定書）の日付は、変わることがありません。
たとえば、昭和３８年発行とするならば、再発行された証書であっても昭和３８年の日付は変わらないようです。
その代わり、証書の裏に『平成１５年○月○日再交付』の印鑑が押されるということです。

よって、証書の表の日付が平成１４年の認定書があるはずはないのです。

極めて偽物証書の可能性が高いといえるのではないでしょうか。

[1955 へのレス] 質問です（＾＾；

投稿者：剣豪？さん 投稿日：2003/10/16(Thu) 03:17

皆様、最近こちらでお世話になっている剣豪？さんと申します。よろしくお願いします。
「日付が平成１４年の認定書」がありえないというのは、どのような事情なのでしょうか？

[1955 へのレス] Re: ふざけるな

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/10/16(Thu) 06:56

現在は、保存・特別保存鑑定・重要及び特別重要審査となっており、貴重・特別貴重・甲種特別貴重刀剣の認定書を発行しておりません。

この保存・特別鑑定の制度ができたのが何年であるか、はっきりとしたことは私も知りません。
何年何月からの審査が保存等の鑑定になったかは、日刀保に電話で聞けば、はっきりとした回答をいただけると思います。
また、刀剣商さんなら、このあたりのことはきっちりと押さえているはずですから、ご存知でしょう。
日刀保に電話をするのは・・・。とお思いの方は、刀剣商さんに聞かれるのもよろしいのではないでしょうか。

さて、少なくとも、昨年は保存特別保存の鑑定であったことは間違いのないことです。
(^^ゞ。

よりまして、私の No.1973 の投稿内容を読んでいただければ、証書の表に　　平成１４年日付のある『認定書』が存在するわけがない、といえるのです。

保存特別保存や過去の認定書に限らず、改竄されたものも出回っていると、日刀保でも刀剣美術誌上で注意を呼びかけたことがありますから、『これは？』と思ったものについては、日刀保に問い合わせることが最良と思います。

また、私の説明で足らないところや納得のいかないところは、日刀保に電話をすれば、懇切丁寧にお答えいただけます。
本当に、親切に分かりやすく教えてもらえますよ！実体験です。(~_~)。

[1955へのレス] Re: ふざけるな

投稿者：閻魔大王 投稿日：2003/10/16(Thu) 20:57

こら！！！！
真改氏は大王の偽物講座を読んでいないのか？
現在の保存に変わったのは昭和５７年と教授しているではないか・・・

[1955へのレス] Re: ふざけるな

投稿者：閻魔大王 投稿日：2003/10/16(Thu) 20:59

認定書・鑑定書・鞘書きについて
・認定書＝日刀保が昭和２３年より始めた。昭和２５年より特別貴重、
　昭和４８年よ り甲種特別貴重。
（一時、いいかげんな物やにせの認定書が出回った）
・鑑定書＝日刀保が昭和５７年に制度を変え、保存・特別保存の鑑定書とした。

[1955へのレス] Re: ふざけるな

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/10/16(Thu) 21:36

こら！！！！
真改氏は大王の偽物講座を読んでいないのか？
現在の保存に変わったのは昭和５７年と教授しているではないか・・・

＞　あっちゃ～～～。(>_<)。
これは失礼仕りました。m(__)m。

すぐ忘れてしまうので、何をやっても上達しないんです。
困ったもんでございます。^_^;。

昭和５７年でしたか！
もう２１年も経つんですね！！

[1955へのレス] Re: わかりました！

投稿者：剣豪？さん 投稿日：2003/10/16(Thu) 21:37

昭和５７年以降の「甲種特別貴重刀剣」はありえず、再発行には元の日付を使用するんですね
（＾＾；

大王様、真改２００３様、ありがとうございました。
刀剣の世界では、この辺の知識は重要ですね（汗
自分だけなら勉強だと思ってあきらめもつきますが、友人、知人を巻き込んだりしたら大変なことに。

[1955へのレス] Re: ふざけるな

投稿者：法城寺 投稿日：2003/10/22(Wed) 21:28

皆様
ロムばかりであまり書き込みもしていない法城寺です。大変ご無沙汰しております。剣豪さん、こちらにもお出ででしたか。

＞閻魔大王様
はじめまして、法城寺と申します。「世の中どうなってるのか」とのお言葉、まさにその通りのことを数ヶ月前に経験いたしました。知人が日本刀に興味を持っており口癖のように「欲しい」と言ってましたが、なにせまったく興味本位で勉強もしないので「きちんと勉強しなくては絶対に駄目」と言っておいたのにもかかわらず、よからぬ筋者の伝手で某刀剣商から知らない間に購入してしまいました。
見て欲しいと言うので気乗りしないながらも付き合いで見ましたらまず登録証がこんな状態でした。発行が文化財保護委員会なのに月日は昭和４０年代。しかも日付の部分は削ってあるのが透かすと一目瞭然。しかも４０年代の発行月日なのに４桁・・・。この番号がまた凄い。「１．　２．３０」（数字は仮定）と横に打ってあるんです。これって何かおわかりでしょうか？そうです、デート印で打ってるんですよ。だから数字の合間に「.」が入ってるんです。
これを曲がりなりにも店舗を構えた刀剣専門店が堂々と売ってたんですよ。
買った本人に、勉強させる意味で登録してある某県の教育委員会に自分で電話させました。その後どうなったかは書く必要もないと思います。
凄い世の中になりました・・・。

[1977] 無題

投稿者：丹下右膳 投稿日：2003/10/16(Thu) 14:31

五カ伝では、山城、大和、備前、相州は評価が高い。
ありていに言えば、良い値段がつく。
でも、古刀でも美濃はランクが落ち目なのが残念。
もちろん兼定、兼元、兼房などは、
人に見せても一応、「おぉ」という感じだけど、
関の千家鍛冶と言われたように、
名も無き「兼～」達は、
人に見せても「あぁ、美濃ですか・・・。」という感じ。
なんか、本当に残念です。

[1977へのレス] Re: 無題

投稿者：閻魔大王 投稿日：2003/10/16(Thu) 21:30

丹下右膳の言うと通り、美濃刀の評価は他の五カ伝に較べ低いと言えよう。
但し、大王は之定だけは特別に評価している。

岐阜県博物館へ美濃刀の展示会を見に行った時、数ある展示物の中で唯一地鉄の澄んだと言うか、
青いと言うか他の刀とは明らかに地鉄が違う短刀を見つけた。
ガラス越しにでもその違いがハッキリわかった。
二代兼定（之定）の来写しの短刀であったがこれには驚いた記憶がある。
それを思うと、相州伝なんかは派手なだけでつまらん刀が比較的多い。

[1977 へのレス] Re: 無題

投稿者：出戻り太郎 投稿日：2003/10/17(Fri) 03:48

こんばんは。出戻り太郎と申します。
「山城、大和、備前、相州」と、美濃物の兼某を同じに考えて
しまうから評価の差が大きいのでは？
　備前の場合は、応永から永享、寛正、応仁文明・・・と、美濃
の兼某と同じ、各時代に名工が出ていますが、他の国を考えてみると
それほど目立った刀工は出ていません。
山城は？来派やその他流派はほぼすたれ、信国や三条吉則系がいる程度。それらも
末になるにつれよいものは少ない。
大和も千手院、保昌、当麻はほぼ存在せず。則長などは末物で結構見かけますが、
良いなぁ～と思うものはごくまれです。　手掻の場合は末に相当数ありますがやはり、
応永前後から一気に技量がおちています。
相州にしても同じで、末の物はやはり南北朝期の物とは比べるものではありません。
　美濃鍛冶の一番活躍した室町中期から末期を他流派の同時代と比較すれば、決して
劣ってはいません。
それにもう一時代上げて志津や直江、為継等、美濃鍛冶の祖達は、ものすごい名刀を沢山
残しております。（兼某鍛冶がお好きな方は志津や為継等はあまりお好みではないかも。
因みに私は大好きです）
　世間で動いている刀の中の美濃兼某刀の多くは数打です。出来のすばらしい美濃物は
なかなか動かないようです。美濃物ファンは皆さんが思っているよりもおそらく多いと思いますよ。
　二代兼元は名声の通り、地金がすばらしく、刃文も品の良い刀を沢山残していますし、
兼定も閻魔大王さんのおっしゃる通り、来写しを得意としています。
同時代に沢山の名工がいる備前を見てみて、「末備前で鎌倉期の名刀と見まがうものを
残している鍛冶は・・・？」と考えても全く思い当りません。（末備前鍛冶は純然たる
写し物はこの好まなかったのかな？）
それから善定兼吉なども大変すばらしい直刃刀を造っています。他の兼某鍛冶にもすばらしい
作品は多く存在します☆

[1977 へのレス] Re: 無題

投稿者：隠居 投稿日：2003/10/17(Fri) 07:57

私も大の美濃刀ファン、理由は、出すお金のわりに素晴らしい刀があるからです。年紀入りの兼伴、

兼辻をもっています。兼伴は地鉄詰まって美麗直刃に帽子が小丸に返り、見た人は大和物にみます。兼辻は地景のある美しい地金な焼出しがあって互の目足入り、これは大阪新刀の助廣若打ちと見る人が多いです。
出戻り太郎さん、美濃刀では完全に意見一致ですね。

[1977 へのレス] Re: 隠居さま

投稿者：出戻り太郎 投稿日：2003/10/17(Fri) 14:40

恐縮でございます。また色々なお話をお聞かせくださいませ。

[1977 へのレス] Re: 無題

投稿者：薩州住無学 投稿日：2003/10/18(Sat) 10:46

美濃刀を良いと思われている方が多いので少し驚きました。書籍では殆どが美濃刀を作位が低いとあまり取り上げていなくてさらっと解説も流してあるのが多く残念に思っておりました。そのおかげか？一流刀工を除いては価格が安いので私のようなサラリーマン愛刀家には一番身近で手にしやすいのが美濃刀です。一流刀工でなくとも出来の良い作を求めやすい価格で見つけるチャンスが一番多いのではと思います。いま手元に美濃刀はありませんが、いつか健全で健やかな美濃刀を手にしたいと考えております。どなたかお勧めの美濃刀工はありませんか？購入の参考にしたいです。

[1977 へのレス] Re: 美濃物の奨め

投稿者：隠居 投稿日：2003/10/20(Mon) 09:01

薩州住無学さん
美濃刀が何故良いか、については「日本刀・その本質美」山田　英著　「日本刀の禅的鑑賞」同、がもっとも明確に示しています。ここで代弁しますと、第一に映りが出て地景が入る刀剣として最高の鉄質です。刀匠の教養人格にも著者は触れています。
切れ味がよく、手持ちのいい、武家好みの刀であることも美濃刀の美点です。
さて、お勧めのものですが、銘にこだわる必要はありません。
①健全であること、特に切先と刃区に注意すること。
②白け映りであっても映りのあるものを嫌わないこと、又、映りがなくても地鉄が細かく詰んでいるものなら、入念作であること。
③茎を上身同等に注意すること、肉置きがよく丁寧に伝えられたものは茎が明白に物語っています。
④銘は丁寧に、細くても深く刻された銘が入念作です。

[1993] 名品刀絵図聚成

投稿者：越中国住人 投稿日：2003/10/18(Sat) 23:08

ヤフーオークションにて６６,０００円で手に入れました。念願の本だったので感激です。しかも未開封の新品です。
押型の方も某県立の美術館で来年開催される展覧会の図録用の押し型を描いて欲しいとの依頼があり、これから条件などの交渉に入る予定です。私としては、自分自身の勉強のためにも出来る限りやらせてもらうつ

もりです。
自分の描いた押型が、美術館の図録になるとは、夢のような話で嬉しいです。

[1993 へのレス] Re: 名品刀絵図聚成

投稿者：隠居 投稿日：2003/10/19(Sun) 06:27

越中の国住人さん、田野邊先生の名品図絵は押形中の名品と思います。お弟子さんのあなたもいい機会を得られましたね。どうか丁寧にやってください。今、手間を惜しまず正確な押形を描こうという人がプロの中にもいなくなりました。私が知っているかぎりでは犬塚先生のながれで数名いる位ですね。
磁石のよいのはお持ちですか。もしなければご都合します。

[1993 へのレス] Re: 名品刀絵図聚成

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/10/19(Sun) 08:12

直弟子の越中国住人さんでも、名品刀絵図聚成をお持ちじゃなかったんですか！！
う～～ん。これは相当に入手が困難なようですね。

でも、探し求めていたものが見つかり、手元に来た時の感激はなんとも言えませんね。

しかも、古書市場の半値でお求められて・・・。(^o^)丿。
日本刀鑑定要訣といい、今回といい、越中国住人さんは、古書でも達人ですね！

[1993 へのレス] Re: 名品刀絵図聚成

投稿者：ikkak 投稿日：2003/10/19(Sun) 20:39

磁石とありますが押形をとるのに磁石を使うのでしょうか？
刀身が磁性をもちませんか？

[1993 へのレス] Re: 名品刀絵図聚成

投稿者：越中国住人 投稿日：2003/10/19(Sun) 21:42

磁石は、押型をとる初めの行程で、用紙を刀身の上に乗せて固定して外形を写し取る作業の時に使うのです。
ただ私達（日刀保のやり方）では、ネルを刀の枕のような形に縫い、その中に散弾銃の細かい号数の弾を入れたものを使います。大きさも何種類か用意し、鉛弾の量も多めや少な目の物を数種類用意して、状況に応じて使い分けています。
磁石を使うやり方も原理的には、同じだと思います。ただし、刀身が磁性持つのかどうかは、使った事が無いので分かりません。

[1993 へのレス] Re: 磁石

投稿者：隠居 投稿日：2003/10/20(Mon) 05:52

越中国住人さん、そうですか。私たちは刀枕を使わず、刀身をネルで包み、電話帳のような厚い本

に挟んで固定し、紙の固定のため磁石を使います。磁石は全身の外形はむろんのこと、茎の押形とりの固定に最後まで使用します。磁石は、セラミック質のフェライト磁石がいいようです。刀身の磁化は一時的にごく微量ありますが、問題はありません。
刀枕に鉛弾、いいアイデアですね。

[1993 へのレス] Re: 名品刀絵図聚成

投稿者：ikkak 投稿日：2003/10/21(Tue) 05:55

鉛弾入りの枕とは秀逸ですね！
銃を射撃時に安定させるための台にも
似たものを見たことがあります。

[1995] 長州屋展示即売会情報

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/10/19(Sun) 08:08

大刀剣市や日刀保の全国大会とあわせて、大きな刀剣商さんの展示即売会も開催されますね！

そのうちの一つに、銀座長州屋さんの展示即売会があります。
何気なくホームページを見ていたら、なんと！入場は無料ですが、招待状のない人は入場ができないとあります。(>_<)。

これは大変です。
でも大丈夫ですよ。
長州屋さんのホームページから、展示会の詳細のページに入っていけば、メール添付にて、招待状を希望できるコーナーが設けられています。

銀座情報を購読している読者は、すでに招待状をもらっていると思いますが、当日、展示会に行かれる方は、くれぐれも招待状をお忘れなきよう。

え～～～！！そんな～～。なんてことにならないように。m(__)m。

[1995 へのレス] Re: 長州屋展示即売会情報

投稿者：ikkak 投稿日：2003/10/19(Sun) 20:40

気が付きませんでした....
カレンダーの引換券かと思ってました。

[2001] 渋谷にて

投稿者：ikkak 投稿日：2003/10/19(Sun) 21:29

今日東急ハンズで「歌舞伎者」を見ました...
どこで探してきたんだ？というような派手な和服と羽織
髪型は X-JAPAN(ちょっと古いか)でした。

[1983] ＯＦＦ会開催のご案内

投稿者：花散里 投稿日：2003/10/17(Fri) 00:50

いよいよ、大刀剣市まで後半月。
もちろん大刀剣市も楽しみですが、それにも増して楽しみなのは、皆様とのＯＦＦ会です。
ここ数年の吉例となっており、昨年も多数ご参加いただきましたので、今年も開催したいと思います。

日時：１１月１日（土）　１９：００頃から２時間程度（１次会）
場所：東京駅近辺（銀座周辺含む）または、新宿駅近辺
（東京駅～新宿駅は、中央線で１５分ほどです）
会費：５，０００円程度／人

参加を希望される方は希望する場所を明記して、この記事にご返信ください。場所は、多数決で決めさせていただきます m(__)m
大変残念ながら、今年は真改 2003 さんと菊久さんのご都合が悪いようですが、お二人の分まで目一杯楽しみましょう。
奮ってご参加ください m(__)m

[1983 へのレス] Re: ＯＦＦ会開催のご案内

投稿者：菊久 投稿日：2003/10/17(Fri) 06:39

１１月１日と２日は、どう悪あがきしても動かせない仕事が入っているため、上京出来ません。
３日だけなら、早朝の新幹線か飛行機に乗れば行けないことはないのですが、とんぼ返りの上京は辛いところがあります。
今回も、皆様方とお会いし、ワイワイガヤガヤ楽しくしたかったのですが、残念です。
皆様、存分に楽しんで来てください。後ほどのレポートを楽しみにしています。

あと一週間、「大刀剣市」開催がずれてくれていればなぁ～。

[1983 へのレス] Re: ＯＦＦ会開催のご案内

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/10/17(Fri) 12:58

ＯＦＦ会、今年も参加させていただきます。
場所はホテルを西新宿に取ってしまったため、出来れば新宿を希望します。
真改さん、菊久さんの分も飲んで食って歌って（？）きます♪
みなさん宜しくお願いします～。

[1983 へのレス] Re: ＯＦＦ会開催のご案内

投稿者：鬼丸 投稿日：2003/10/17(Fri) 21:51

早いもので、昨年の大刀剣市から一年経つのですね。
オフ会、今年も笹丸と共に参加させて頂きたいと思います。

昨年、お会いできた方たちとの再会を楽しみにしておりますが
真改代表や菊久さんが参加できないのは残念です。
お二人の分まで名刀を瞼に焼き付けてきます。
宿泊場所は、新橋駅近くに予定しておりますので銀座あたりを
希望します。
こてつさん　ごめんなさいね。

[1983 へのレス] Re: ＯＦＦ会開催のご案内

投稿者：swordsmith 投稿日：2003/10/17(Fri) 23:53

私は初日に懇親会があるため出席出来るかどうか分かりませんが、
なるべく途中からでも合流したいと思っております。
場所はやはり自宅近くなので新宿に一票です。(^0^)/

[1983 へのレス] Re: ＯＦＦ会開催のご案内

投稿者：鬼丸 投稿日：2003/10/18(Sat) 19:21

宿泊の関係で新宿に変更します。
よろしくお願いします。

[1983 へのレス] Re: ＯＦＦ会開催のご案内

投稿者：刀士郎 投稿日：2003/10/19(Sun) 13:17

みなさん　こんにちは
私も加えてください。
昨年の大刀剣市からはや一年。
ほとんどの方とは一年ぶり
とても楽しみです。
場所については昨年同様
銀座周辺を希望します。

[1983 へのレス] Re: ＯＦＦ会開催のご案内

投稿者：内記 投稿日：2003/10/19(Sun) 21:12

お仲間に加えてくだ～い。

初めての参加となります。花散里さん宜しくお引き回しください。
場所はどこへでも飛んで行きます。
みなさま、よろしくお願いします。

[1983へのレス] Re: ＯＦＦ会開催のご案内

投稿者：花散里 投稿日：2003/10/20(Mon) 08:08

内記さん、ご参加ありがとうございます。
皆さん、気持ちの良い方ばかりですので、楽しいＯＦＦ会になること間違い無しです(^^)

今、久さんと私を加えて、８名ですね。
まだ充分間に合いますので、どんどんご参加ください m(__)m

[1983へのレス] Re: ＯＦＦ会開催のご案内

投稿者：純井 投稿日：2003/10/28(Tue) 22:47

御久しぶりで御座います、純井です。
私も参加させていただきたく思います。
皆々様に一年ぶりにお会いするのを楽しみにしております。

[2007] 大刀剣市。

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/10/22(Wed) 13:05

先日カタログが届きました。
…分厚いです。参加業者さんが随分増えましたね。
これから色々物色です。…買えないけど(ノ＿・、)

[2007へのレス] Re: 大刀剣市。

投稿者：真改2003 投稿日：2003/10/22(Wed) 16:41

私の所にも、昨日、大刀剣市のカタログが成蹊堂さんから送られてきました。
成蹊堂さん。ありがとうございました。

内容も豊富で、素晴らしい刀剣の数々が並んでおり、圧倒されます！

まだ見ていない人に気の毒なので、内容は秘密にしておきましょう。

[2007へのレス] Re: 大刀剣市。

投稿者：numarokuya 投稿日：2003/10/22(Wed) 19:01

成蹊堂さんより私の所にも先日、無事にカタログが届きました。
何時もながらの丁寧なお取り計らい感謝致します。
この場をお借りしてお礼申し上げます、有難うございました。m(__)m

毎年カタログだけを観て終わってしまっていたのが残念でしたが、
今年は伺って名刀、優品を拝見するつもりでおります。
当日は成蹊堂さんをはじめご常連の皆さんにお会い出来るのを楽しみ
にしております。

[2011] 刀身彫刻師の橋本琇巴氏の作品展

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/10/22(Wed) 21:31

剣豪さん。
図録が届きましたよ！!(^^)!。

完璧な梱包で、さっそくに現代刀を愛好する友人にも届けて参りました。
ありがとうございます。m(__)m。

橋本様には、別にお礼の葉書を出そうと思っております。

しかし、図録の出来がいいですね～。
剣豪さんの漫画も分かりやすくて、刀身彫刻の奥深さがよく理解できました。

また、作品の好みでいえば、逆丁子刃文と火炎不動の彫刻が見事にマッチした短刀！！見事としか素人の私には表現できません。(#_#)。

あとですね～。玉追い昇竜。火炎昇竜。の迫力とエネルギーを感じさせる描写に惚れました。

表情においては、『先の見えない時代の不動明王』。考えさせられます。

橋本琇巴氏とは、素晴らしい刀身の彫刻の技をお持ちなんですね！！
これから刀剣を拝見する際には、刀身彫刻にもっと注目して拝見することにします。

最後に橋本琇巴氏の『琇巴』とは、なんとお読みするのでしょうか？

今回、このような素晴らしい図録をご紹介下さり、まことにありがとうございました。m(__)m。

また今後とも、刀剣に関すること、その他どのようなことでも投稿下さいますよう、お願い申し上げます。

[2011 へのレス] Re: 届きましたか♪

投稿者：剣豪？さん 投稿日：2003/10/23(Thu) 00:51<HOME>

いやー、ほっとしました（ˆ ˆ ；
お買い上げ、ありがとうございます。作品はともかく、出版に関しては素人なもので、多少の誤植（はばきの字など）もありますが、どうぞ大目にみてやってください。また、私も制作過程の図解を描きましたが、橋本氏の「子供や刀に興味の無い人でも彫金に親しみが持てるように」という意図により、あのようなものとなりました（ˆ ˆ ；　刀剣関係の図録とは思えませんね。最初は、本当にこれで良いのだろうか、と私のほうが心配してしまいました。
図録の写真は殆どが橋本氏自身による撮影です。カメラマンに依頼したものは地鉄や刃文は良く見えるのですが、どうしても彫刻が死んでしまうので、これも苦労したところです。

『琇巴』は「しゅうは」と読みます。
以前、愛刀のハバキを作ってほしいと頼んだのですが、なかなか、引き受けてくれません（ˆ ˆ ；？

道具を貸してやるから自分で作れとか言われちゃいます。
私も、こちらのサイトで色々勉強させていただこうと思っております。
これからもよろしくお願いします。

[2013] 同田貫について

投稿者：薩州住無学 投稿日：2003/10/23(Thu) 00:09

毎週「子連れ狼」が楽しみで観ているのですが、拝一刀の愛刀「同田貫」はなぜ人気があるのでしょうか？史上有名人で同田貫を愛用していたといえば榊原鍵吉ぐらいしか思いあたりませんが、この人が超人気者というわけでもなく「子連れ狼」連載開始以前から人気がある。単に業物というだけなら他にも大勢いる。ましてや刀剣書では「武骨で作位は下がる」とある。なのに人気は高い。何故…。どなたか教えてください！。
Ｐ・Ｓ私個人では武骨な作は大好きです。

[2013へのレス] Re: 同田貫について

投稿者：内記 投稿日：2003/10/23(Thu) 02:20

薩州住さま　こんばんは。
４０年程前（Ｓ38年)、私が小学生だった頃、テレビも映画も時代劇（チャンバラ？）が多かったように思います。
「三匹の侍」丹波敏郎さん扮する素浪人の腰のものは、同田貫でしたよ。
めっぽう強くて、やたらと切れ味を強調していた印象があり、父親に刀の名前を聞き『同田貫』という響きが印象的でした。当時から実戦刀、重ね厚く頑丈と言われていたと記憶しています。
　思い違いかも知れませんが、同じ頃、近衛重四郎さん（松方弘樹氏の父上）の「素浪人月影兵庫」や「素浪人花山大吉」もＴＶ放映していたのですが、これも『同田貫』だったような・・・？
私は、焼津の半次役の品川隆二さんの「焼津の半次は、一本どっこの旅ガラスよ。このドスにかけても勝手なまねはさせねえ。」のキャラクターが大好きでしたが。　エツ　知らない？って　^^;　汗。
その後、Ｓ48年の萬屋錦之介さんの拝一刀より少し前に「荒野の素浪人」で三船敏郎さん扮する「峠九十郎」（峠の旦那）の刀も『同田貫』でした。
小池一夫原作、小島剛夕劇画の初版を存じ上げないもので、不確かな情報ですが、私は、拝一刀の『同田貫』よりも、めっぽう強い素浪人が持っている刀が『同田貫』とのイメージなのです。

さて、ちゃんばらの中の『同田貫』は、こんな感じで人気があるやに思うのですが、「刀剣」としての『同田貫』をどなたか私にも教えて下さい！

[2013へのレス] Re: 丹波さんごめんなさい

投稿者：内記 投稿日：2003/10/23(Thu) 02:32

＞「三匹の侍」丹波敏郎さん
丹波哲郎さんです。三船さんと混じっちゃいました。(-_-;)
丹波さま　ご無礼仕りました。『同田貫』の威力は、ガキの頃より存じております。(ーー;)

[2013へのレス] Re: 同田貫について

投稿者：菊久 投稿日：2003/10/23(Thu) 07:16

月影兵庫に花山大吉ですか・・・、懐かしいなぁ～。
月影か花山か、どちらの役柄か忘れましたが、たしか猫が大嫌いで、好物はおから。
焼津のは、曲がったことと、蜘蛛が大嫌いだったと記憶してます。
単純明快な時代劇で、毎週楽しみにしてました。
おっと、薩州住無学さんのご質問とはずれてしまいました「ごめんなさい」。
あまりに、懐かしかったもので・・・m(_ _)m
『同田貫』については、小学校４年か５年の時初めて手に持ったのを覚えたます。そのときの印象は、やたら重くて、ほかの刀より確かに武骨に感じました。
しかし、なぜ人気がといわれると、私には答えが出せません。でも、九州肥後同田貫上野介・・・、一口欲しいです。

[2013へのレス] Re: 同田貫について

投稿者：剣豪？さん 投稿日：2003/10/23(Thu) 10:34<HOME>

私も時代劇は大好きです。おからが好きなのは花山大吉ですね（＾＾；
あと、近衛十四郎といえば素浪人天下太平も面白かったですね。
『同田貫』を使う主人公といえば、萬屋錦之介の破れ傘刀舟もですね。

私の父が熊本出身でして、去年、県内の同田貫の跡を訪ねたことがあります。
地元に住む御子孫の方に色々とお世話になりました。

[2013へのレス] Re: 同田貫について

投稿者：隠居 投稿日：2003/10/23(Thu) 11:33

花山大吉の月影や三船敏郎の素浪人ものシリース、私も一生懸命見ていました。大変なつかしいです。三船が懐から手を出して無精ひげの生えた頬をなぜるしぐさ、しかし殺陣になると打って変わって鮮やかな一閃、たしかビシャッという人を斬ったときの擬音を入れたのがこの頃でしたね。

刀の方の“同田貫”居合の道場をやっている知人が三人の孫に同田貫を形見分けするというので協力したことがあります。もちろん平成になってからの話です。私もその候補の刀をあれこれ探しました。
結果、合格点を出せる良いものがわずかに１口で、それも出来のわりに高価だったため、分配が不公平になってはと購入をあきらめたようです。
当時私自身も数軒の刀剣商に依頼し、在銘正真の同田貫を二三年の間に数口見ることになりましたが、,一振りを除いて全部に“鍛え”（鍛えキズ）がありました。同田貫のことですから、少々の匂い切れは目をつむるとしても表の平地に出ているキズはなんとも目立ちますから。
作柄としては、２尺３寸余、身幅頃合で重ね厚く先にいって細らず、切先伸び心の頑健な姿。刃文は匂い出来の互の目がクチャクチャと複雑に入れこみ海部刀などにも共通する脇物らしい感じのも

のがでした。刃は沈んでいて物斬れするような刀でしたが、刀剣鑑定などを勉強しようという趣味者にはちよっとどうでしょうか？

[2013へのレス] Re: 同田貫について

投稿者：法城寺 投稿日：2003/10/23(Thu) 16:12

横レスです。
隠居さまご無沙汰しております。

近衛十四郎さんの素浪人シリーズは大好物です。この人の月影兵庫と花山大吉はほとんど続編的扱いのものでして、おからが大好きで居酒屋に入ると酒とおからを注文します。で、おからがないと無茶苦茶怒り出して「なんだこの店は、おからもないのか！」です。普通なら「なんだこの店は、おからしかないのか！」ですよね（笑）。で、猫をみると身体が痒くなるみたいでとにかく嫌い。いっしょに旅する股旅の「焼津の半次（品川隆二さん、ボンカレーの初期ＣＭに出てました）」とは喧嘩しながらも実によいコンビネーション。蜘蛛が死ぬほど嫌いなのはこちらです♪

ところで、私も鍛え傷や疲れのほとんどない同田貫を三年ほど前に一振りだけ見ることが出来ました。（過去数振りしか鑑賞できなかった中でこの一振りだけ）

[2013へのレス] Re: 同田貫について

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/10/23(Thu) 19:44

同田貫といえば、以前に『子連れ狼』の劇画が完全復刻されたという投稿があった時に、その中に出てくる同田貫の茎の画は『清水甚之進信高　胴太貫』とあり、戦場の太刀といわれる『胴太貫』いわゆる古刀の『同田貫』とは別物と考えて投稿したことがあります。

同田貫は九州肥後同田貫上野介のような刀を指し、子連れ狼の胴太貫に限っては、金象嵌あるいは切り付け銘の胴太貫ではなかろうかと思います。

しかし、刀剣で同田貫の人気が高いのは周知の通りですが、なぜかという事になれば、刀剣鑑賞を趣味とする者の間での人気と、劇画やその他の印象から来る胴太貫の人気という二つの意味合いがあると思います。
ちょうどそれは、妖刀村正という印象から来る村正が好きな人と、重要刀剣にもなるくらいに出来が優れている刀もあるように、刀剣美術としての村正が好きな人があるということに、よく似ているような印象を受けます。

[2013へのレス] Re: 同田貫について

投稿者：薩州住無学 投稿日：2003/10/23(Thu) 21:40

「同田貫」時代劇や時代小説で業物、主人公の差料として描かれることが多いから人気があるみたいですね。たしかにイメージでよく切れる、兜も叩き斬れる、戦国の実戦刀・・・。腕の立つ素浪人の腰物の感があります。まだ実物を観たことが無いのです。薩州のお隣の国の産なのにチャンスがありません。熊本に行ったら見れるかな？

[2013へのレス] Re: 熊本にございますよ

投稿者：剣豪？さん 投稿日：2003/10/24(Fri) 00:13<HOME>

熊本県玉名市は郷土刀としての同田貫を市立歴史博物館に常時展示していました。
その他、九州の現代工や古墳から出土した剣のレプリカなど、けっこう楽しめました。

[2013へのレス] Re: 同田貫について

投稿者：隠居 投稿日：2003/10/24(Fri) 06:26

同田貫の人気が出たのはどうも榊原健吉の兜割り以来のようですね。というのは山田朝右衛門の業物のランク付にも最低ランクに置かれているからです。
近年の人気は熊本師団で同田貫の軍刀が砲車に轢かれてしまったが曲がりもしなかったとか、白兵戦で武勲を立てたとか、熊本師団の活躍が大いに一役買っています。
昭和１３年千徳デパートで同田貫展があり、これには古刀から幕末、現代刀までかなり珍しいものまで展示しています。この内容は「刀剣工芸」大村邦太郎に昭和１２年１１月から１年にわたり連載され、福永酔剣氏が解説しています。
剣豪さん、熊本にはいい同田貫があるのでしょうね。
法城寺さん、お久しぶり、お元気ですか。

[2013へのレス] Re: 同田貫について

投稿者：剣豪？さん 投稿日：2003/10/24(Fri) 10:39

ご隠居さま、よろしくおねがいします。
せっかく見学に行ったものの、去年の私の目では作柄をうまくつかめず、人に説明できないのが残念です。
よく言われる「物凄い」イメージはありませんでした。堀川国広とか、金道のほうがゴツい感じがします。

法城寺さん、こちらでもよろしくお願いします（＾＾；

[2013へのレス] Re: 同田貫について

投稿者：隠居 投稿日：2003/10/24(Fri) 19:19

昭和１３年熊本の千徳百貨店で催されたのは「肥後名刀展」でした。
同田貫なら幕末の名工、肥後玉名住同田貫小山延寿太郎宗広（初銘直景のち宗広）も今ならお値打ちかも知れません。この宗広は中々人気があって熊本第６師団の将校が数々の武勲を残しています。
備前伝を得意とし匂出来の互の目丁子を見事に焼きます。通信販売にもちょくちょく出ています。

[2031] 日記

投稿者：法城寺 投稿日：2003/10/24(Fri) 19:47

＞ご隠居さま
ほんとうにご無沙汰です、ご隠居様はその後お加減はいかがでしょうか。あまりメールを差し上げてもいかがなものかと案じておりましたが。
私の方はいたってマイペースでやっております。相変わらず拙い鑑賞記録を残しております。最近はこのような具合ですが、いかがなものでしょうか？

（某サイトの私の日記より）
　今日はまさに「うなった」鑑賞となった。
定例の秋の刀剣柴田さんの展示即売会でのことだ。今回は前触れも相当あり、私の好きな刀工の展示もあって期待して行ったのである。その刀工とは薩摩新刀の雄「一平安代」である。さすがにがっちりとした体配に湾れに沸え筋が働き、地沸えが一面につき鍛えの良さ、薩摩刀の中では程よく落ち着いた出来口といい申し分なかった。さすが重要刀剣にふさわしく、かつ○、○○○万円の高額にもかかわらず売約済みというのもうなづける（驚愕？）！・・・（まあ、見れて良かった！）
ところが今回もっと印象深い一刀に出会えた、これだから展示会には足を運んでみるものである。「備州次貞」である。
日本刀名鑑によると、「備州次貞」は備後の刀工。備後といえば三原が有名であるが、その分流あるいは影響を受けたであろうといわれる一乗・鞆・辰房・五阿弥などが南北朝後半から室町時代全般に栄えている。そのうちの五阿弥派の刀工である。辰房と並んで現存品の極端に少ない、ましてや在銘ということを考慮するとまさに珍品中の珍品！

刃長：二尺一寸三分（少区送り）
反り：八分
元幅：八分七厘、先幅：五分強（私の見立てはそれぞれ九分と六分弱だから、まあ、いい線でしょ？）
重ね：二分四厘

やや腰より先に反りの中心があり、物打ちに行っても反りがある。切っ先は小さめで総体細身。本来貞和ころの刀工とされているので「南北朝体配」となるべきところだが、これは完全に優しく時代が異なる。銘鑑を良く見ると「応永のころの作あり」と記載されており、代があるように思われる。柴田さんも「応永のころ」と時代付けているので、あるいは代が替わるか、それとも長命の刀工だったのか？
地鉄は小板目、それも非常に良く鍛えられて詰んでいる。同時代の備前の応永杢とは違い、どちらかというと山城伝系とも、板目が流れ気味でもあるところから大和伝系ともどちらにもみえる。重ねが厚いところは大和伝系であり、三原正系との関連をうなづけるものでもある。刃文はこずみ気味の互の目、区上はややおとなしい気味だが物打ちに行くにつれところどころ出入りがあり変化がある。例によって例の如く、柴田の店員さんが「これって鑑定でたらどう鑑ます？」と試しにかかる。「次貞」と知っているしそれを向こうも承知の上で聞いてくるわけで、要は「これは通常次貞というめったにない刀工には入れられるものではないから、普通に入れたらどう思いますか」と言ってるのである。杢目がさほど目立たずに小板目状に詰んでいるわけで、明瞭な映りも見出せない。とは言いながら体配は応永時代を外せない。刃文もこずみ気味。ところどころ流れ柾も見られるから、納得のいかない点も多少あるがやはりこの時代だと備前を押さえるのは常套手段である。従い「応永から永享あたりの小反り」という答えにしておいた。店員さんも「それでいいと思いますよ」と笑って答えてくれた。（帰宅して調べたら麗平成 15 年 8 月号所載品で、所感にも小反り風と書いてありました。この所感は見逃していたが、実際に見てそう感じたのはあながち間違いではなかったわけ

だ！）
こうした、銘鑑にこそ載っているがまだまだ知られていない刀工が山陽道にはこの時代にはごろごろいて、レベルの底上げになっていたのであろう。
地鉄・刃文に加え素晴らしい太刀姿に実に魅入られてしまった。

こんな感じです。お恥ずかしい限りの日記です（恥）・・・。

[2031へのレス] Re: 日記

投稿者：隠居 投稿日：2003/10/25(Sat) 05:03

法城寺さん、応永頃の三原物ですか。
古三原と称するものは無銘物極めの「逃げ場」の一つで、少々眉唾と心得よと云われていますが、室町期の三原になりますと結構多いです。
備前の影響を受けつつ、父祖伝来の手法を残していますから、三原物の手癖というのがあるものなんでしょうね。
中反りで鎬地がやや広い、柾がかる、直刃が多い、帽子の返りが長く虎の尾風・・・
柴田の店員さんは他と違って鑑定会に引っ張り出されていますから、よく勉強しているでしょう。
社長が熱心ですからね。

[2031へのレス] Re: 日記

投稿者：法城寺 投稿日：2003/10/25(Sat) 16:31

応永以降の三原物は、時代の流行の模倣、とりわけ備前伝そのまんまのような作もありますね。以前長州屋さんで鑑賞した「重明」という片手打ちサイズの刀も、中心隠せば末備前清光の上作。
要は「手が決まってない」ということなんでしょうが、その「器用貧乏」みたいなところが島田物みたいでなんとなく好感を持っている次第です。（当然要注意であることも充分承知の介です）
まあ、上々作は銘を消されてなにかに化けたんでしょうが、この次貞のように出来が良い割りに化けずにすんだものもありまして、逆に在銘生ぶに近い状態のものは最近刀剣店でも見かけなくなりました。

柴田さんの店員さんはほんとに質が高いと思います。私は今思えばここで勉強させてもらったようなものです。
昨年ここで「島田義助」の皆焼の短刀を世話になりましたが、ほんとうに気に入ってまして！考えたらうちのカミさんも駿州の産でした・・・。

[2031へのレス] Re: 日記

投稿者：法城寺 投稿日：2003/10/25(Sat) 16:36

追伸

ご隠居様、またお伺いしてもよろしいでしょうか？
今度は全四振りお持ちします。

[2036] 大相撲と東京行き

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/10/26(Sun) 06:42

相撲のお手伝いで疲れました。(>_<)。

金曜日に徳島で福祉大相撲と銘打って、徳島場所が一日だけ開催されました。
地方巡業の一つでありますが、生のお相撲さんを見るのは初めてだったので、生の良さを実感した次第です。
このあたり、ガラス越しで観る刀剣をテレビで見る相撲とするならば、生の相撲は手にとって観る刀剣鑑賞とよくにておりますね！

しかしながら、私はお手伝いの一人として行っておりましたので、朝は４時半に起きて、会場には６時入り。
１７時には終了しましたが、立ちっぱなしで、当然相撲もちょっと見ることができるくらいでした・・・。(T_T)。
開場は満員御礼で大入り袋も出て、５０００のチケットもほとんど売れたようです。
相撲甚句や初切ですか、こういうのも初めて見聞きできました。
お相撲さんも、なんでもこなすんですね。感激しました。

朝青龍と武蔵丸も大関陣も玄関でちょっと見ましたが、土俵入りのあとの朝青龍のいでたちは、そばで見るとちょうど『仁王像』のような筋肉で、美しさが漂っておりました。
身長では職場に１９２センチという者が常に居りますので、縦のでかさというよりも、幅があって『嵩（かさ)』があるな！！という印象が強烈でしたね！！

太刀もそばで見たのですが、半分は大事に布で覆われていたので、柄の部分と鍔くらいしか見えませんでした。
ちょっと、画像に載せてみますね。(^^ゞ。
相撲取りを撮らずに、太刀を撮っているので、一緒にいた人から『？』でなにやってんだ？という印象を与えたようです。^_^;。

また、気軽にお年寄りと記念写真を撮る栃東の気さくな印象は、お年寄りにも大変好評であったようです。

お弁当の売れ行きも好調で、当日用意した弁当は完売。
急遽、スタッフ用の弁当を１００追加し販売。中身も良かったな～。
おれの弁当は～～、と嘆くスタッフが多かったという話です。(^。^)y-.。o○。

でも、あとから追加が来ましたので、無事にみんな弁当は食べることができたようです。

さて、そのあとで、行けないはずの『大刀剣市』に、なんと参加が出来るようになりました！！＼(~o~)／。
別に相撲に行ったからではないのですが、これもお手伝いをした『縁』『ご褒美』と天が授けてくれたのでしょうか。

最も感謝すべきは、妻と子供たちと両親。m(__)m。
２日間も刀剣で遊ばせてくれるんですから、感謝感謝です。

当然、お土産は必須。特に東京バナナかな！！!(^^)!。

ということで、私もここにきて、大刀剣市参戦です。
OFF 会も参加しますので、どうか皆さん、よろしくお願いします。

見学希望コースとして、靖国神社も入れたいのですが、いかがでしょうか。

昨年は、空港まで猛ダッシュ！！を経験しましたので(>_<)、時間があればということで、ご検討をよろしくお願い致します。

それでは、あと６日後ですね。
楽しみです。
一陽来復で話題の『同田貫』と『美濃刀』『大太刀』『刀身彫刻』を頭に入れて、テーマとして観て参ります。
皆さんのレポートも、今回は多勢のようですので、楽しみです。(^o^)／。

[2036 へのレス] Re: 大相撲と東京行き

投稿者：内記 投稿日：2003/10/26(Sun) 07:27

真改 2003 さま

大刀剣市＆ＯＦＦ会のご参加おめでとうございます。
よかったですね。私はＯＦＦ会初参加になりますが、宜しくお願いします。(^o^)／

『同田貫』上野介の最高傑作が大刀剣市で、見る事ができますね。
入場券に印刷されているので、やはり皆さん注目されている出品ではなでしょうか。疵がないのが稀なら、無欠点の最高傑作ってどれくらいの稀少価値なのか、楽しみですね。

[2036 へのレス] Re: 大相撲と東京行き

投稿者：花散里 投稿日：2003/10/26(Sun) 09:14

相撲のお手伝いとは、貴重な体験をされましたね(^^)
テレビを通さずに直接目にすると、「相撲は神事」が納得できますよね(^^)

ところで、大刀剣市！
やはり真改さんが参加しないと、「サビ抜きの寿司」みたいなもんで・・・(^O^)／
靖国神社ですか？　久さんからも、見学希望が出ております。「重要新指定展」も、長州屋さんもありますね(^^)
（私の大摺り上げ脇差しと鐔についても、ぜひご意見を m(__)m）

ところで、航空券とホテルの手配は大丈夫でしょうか？
航空券の手配は出来ませんが、もし宿泊場所がお決まりで無いようならばご一報ください m(__)m
狭い家ですが、真改さんに快適にお泊りいただけるように工夫します(^^ゞ

[2036へのレス] Re: 大相撲と東京行き

投稿者：菊久 投稿日：2003/10/26(Sun) 09:57

真改さん、よかったネ。(~o~)
駄目と思っていたものが、良いとなると喜びも倍増ですね。

皆さん、思いっきり楽しんできてください。

私は、やはり都合つかず・・・ですわ(T_T)
来年もこの職場セクションに居るとなると、11月頭の休日は絶ェ～対に仕事で身動き出来ないこと必至。
『大刀剣市』の開催日がずれることを願うのみです。

[2036へのレス] Re: 大相撲と東京行き

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/10/26(Sun) 15:42

大刀剣市、お時間が取れたようで良かったですね、また賑やかにやりましょ～っ。

最近は人気が下降気味（？）のお相撲。お手伝いお疲れ様でした。
なかなか本物の力士を間近で見る機会は無いですよね。
今や人気の「高見盛」関も来ていたのでしょうか！？
角界のロボコップと愛刀家ターミネーター（ん？誰のこと？）の対決は…？
無いですよね(￣▽￣*)ゞ失礼しました。
土俵入りに使われる太刀はいつも拵えの中に入れっぱなしなんでしょうかね？それとも普段はちゃんと白鞘に入れてるのか…？

余談ですが、清麿の故郷はまた「雷電為右衛門」の故郷でもあります。
しなの鉄道「滋野」駅のホームには雷電関の書き割り（立て看板）があります。

[2036へのレス] Re: 大相撲と東京行き

投稿者：薩州住無学 投稿日：2003/10/26(Sun) 15:43

同田貫の最高傑作、いいですねーさぞや名品なんでしょうね。ご覧になった方どうか詳細な感想をお聞かせ下さい。楽しみにお待ちしております。

[2036へのレス] Re: 大相撲と東京行き

投稿者：ikkak 投稿日：2003/10/26(Sun) 19:23

私は岐阜に行かねばなりませんので土曜日だけでまわります。
ご縁がありましたらお会いいたしましょう。

[2036 へのレス] Re: 大相撲と東京行き

投稿者：swordsmith 投稿日：2003/10/26(Sun) 21:55<HOME>

うわっ、

同田貫の最高傑作って、同田貫を出しているのはウチだけじゃないですか。
最高傑作なんてオーバーですよ。
当日ご覧になった人ががっかりするじゃないですか。
最高なんてよしてください。

“けっさく”だけで結構です。(^^;

[2036 へのレス] Re: 大相撲と東京行き

投稿者：内記 投稿日：2003/10/26(Sun) 23:19

あっちゃ～　又やっちゃいましたか　早とちり。
成○堂さん、ごめんなさい。(ーー;)

しかしですね、皆様が滅多に見かけないと仰る健全な同田貫上野介。
プロが‘けっさく’となれば、素人は○○傑作と評価してしまいますヨ。

年に一度のお祭りのイベントがこれでまた一つ増えたということで
素人に免じてお許しください。>^_^<

[2036 へのレス] Re: 大相撲と東京行き

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/10/27(Mon) 00:17

１日まで虎ノ門の「日本刀剣」さんが展示会開いてます。
大刀剣市、日刀保の全国大会の初日ですが、時間を上手く使って回ってきたいですね。
刀剣博物館では１日から特別展になるようです。
「珠玉の刀装・刀装具展」だそうです。
本当は「重要刀剣等新指定展」も見たかったんですが…。
靖国神社の遊就館は僕も行きたいっすね～っ。

[2036 へのレス] Re: 大相撲と東京行き

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/10/27(Mon) 20:12

お泊りの事、ご心配をおかけ致します。花散里さん。m(__)m。

新宿や賑やかな場所はさすがに無理でしたが、なんとか宿泊予約ができました。
また、飛行機もどうしたんでしょ？空いてます。^_^;。

もういくつ寝ると・・・。!(^^)!。

こてつさん。
高見盛はたしかに動きがロボコップ風でしたね！！
その頃、T1000 は密かに奉仕をしておりました。(^^ゞ。

[2044] 復活

投稿者：ikkak 投稿日：2003/10/26(Sun) 19:24

劇画「子連れ狼」が復活します。

小池一夫と森秀樹という今が旬のお二人の手になるようで
どのような作品になるか楽しみです

[2044 へのレス] Re: 復活

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/10/27(Mon) 00:10

おっと、これは知りませんでした。
どこで描くんでしょ？森先生だとなるとやはり小学館？
このコンビは今、ビックコミックで「花縄（かじょう）」を不定期掲載してます。
ともかく上手いかたなので楽しみですね。
ところで小池一夫先生のインタビュー記事が今出ている「時代劇マガジン」に掲載されています。
…まだまだ元気だなぁ…、この先生…。

[2044 へのレス] Re: 復活

投稿者：個々鉄 投稿日：2003/10/27(Mon) 00:43

私も、楽しみです。

[2044 へのレス] Re: 復活

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/10/27(Mon) 19:07

分かりました。「週刊Ｐスト」に掲載されます。

[2044 へのレス] Re: 復活

投稿者：個々鉄 投稿日：2003/10/28(Tue) 01:48

立ち読みしま…いえ、出来るだけ買って読みます。

[2044 へのレス] Re: 復活

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/10/28(Tue) 19:15

僕も「袋とじ」次第で…買いたいです(￣▽￣*)ゞ

[2052] 若い人、頑張って！

投稿者：隠居 投稿日：2003/10/27(Mon) 09:38

地方在住の愛刀家は研究会に入りたくても支部がなかったり、たとえ入っても例会が毎月なかったりで、どうしても刀の勉強は独学ということになります。刀は深く知るためには知識が必要ですから図録などの書籍に親しむことになり、これもまた楽しいものです。私も若いときに買った本をもう一度読み返したく思いながら、そうこうしている中に体力や視力が弱ってきて、重たい図録を書架から出せなかったり、細かい文字に苦労したり・・・道楽の道もたいへんです。
しかし最近某会合同研究会の一札鑑定では、私の友人の７３才が天位、７９才が地位とロートル二人が優勝・準優勝、並み居る若い連中を唖然とさせました。「定年制」があれこれ云われる当節ですが、刀の趣味の世界では老若同権でお願いします。

[2052 へのレス] Re: 若い人、頑張って！

投稿者：薩州住無学 投稿日：2003/10/27(Mon) 20:22

<「定年制」があれこれ云われる当節ですが、刀の趣味の世界では老若同権でお願いします。
刀の世界に限らず若い世代が年長者を立てるのは当然のことです。人生においても若い人より経験豊富で話を伺うと勉強になることが多いです。刀剣鑑定でも成績が良いのはそれだけ多くの刀を観て知識を積み重ねた結果であると思いますし若輩者が足元にも及ばないはずです。若輩者はすすんで年長者に教えを請い、年長者は知識を出し惜しみせず若い世代に正しい刀剣知識を伝授する、こんな関係が成立すれば上下関係もスムーズに行くのではと思います。でも勤勉さはどの世代も忘れてはいけませんね、自分の知識に驕ると墓穴を掘ります。

[2052 へのレス] Re: 若い人、頑張って！

投稿者：隠居 投稿日：2003/10/28(Tue) 06:03

薩州さん、おっしゃる通りです。田舎の氏神さんやお寺は伝承されたものが一杯ありますから、年寄が若い人に教え伝えるために役割をきめて上手くやっています。
刀のほうも会では年寄がたくさんいますが、どうしても若い人の参加が少なく老齢化が目立ち、地域によっては会の維持が難しくなってきています。
今の若い人は大事に育てられたせいか、悪い得点を取ると来なくなってしまう人がいます。高学歴・エリート意識も関係しているようにも思います。
私たちの若いときは、色々教わりました。たとえば下緒の松の実結びや浪人結び、短刀袋の菊結びから拵え袋の兜結び等、なんでも教えて貰いました。刀屋についていっても、先輩から様々な関連知識やエピソードを聞きました。趣味の世界に入るのも「丁稚修業」に似ていました。これも今になると楽しい思い出です。

[2012] 大太刀

投稿者：白龍斎 投稿日：2003/10/22(Wed) 21:56

藤安刀匠訪問記
福島県在住の藤安刀匠宅で、以前このＨＰで紹介のあった大太刀を拝見してきました。新作展には行けなかったので、刀匠本人に連絡し拝見させて頂きました。
全長五尺以上の太刀の作刀は着手以来３年の歳月、構想からだともっと長いもののようです。大太刀は、熱田神宮、日光の二荒山神社(国宝)、上杉神社(米沢)で観ましたが、その時よりすごいなにかをを感じました。作刀にあたっては、大太刀が盛んに作られた時代の作刀工程を自分なりの経験調査を想定し完成させたようです。刀匠曰く、完成させたことにより、多くの疑問が見えてきた。刀匠の世界にも、新しい風が吹いている様です。
その他にも、私のような素人と色々と懇談いただき有意義な時を過ごすことが出来ました。
大刀剣市にも出展予定とのこと。特に映りが見えてくると、この太刀の奥の深さが見えてくるでしょう。刀剣市に行く皆さん、大太刀に何かを感じて下さい。

[2012 へのレス] Re: 大太刀

投稿者：兼兼 投稿日：2003/10/23(Thu) 12:59

藤安刀匠の、大太刀、私も機会が有ったら、拝見したいです。
その様に、刀匠が、全霊を込めて造った元なのに、コンクールの評では、心の狭い、偏った評で、低い評価になってしまって、残念でした。
正当な評価をして頂きたいですね。

[2012 へのレス] Re: 大太刀

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/10/23(Thu) 19:23

私も大太刀といえば、２年前の新作刀展示会で『大隈刀匠』の作品を見た限りです。

現代刀は特に、傷や欠点というものが無いという厳しい前提の基に、鑑賞する側は観ている場合が多いと思われるので、大太刀作成がそれだけでも想像を絶するのに、これに映りを表すような働きを生むなんて・・・。 ＼(◎o◎)／！
ぜひとも機会があれば拝見したいものです。

それにもまして、白龍斉さんの『刀匠本人に連絡し拝見させて頂きました。』という行動力にも感激しました。(~_~)。

[2012 へのレス] Re: 大太刀

投稿者：現代刀 投稿日：2003/10/24(Fri) 00:37

新作刀展の出品は刀・太刀は定寸と言う決まりがあると刀剣美術八月号に載っておりました、大太刀は以前からも出品されていたのですね？

このような太刀は評価は下がるのでしょうか？

刀剣美術の専務理事のコメントを読みますと、そぐわない大変長い刀が二本出ておりました。　これは審査をするのも大変、飾るのも大変です。出品される皆さんは、基準というものを堅く守り出品しているわけですから、この人たちに対しても違約ではないでしょうか。来年からはそういうことのないよう、基準に従い定寸で出品し、審査を受けるようにして頂きたいと思います。

とあります、来年からはもう定寸の刀や太刀になってしまうのですね
とても残念に思えるのですが皆さんはどう思われますか？

[2012へのレス] Re: 大太刀

投稿者：兼兼 投稿日：2003/10/24(Fri) 10:56

　随分前に、八鍬さんと言う刀匠が、大太刀で、正宗賞を取った事が有ったと思います。
　作ろうと思っても、作れるかどうかが、難しいと思いますので、もっと、広い視野で見ればと思うのですが、事勿れ主義に成っているので、駄目ですね。
　刀の専門家で、きちんと研究している人が、トップに立たないと、駄目でしょう。そうでないと、ただ権力を誇示するだけに成り勝ちになるような気がします。

[2012へのレス] Re: 大太刀

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/10/24(Fri) 19:51

審査基準が大太刀は駄目というなら、審査しなければいいのに、審査しているとはこれいかに？

また、審査基準といえば、寸法もさることながら、その素材。つまり、鉄も日刀保の玉鋼を用いることとありますが、これについても、刀剣美術５００号をお読みいただければわかりますが、様々な問題がでているようです。

あと、現在の新作刀審査は無鑑査は審査の対象外なので、大隈刀匠のように大太刀を出品されることは、なんら審査という範囲の問題にはならず、その作刀の成果だと純粋に思います。
一時、無鑑査も審査対象にすべきということも論じられた経緯があるようですが、今のところ数年特賞を連続受賞し、その力量を認められた結果、認定された無鑑査は、その認定と共に己の作刀の方向に自由な世界を見出せるようです。

審査に出す刀と自由に作刀の可能性を探る姿勢を求めた結果できた刀は、同じ刀匠の作品であっても、違う意味を含んでいると感じます。

ただ、思うことは、審査でないところでこの『大太刀』を専務理事が観たら、どのようなコメントが出ただろかと想像致します。
審査を受ける以上は、その審査基準を満たすことが重要であることは、どの世界でも同じでしょう。しかし、敢えて審査したというのであれば、それはその刀匠の作品を尊重した素晴らしい結果だともいえるのではないでしょうか。

『刀の専門家で、きちんと研究している人が、トップに立たないと、駄目でしょう。』

＞研究といわれたら、どのようなことを指すのでしょうか。
刀を顕微鏡レベルで見るのも研究でしょうし、切れ味を試すのも研究。刀の仕上がりを評価するもの研究。審査をする方が、色々な方面から審査をしているでしょう。

審査を受ける刀匠の方々は、その審査の評価判断をよしとしており、その評価を受けたいから審査に出していると私は思います。
ただ、何事にも絶対はないでしょうから、審査基準も審査方法も進化変化は遂げていくことでしょう。

事なかれ主義であるとか、権力を誇示するだけになり勝ち、と言われることもよろしいですが、何をもってそういえるのかという根拠を、広く閲覧者の皆様にもわかるようにしてほしいものです。

実際、私も刀匠でもないし、権力を誇示されるような立場でもないので、ピンとこないのです。

[2012 へのレス] Re: 大太刀

投稿者：白龍斎 投稿日：2003/10/26(Sun) 08:35

多くのご意見ありがとうございました。
刀剣界のさらなる発展を願っているのは、日本刀を愛する者の共通な事だと思います。その中で新作刀展等の審査に間して言えば、「誰の為の審査なのか、良いものを欲しがっているのは誰なのか」を考えれば今までの審査のあり方が進化すると思います。
［誰の為］私は、ココのＨＰで議論する皆様や、これから興味を持たれる方々だと思っております。その為の権威ある審査であり、切磋琢磨する刀匠の方々だと思っています。

[2012 へのレス] Re: 大太刀

投稿者：兼兼 投稿日：2003/10/27(Mon) 00:42

私の、言葉足らずで、板を汚したかも知れません。
管理人さん、宜しければ、私の発言は、削除して下さい。

[2012 へのレス] Re: 大太刀

投稿者：花散里 投稿日：2003/10/27(Mon) 08:06

＞兼兼さん
「言葉足らず」と思われるなら、今からでも遅くはありません。真意を語っていただけませんか？
削除するのは簡単ですが、兼兼さんのお考えをぜひ m(__)m

[2012 へのレス] Re: 大太刀

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/10/27(Mon) 20:06

いや、私は別に兼兼さんの感想や感じていること、それ自体をどうこういっているのではありません。
何らかの思うところ、つまり、その根拠があるからそのように思っているのだろうと思うのです。
根拠無き発言は『？』と思う次第です。

『「言葉足らず」と思われるなら、今からでも遅くはありません。真意を語っていただけませんか？』
＞この花散里さんの仰るとおり。
私もそれを期待して、お待ちいたしているのです。

[2012 へのレス] Re: 大太刀

投稿者：兼兼 投稿日：2003/10/28(Tue) 01:46

真意、と言う程の物は有りません。
私は、少し、色々な事に、不平不満が多いので、何気なく書き込んでしまいました。
論陣を張るほどの者では有りませんので、御許し下さい。
失礼致します。

[2062] フラストレーション？

投稿者：菊久 投稿日：2003/10/29(Wed) 18:11

近頃、休みの日でも仕事が入ることが多い。
大刀剣市も楽しみにしていたが、仕事が入っているため「おじゃん」。
佐野美術館経由、信州別所温泉泊。鉄の展示館見学ツアーも、スケジュール帳が詰まってきて、11 月 16 日までに行ける確率が減ってきた。

ウ～、欲求不満がぁぁ～～。
これを、フラストレーションがたまると云うのであろうか。

ということで、このままでは良からぬ病気にもなってはイカンという自己診断のもと、特にこれといって仕事が入っていない本日、京都・泉屋博古館（せんおくはくこかん）「刀剣・刀装具展」へ行ってきました。（ここなら日帰り OK）
この企画展（今回、初公開だそうです）、なかなかのもので。展示物はというと、金梨子地三ツ割菊蒔絵衛府太刀拵、中身は太刀銘　守長造からはじまり、太刀　備州長船康光、刀　宗長、短刀　堀川住国廣、短刀　村正二代・後代、等々。鍔といえば、明珍信家、夏雄、等々。小柄・金具類は後藤一乗を主に等々。刀剣・刀装具 146 品展示と相成っておりました。
私は、一巡してまた一巡。休憩室でお茶を飲み、また一巡して退館しましたが、そのときには、目が疲れて車の中で暫し休憩をとり帰途についた次第です。

図録（刀剣類モノクロ 15P・刀装具カラー34p）も忘れずに買って帰りました～。

[2062 へのレス] Re: フラストレーション？

投稿者：内記 投稿日：2003/10/30(Thu) 01:30

＞菊久さん
お疲れ様でした。

ここなら日帰り OK　とは羨ましいですよ。

京都・泉屋博古館（せんおくはくこかん）って住友財閥の明治期の別邸でしょ。
明治の中期に住友家の威信にかけて蒐集した門外不出の秘蔵品の数々。
刀剣・刀装具を今回初めて公開しているんですよね。
『門外不出の秘蔵品』って当然「重要」「特別重要」なんて審査も一度も
してない無鑑ってことなんですかね？
もしかして「国宝」指定もこれからってこともあるのかな？
『なかなか』どころか、すごいお宝の可能性も・・・(^_-)-☆

公開中に行ってみたいけど、こっちからは、京都は遠いですね。

京都の秋もいいな～。『泉屋博古館』がある東山の鹿ケ谷は南禅寺と銀閣寺の中間くらいですかね。琵琶湖疎水があって、哲学の道があって、京都でも一番好きなエリアです。高校時代は毎月のように通っていました。（東京駅夜中の 12 時位に発車する鈍行大垣行き料金 2 千円だったかな？）
もう何十年もいってませんね。

菊久さん、羨ましいですよ。よい気分転換になったことと思います。
鑑刀レポートありがとうございました。

[2062 へのレス] Re: フラストレーション？

投稿者：菊久 投稿日：2003/10/30(Thu) 08:30

内記さん、
＞『門外不出の秘蔵品』って当然「重要」「特別重要」なんて審査も一度もしてない無鑑ってことなんですかね？

多分、私の思うに、審査してないんじゃないかと・・・。
だって、他の青銅器・鏡鑑類の展示品には、（重文）などと表示されておりましたが、刀剣類に関してはそういう表示がありませんでした。
それから、No.2062 の記事の中で鍔のところで夏雄が入っていますが、夏雄作は小柄の間違いです。
訂正させて頂きます。

京都日帰りツアー。
行きは、奈良よりＲ24 で京都入りしたのですが、帰りも同じ道を戻るのも面白くないので、大津へ出て「瀬田の唐橋」を渡り、信楽へ出て三重・上野を経て途中、大内ドライブインで焼き鳥を買い帰宅しました。ここの焼き鳥はオススメです。もし、交代のドライバーが居るなら、焼き鳥をあてに生ビールなんて最高なんですが、シングルドライブだから諦めました。

[2062 へのレス] Re: フラストレーション？

投稿者：鎬 投稿日：2003/10/30(Thu) 15:59<HOME>

ひさしく掲示板を見れなかったんですが、大刀剣市時期なんですね。
いまだ大刀剣市未経験者です。。。なかなか融通がききません。
菊さんは、忙しい中でも工夫されて楽しんでいるようで

参考にしたいと思います。小回りのきく車を購入しましたので
和歌山の山にも楽に行けますよ。（たぶん）

[2062へのレス] Re: フラストレーション？

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/10/30(Thu) 22:01

菊久さん。
行動力ありますね。いつも感動しております。(~_~)。
私はなかなか橋を渡っていこうという勇気が無いので・・・。

神社仏閣は言うに及ばず、こうした隠れた名品を所蔵した由緒ある館が開催する企画展巡りは、まるで四国八十八箇所参りの如く感じれますよ。(^^ゞ。

もう、今までで何箇所の刀剣展を巡りましたか？
１年だけの企画展とか神社仏閣の展示など、それぞれを考えると、１年間でも結構な数になりそうですね。
スタンプなど押して、記帳など作ってみてはいかがでしょう。!(^^)!。

[2064] 事前チェックはすみましたか？

投稿者：隠居 投稿日：2003/10/30(Thu) 06:03

大刀剣市が迫ってきました。皆さん見たい刀の事前ピックアップはすみましたか。いくら沢山刀が並んでいてもしっかり見ることが出来るのは３～４０本です。
刀剣商の目玉商品、後日話題になること必定の名品、新刀期の短刀や大名武家の慰作や作品寡少鍛冶の作、大切刃造りなどの希珍刀、郷土刀や自分のルーツにゆかりの刀、等々事前チェックは必要です。
特に鍛冶の少ない地方の皆さんは、絶好の機会です。大平造りの長国や菊池住上野介とあるような同田無貫、今話題の刀もお見逃しなく！

[2064へのレス] Re: 事前チェックはすみましたか？

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/10/30(Thu) 21:55

隠居さま。
もうあと１日です。
今回はさらに新しい刀友が加わっての大刀剣市ですので、大変楽しみです。
１０人近くでぞろぞろ歩くというよりも、会場の中を縦横無尽に走り回っての情報交換となりそうです。

今掲示板で話題の刀剣はもちろん、皆さんがツボ所でしっかり押さえていると存じます。
今回はメモなどを用意していこうかと思っております。

そして、靖国神社では色々な思いを心の中で問答してこようと思っております。
刀剣展示もあり、大刀剣市とはまた違った意味で重要なポイントとなりそうです。

[2064 へのレス] Re: 事前チェックはすみましたか？

投稿者：花散里 投稿日：2003/10/30(Thu) 22:22

＞いくら沢山刀が並んでいてもしっかり見ることが出来るのは３～４０本です。

６３店舗もありますから、事前チェックが欠かせませんね。
それでも会場に足を踏み入れると、見渡す限りの刀、また刀。目は移ろい、記憶は混ざり、終いには何が何だか解からなくなってしまいます。
例年、記憶に残るのは、わずか数振りなんですよね(^_^;)
あれも見たい、これも見たいでは、目が見えるようになるのは何時の事やら・・・

[2064 へのレス] Re: 事前チェックはすみましたか？

投稿者：内記 投稿日：2003/10/30(Thu) 23:24

一店舗 30 振×63＝1890 振　ウ～ン　約 2000 振ですか。
何を見たのかさえも忘れそうですね。

出店されない刀剣店さんが何気なく仰っておられました。
「数が多いから玉石混合、だから、面白いですよね。お祭りだから、まあ楽しみましょう。」

あんなに穏やかに『玉石混合』って言われた時、「全くそうですね。」って、笑って答えられるような、目が欲しいものです。
ウ～ン　道は遠く遥か彼方にあるようです。

明日、得意の一夜漬けで、『事前チェック』に励みます。

[2064 へのレス] Re: 事前チェックはすみましたか？

投稿者：隠居 投稿日：2003/10/31(Fri) 14:38

そうですよ、皆さん、あっという間に時間は経ちますから・・・
それに重要刀剣だけが刀じゃありません。数寄者がうーんとうなるような珍品は案外値段も高くないものです。
また、自分のルーツに関わりのある刀はこういう時にしか見つかりませんよ。
どうぞ、頑張ってください。

[2071] 居合

投稿者：ikkak 投稿日：2003/10/31(Fri) 04:57

武術家の甲野善紀師の居合を TV で見ましたが

長寸の刀にずいぶん長い棒柄(30cm 位はありそう)に革のひねり巻きで
その長い柄の端とはしを目いっぱい使って刀を操っていました。
左手はほとんど頭をにぎっています。

居合には短寸の刀に短い柄が向いているし、革巻きはすべるようなことを聞いた
記憶がありますがどうなのでしょう？

[2071 へのレス] Re: 居合

投稿者：薩州住無学 投稿日：2003/10/31(Fri) 15:19

私は居合いはやったことがないのですが、以前興味があり調べたことがあります。基本的に居合いをやる人の体格、膂力に応じて居合い刀の長さ、重さは決めると聞きました。ただ居合いの経験が長い人の中には長寸の刀の方が振ったときに気持ちが良いと、そう体格もよくないのにえらい長い刀を使う方もいるそうです。まあ居合いをやる人の技量によって得物も自由に選べるのでしょうか厳密には決まりは無さそうですが良く分かりません。勤皇刀を指した幕末の志士みたいな感じでしょうか。

[2071 へのレス] Re: 居合

投稿者：個々鉄 投稿日：2003/11/01(Sat) 02:38

一番古流の、林崎甚助の創始した居合は、３尺の刀に、２尺の柄をつけて振ったと聞いたことが有ります（寸法は間違ってるかも）。其のぐらいでないと、鎧を着た相手には、効果が無いのかもと、思ったりします。

それを、復元して行っているのではと思いますが。。。。

それと、ナンバ歩きは、本当にしてたんのでしょうかね？

[2071 へのレス] Re: 居合

投稿者：剣豪？さん 投稿日：2003/11/01(Sat) 22:48

剣豪小説も書く中山義秀という作家が林崎流に関して、「長柄の得」という話を紹介していました。長い柄には利点があるということと、林崎甚助は神の啓示によって柄を長くしたというエピソードです。また、中山氏は天正年間の小田原北条氏家中に長柄の刀が流行していたとも書いています。一尺八寸もあったそうです。

私も番組を見ましたが、あのような「手の内」は余程の大太刀でなければ、意味が無いような気がします（＾＾；

鍔元を握ってしまうと、せっかくの長柄が短くなってしまいます。

[2071 へのレス] 先日明治神宮で

投稿者：剣豪？さん 投稿日：2003/11/04(Tue) 12:41

古武道を見学してきました。柄の両端を持つのは、鎧で腕の動きに制約の有るときなど、あのように使うそうです。ただ、柄の長さは刀身とのバランスが考慮されていました。

[2073] 鎧の鑑定機間

投稿者：備前介 投稿日：2003/10/31(Fri) 15:03

友人が鎧を所持しており、鑑定したいそうなんですが、どなたか何処にあるのか、ご存知ないですか？

[2073 へのレス] Re: 鎧の鑑定機間

投稿者：閻魔大王 投稿日：2003/11/03(Mon) 08:52

京都だと思いますが、大柴（ダイシバ）＝中村さんは専門と思います。
又、むさし屋（堺）の猿田さんもそこそこ詳しいと思います。
関東では竜馬堂さんあたりでしょうか・・・

[2073 へのレス] Re: 鎧の鑑定機間

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/11/03(Mon) 20:49

閻魔さん。いつもと口調が随分違いますね～。(^.^)。
別人かと思いましたよ！

さて、刀剣春秋に甲冑審査のことで掲載されていた部分がありましたので、ご紹介します。

題して『甲冑会の審査要項決まる。　１１月２９日東京で』
とありまして。
日本甲冑武具研究保存会は第５１回審査会の要項と日時をこのほど発表したとあります。
審査対象は甲冑類・弓具類・その他の４項目とあります。
審査段階は重要文化資料・甲種特別貴重資料・特別貴重資料・貴重資料・保存資料・返却の６項目とあります。
審査希望者は１１月２２日までに必ず品名・数量を書き、ハガキで申し込む。

申し込み先は次の通りです。
日本甲冑武具研究保存会　（東京都新宿区西早稲田３－５－４３　）です。

以上、情報でございました。m(__)m。

[2073 へのレス] Re: 鎧の鑑定機間

投稿者：備前介 投稿日：2003/11/04(Tue) 15:20

貴重な情報を頂き、ありがとうございました。
早速伝えておきます。

[2073 へのレス] Re: 鎧の鑑定機間

投稿者：閻魔大王 投稿日：2003/11/07(Fri) 23:22

真改氏はついに閻魔大王の本質をつかんだか？
本当は大王は自分で言うのもなんであるが大変親切なのである。
教えを乞う者に対しては限りなく親切である。
自ら教えを乞う者に対してえらそうな口調で回答をしてはならないと思っている。
但し、不特定多数を相手にした場合は閻魔は限りなく威厳を保つのである。
又、『刀は資産』なぞとぬかすアホどもにはすこぶる厳しい態度で臨むわけである。

[2079] 大刀剣市を含む上京レポート

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/11/03(Mon) 21:57

さてさて、大刀剣市も本日をもって修了し、多くの人達が刀剣ライフを堪能されたことと存じます。いかがでしたでしょうか？
私としては、直前になって上京が決定したために、日刀保の全国大会に出席することができず、非常に残念でした。
全国大会の詳細は越中国さん、こてつさん、千手院さんにおまかせして、私の思いとしては、次回こそなんとしても参加したいと思いました。
特に刀剣博物館において拝見した刀を見るにつけ、健全な刀の優作を手にもってみることができる重要性を感じたのでした。

さて、私は１日と２日の両日に上京したわけですが、目的は大刀剣市と長州屋展示会そして靖国神社と遊就館、そして刀剣博物館でした。

初日は大刀剣市にほとんど１番手で入場し、目指すは我らが成蹊堂さん！
一番乗りは私がいただきました。(^o^)丿。
丁寧に整然とならんだ刀。拝見する側もよくわかるように説明書きも工夫されておりました。
ここで刀剣を拝見するにつけ、思い出したのが隠居さまの言葉。
さっそくに見渡すとまず目につたのが『左行秀の短刀』。これは大珍品ではないでしょうか。作りこみは薙刀樋のようなものがあって、棟を削いであったようです。というのも、じっくり見れないんですよ～。人が多くて・・・。今年は全体的に人が多くて昨年より活気がありましたから！！(~o~)。
拝見した刀剣の出来などを解説するような器量はないので、雰囲気をお伝えすることができればと思いますので、ご容赦を。m(__)m。

あとですね、同田貫が二口。これは慶長年期のある方は即売約になりましたね。
もちろん、前記の行秀も同じくです。
みなさん、成蹊堂さんにおこしの方は同田貫を目当ての方が多くて、さすがに人気の刀と驚きました。
また、でっかい人が来たな～と思ったら、なんとプロレスラーの前田日明が成蹊堂さんに来たではありませんか。あれもこれもと沢山見ていったですね。鎖鎌がお気に入りのようでした。(^.^)。

一通り全部のお店を巡りましたが、全部を書くわけにも行かないので、郷土に関したものを二つほど見つけたことを書きます。
一つは『堀江興成　鍔』で興成の初期銘ということで、これまた珍品でした。
刀では『阿州住佐重』新々刀ですが、幕末の当時の外装が付いていて歴史を感じさせるものでした。

驚いたのは、号村雨の助広と高麗鶴の号がある小早川隆景所持の光忠が出ていたこと。村雨は特重ほやほやで、高麗鶴は重文だったような・・・。村雨なんて３年連続で拝ませていただきました。重要・特重そして今回と。なんて運がよろしいのでしょうか。

さてさてさて、この日は長州屋さんも回ったのですが、大刀剣市とあわせて回って、もうクタクタ。名品が

ありすぎて、実際のところ何がなんだかわかりません。お恥ずかしい・・・。
オフ会で鬼丸さんから『和泉守兼定』の初期銘の二字銘兼定があると情報を得ましたので、２日目はこれをまずは見るぞと心に決めました。

オフ会も楽しいもので、例年こうして会えるのは本当にいいものだなと、つくづく感じました。
話に花が咲いて、時間が経つのもあっという間です。
皆さん、本当に刀が好きです。
これが一番大事なことでしょうね！

二日目は刀剣博物館から靖国神社へ。
刀剣博物館。これは絶対行くべきですね。
今回も、最高でした。特に古備前正恒太刀。なんという健全さ。そして凄い映り。冴えた刃。地鉄もうまく言えませんが、現代刀のように詰んだ綺麗な潤いのある感じがしました。なんといっても重ねの厚さには(#_#)。
展示のメインでもある刀装具も重要刀装具などの名品中の名品ばかりなので、刀剣にせよ刀装具にせよ、一流のものを見ておくことは絶対必要であるといういう認識が沸々と沸いてきました。
余計に、全国大会に参加できなかった無念さが滲んできましたね。(T_T)。
刀剣博物館では千手院さんや日刀保香川支部の〇〇さんとお会いでき、解説までしていただいて、楽しいひと時に輪をかけて楽しませていただきました。自宅への刀剣鑑賞もお誘いいただきまして、その際にはよろしくお願い申し上げます。千手院さん。m(__)m。(^.^)。

靖国神社では見も心も引き締めて、参拝し、いざ遊就館へ。
時間の都合で常設展示を丁寧に拝見できないことを心で手を合わせてご容赦いただき、特別展示の刀剣展へ参りました。
といっても、常設展示へも自然目がくぎ付けになることは必定で、言葉では語れぬ思いを胸に拝見致しました。

常設展示では話題の『元帥刀』が正面に展示してありましたよ！
外装だけでしたが、それは見事なものでした。衛府の太刀を模したようですので、横からみると菊の御紋が入っていて、まばゆいばかりの金の色をしておりました。鍔の形は陸軍の軍刀外装の鍔とよく似ておりました。形状が似ているだけで、金色に輝く様は、まったく別ものでしたが・・・。
この元帥刀は遊就館図録にも載っていますので、写真だけも見たい方は、通販で買うことが出来れば是非とも見てください。美しいですよ。
ちなみに、元帥刀の数は３０です。というのは、陸軍海軍の大将のうち３０人だけに元帥の称号が授けられ、歴代の天皇から下賜されたからだそうです。
う～ん。これは凄い！
最近、特に軍刀に興味があるので、今回はこれが一番印象に残ったでしょうか！！

まあ、昨年は『ヒイヒイ　ハァハァ』と走って走ってギリギリに飛行機に乗ったという前歴がありますので、今回はじっくりお土産も買って余裕のよっちゃんで帰ることが出来ました。
本当は、これが一番の収穫？(^o^)丿。

まだまだいろいろ書くこと書きたいことがありますが、思い出すたびに書いていこうと思いますし、また皆さんも書いてくれるでしょうしね。(^.^)。

一発目はこの辺で・・・。m(__)m。

[2079へのレス] Re: 大刀剣市を含む上京レポート

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/11/03(Mon) 23:17

みなさん、お疲れ様でした～！拙い報告をさせていただきます。
僕は２日に分けて全国大会・大刀剣市・長州屋展示会と回りました。
今回は長野から新幹線で上京、ホテルに一泊してユックリ回るつもりだったんですが…実際はかなりしんどかったです。
真改さん達は毎年、こういうしんどさを乗り越えて来ていたんですね…。すごいです。
刀剣市や展示会により、刀を何口も拝見出来るのは大変ありがたいことなんですが…同時にかなり疲れることを実感しました。
初めて参加した全国大会では鑑賞刀の数に圧倒されました。その数１６８口。殆どが重要文化財、重要美術品、特別重要刀剣、重要刀剣、そのいずれかです。
鑑賞用刀剣は大きな部屋を二つ使い「古刀」と「末古刀以降」に分け展示されていました。上京初日、何も分からずとりあえず「末古刀」の方から鑑賞に入ったのですが…入ってもすぐには見れません。イスに座って順番が回って来るのをひたすら待ちます。初日は特に混んでいたように思います。
一口の鑑賞に許される時間はおよそ５０秒。その間に集中して見ないといけません。また回りはベテランそうな年配の方が実に多く、その中で中途半端な年齢の僕は緊張も手伝ってか、もう何が何やら…。やっと少し雰囲気に慣れてきたかな、と思ったら鑑賞時間終了。夕方になっていたため部屋は閉められ、ガードマンがビタッとドアの前に張り付いて…結局、半分位しか見られませんでした。
翌日、リベンジ。午前中にホテルを出て再び同じ鑑賞刀の部屋へ。何故か２日目は初日と違いかなり空いていました。
んで、この日は「古刀」を鑑賞させていただきました。大変良い状態で残っていることにまず驚かされました。実際、図録や著名な本で見たことのある刀もチラホラ…。どれもこれも素晴らしいものばかりでした。いや、他に言いようが無くて…(;^_^A
本当は一本入札も挑戦してみたかったのですが…とてもまだそのレベルには遠いです。まさしく遠い目で見つめていました…。
実際、２日目の全国大会を見て回って…その時点でかなりグッタリしていました。これには「二日酔い」と言う別の理由もあったりするんですが…。
午後、３時頃からは大刀剣市へ。お世話になっている成蹊堂様を覗き、現代刀のお店も覗き…しかし…刀を見ようとする気力が…かなり萎えていました。足はパンパン、荷物は重い…（大した物は入っていないのに！）。
成蹊堂さんには「清磨（大磨り上げ無銘）」も…意外なお値段で並んでいました。左行秀の短刀は珍しかったですね。既に「売約済み」でした。「備前長船元重　文保二年」の短刀も興味深かったです。
ガラスケースの中に普通に「兼元（孫六）」の短刀が並んでいたり…。

大刀剣市の後は銀座へ…。さすがに疲れたのでタクシーで移動してしまいました…。今年は入場券代わりのハガキを出せば「カレンダー」が戴けるという特典（？）もあってか、入場者数は例年通りなかなかのものでした。こちらの刀装具のコレクションは毎年目を見張ります。刀剣類で目に付いたのは…「斉藤清人」の刀でしょうか。柾鍛えに地沸がものすごく絡んでいます。確か二尺四寸…？グッタリしていて「見せて？」の声が出てきませんでした(ノ＿・、)
そのまま展示場を後にし、東京駅へ。
何とも…アッと言う間の２日間でした。本当にアッと言う間の「お祭り」…燃え尽きて小諸への帰途につきました。
特に全国大会は違う意味で勉強になったような気がします。その場の雰囲気に飲まれては何も見えないって事が分かりました。どんなに立派な刀の前でも冷静に見られるように…僅かずつでも進めればいいなぁと思っています。

あ、オフ会もあったんだ！また…少し騒ぎすぎました！
申し訳ないです！
特に成蹊堂様、遅くまで付き合せてしまい本当～っに申し訳ないです！
この穴埋めはいずれ…。
お付き合いいただきました皆様、本当にありがとうございました。
懲りずにまた遊んでやってください…(┬_┬)

二発目は以上です～。

[2079 へのレス] Re: 大刀剣市を含む上京レポート

投稿者：ikkak 投稿日：2003/11/04(Tue) 04:50

お疲れでした。
私は超衆屋さんのほうからまわりました。印象に残ったのは来国末の太刀、
さすが重美！地刃の調子と体配のバランスが絶妙、派手ではないがひきつけるものがありました。
しかし人が多かった.... きれいなお姉さんも多かった。
刀装具、特に拵えは近くで見て勉強させていただきました。
F も同時に出品していましたが少々超衆屋さんの即売会の高級なイメージがぼやける結果になったと思います。

大刀剣市はやっぱり Say!K!Do さんがピカイチでしたね。清麿はすごかった、
凄烈な地刃に走る金筋は稲妻のごとく眼を奪い、あれくるう帽子は紅蓮の炎のごとく胸を焦がします(なんのこっちゃ)本当に本に載ってた写真どおり！
実物を近くで見るのは初めてなのでこういう風にしかいえない自分が悲しい....
胴田貫も控え室の格闘家のような静かな凄みを感じさせてすばらしかったです。

[2079 へのレス] Re: 大刀剣市を含む上京レポート

投稿者：隠居 投稿日：2003/11/04(Tue) 08:19

大刀剣市のリポート拝見しました。余りにも多くの名刀のため「刀に酔う」雰囲気が皆さんのリポ

ートから感じられます。
真改さん、左行秀の短刀はご覧になったような頑健な造り込みの鵜の首造りが十八番だと思います。残念ながら「珍品」までは・・・しかし郷土ゆかりの刀や小道具、よく見つかりましたね。ああいうところでは、どうしても著名鍛冶の作に視線が集まってしまい、脇物の名品や二流三流どころの傑作が見つかりにくいものです。
オフ会も楽しかったことでしょう。刀友と時を忘れてしゃべるのも刀道楽につきものですね。

[2079 へのレス] Re: 大刀剣市を含む上京レポート

投稿者：鬼丸 投稿日：2003/11/04(Tue) 18:17

皆さん、ほんとうにお疲れ様でした。
こんなに内容の充実した時間をすごしたのは、本当に久し振りです。
昨年のメンバーに、１年振りに再会するというのに、つい最近お会いした
ような気がしたのは私だけでしょうか？
入館してすぐに、日頃お世話になっている刀剣店に挨拶をした後，成蹊堂さんへ、「ご無沙汰しております。」と挨拶に向かったのですが、なんと
黒山の人だかり、仕事のジャマをしないよう、こっそり「左行秀」の短刀や「同田貫」の刀を堪能してきました。

真改代表も、書き込まれていましたが、昨年の入館者に比べてかなりの多くの人が入場されているように感じました。
各店舗もそれぞれお客さんが集まって古今東西の名刀を商談したり、鑑賞したりでとても良い雰囲気を感じた。

小泉首相じゃないけど「津田越前守助広」の「村雨」は感動した。
高麗鶴光忠も感動した。(°o°)
その他では、刀剣類を１０振りも展示していなかった「持田古美術」さん
が特に印象深かった。数は少ないが好き者が涎を垂らしそうな優品ばかりを展示してあり、店のご主人もお若いのにかなり勉強されているようで好感を持ちました。

実はこのお店に「ノサダ」の初期銘二字の「兼定」が置いてあったんです。重要刀剣に指定されるか否かは問題ではなく、資料的にも貴重であり、ローンで購入出来そうな金額だったから余計に印象が残ったのかも
しれません。図録の写真に掲載されていなかったのが残念ですが・・・

OFF 会では、花散里さんの脇差と内記さんの短刀を鑑賞させていただき
大変勉強になりました。特に花散里さんの脇差は出来もさることながら
登録証番号２ケタというのにはびっくりしました。

３次会のカラオケでは「こてつ」さんと「武田節」のデェットはいい思い出です。「こてつ」さん今度は「黒田節」をやりませんか？

最後に OFF 会の幹事や駅までの送迎、その他、色々と面倒を見て頂いた花散里さんには笹丸とも

ども感謝するとともに、
この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

追伸：刀剣博物館で話題になった「ギャラリースコープ」オンラインショッピングで注文してしまいました。詳しくは下記アドレスにアクセスして
見てください。
http://www.nikonvision.co.jp/products/binoculars/monocular/hg_x15.htm

---

[2079 へのレス] Re: 大刀剣市を含む上京レポート

投稿者：内記 投稿日：2003/11/04(Tue) 20:12

大刀剣市ご参加の皆様。
無事ご帰館の由、祝着至極に存じます。(^^♪
ＯＦＦ会では大変お世話になりました。

三日間のお祭り（？）のうち、初日のみの参加でしたが、あっという間の一日でした。

午前中、長州屋さんに行きましたが、例年にも増しての大盛況。
いつもながら列の前へ出ることも侭ならず、後ろから人様の頭越しに拝見。当然、鑑賞などは出来る状況ではなく、カレンダーのみゲットして、
退散致しました。(夕方は、比較的空いていたとの情報アリ)

午後、美術倶楽部の大刀剣市へ廻りましたが、さすが初日、午後とはいえ大変混雑しておりました。

＞薩州住無学さま
成蹊堂さんの『同田貫上野介』この時点で既に売約済みでした。
すみません、そんな訳で詳細な鑑刀レポートのご報告できません。

＞隠居さま
以前ご投稿にありました『武蔵守藤原吉門』が出ていました。
二尺三寸六分の定寸で身幅重ねともに極めて健全なものでした。
めずらしく直刃のもので、刃渕小沸が綺麗につき、チリチリとよく解れ
匂いふかく、小足、葉よく働き、明るく冴える刃でした。よく錬れた小板目肌は古刀の雰囲気がありました。
ご投稿がなければ、見過ごしていたかも知れない良い刀でした。

来年は、もう一日時間をつくって、せめて二日間じっくりと拝見したいとつくづく感じた大刀剣市でした。

[2079 へのレス] Re: 大刀剣市を含む上京レポート

投稿者：花散里 投稿日：2003/11/04(Tue) 23:20

皆様、お疲れ様でした。

またこれで、一年お会いできない方もいらっしゃるかと思うと、寂しい限りです。

しかし、私たちには「一陽来復」という強い味方（？）が・・・(^^)
時間や住所・年齢や職業を問わず、これからも刀談義に花を咲かせましょう。
皆様、これからもよろしくお願いいたします。

おっと、これではまるで「締めの挨拶」ですね(^^ゞ
私には、皆様に説明するものが何も無いだけです・・・書き足りない方、思い出したことを書きたい方は、ご遠慮なく m(__)m

[2079 へのレス] Re: 大刀剣市を含む上京レポート

投稿者：菊久 投稿日：2003/11/05(Wed) 07:12

上京された皆様方の、充実した時間を過ごされた様子が、レポートからも充分に伝わってきます。
そうなんですよね、刀剣鑑賞をしていると、すっごく疲れるんですよね。私に体力がないから疲れるんだと思っていましたが、皆様方も同じようなので、ホッとしました。
「おつかれさまでした」

「助広・号村雨」。
私も、刀剣博物館で見たことがありますが、今まで見させて頂いた中では、ガラス越しであれ、私の最高のお気に入りです。
「手に持って拝見できたのでしょうか？」
「売りに出されていたのでしょうか？」
「もし、売りに出されていたとしたら、如何ほどのお代だったのでしょう？」
非常に気になるところです。

今年は無理だったけど、来年はまた参加して、皆様方の刀剣談義のお仲間に入ることが出来ればと願っています。

[2079 へのレス] Re: 大刀剣市を含む上京レポート

投稿者：薩州住無学 投稿日：2003/11/05(Wed) 16:23

皆様、お疲れ様でした。大変な盛況だったようですね。なかなか一振一振時間をかけて観れる様子ではなかったようで詳細なレポートどころではないですね。
<成蹊堂さんの『同田貫上野介』この時点で既に売約済みでした。
<すみません、そんな訳で詳細な鑑刀レポートのご報告できません。
売約済でしたか、良いものはすぐ売れちゃいますね。どこのどなたのお買い上げだったのでしょうか、羨ましい限りです…。

[2079 へのレス] Re: 大刀剣市を含む上京レポート

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/11/05(Wed) 17:32

大刀剣市のカタログを見直しています。
今頃になって「ああ、これも見ておくんだった」が多いこと多いこと…。

＞鬼丸さん。
そうですね、「黒田節」！楽しみにしています。
ギャラリースコープは僕も愛用しています。
ガラス越しに鑑賞する時には役に立ちますよ。
混雑した場所では使いにくいですが…(;^_^A

佐野美術館で近々「備前刀」の展示が始まるようです。
うまく時間が取れたら是非行きたいですね～。

[2079 へのレス] Re: 大刀剣市を含む上京レポート

投稿者：鬼丸 投稿日：2003/11/05(Wed) 20:53

本日、例のギャラリースコープが届きました。
これからの刀剣ライフの様子もこれ一つで変わることでしょう。
ガラス越に見た村雨や、高麗鶴の印象もまた別の感動が味わえた
かもしれませんね。

ところで、こてつさんの書き込みにもありましたように、今月
２１日より静岡県の佐野美術館では「備前の名刀展」が始まり
ます。２２日午後１４００頃からは渡辺館長によるギャラリー
トークがありますので興味のあるかたはご一緒にいかがですか？

＞こてつさんへ、「日本号」は入手できませんが「お手杵」と
同一作者の槍ならなんとか準備できそうです。
その時は、宜しくお願いします。

[2079 へのレス] Re: 大刀剣市を含む上京レポート

投稿者：千手院義弘 投稿日：2003/11/05(Wed) 22:58

遅ればせながら皆さん 11 月１日、２日はお疲れ様でした。
私は全国大会と大刀剣市の方へ行きました。
大刀剣市は皆さん書きこみされている通り大変楽しめる内容だったと思います。中でも新作刀優品展に出品されていた松田次泰刀匠の太刀にはとても感動し時間を忘れるほど見入ってしまいました。
全国大会は私にとって２回目の参加になるのですが、さすが東京大会と言えるほどの内容でした。
ます重要文化財１０振り、重要美術品３９振り、特別重要刀剣６７振りなど全部で１６８振りで、すべて手に持って鑑賞できました。一番印象に残った刀は、重文の虎徹でした。沸のつぶが揃い厚くつき地刃がよく冴えいたのが目に焼き付いてはなれません。一振りの鑑賞時間は短かったけど、すごく集中して見る事が出来、３０年分ぐらい鑑賞した気分になりとても満足できました。あと刀剣博物館では真改代表様始め同行されていた皆様、初めてお会いできてとても嬉しかったのですが、ハードスケジュールのためにゆっくりお話もできず失礼致しました。来年は皆さんと共に大刀剣市などを回ってみたいと思いますのでどうぞよろしくおねがいします。最後になりましたが、８００年、９００年もかかって伝わってきた刀剣達の健全な姿に「日本人の精神文化」を強く感じました。

[2079へのレス] Re: 大刀剣市を含む上京レポート

投稿者：久 投稿日：2003/11/06(Thu) 00:31

本当にお疲れ様でした。
今年は１日～３日までの参加でした。といっても３日は花散里さんと私だけでしたが、、。
１日～２日は皆さんが書かれていますので３日の事を！
まず前日の夜に東京国立博物館のHPを拝見いたしますと「上杉太刀」「北条太刀」やら色々展示となっていましたので早く刀剣展示の所へ行きたい花散里さんを道連れに広重、写楽などの浮世絵を楽しんだ後、古墳時代の銅鐸やハニワや青銅の剣を見て「空爺さんの時代だな～っ！」と拝見をしておりました。
その後刀剣展示室に着いたのですが、、！？！肝心の上杉太刀、北条太刀拵えが見当たりません。まあ諦めて早速刀剣鑑賞と成りました。国宝の友成が展示されており、北条太刀が無かった事など直ぐに頭から消えておりました。

そして一番の目玉だったのが花散里さん永遠の片思い？石田正宗があり、その同じケース内隣には私の永遠の憧れ行光の短刀がありました。
このケースの前にオヤジと青年が並んで張り付いていたのですが異様な雰囲気だったでしょう。

東京国立博物館の後は大刀剣市にもどり４時頃解散をいたしました。

また１年待たないと大刀剣市がありませんが６月位に正宗展クラスの展示があれば皆が集まれるのにと思いました。
また来年宜敷くお願いいたします。

[2079へのレス] 大刀剣市にて

投稿者：ikkak 投稿日：2003/11/06(Thu) 04:18

「ウハハハハ！」
突如聞こえる豪快な笑い声
なんじゃろなと振り返ると、がたいのいいアブラギッシュなおにいさんが
札びらを切っていました。
なにか香炉のようなものを買っている様子、服装と言葉から
中国の方とわかりましたがやっぱ勢いあるのー

今回は円高の関係か外人さんが多かったような気がします。

[2079へのレス] Re: 大刀剣市を含む上京レポート

投稿者：numarokuya 投稿日：2003/11/06(Thu) 20:57

皆さんお疲れ様でした。

初日に私もカミさんを連れて行ってまいりました。
まず目指すは日頃からお世話に成っている成蹊堂さんのブースへ直行しました。私が行った時には未だ準備をしている途中でしたので、簡単な挨拶をすませ会場を一回り、と成りました。その後、戻ってみると其処には見覚えのある、代表と花散里さんのお顔が・・・久しぶりにお会い出来き挨拶する事が出来てホッとしました。
ＯＦＦ会には参加出来ませんでしたが、花散里さん持参の愛蔵品をご好意で拝見出来、ミニＯＦＦ会を１階ロビーで行って頂きました。優品を手に取ってゆっくり拝見する事が出来ました。有難うございました。m(__)m
次回はＯＦＦ会に参加して皆さんにお会い出来るのを楽しみにしております。成蹊堂さんへは今度お店の方へお邪魔し様と考えておりますので、その時には名品を拝見させてくださいね。
（カミさんは刀装具に興味があるらしく盛んに各ブースのお店の方に質問しておりました。）

[2079 へのレス] Re: 大刀剣市を含む上京レポート

投稿者：刀士郎 投稿日：2003/11/07(Fri) 00:03

皆さん、こんばんは
大刀剣市では大変おせわになりました。
ずいぶん、タイミングの遅れたご挨拶となりました。

大刀剣市二年目となります私は昨年と比べずいぶんゆとりをもって
各業者さんのブースを廻れた様な気がします。
ご隠居さんのアドバイスのように事前にチェックしておいたのがよかったかもしれません。
とにかく昨年は何もかもはじめてでキョロキョロしただけで終わってしまいましたが、今年は３０口程手にして拝見することが出来ました。
一口を手にすると最低でも五分以上手から離さない私にとっては、たいへんな量です。
疲れはしましたが自分なりの好みの刀をてにできた満足感があり幸せです。
具体的にどの一口がどうのとご報告できる目は私にないので失礼します。

昨年同様、ご親切いただいた真改代表はじめ、靖国などご案内いただいた花散
里さん、久さん、オフ会での鬼丸さんご夫妻のラブラブ、
三次会でのこてつさんの熱唱、内記さんの薙刀直しの名刀、純井さんの詳細な解説。
本当に楽しく充実した二日間をありがとうございました。
これからも、よろしくお願いします。

しかし、私にとっての大刀剣市はまだ終わっておりません！！
帰宅してからも悩みぬいております。
拝見したうちの何口かが頭から離れません。
こまった！
とりあえず　来週出張の際いま一度あの地鉄に再開するつもりです。
うーん、まいった。

「寝ては夢、起きてはうつつの幻のごとく　青江も備前も相州も」

swordsmith さん　またよろしくお願いします。

[2079 へのレス] Re: 大刀剣市を含む上京レポート

投稿者：刀士郎 投稿日：2003/11/07(Fri) 00:15

追伸
菊久さん　来年は是非ごいっしょしましょうャ。

[2079 へのレス] Re: 大刀剣市を含む上京レポート

投稿者：隠居 投稿日：2003/11/08(Sat) 08:28

皆さんのリポートの中で再々出てくる助広の村雨、老生経眼しておりません。皆さんのお話により興味津々ですので、号の由来、出来口などご教示くだされば幸せです。また助広大観、大阪新刀図譜などに所載でしょうか？

[2105] お初です

投稿者：波平 投稿日：2003/11/10(Mon) 00:10

皆々様こちらにはお初にお伺いいたします。いつも拝見させていただいています。他の掲示板でお目にかかったことのある皆様のお名前もよく拝見いたしますので書き込ませていただきます。ご隠居様はかつて「若年寄」とお名乗りされていませんでしたか。２～３度メール交換させていただきました。法成寺様のお名前もよく拝見しておりました。真改様・花散里様もお名前だけはよく存知あげておりました。
　私は以前「i-mac」のネームを使用しておりましたが、どうもコンピューターと間違えられるみたいなので愛刀にちなみまして「波平」とさせていただきます（その曰く因縁はそのうちに）。こちらの掲示板で拝見する sword smith さんのお店は比較的近いので皆様にはなにかの折にはお目にかかれることもあると存じます。以後よろしくお願いいたします。

[2105 へのレス] Re: お初です

投稿者：隠居 投稿日：2003/11/11(Tue) 08:11

ペンネームを変えるのは、人それぞれ何かのわけがあるというもの。何年か前の、愛刀家にふさわしくない場所に係わっていた愚を恥ずかしく思います。何とぞお忘れください。

[2105 へのレス] Re: お初です

投稿者：真改 2003 投稿日：2003/11/11(Tue) 13:05

波平さん。
はじめまして。
真改 2003 と申します。こちらこそ、よろしくお願い致します。

波平のハンドルネームのご縁の話し。ぜひとも近い内にお聞かせ願いたいものです。

また、ネームのこともそうですが、一陽来復では一陽来復での新たな関係でスタートできれば、そ

れもまた新しい出会いを創造できるというものです。

楽しくて、ためになって、互いに高めあえる関係を創造していこうではありませんか。
剣道の言葉にこういうのがあるそうです。
『打って反省。打たれて感謝』
故意に自分を低くすることはありませんが、礼儀をもってこれからの縁をお願いします。

[2105 へのレス] Re: お初です

投稿者：波平 投稿日：2003/11/11(Tue) 18:54

ご隠居様　私も皆様の書き込みを拝見いたしまして「お近づきを」と願った次第です。改めましてよろしくお願いいたします。真改 2003 様　はじめまして。礼儀正しく心のこもったご返事をいただきありがたく、感謝しています。私の場合まだ趣味といえるかどうか・・・不勉強ですがこれをご縁に勉強の仲間に加えてください。ハンドルネームの「波平」ですが鹿児島県の谷山群波平に居住して作刀に励んだあの「波平派」です。先祖伝来の「波平行安」が戦時中の供出で失われたことを今は亡き祖母が嘆いていました。そのせめてもの供養にと今から３年半ほど前にようやく手に入れたものなのです（古刀ではありませんが）。それ以来私は不思議と九州の刀に縁がありました。「縁」というものの大切さを特に感じることの多い昨今です。先日の大刀剣市、私も勤務の都合で２日目に行きました。皆様の書き込みにいちいちうなずくことばかりです。

[2105 へのレス] Re: お初です

投稿者：隠居 投稿日：2003/11/11(Tue) 19:23

私の発言に抗議がございましたので、下記訂正とお詫びを申し上げます。
私が「愛刀家にふさわしくない場所に係わった愚を恥じております」と申したのはいささか誤解を生ずる表現でございました。
一言釈明いたしますと、素人である私ども趣味者は“刀剣の売買に一切関係しない場所を選んで刀談義をすべきもの”と考えております。「ふさわしくない場所」と申したのは、こうした私自身のもつ狭矮な主観からの表現であり、まことに言葉足らずであり粗忽な表現でありました。決して先様をあしざまに申す意図は毛頭ございませんので、何卒ご海容ください。

[2105 へのレス] Re: お初です

投稿者：花散里 投稿日：2003/11/12(Wed) 01:27

＞波平さん

電脳倶楽部の裏方、システム管理担当の花散里と申します。
ご本意では無いと思いますが、少々「さざ波の立った」ご登場でしたね。
「郷に入っては郷に従い」、今後は「波平らか」にお願いします。
一陽来復、討論掲示板などでの浪平さんのご発言を拝見させていただきながら、改めてご挨拶させていただきます。

[2105へのレス] Re: お初です

投稿者：波平 投稿日：2003/11/12(Wed) 06:56

「四方の海　皆はらからと思う世に　など波風の　立ちさわぐらむ」・・詳しい事情は存じ上げませんが、思わぬさざ波を立たせてしまったことをお詫びいたします。花散里様はじめまして、これからもよろしくお願いします。

[2105へのレス] Re: お初です

投稿者：隠居 投稿日：2003/11/12(Wed) 16:12

波平さん、この度は大変なとばっちりで申しわけありません。過去は過去、こでは真改代表が云われるように同じ刀好き者同志として古い新しいは関係なく、心おきなく語り合いましょう。それにしても明治天皇御製、すかさずの引用、さすがですね。

[2105へのレス] Re: お初です

投稿者：花散里 投稿日：2003/11/12(Wed) 23:06

＞浪平さん

う～ん、明治天皇御製ですか・・・。格の違いを、見せつけられてしまいました(^^ゞ
恐れ入りました m(__)m

これからも、よろしくお願いいたします。

[2105へのレス] Re: お初です

投稿者：波平 投稿日：2003/11/13(Thu) 00:14

皆々様。私の本意が通じましたこと大変うれしく、又ありがたく思います。どうぞよろしくお願いいたします。私が大刀剣市の初日に伺えばひょっとすると皆様にお会いできたかもしれませんでしたね。ハンドルネームにつきましては書き込みさせていただいたとおりですがその「波平行安」は祖母によると庄内の最上川の舟運に従事していた先祖が守り刀として舟に立てていたものだというのですが・・・酒田には「本間様には及びもせぬがせめてなりたや殿様に」とうたわれた本間家（本間順治博士もその縁戚と伺っていますが）もありますし、我が家にとってはとても大切な刀なのです。

[2100] 号『村雨』の助廣

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/11/09(Sun) 06:46

号『村雨』の助廣は東京の刀剣商である真玄堂さんにありました。
村雨と出会ったのは、一昨年の重要刀剣新指定展でのことで、なんという華麗な刀であろうか！と印象を深くしました。
二回目が昨年の特別重要刀剣新指定展。
三回目が今回の大刀剣市となるわけです。

菊久さんが気になるところの、『売り物でしょうか。』に対しては、『はい。売り物でした。』とお答えさせていただきます。(~_~)。
５０坪位の家二軒分（土地は除く）位の価格ではなかったでしょうか？
(@_@;)。

さて、その由来ですが、きっちりとメモを取りませんでしたので、あやふやな記憶からの記載になりますが、ご容赦下さい。
また、詳細は、久さんが真玄堂さんとお話されたようですので、ここはひとつ、久さんにご登場いただくとして・・・。(^^ゞ。

号『村雨』の助廣は、時の大坂城代『青山何某』が助廣に命じて作らせたものだそうで、代々青山家に伝来したものだそうです。
表裏に昇竜の彫が全面にあって、濤乱ではありませんが、のたれた刃文ではなかったでしょうか。
久さんから聞いた内容では、刀身を持って鑑賞するにはバランスが悪く、ガラスケースから出すのも大変で、ケースの上蓋をはずして出さないと、後ろや前からのケースからの出し入れは困難であるということから、手に持っての鑑賞はできなかったようです。

太刀拵えが付いていて、赤銅の金具一作だったような・・・。

また、助広大観、大阪新刀図譜に所載かどうかは、その本自体を持っておりませんので、確認できておりません。展示の解説文にもその旨は書いていなかったように思います。

号『村雨』の助廣が世に出たのは初めてなのではないでしょうか。
討論掲示板にもありましたが、青山コレクションというものに関連した刀剣かな？とも感じました。
青山家伝来とありましたし・・・。

[2100へのレス] Re: 号『村雨』の助廣

投稿者：菊久 投稿日：2003/11/09(Sun) 08:42

真改さん、「ありがとう」
こてつさんからもメールで教えて頂きました。
家二軒分ですかぁ～。
やはりねぇー、って感想です。でも、それだけの自分の自由なお金が有れば、私は絶対に買っていますねぇ。（だれでもか・・・^^;)
ホント、あの『村雨』をずっと手元に置いておけたら、なんて幸せなんだろうと思いますね。

こてつさん、真改さん。
「ありがとう m(_ _)m」

[2100へのレス] Re: 号『村雨』の助廣

投稿者：隠居 投稿日：2003/11/09(Sun) 09:31

真改さん、菊久さん、ありがとう。助広の抱え主大阪城代青山家の伝来ですか、そりゃいい筈す。

多分大鑑所載でしょう。確認いたします。
私は二代助広の生地近くに住んでいたせいもあって、中年の頃から助広の熱烈なファンになり、何をさておいても脇差の一本でもと当時４００万ちかくした資金を得るため、忠光の短刀、水田国重、裁断銘入りの吉武脇差、磨上げ無銘の応永備前など１０振りを売却、それに少なからぬ現金を捻出して購入しました。
またその後、縁あって館平吉先生愛蔵の槍（助広大観所載）も頂戴できました。
助広は作域がひろく、さまざまなものを残していますので、号がつく以上、その号のゆらいになるような出来口ではないかと想像する次第です。おおきに

[2100へのレス] Re: 号『村雨』の助廣

投稿者：久 投稿日：2003/11/09(Sun) 21:06

上で真改さんが書き込みがあったように大坂城代青山家からの注文打ちで今の今まで青山家に伝わっていたそうです。それを今回真玄堂さんが青山家から手に入れて重刀し審査の前に藤代興里さんが研ぎをされたそうです。
その時の注文が「一切彫にに砥石が触れない事。」と真玄堂さんが言っておられました。
元重ねも１センチ近くもありその上身幅広く大振りの割には海老反りの中心が小さく感じました。
最初に指し表の彫が凄いので裏が気になり真玄堂さんに「裏の彫はどうなっておりますか？」と質問をした所、写真や押し型等村雨に関する書類を拝見させてくださいました。
肝心の彫りですが表も裏も同じ彫がされており、本当に素晴しい物でした。
彫の作者ですが自身彫りでは無く、大体この人ではないか？と推測はあるが作者は不明だそうです。
ただ真玄堂さんが言っておられましたが本当に重いそうです。その上刃長が８３センチもある為これをガラスケースから出すにはケースの開閉扉を全部外さないと恐くて取りだせない！だそうです。

私はこの村雨の前で３０分は居たと思います。あまりにも凄すぎて時間が経つのを忘れて見ておりました。重刀剣新指定展、特重刀剣新指定展、そして今回の大刀剣市と３年連続見れた事に感謝です。また何時の日か拝見出来る事を！＼（＾o＾）／

[2100へのレス] Re: 号『村雨』の助廣

投稿者：久 投稿日：2003/11/09(Sun) 21:12

追記ですが村雨に附いていた太刀拵えの名前ですが

黒蝋色塗鞘赤銅唐草文総覆輪兵庫鎖太刀拵

です。漢字変換だけでも一苦労。

[2100へのレス] Re: 号『村雨』の助廣

投稿者：隠居 投稿日：2003/11/10(Mon) 08:28

「助廣大鑑」数田政治著所載でした。延宝六年助廣４０才の円熟期の作です。
２尺７寸３分４厘鵜の首造り、表裏に梵字に剣巻竜の彫り、刃文は互の目丁子足入り、足のするどく入った「末備前写し」は初代助廣仕込みの華麗な出来で、強く反った異風の茎に「村雨」と切ってある。号のゆらいはこの足入りの様からではなかろうか、と想像します。
助廣の特長は地景交じりの地金が明るく冴えていることですが、これに若い頃得意だった丁子足入りを直刃仕立で品良く焼いています。これなら見とれてしまうこと当然と思います。

[2100へのレス] Re: 号『村雨』の助廣

投稿者：隠居 投稿日：2003/11/10(Mon) 08:42

菊久さん、この村雨を手元に、とのご希望ですが、この長さでは抜くことも二人掛り、中子をもっての手入れもまず無理ですよ。やっぱりこれは大阪のどこかの美術館入りが一番ですが、どこかないですかなぁー。

[2100へのレス] Re: 号『村雨』の助廣

投稿者：菊久 投稿日：2003/11/10(Mon) 17:43

(-_-)やはり、ひとりでは無理ですか～。
今から腕立て伏せできたえて・・・なんて、もうおそいか(^_^;)
まぁ、資金的にも無理なところが大なんですけどネ！

しかし、大阪のどこかとなると・・・えぇ～と、ん～と、やはり大阪城ですかねぇー。大阪城に縁のあることだし。

[2100へのレス] Re: 号『村雨』の助廣

投稿者：花散里 投稿日：2003/11/10(Mon) 22:19

村雨は、結構反りが深かった気がします。
それでも、２尺７寸を超える長さがあるとなると・・・
視界の片隅に入ったとたん、目が引き寄せられて離れないほどの迫力がありましたね(^^)

[2100へのレス] Re: 号『村雨』の助廣

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/11/11(Tue) 00:23

元重ね１センチ…ですか～。
ガラス越しだとなかなか重ねまでは見えません。
これは…茎が曲がって付いている特異な形といい…「持ってみる？」って聞かれても多分僕は遠慮してしまいますね(#^▽^#)
隠居さんの仰るとおり出来れば個人で所有されることなく、どこかの美術館に収まって欲しいものです。

[2100へのレス] Re: 号『村雨』の助廣

投稿者：隠居 投稿日：2003/11/11(Tue) 06:18

久さん、詳細なリポート有難うございました。身幅ひろく重ね厚い造りこみに濃厚な彫り、この見事な彫を殺さないために得意の涛乱を避け、直刃仕立ての丁子足入りというおとなしい備前伝にしたのでしょうね。彫技にすぐれた一竿子が彫りの傑作刀に直刃や湾れ刃にするのと同様です。
花散里さん、こてつさん、東の虎徹、西の真改・助広、やっぱり一流といわれる鍛冶は違いますね。

[2121] しとしとぴっちゃん。

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/11/13(Thu) 02:56

「新・子連れ狼」が週刊Ｐストで始まりました。
う～ん、そうかぁ…こういう始まり方したかぁ…。

[2121へのレス] Re: しとしとぴっちゃん。

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/11/13(Thu) 19:33

私も、新聞記事を見て、夕方にコンビニへ飛んでいきましたが、残っていたのはわずかに１冊のみ。
ラッキーでした。^_^;。

東京のラーメン地図が載っていたのもラッキー。私はラーメンも好きなんです。
餃子も・・・。

で、肝心の子連れ狼です。
画の感じも小島剛夕さんの感じを逸脱することなく、自然に入って行けました。
大五郎はこの後、どのような人生を送っていくのでしょうか。
柳生家の総帥となって、将軍家を補佐していくかも。

今回特筆すべきは、拝一刀の愛刀の同田貫の茎が描かれていたことです。
『肥後同太貫上野介正國』
『同田貫』ではなかったか～～～。(+_+)。

前作の同太貫清水甚之進信高との関係はいかに・・・。

でも、そんな細かいことはどうでもいいです。
新たな旅立ちに毎回感動しそうです。

あと、まったく関係ありませんが、来春にも『戦国無双』というゲームがでるそうですね。
三国無双の日本版といった感じでしょうか。
戦国の武者が歴史上の戦場を駆け巡って、敵を倒す。
爽快なゲームとなるように、楽しみに待っております。(^。^)y-.。o○。

[2121 へのレス] Re: しとしとぴっちゃん。

投稿者：花散里 投稿日：2003/11/13(Thu) 21:01

小池一夫氏と小島剛夕氏は、一代の名コンビでしたね。
「子連れ狼」以外にも、「斬殺者」、「乾いて候」、「首斬り朝」など名作が勢ぞろいです。
「子連れ狼」は、物語はもちろん絵も私の好みに合い、大好きな作品です。
その小島剛夕氏が亡くなって、早いもので３年になろうとしています。
小島剛夕氏の死と共に「子連れ狼」は永遠の名作になってしまい、この先いつまでも、私の心の中に生き続けるのです。

し、新・子連れ狼(LONE WOLF)？ な、なんじゃ、そりゃ？
いったい、小島剛夕氏以外の誰が描いているんですか？

こてつ。さん、すご～く思わせぶりな投稿ですね・・・(-_-;)
真改さん、私と一緒に子連れ狼の「完全版」を買ったじゃないですか・・・(-_-;)

・・・東京のラーメン地図？(^_^;)
東京のラーメン地図が載っているなら、買ってみようかな・・・(^^ゞ

[2121 へのレス] Re: しとしとぴっちゃん。

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/11/13(Thu) 21:26

いや～～(^^ゞ、完全版は今もお宝ですよ～。
特典の一刀と大五郎の額も、刀箪笥の上で鎮座しております。

新子連れ狼は小池一夫原作で森秀樹さんという方が描いておられます。

なかなかのスタートではないか！と思いましたので、花散里さんもぜひ立ち読み(~_~)、されてはいかがでしょうか？
私も立ち読みで済ませようかな～と思ったのですが、ラーメン地図はもちろんのこと、初回をじっくり読んでみたかったのです。
袋とじはなかったようですよ。(^^ゞ。

[2121 へのレス] Re: しとしとぴっちゃん。

投稿者：ikkak 投稿日：2003/11/13(Thu) 22:02

今回の作品は私はてっきり同じストーリーを違う解釈でやるのかと思っていましたが、何十年？ぶりに続編が読めるとは思いませんでした。

森秀樹氏の傑作で鞍馬天狗に題材をとった「天駆」があります。
幕末の動乱期に旧世代と新世代の交代劇をダイナミックにセンチメンタルに
謳いあげた名作ですが
このなかで「子連れ狼」にインスパイアされたと思われる表現があり、

「ああこの作者も好きなんだな..」と感じたことがあります。

今回の作品も難しい導入部をなんとかこなしておりなんと言っても今一番旬の
作家ですので期待しています。

元新体操選手の荒業にはびっくりしました。

[2123] 文化祭にて

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/11/13(Thu) 19:48

思い出したことを少し。

過日、文化の日に町内の文化祭がありました。
骨董コーナーのようなものもあり、そこに『陸奥守歳長』の薙刀がありました。

時間も無く、作風など手に取って観る時間もありませんでしたが、外装に入っており、時代を感じさせました。

持ち主は、ここでもお話したことのある、町内にある元阿波藩の剣術道場があったお家の伝来品でございました。

先祖伝来、家伝のもの。そんな言葉が感じられる雰囲気がありました。
金銭的価値を計るなど論外で、こういう家に伝わったものは大切にしたいという純粋な気持ちとなりました。

え～、また、大刀剣市のお土産のこともちょっと。
唯一、お土産として記念として買ったのが、大野義光刀匠に彫ってもらったキーホルダー。
表に子供たちの名前。裏に義光刻の銘。
ランドセルに最高かな～と、思っております。

しかし、大野刀匠が銘きりをしている最中に、しきりに親しげに話しかけるおっさんがおりましたが、多くの人が大野刀匠に銘きりを頼んで完成を楽しみにしているのに、おしゃべりが過ぎますよね～。
頼んでいる方は、小額かもしれませんが、お金を出しているし、大野刀匠だという憧れにも似た気持ちで、お願いしているのですから・・・。
知人友人の方かもしれませんが、第三者から見ていても感じのいいものではありませんでした。
マナーの問題でしょうね。

[2123 へのレス] Re: 文化祭にて

投稿者：波平 投稿日：2003/11/13(Thu) 20:55

真改さんは吉川英治の「鳴門秘帳」で有名な阿波蜂須賀家の家中でしたね。町内の文化祭に薙刀がでているなんて驚きました。歴史を感じますね。私の住んでいる所では１２月の９～１０に「関のボロ市」と通称している催しが年に一度開かれます。刀をあつかう店もでますよ。この市の本来は日蓮宗のお寺のお会式が元となったものです。当地はもともと後北条氏の支配下で太閤の「小田原攻め」で禄を離れた家臣が開発の草分けになった場所なのです。

　大刀剣市では二日目１０時３０分頃に行った時にはすでに小柄形のペーパーナイフへの銘きりは sold out になっていました。残念残念大残念！でした。来年こそ手にいれたい（有給休暇を申請しても本当の理由は書けそうもなし）。普段は拝見できない「銘きり」そのものが一種の展示なのにマナーを守らない人がいたのは残念でしたね。
　話は変わりますが１１月の９日（日）は靖国神社で１０時から「たたら」の火入れがあったと伺いました。私は「たたら」と聞いたように思いますが製鉄のたたらは一度火を入れると三日三晩はつききりになるはずですから、あるいは火床のことかもしれません。何度かあるとのことでしたので。それを吉原刀匠（義人さんか国家さんかどちらかの息子さんだったと思います）が担当されるとのことで時間があれば是非行ってみればとの先輩からのお話でした。私は所用のため断念いたしましたが、皆様靖国神社においでの節はどうぞ私にもお声をお掛けください。

[2123 へのレス] Re: 文化祭にて

投稿者：真改２００３　投稿日：2003/11/13(Thu) 21:34

靖国神社は身も心も引き締まります。
帰ってから、お年寄りの皆さんに、参拝してきたことをお話しますと、皆さん『それはご苦労様でした。』と労ってくれました。
仕事の関係でお年寄りとお話しする機会が多いのですが、中には戦艦武蔵に乗っていた方もあります。大和の砲弾の模型の展示があったことを話すと、たくさんの経験談をお話していただけました。
１０代でこうした経験をされたようです。
私の頃の１０代はなんと比較にならない安穏な日々であったでしょうか。

さて、これとは別に靖国神社でのたたらも見たいものです。多分無理。(>_<)。
こちらこそ次回の上京時にはご一緒させて下さいませ。

[2123 へのレス] Re: 文化祭にて

投稿者：るろう剣士　投稿日：2003/11/14(Fri) 00:58

靖国神社で１１月８日に行われたのは、“たたら”ではなく、吉原義人刀匠による、刀剣鍛錬実技です。当日、１１時に、仮設の火床（ほど）に火入れ式が行われ、玉鋼を積み沸かし、さらに午後からは折り返し鍛錬を数回行いました。

[2123 へのレス] Re: 文化祭にて

投稿者：波平　投稿日：2003/11/14(Fri) 06:13

るろう剣士さんありがとうございます。そうですか８日の１１時でしたか。やはりたたらではなくて「火床」の火入れでしたか。８日でしたら都合がつけられたかもわからなかったので残念なことをしました。又、情報があれば教えてください。

[2123へのレス] Re: 文化祭にて

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/11/15(Sat) 18:20

靖国神社へ参拝のときには、遊就館の『海軍カレー』を皆さんで食べましょうか！
美味かったです。

[2123へのレス] Re: 文化祭にて

投稿者：波平 投稿日：2003/11/15(Sat) 19:03

真改さんカレーも好きでしたか。横須賀の記念艦三笠の公園近辺には「海軍カレー」と錨マーク入りのカップでコーヒーを飲ませてくれる店もありますよ。ＪＲの駅の売店でも売っていた時がありました。あれ結構おいしいですよね。

[2129] 何でも鑑定団データベース

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/11/13(Thu) 22:31

なんでも鑑定団という面白い番組がありますが、そこのホームページを見ますと、過去のお宝？が、データベース化されており、これが結構おもしろい。

刀剣というのもあって、玉石混合。

放送日時別、ジャンル別に分けてあって画像もあるので、お宝の泣き笑いを体験するのもよろしいかも・・・。
(^。^)y-.。o○。

[2129へのレス] Re: 何でも鑑定団データベース

投稿者：波平 投稿日：2003/11/14(Fri) 20:12

真改さん。私もあの番組よく見ていますよ。いままでで印象に残っているのは「源清麿」が偽銘で鑑定していた柴田さんが「楽しみにしていたのですが・・・」と残念がっていたこと。佐々成政の子孫が持ってきた「兼光」をやはり鑑定（というよりは即座にという感じで）「これは正真です」と言いその結果に会場がどよめいた場面です。

[2129へのレス] Re: 何でも鑑定団データベース

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/11/15(Sat) 18:12

こうしてみると、刀も結構多く出ていますよね。
鑑定団はいつも楽しみにしています

[2132] 皆様どうされていますか

投稿者：波平 投稿日：2003/11/14(Fri) 17:49

諸兄におかれては愛刀の保管をどのようにされていますか？私は刀箪笥を持っておりません。やむなくクローゼット（そんなしゃれたものではありませんが・・・）の棚を一枚たしてそこに収納してあります。直

射日光があたるような場所ではありませんし湿気も少ないと思います。愛刀家の諸兄は常日頃の保管はどのようにされているのでしょうか。アドバイス等ありましたらよろしくお願いいたします。
　お願いばかりで申し訳ありませんが「肥前島原住宗弘」銘の平造りの短刀をある所で拝見しました。天保の頃の鍛冶とまではわかりましたがその他不明です。名鑑には載っていますがどなたかご教示願えませんでしょうか。

[2132 へのレス] Re: 皆様どうされていますか

投稿者：内記 投稿日：2003/11/14(Fri) 19:36

＞波平様
はじめまして。内記と申します。
浅学非才の素人でございますが、よろしくお願い致します。

＞「肥前島原住宗弘」ですが、
『肥後住同田貫小山寿太郎宗廣』とは別人でしょうか？
幕末の九州同田貫一派は沼田有宗（直宗同人）の門下「宗廣」以下
盛広（弘化）・直広（嘉永）・左馬之助（文久）・宗久（安政）・宗春（慶応）・宗秀（明治）・宗勝（明治）が銘鑑にあり
『西肥島原住広直』も宗弘の門・・・と今月号の柴田さんの『麗』にありましたが、何か関連があるとよいのですが・・・

「島原」と「宗」で同田貫一派に関係があるやもと愚考した次第です。
中途半端な情報で申し訳ありません。　お恥ずかしい(-_-;)

[2132 へのレス] こちらこそよろしく

投稿者：波平 投稿日：2003/11/14(Fri) 20:05

内記様はじめまして。波平です。
こちらこそよろしくお願いいたします。

さっそくですが
先日の大刀剣市で出品されていた『肥後住同田貫小山寿太郎宗廣』の刀を二振見かけました。隠居さんも書き込みをされていましたのでこの鍛冶の名前ははっきりと覚えています。一振は丁字で比較的細身の姿やさしきもの。もう一振りはいかにも同田貫といったしっかりした造りのものでした。私の拝見したものは沸出来の湾れです。『肥後住同田貫小山寿太郎宗廣』は上手な丁字を焼くと伺いましたが浅学の私は悩むばかりです。今思えばあの大刀剣市の会場の雰囲気に酔ったようになって、しっかりと作風を覚えていなかったことを悔やみます。私は「島原」という地名から肥後＝熊本とばかり考えてしまいましたが、改めてその可能性も考えてみます。

[2132 へのレス] Re: 皆様どうされていますか

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/11/14(Fri) 21:04

私は、子供が５歳くらいまでの比較的行動範囲がおとなしい？時は、洋服箪笥の上に刀掛けを置い

て管理しておりました。
外部からも直接見えないように、布を被せておりましたが、子供が大きくなるにつれ、鍵付きの刀箪笥に入れるようになりました。

郷土の先輩や郷土の研磨師さんは、金庫に保管していますね。
それは、大刀剣市で販売していたような横型ではなく大型金庫で、刀を縦に保管するような縦長の金庫です。
人様からお預かりして研磨する研磨師さんは当然、金庫が必要かと思いますし、郷土の先輩のようにのきなみ何百万もするようなあるいは一千万をこえるような刀を所持しておりますと、これまた、当然、金庫が必要かつ信頼度抜群でしょう。

個人的には、刀は横に保管する感じがしておりますが、このように縦に保管する方も多いようです。

金庫は無理でも、横型鍵付きロッカーのような丈夫なものがあれば、良いような気がします。
でも、横型は縦型に対して、場所を取りますよね。

[2132 へのレス] Re: 皆様どうされていますか

投稿者：波平 投稿日：2003/11/14(Fri) 23:44

真改さんありがとうございます。そうですか「空間利用」だったんですね。鍵付きの刀箪笥って専用品ですか？保管場所には頭が痛いですねぇ。金庫なんてとてもとても・・・知り合いの研ぎ師さんは古びた「刀箪笥」ですがごく普通の家でもちろん看板もなし、いつも玄関には厳重に鍵をかけていらっしゃいます。刀を見る時は「おい御刀電球をつけて」なんて言っています。いつも穏やかな話ぶりで「私たちの仕事は心をいつも平静に保つようにしていないといけません」とおっしゃってました。「昔気質」の折り目正しさを感じ、お宅を辞去した後はいつも清々しさを感じるほどです。刀の入る横開きのロッカーあるかなぁ？刀箪笥どこで手にはいるんでしょうか。以前はオークションで新作の刀箪笥を見かけたような気もするんですが、骨董で手頃なのはないですかねぇ。

[2132 へのレス] Re: 皆様どうされていますか

投稿者：ikkak 投稿日：2003/11/15(Sat) 05:39

私は刀の保管には長物にはライフルケース、短刀はキーボードケースを使っています。
クッションで刀が横向きに空中に保持される形になり保管の状態としては
良いのではないかと思っております。
軽量で持ち運びも楽でいざ火事のときにはひっつかんで逃げれます。
ケースに入れた状態では多少のことではダメージも受けず、値段も安いです。
画像 UP します。

[2132 へのレス] Re: 皆様どうされていますか

投稿者：隠居 投稿日：2003/11/15(Sat) 06:48

刀剣の保管で気をつけないといけないのは“盗難”と“地震火事”じゃないかなと思っています。盗難も価値の分かるものが盗るのはまだしもチンピラなどの手に渡ると困ります。私の親戚では知らぬ

間に子供が持ち出していて、警察の注意を受けたことがあります。
ロッカーの中であれ箪笥の中であれ、刀を裸にしておかないで、木綿の大風呂敷に包んでおくようにしています。これは大震災の折に役立ちました。たまたま包んでいなかった拵は跳ね飛ばされ鞘が割れていました。古い家には綿の大風呂敷が必ず何枚かあるものですから、役立ててください。
二枚合わせにして使うのも衝撃や湿気の吸収に大いに役立ちます。
関東大震災では多くの刀剣が焼失しましたが今回の震災では神戸市の一部を除いては火災にならず、刀剣の被害は少なかったようですが、刀架に掛けておいた外装は床などに叩きつけられますから傷つくことは免れません。
今回の阪神大震災で刀を井戸の中に投げ込んだ好き者がいたとか居なかったとか聞いていますが、実際には刀のことに頭がいった人間はよほど天晴れな好き者ですね。私などは丸一日忘れていました。・・・あきまへん！

[2132 へのレス] Re: 皆様どうされていますか

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/11/15(Sat) 06:49

刀箪笥は私はヤフオクで買いました。新作ですが、なかなかよろしいですよ。

注文製の刀箪笥に関しては『こてつ』さんが通です。(^。^)y-.。o○

[2132 へのレス] Re: 皆様どうされていますか

投稿者：波平 投稿日：2003/11/15(Sat) 09:59

なるほど天災地変のことを考慮する必要も大切ですね。関東地方では今朝３時４５分頃にも震度３の地震がありました。最近この程度の地震がよくあります。大風呂敷は一枚いつも用意してありますがいつもは鞘袋に入れたまま横置きにしています。私が子供の頃に新潟大地震がありましたが当時市内に居住していた知り合いは「ＴＶが座敷の中ほどまで動いて迫ってきて危なかった」といっていました。確かこの時は橋が落ち、タンクからは煙があがるほどでした。私も収納・保管についてはよ～く考えてみます。皆様ありがとうございました。内記さん・隠居さん・ikkak さん・真改さんありがとうございます。こてつさんもよろしく。

[2132 へのレス] Re: 皆様どうされていますか

投稿者：剣豪？さん 投稿日：2003/11/15(Sat) 12:17

波平様、はじめまして。私も新参の剣豪？さんと申します。よろしくお願いします。
私も埼玉在住なもので、近頃の地震にはヒヤリとしました。私も生まれだけは九州なので、郷土刀として九州の刀は気になります。また、波平は一刀流の小野次郎右衛門が愛用していたと言われていますね。

[2132 へのレス] 無題

投稿者：守重 投稿日：2003/11/15(Sat) 14:03

波平様

はじめまして、時々登場します守重ともうします。当方も刀を始めたときに、とても気になったのが保存場所です。結局、刀箪笥を購入して使用しています。火事や盗難ですが、桐箪笥なら板の厚さが２センチくらいなら火災に一時間から二時間耐えうるという話を聞きました。ただ、特注だと価格が高いです。刀箪笥は四尺箪笥を使用しますが、特注で３段で 30 万円くらい、五段で 50 万円位します。真改さんがヤフオクで購入したものは 11 万円位だったでしょうか？　あの箪笥は新品ですが､九州の大川箪笥で板の厚さも厚そうで良いものと思います。時々見かけるやたらながーい六尺くらいの二段の箪笥〈多分九州の特産地品）がありますが、板の厚さが薄く、ちょっと心配です。材質は桐製が最適です。ただ、通販で売られているような中国製の安物桐箪笥は箪笥内にもカビが生えてしまうようで、駄目ですね。ご注意ください。
刀箪笥の購入先としては
特注なら桐箪笥屋〈例として相徳や箱義とか、相徳には実例が掲載されています。)、
骨董品屋〈時代物は桐のものは少ない、５-10 万円位でしょうか？)、
ヤフオク〈「箪笥」と検索するだけで仰山ヒットします。時々まともな刀箪笥も出てきますが、さすがに高くなりますね。あと新作の手頃のもの出ています。)
位だと思います。

[2132 へのレス] Re: 皆様どうされていますか

投稿者：真改２００３　投稿日：2003/11/15(Sat) 18:16

はい、私が購入した価格はその位でした。
使い勝手もよろしいし、大きさも手頃ですね。

でも、二階へ運ぶには重くて苦労しました。
箪笥は立派でも、中身がスカスカなので、寂しいなぁと思っております。
^_^;。

[2132 へのレス] Re: 皆様どうされていますか

投稿者：こてつ。　投稿日：2003/11/15(Sat) 19:07

初めまして、波平さん。
こてつ。と申します。ヨロシクお願いします(￣▽￣*)ゞ

「刀箪笥」の通ってほどじゃありませんが…色々自分なりに探してみました。
探せばあるもので「ネットオークション」でもたまぁに出てきますよ。
ただ、どうしても自分の好み、刀の寸法や本数に合わせたいとなると「注文」ということになります。我家のも時代箪笥風の打ち出し金具の付いた重た～い箪笥。うちは一階の座敷に置いてます。
引き出し等、内側が桐で外側は欅です。
注文になるので業者さんには色々とワガママを聞いてもらえました。
そのたびに見積もりを出してもらって…。
価格は…けっこうしました(ノ＿・、)
でも長く使うことを考えたら…また、インテリアにもなるし…と自分を納得させています。
守重さんも御紹介されていますが、僕もいくつか↓。

http://www.rakuten.co.jp/keyaki/439332/

http://www.aitoku.co.jp/

http://www.iwatekensan.co.jp/

注文なさる場合は引き出しの中に入れる「枕」もお忘れなく。

[2132 へのレス] Re: 皆様どうされていますか

投稿者：白龍斎 投稿日：2003/11/15(Sat) 20:48

私の場合、自作成です。杉板の合板を刀の長さに合わせて、二振り入るスペースに長方形の箱を作りました。それに、蝶番２個とダイヤル式の鍵を２個付けて、頭と足に枕用の板を入れて出来あがり。

保存方法は、カメラ店で売っている「防カビ・防湿剤」の大きめな物を３個入れ、あとは、刀袋に入れて私の隣に毎晩寝ております。

ちなみに「防カビ・防湿剤」は、生石灰です。たぶん運動会などのライン引きの白線と同じ成分だと思います。

これって、何か問題あるでしょうか？？何分素人の粋を出ないいものなので、ご指摘等ありましたら個指導願います。

[2132 へのレス] Re: 皆様どうされていますか

投稿者：薩州住無学 投稿日：2003/11/15(Sat) 23:47

「肥前島原住延寿宗弘」慶応、肥後延寿鍛冶末流、同田貫宗広の同族で門人、名は寿平、明治７年没

[2132 へのレス] Re: 皆様どうされていますか

投稿者：隠居 投稿日：2003/11/16(Sun) 06:33

桐の箪笥が火事につよく燃えないことは古来から云われていたものの、木材である桐が燃えないとはとうてい信じられなかったところ、本阿弥光遜の「刀剣鑑定秘話」という戦前の書物の中にこれに関する話がありました。

それによると立花伯爵家に刀箪笥を依頼されて桐製の高価なものを作らせて納めていたところ、関東大震災の火災でこの箪笥に入れていた刀だけが助かり、立花家をはじめ関係者一同、桐という木材のもつ不思議さに感心した、とあります。

昔から藩や家の重器である刀剣をいかに保管すべきかということは論じられてきたのですが、明暦の大火や関東大震災ではかなりの数の古名刀が焼失しています。その原因のほとんどがマニュアルどうりの場所に置いてなかったという不注意だったそうです。

私はたまたま「刀剣は必ず一箇所にまとめて、数本ずつを風呂敷で包め」という教えどうりにしていて、震災に事なきをえました。

[2149] 阿州住氏重

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/11/15(Sat) 20:24

刀剣美術誌１１月号が本日、到着致しました。
中には重要刀剣新指定のリストが載っておりまして、あの人がいる～～！！って感じだったのですが・・・。
それも複数やんけ～～～！！＼(◎o◎)／！。

その中に郷土の刀の銘を発見しました。
阿州住氏重。
なかなか海部刀で重要刀剣というのも少ないはず。
見たいな～～。

[2149 へのレス] Re: 阿州住氏重

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/11/15(Sat) 23:47

１０２０件の申請で２２６件の合格。
ハードル高いですね～。…やはり出さなくて良かった…かも(;^_^A
文字だけの情報ですが気になる刀もチラホラあります。

「古青江俊次（金象嵌）光風」という刀に「大正三年」の試し銘が入っています。
『大正三年十一月於東京羽沢試之切味最上土壇払』
これって…何を斬って試したんでしょう…？

それにしても「新指定展」…見たかったです。

[2149 へのレス] Re: 試斬り

投稿者：隠居 投稿日：2003/11/16(Sun) 09:17

まず「東京羽澤」ですが、正しくは「東京府豊多摩郡渋谷町若木一番地羽澤文庫」のことで今の渋谷て、ここに「刀剣保存会」の本部がありました。当時この会は高瀬羽阜先生に近藤鶴堂こと周平先生が主宰されており、現代刀工育成に注力し、試刀会もよく行ったようです。たとえば昭和６年の「刀剣と歴史」にこんな記述があります。
「或る日突然羽澤文庫を訪れこの長幸を一つ試してみたいと云ふ。まず第１回は吾等が試みた。ヤット竹が半分切れたくらいだ。古泉秋水堂君が（中略）余が一つの巻藁をスパリと土壇払をやった。」
このように当時の試斬りは青竹を中にいれた巻藁を土壇にのせてやっていたようで、明治時代の豚を斬ったのがこの方法に変わったように思われます。

[2149 へのレス] Re: 阿州住氏重

投稿者：波平 投稿日：2003/11/16(Sun) 10:05

大変興味深く拝見いたしました。現在でも渋谷には羽澤の名を冠する施設があります。ＪＲ渋谷駅から「日赤医療センター」行の循環バスが出ていますが場所としては広尾に近いあたりでしょうか。

周辺は閑静というよりは高級住宅地で聖心女子大（ここの正門はかつて香淳皇后の実家である久邇宮家のものがそのまま使用されています。戦後、大映の永田オーナーから寄付されたと聞きました）などが近くにあり諸外国の大使館や最近のニュース等で紙面を賑わせた有栖川宮記念公園、そして南部坂雪の別れで有名な南部坂などがあります。私も散歩がてら学生時代よく散策いたしましたが刀剣保存会の本部がかつてあったとは初めて知りました。ありがとうございました。

[2149 へのレス] Re: 阿州住氏重

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/11/16(Sun) 14:42

＞隠居さん。
豊多摩郡とは渋谷区のことでしたか。知りませんでした(;^_^A
また試刀も戦前は普通に行われていたようですね。
ご教授ありがとうございました。

[2149 へのレス] Re: 試し斬り

投稿者：隠居 投稿日：2003/11/16(Sun) 19:36

そうですよ。私自身の思い出でも、中学の剣道部では初段以上になれば実刀を使って居合や試し斬りを学びました。巻き藁の芯に入れる青竹は“真竹”で今日の孟宗竹ではありません。戦前“竹”と云えば真竹のことで物干し竿にする竹ですが、この竹薮が全国いたるところに沢山ありました。戦後はこの真竹を切り倒し筍のとれる孟宗竹にかえてしまいました。「なんだそんなものか」と思われるお方もありましょうが、この竹入巻き藁を見事に斬るのにはかなりの修練が必要で、私などは（当時初段でしたが）竹にも届かぬていたらくでした。
昭和の十年代ではすでに「土壇」がなく、左右に支えをつくり巻き藁を空中に差し渡した形でした。これは昭和１２年京都武徳殿で催された全国剣道大会の試合に先立って行われた据物斬りにおいても、われわれが学校でやっていた形と同様の“竹入巻き藁”でした。これは京都武専の教師をしていた私の伯父が演者となりましたので、よく記憶しています。
尚、学校で試し斬りに使った刀は末美濃か新々刀でした。これは剣道師範の先生が伯父のお弟子さんだったせいで特別に手入れなどをやらせてもらいましたので茎をあけ分かったことです。私としては楽しい思い出です。

[2149 へのレス] Re: 阿州住氏重

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/11/16(Sun) 20:13

隠居さんのお話を伺っていると、戦前は日本刀がかなり身近なものだったことが分かります。剣道の練習の中に真剣も使われていたんですね～。
現代剣道は…どうなんでしょう？練習に使っているのでしょうか。
それと「土壇」についてもう少し教えていただけますか？。
柔らかい土を盛ったもの、が土壇と考えていいんでしょうか？
何か約束はあるんでしょうか？宜しくお願いします。

[2149へのレス] Re: 土壇について

投稿者：隠居 投稿日：2003/11/16(Sun) 20:54

こてつさん、土壇については
◎ 古今鍛冶備考　山田浅右衛門著
◎ 首斬り浅右衛門刀剣押形　福永酔剣著
◎ 日本刀の科学的研究　俵国一著
等に詳しくその歴史から作り方・使用法まで解説しています。
ここで簡単に申しますと、「土段」が原字で処刑用の道具の一つです。粘土と同量の砂を混ぜてフルイで漉し小石を除いたのち水で練ります。この水加減がむつかしいのですが、ここでは省きましょう。これを巾二尺高さ一尺程度に積み上げ台状にします。この上に罪人の死体を横たえ試刀したわけです。世に云う「ドタン場」ですね。
「稽古土壇」というのがあって、これは左右に角材を置きその中間に粘土を積みました。これだと、土壇に刀が食い込んでも形が崩れにくく再整形が容易だからです。
東京帝国大学の俵教授はこの土壇を使い、これに刀で斬りつけた痕跡の深さにより、切れ味のデーターをとっています。
現在の試し斬りは“古畳”などを使っていますが、これがいつまでもあるわけでなく、今後はまたこの土壇が使われる可能性があります。

[2149へのレス] Re: 阿州住氏重

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/11/17(Mon) 03:38

なるほど、やはり細かい作り方があったんですね。
参考書籍まで紹介していただき恐縮です！
ありがとうございましたm(__　__)m

[2149へのレス] Re: 阿州住氏重

投稿者：隠居 投稿日：2003/11/17(Mon) 05:57

真改さん、海部刀で２口揃って入っているとなると、偶然というようなものじゃありませんね。“海部刀ファン”の匂いがします。前にも云いましたが日刀保京都支部長の生谷さんは海部刀好きで有名。私は彼のコレクションの中、３口見ていますが、古参は３口とも“同田貫”と観ました。がっちりした頑健な造り込みに匂出来の複雑に入りこんだ互の目、同田貫そのものの如何にも物斬れする感じでした。３口とも氏重在銘でした。脇差は特に身幅ひろく蕨手刀を大きくしたような茎の反った異風の造り込みで「海賊の持ち物違うか」という声が上がっていました。徳島出身でなくてもカンカンの海部ファンがいるほど大変くせのある鍛冶部族です。こんな素晴らしい刀がありながら同田貫にうつつを抜かす徳島人はいないでしょうね。

[2162] 天正の泰吉

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/11/17(Mon) 06:42

う～～ん。厳しいご指摘を頂戴致しました。
うつつを抜かそうあるいは、抜かしている者が私です。^_^;。

数ヶ月前に銀座長州屋の銀座情報で海部『泰吉』の二字銘の刀を見ました。
作風は祐定風。
徳島の池田町に祐定が一時招かれ作刀した話があり、その影響を受けているかのような刀でした。
同田貫風の作風にしても、相州上工といわれる作風にしても、上手く自分たちに取り入れているようです。

海部刀の作品は、徳島県の海南町にある町立博物館に行けばたくさん展示してありますが、いまだ上作といわれるものを手に取って見る機会にめぐまれません。
一昨年から始まって今年も開催されたこの博物館での海部刀の鑑賞会も、子供の運動会に毎年ぶつかっており、無念の涙を流しております。(T_T)。

名物にもなっている海部刀ですから、重要刀剣にもしていされるような出来を持った刀に一度は接してみたいと思います。

それと、徳島県人でありながら海部刀に親しみがないのは、意外と上作の海部刀に接する機会がないこと、地元でも海部刀全体的に評価が非常に低いことがあげられます。

年に一度の支部の特別鑑賞会でも、海部刀の名品を拝見したことがありません。
こういう機会に拝見できる機会があればと思います。

[2162 へのレス] Re: 天正の泰吉

投稿者：隠居 投稿日：2003/11/17(Mon) 08:39

今回のように重要刀剣になったのがその海部刀として良かったのかとうなのか、私は？の念を無しとしません。そもそも海部刀のような地方色豊かな刀は、私が見たような如何にも実用一点ばりの刃の沈んだ刀にこそ魅力があるのであって、「出来がいい」と一般受けする物には全く魅力を感じません。
それにこのＨＰの理念とされる「公平」と「自由」な刀剣趣味のサイトが一民間指定の「重要刀剣」に権威を感じておられるように受取れる表現は好ましくありません。
この海部にしても以前の持主は審査などに見向きもしなかった筈で、何かの事情で手放され、刀屋さんが出されたものではないでしょうか。刀屋さんは「儲け」なければなりませんから、重要であれ保存であれ、証書を沢山付けることもやむを得ません。しかし刀の売買を業としない好き者がこういう証書を大事がるのは如何なものでまたこの他、旧大名家の名品の持主でこういう審査を一切無視されている方々、重要審査の実体からその価値を認めない人達、など沢山の好き者を知っています。
私の知っている垂涎の海部脇差にしても、仮に５０万円といっても一般の人はまず買わないでしょう。これにどういう価値を見つけるか、これはあくまでも個人の刀剣に向き合う姿勢の問題であり、

価値観の問題である、と思います。
「上作の海部刀」に疑問の念をもち、少なくとも魅力を感じない者もいる、ということを知ってください。

[2162 へのレス] Re: 天正の泰吉

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/11/17(Mon) 18:49

ご隠居さん。ありがとうございました。
「上作の海部刀」に疑問の念をもち、少なくとも魅力を感じない者もいる、ということを知ってください。＞このあたりのこと、特に気を付けて海部刀を拝見していきたいと思います。

今ひとつ、『重要刀剣に権威を感じている表現』についてですが、これに関しては私自身が今すぐ答えを出すことが出来ません。
重要刀剣はいまでも憧れですし、すべてがそうであるとは思いませんが、素晴らしい刀が多いと思っております。
証書と刀自体のあり方も、沢山の方が意見をお持ちと思います。
難しすぎて個人的な答えが出せないことをお許しください。

さて、本日の私宛の郵便にタイミングばっちりの案内がありました。
平成１５年度美術史アカデミーのお知らせというもので、徳島市立徳島城博物館の『日本刀の魅力を探る』と題した講演の案内でした。

全部で４回あるのですが、その中に、海部町立博物館館長　岡田一郎氏の『海部刀の謎を探る』というものがありました。
岡田さんは、海部刀のコレクターとしても有名であったようで、博物館の展示されている海部刀は岡田さんの所蔵品がほとんどである（あるいはあった）と聞いたことがあります。
この講演に参加して、海部刀の魅力についても質問して参りたいと思います。

徳島にいても、海部刀との接点があまりにもなかった私ですので、じっくりと講演を聴いて参ります。
来月の中旬のようです。

[2162 へのレス] Re: 天正の泰吉

投稿者：隠居 投稿日：2003/11/18(Tue) 02:45

徳島城での刀剣セミナー、面白そうですね。とくに海部刀の話、ぜひかいつまんでお伝えください。
県外にもああいう地方色豊な脇物ファンのいることをお忘れなく。
重要などの問題は、その価値を認めないというのでは決してなく、「証書の有無にこだわらず刀そのものを素直に見ましょう」ということです。重要の刀が一般的にいい刀であることを否定するものではありません。

[2164] 試し斬り

投稿者：右行劣 投稿日：2003/11/17(Mon) 09:56

隠居様　皆様　明治時代の豚を使用した試し切りについてお教え下さい。以前何かの文献にて当時の刀剣会のメンバーが、谷干城邸にて試し切りを行ったようなことが載っていたように記憶していましたが？確かではありません。また谷邸にて試した旨の切り付け銘のあった親国貞もあったように思いますが、これも確かではありません。ご教示ねがえませんか。

[2164 へのレス] Re: 試し斬り

投稿者：隠居 投稿日：2003/11/17(Mon) 10:08

右行劣さん、豚というのは明治の頃は「家猪」と書いていて、これを「いえしし」と云ったのか外の言い方をむしたのか知りません。多分シナ方面で変われていた黒毛の豚を死体の代用で斬ったのだと思います。たしか乃木大将の家猪斬りは有名ですね。
只今会社、今夜調べますからお待ちください。
ところで隠居様でなく、皆さん同様「さん」でお願いします。

[2164 へのレス] Re: 試し斬り

投稿者：隠居 投稿日：2003/11/18(Tue) 05:45

すみません。出典が見つかりません。多分こういうことを書くのは福永酔剣氏だろうと彼のものを当りましたが試し斬りの歴史を書いたものにもありません。試し斬りの顛末を刻した茎の押形が頭に残っているのですが・・・
皆さんのお力をおかりしたいと思います。

[2164 へのレス] Re: 試し斬り

投稿者：右行劣 投稿日：2003/11/18(Tue) 08:13

隠居さん　ありがとうございます。皆さんの、お力添えどうかよろしくおねがいします。

[2164 へのレス] Re: 試し斬り

投稿者：出島屋 投稿日：2003/11/18(Tue) 23:05

「刀の値段史・光芸出版」の中にひとつありました。

黒田清隆
　明治２１年、伊東博文のあとを受けて総理大臣となった黒田清隆は、旧薩摩藩有数の愛刀家でもあった。
黒田は刀は切れることが先決という考え方で、兼定作の刀を最も愛好していた。
従って刀を入手するとよく試し切りをして、捲藁ばかりでなく豚を切ったり、兜を試したりするという有様で、随分名刀を痛めたようである。あるときなどは兼定の刀で豚を切り、歯に当って物打５，６寸より折れてしまったため、その切先を短刀に直して蔵刀に加えたという。（後略）

[2164 へのレス] Re: 試し斬り

投稿者：隠居 投稿日：2003/11/19(Wed) 06:28

<出島屋さん、こんにちは。
「歯に当って刀が折れた」というのであれば豚を生きたまま（杭につないだりして）斬ったようですね。当時の高官は勇ましいものですなー。
よく調べて頂きました。おおきに。

[2172] 無題

投稿者：右行劣 投稿日：2003/11/19(Wed) 08:26

出島屋さん。はじめまして右行劣ともうします。貴重な情報ありがとうございます。明治３３年８月東京麹町区富士見町５丁目１１番地に刀剣会本部が、発足する以前のことでしょうね。これからもどうぞよろしくお願いします。

[2172 へのレス] Re: 無題

投稿者：出島屋 投稿日：2003/11/19(Wed) 12:03

はじめまして、右行劣さま、
普段は眺めているだけで、色々と勉強させていただいています。
ご隠居さん、ご無沙汰致しております。
１１月は重要審査発表の月、、なんて盛り上がっている最中に隠居さんの御言葉、グサリっと来ます m(,,)m

ついでに試し斬りの続きですが、
、、、またあるとき、本阿弥琳雅が井上真改の刀を持参したおり、黒田にこの刀は折れるといわれ、琳雅が大出来であるから折れぬと答えると、試すということになり、遂に庭前の青銅の大手鉢に叩き付けたが折れず、琳雅は大いに面目をほどこしたという話も遺っている。、、、、
とあります。
兼定や真改の刀を試す、ということで恐ろしくなります（笑）が、刀の価値を充分に分かっている明治時代の愛刀家の話として聞くと、刀が刀として扱われていた、とも感じます。
もちろん美術品よりも高い位置にあった訳ですが、、、

[2174] 審査会場にて

投稿者：薩州住無学 投稿日：2003/11/20(Thu) 22:08

例の刀を審査会場に持っていったときの話です。
登録審査は私自身二回目だったのですが、前回と比べ登録の多さに驚きました。
一番目の人は火縄銃と錆び身五振り。二番目が、事情が良く分からないのですが他県の登録が付いたものを含めて八振り程と火縄銃二丁。かなり時間が掛りました。新たに発見されるものがまだこんなにあるのかと驚いた次第です。
嬉しかったのが薩州で唯一の刀匠、藤田盛篤、盛和親子に会えたことです。打ち下ろしの刀と脇指の登録に

来られておりました。藤田刀匠は薩州宮之城に住され相州伝の刀を打たれております。一度拝見したことがありますが迫力のある姿に沸の強い躍動感のある刃紋の刀でした。特に盛和さまには私の持ってきた刀を観てもらい且つ色々アドバイスも頂きました。
価格にしては良いものだと褒めて頂き、古刀で地肌も変化があり面白い出来で時代のあるものだから大切に手入れしなさいとお言葉を頂きました。
別の方にも拵えだけで十分元は取っていると言われ、嫌な思いをした分嬉しかったです。
未だ新規の登録証はもらってないのですが、お役所仕事は遅いですね…。

[2174 へのレス] Re: 審査会場にて

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/11/20(Thu) 22:25

無事に解決できたようでなによりです。
私も通販自体が好きなこともありますが、ネットオークションの魅力も理解できます。
しかし、こと刀に関しては薩州住無学さんのレポートが、多くの人を救われると思います。

私は登録審査は二度だけ行ったことがありますが、確かにその時に『新たに発見されるものがまだこんなにあるのかと驚いた次第です。』と同じ感想を抱きました。
徳島では、登録のための手続きが済めば、その場で登録証をラミネート加工したものをいただけます。
警察での発見届けの際の刀の扱い方には閉口しましたが、審査会は刀剣に詳しい人が揃っておられたので、安心して登録が出来ました。県の職員の人も刀剣に関心の高い方でした。

登録のいい加減さというよりも、見落としが多いのではと思ったことがあったのは、家伝の槍の銘の阿州臣石川正守の『守』を『平』と読んで登録していたことで、これはその後、登録の変更を行いました。
登録の数の多さが膨大であった時代には、こうした間違いもあったのかもしれません。

いずれにせよ、登録審査の係りの方も限られた時間でたくさんの刀を計測して登録するのですから、大変なご苦労でしょう。

[2174 へのレス] Re: 審査会場にて

投稿者：菊久 投稿日：2003/11/21(Fri) 06:54

薩州住さん、
「おつかれさまでした」

一段落したようでなによりです。
それに、刀の出来も良かったようで、登録したかいが有ったというものですネ(^^)

それにしても、登録費用ぐらいは業者に持たせたいですね。

[2174へのレス] Re: 審査会場にて

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/11/21(Fri) 12:57

結局、登録しなおす方を選ばれたわけですね。
…こうなると、どんな刀なのか気になります…(#^▽^#)
拵えの付いた古刀…とのことですが、どんな刀なんでしょう？

ともあれ「お疲れさま」でした。
色々な意見があり、僕も勉強になりました。

[2178] 備前の名刀展

投稿者：鬼丸 投稿日：2003/11/23(Sun) 08:44

昨日、佐野美術館で開催されている備前の名刀展を観覧してきました。
正宗展の時とは対象的に入館者は少なく「ゆっくり」と鑑賞できた。
今回は、図録及びビデオの販売もなく、少し寂しい感じがした。
展示刀は、古備前から末古刀まで３２口の古名刀、喉から手が出そうな
ものばかりでした。
先日、購入したばかりのギャラリースコープを持参し地鉄や刃文を堪能、
手に取って鑑賞するのとは迫力が違うが、あるのとないのではこれまた
違い、他の入館者より少しだけ得をしたように思いました。
佐野美術館は、刀剣博物館と比べると照明があまりよくないので鑑賞の
補助手段としては最適かもしれない。
また、この日は渡辺妙子館長のギャラリートークがあり作品の１点１点を
丁寧に初心者でも解るように薫山先生との思い出話を交えながら解説を
されていた。
主な展示品は次のとおりです。
太刀銘：包平（重美）、利恒（重美）、順慶（重美）、真守（重文）
　　光近（重美）、雲生（重美）、景安（重美）、光忠（重美）
　　景光（重文）、長元（重文）
刀無銘：吉岡一文字（重文）、金象嵌銘：兼光「名物大兼光」（重文）
金象嵌銘：久留米侍従秀包所持鉄砲兼光
薙刀銘：備前国長船住人長光造（国宝）・・・・・・・などなど。
特に、国宝の薙刀は全体の姿や地鉄・刃文・中心まで一点の緩みもない、
健全で言葉では言い表せないほど美しく感動を覚える作品でした。

展示品の半数以上が重要美術品以上の名品ばかりです。
一同にこれだけの備前の名刀を見られる機会は滅多にありません。
興味のある方は静岡の三島まで出かけてみては・・・v(^^)v

[2178へのレス] Re: 備前の名刀展

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/11/23(Sun) 14:29

さっそく行かれましたね、ご報告をお待ちしてました(#^▽^#)
これだけ備前の名品の揃った展示なら是非行きたいものです。
確か１２月にも渡辺館長のギャラリートークがありましたね。
ところでギャラリートークとは…？講演とは違うんですよね？
一点一点を解説していただけるんでしょうか。

[2178へのレス] Re: 備前の名刀展

投稿者：菊久 投稿日：2003/11/23(Sun) 17:40

鬼丸さん、
一日違いでしたネ。

私は本日、いつもより早く目が覚めたので、三島まで刀剣鑑賞ドライブしてきました。私はシングルドライブでしたが、鬼丸さんは勿論、笹丸さんと仲良く刀剣鑑賞でしょうネ(^^)

朝の４時出発で、ほん先ほど帰宅したところです。
私は先に、久さんお勧めの三嶋大社「宝物館」を訪ねてから佐野美術館入りという行程でした。
本当は、昨日のギャラリートーク日に行きたかったのですが、土曜は確実にお仕事が入るためダメ日・・・残念。（笹丸さんとも一年ぶりに再会できたかも）

[2178へのレス] Re: 備前の名刀展

投稿者：隠居 投稿日：2003/11/23(Sun) 19:24

正宗展より佐野美術館の備前は心感動が大きいと思います。私は三度見ましたが、大兼光の地金、こまかく四方八方に張ったくもの巣状の地景には驚きました。あの豪壮な造りに似合わず緻密な地鉄の仕組み、じがねは兼光が最右翼といわれるゆえんがあの刀で分かりました。また長元もいいでしょう。長光の弟で蔭の代作者といわれる上手です。
オペラグラスにペンライト持参でしたか？じがねを見ようとするとこういう道具も必要ですね。

[2178へのレス] Re: 備前の名刀展

投稿者：鬼丸 投稿日：2003/11/24(Mon) 08:12

＞こてつさん
　ギャラリートークは大体１時間位の予定で作品の１点１点まで
　とはいきませんでしたが渡辺館長の解説がありました。
　また、作品やその他の質疑応答も可能ですが、時間に制約が
　ありますので、私は質問せずに一言一句を聞き漏らさないよう
　拝聴させていただきました。
　講演とは違い、刀と渡辺先生を身近に感じるそんな催しです。

＞菊久さん
一年振りに再会できたかもしれんませんでしたね。残念です。
もちろん、笹丸も同伴でした。彼女は「雲生」の生姿の太刀を
大変気に入ったようで暫くその場から離れようとはしませんでした。
いつもながら菊久さんの行動力には頭が下がります。
遠路はるばるご苦労さまでした。
＞ご隠居さん
長元は長光の手となり足となり長船の長光工房を支えた人物だと
渡辺館長も解説されていました。
特に銘の「長」の字は長光の「長」の字とウリ二つです。
こんなところからも長光の側近だったことを首肯される訳ですね。
「ペンライト」忘れました。これから来館予定の方ペンライトも
お忘れなく。

[2178 へのレス] Re: 備前の名刀展

投稿者：菊久 投稿日：2003/11/26(Wed) 09:58

＞ご隠居さん

「ペンライト」というと、先日行った『泉屋博古館・刀剣、刀装具展』では、ペンライトを館が常備されており、「ご自由にお使い下さい」との張り紙がありました。
この辺の心配りが、大変うれしく思った次第です。

[2178 へのレス] Re: 備前の名刀展

投稿者：隠居 投稿日：2003/11/27(Thu) 10:42

菊久さん、そうですか。ペンライトまで用意している会場を私は過去にしりません。そこまで気を使っている主催者なら、多分ライトの当て方も最善でしょう。
会場によってはつよいライトを避け光源を一段暗くしているところがありますから、ペンライトがあった方がいいですね。

[2182] 徳島県支部特別鑑賞会

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/11/23(Sun) 20:52

日刀保の特別鑑賞会が、本日、徳島県郷土文化会館にて開催されました。
日刀保本部から鑑定刀が五口。講師は中村良和先生。
参加者も約３０名と、盛況でした。
しかし、２０代の参加者は０で、２０代の会員がいるかどうかも知りませんが、ちょっと将来暗いと感じさせるものでした。

それと、鑑賞の心得として、鑑賞部長からはばきの上から指が刀身に触れないことと、鑑賞中は会話をしないこと、他からも話かけないこと。などの諸注意が口頭でも掲示でもされたにもかかわらず、会員参考品と

して出された刀のはばき上にくっきり指紋がついていたり、しゃべったりと一部の不心得者がおり、鑑定部長もさぞや情けなく思っただろうと、心中をお察し致しました。

会員出品刀の指紋は、私が発見し、所有者に連絡し、直ちに打ち粉にて手入れが施されましたが、刀剣鑑賞に通じていると称している人達でもこうした間違いが事実あります。ベンジンなどの手入れ方法の論議になってしまいますが、打ち粉だけでくっきりと付いた指紋の影響が取れるかどうか本当に心配でした。

私自身は、例年の如く、マスクを着用して臨みましたが、来年からはマスクと手袋着用の方がよろしいのではないかと、心底思いました。９９人が出来ていても１人ができていなければ何にもなりません。このあたりのことを支部にも提案してみようと思います。

さて、愚痴はこの辺りで終わって、鑑定刀について中村先生の解説をもとにレポートします。
入札の成績は満点が４人も出て、４人が天位でおしまい。(@_@;)。
成績は上が満点から下が８５点までと、好成績でした。＼(~o~)／。

一号刀　『長谷部国重　脇差』重要刀剣
身幅広く、重ね薄く、寸伸び、直刃調でのたれた刃文。刃寄り棟寄り柾がかり、地鉄肌立つ。
典型的な南北朝の体配でした。

二号刀　『備前倫光　短刀　康安元年七月日』藤沢コレクション
重ね薄く、板目肌肌立ち、直ぐ映り立つ。刃文、小のたれ、互の目で角張る刃混じる。帽子、乱れ込み先尖る。

三号刀　『古伯耆　安綱　太刀　毛利家伝来　埋忠銘鑑所載のものであろうとのこと』
腰反り高く、踏ん張りのある先が伏せ気味になった太刀姿。身幅に比して鎬幅狭く、平肉豊かに付き、ゴロっとした感じ。板目大模様で、地斑状の映りあり、黒みかかる地鉄、肌荒ぶる。焼刃低く、小互の目連られたものが小乱れの中に見られる。区際に焼落としと水影状の映りあり。　安の字に比べて、綱の字が大きく右に寄っている。

四号刀　『津田近江守助直　元禄二年　以地鉄下風作』重要刀剣
濤瀾乱刃、姿は比較的大坂ものに見られる、寸詰まりの感あり。焼出しを強調し、互の目目立つ濤瀾乱が多いのが特徴。焼き刃の谷の部分にも刃幅を持たしている。

五号刀　『坂倉言之進照包　延宝八年二月日』重要刀剣
この年期は、包貞から照包に改名した年月であり、重要とのこと。
濤瀾乱。寛文新刀の体配。やや切先伸びる。平肉が落ち、棟のおろしが急である。片山乱れ、矢筈状の乱れ見られる。刃中に互の目足が二つ三つ揃って入っている様子が見られる。

ということで、ざっとこんな具合でした。

また、会員参考出品刀としては、

①阿州臣笠井尊護　明治二年二月日　脇差
②備中国住次□　文和二二年三月

で、①は日本で最後の切腹であるとされた稲田騒動の前年の年期があり、②は北朝年号が入っている貴重なものでした。
また、②は残念なことに半分から折られており、昭和４０年代の頃、前の所有者が刀を所持していると違反になると恐れて叩き折ったものとか。先は綺麗にそれらしく補修されておりましたが、刃文が途中で消えております。
まことに残念なことです。こうした誤解で消えた刀剣も多数あったのではないかと推察致します。

さて、画像掲示板にも雰囲気をお伝えするために、会場や刀を写したものを投稿しました。
ご覧下さい。
今年は今までになく、より真剣に拝見できました。

柄をはずしてからの鑑賞時間がほとんどなく、これが大変残念です。もう少し時間があればと思いました。

以上です。

m(__)m。

[2182 へのレス] Re: 徳島県支部特別鑑賞会

投稿者：花散里 投稿日：2003/11/25(Tue) 22:01

若い人に参加してもらうには、どうすれば良いのでしょうね(^_^;)
時代劇などから刀に関心を持つ若い人を、ただ座して待つしかないのでしょうか・・・
何か、多くの人々が抵抗無く受け入れられる啓蒙活動などが、あれば良いのですが。

勉強会などの出席者のマナーは、確かに問題です。
頭では分かっていても、つい・・・と言うことでしょうね。
言っても分からない人には、時代劇などでよくみるように口に懐紙を咥えてもらうしかありませんね(^^ゞ

それにしても、昭和４０年代になっても、誤解から刀を損ねる人がいるとは・・・(-_-;)

[2182 へのレス] Re: 徳島県支部特別鑑賞会

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/11/25(Tue) 22:15

ホッとしました。^_^;。
誰からも返信がないので、言ってはいけないことを言ってしまったのかと、ドキドキしてしまいました。

でも、今回のマナーの問題も悪気はないのですよ。きっと。
気がつかないうちに刀身に触ってしまっていた、興奮のうちに、または、盛り上がって喋ってしまう、ということなのでしょう。
でもでも、鑑賞部長からもそういう点を注意してください！とわざわざコメントがあったので、これは過ちと言ってよいのか・・・。

今回、会員所持の参考刀でこんな悲劇があったわけですが、このようでは恐ろしくて提供できないといった風潮が勉強会等でも出てしまっては勉強の資料にも事欠かないか心配です。

取り返しのつかない事態。それを鑑賞部長も心配しておられました。

マスクと手袋。やはり必需品のような気がします。

[2182 へのレス] Re: 徳島県支部特別鑑賞会

投稿者：花散里 投稿日：2003/11/26(Wed) 08:06

出品された刀からは、「名刀や勉強になる刀を」という主催者側の配慮が見て取れます。
普段はガラス越しにしか見ることができない名刀を、手にとって思わず興奮して・・・というのは有り得ますね(^^)
口で言うのは簡単ですが、その場にいれば私も興奮してしまうかも知れません(^^ゞ

大切な日本の文化財ですから、ＮＨＫの教養講座ででも取り扱い作法を放送して欲しいですね(^^)

[2182 へのレス] Re: 徳島県支部特別鑑賞会

投稿者：隠居 投稿日：2003/11/26(Wed) 13:15

真改さん、刀剣の例会で並べた刀の“刀身に指紋がつく”というのはいけませんね。
私たちの会でも、借りている会場の関係者が見学に来られたことがあり、並べてある刀を手に取ったとみるやいきなり刃に指を当てる所作をされて驚いたことがあります。いくら刀の作法を知らないと云ってもこれは常識の問題です。しかし最近は居合道の師範クラスが平気で刀を跨ぐと聞きますから常識に期待できないのでしょうね。どなたか幹部の一人が監視するぐらいでないと、事故が起こるかもしれません。
知らない人に刀を拝見する作法をきちんと説明することは絶対に必要だと思います。

それに満点が４人とは大したレベルですね。普通満点は「見知り」が３本くらいないと無理なんですよ。・・・

[2182 へのレス] Re: 徳島県支部特別鑑賞会

投稿者：numarokuya 投稿日：2003/11/26(Wed) 22:42

花散里さん。
大刀剣市で脇指を拝見させて頂いた時の私の作法は如何でしたでしょうか？
気が付かれた事が有りましたらご指摘ください。m(__)m

今思い出してみると注意をしていた積もりでも脇指を前にして、ついつい話しをしてしまいました。(+_+)

[2182 へのレス] Re: 徳島県支部特別鑑賞会

投稿者：波平 投稿日：2003/11/27(Thu) 00:07

私も経験があります。刀を見た後、知人が白鞘を左腰にしてパチン音をさせて納刀したのです。声

にならない私の悲鳴を聞いてください。私も反省しました。ご年配の方で大変に人柄を尊敬している方なのですが、それと刀の扱いを知っていることは別なのだと・・・。

[2182 へのレス] Re: 徳島県支部特別鑑賞会

投稿者：花散里 投稿日：2003/11/27(Thu) 00:55

＞numarokuya さん
私の脇差しをご覧に入れたとき、numarokuya さんはとても自然な鑑賞をしておいででした。近すぎず、遠すぎず、柔らかな物腰で。
確かに話もしましたが（私が話しかけた・・・(^_^;)　)、口を開くときはスッと顔とは反対側に刀を逸らしていました。
私は、何の心配もしませんでしたよ(^^)

[2182 へのレス] Re: 徳島県支部特別鑑賞会

投稿者：numarokuya 投稿日：2003/11/27(Thu) 21:35

＞花散里さん
そうですか、安心しました。(^_^)v
作法も直接教えて貰った事等も無く、知識も刀剣書籍や此方の画像掲示板等を観ての、殆ど自己流でしたので不安でした。
花散里さんのお陰で少々自信を持てました。(^_^)
また機会がありましたら脇指を拝見させてください。

[2183] 豚斬りの真説ご紹介

投稿者：隠居 投稿日：2003/11/24(Mon) 07:40

豚切りの真説を発見しましたのでご紹介します。
書籍は「刀園　主幹本阿弥光遜　昭和１２年１２月号」
筆者は栃内元吉氏、当時８７歳、西南戦争に従軍され谷干城らと僚友の老将軍です。

「明治二十二年秋、黒田伯爵邸に豚切りの催しあり、同好の来客七八人、豚切り場所は追込み所と土壇場の二ヶ所なり。
追込み場は長五間、両側に高さ三尺、巾三尺の廊下の如きものを設く。一方より入り一方に出口あり。出口において豚の駆け来るを切る設備なり。
来客の中普通拵の日本刀を帯し、この廊下を駆け出る豚を出口にて一刀両断せし人は、仁禮中将、奈良原繁男及菊池晩節の三人なり。三人の技術は甲乙の差なし。
日本刀に切柄を仕付け、抜刀して出口に待ち構へ、一刀両断せし人は、樺山将
軍外一人。谷干城将軍は同一姿勢、自身の軍刀兼定に切柄仕付、三分の一許（ばかり）切れ、刀身を切口に挟み、豚左方に転墺、為めに刀身曲る。
他の人々は、豚の死体を土段に据え、切柄を仕付たる刀を以て試み、過半土段に切付けたり。
仁禮、奈良原及菊池の三人は、豚の駆出る後足（が）、柵を離るる瞬間抜打ちの早業驚き入りたるものなり。
（中略）

近来巻藁切りの練習大分盛んになつた。水戸の高瀬羽皐と云ふ人、巻藁切りを主張奨励された為めであらうと思ふ。然るに切ると云ふ事に付、刀の使用練習不十分の様に思ふ。刀を振り上げ切込むには、刀の使用操作を能く練習せなければ不可ない。巻藁を切るに切柄を仕付けて切る所を見るに、随分無理がある。其の無理は所謂刀の使用操作の練習不足から来る様に見へる。従つて切り込む刀に往々無理がある。刀を痛める。
（中略）
物を切るのに切柄を仕付なければ切る事至難であるとならば、徳川幕府になつて三百年、武士の用ひたる刀剣の拵は、全く無意味な訳になる。決して左様なものではない。普通の拵にて充分なものである。
（中略）
刀剣使用操作の其の大要を申せば、棒樋のある刀身を振て空気に触れ音のせぬ事、樋のない刀身を振て空気を切る音のする事、此程度の練習進めば、物能く切れて刀身を痛めず、柄も折れぬとの教訓あり。」

これを読んでの感想は、世に出ている多くの刀剣書に書かれたものがいかに原点から離れた「孫引き」であるのか、そのいい加減さに一驚します。それにしても真実、その場に立会った人の証言は迫力が違います。

右行劣さん、出島屋さん、・・・沢山の書本を探しました。

[2183 へのレス] Re: 豚斬りの真説ご紹介

投稿者：名将の揃い踏み 投稿日：2003/11/24(Mon) 21:28

谷干城は西南戦争で熊本鎮台を死守した名将。仁礼中将は仁礼景範、軍艦金剛艦長として壬午事変（明治 15 年）で仁川に出動し済物浦条約を結んだ知将。樺山資紀は明治 27 年日清戦争の黄海海戦の時貨物船西京丸で清国北洋艦隊に突撃した猛将で故白州正子女史のお爺さん。だと思います。日清戦争直前の意気軒昂な時代でした。

[2183 へのレス] Re: 豚斬りの真説ご紹介

投稿者：隠居 投稿日：2003/11/25(Tue) 01:05

名将の揃い踏みさん、そうですか。谷干城はよく知られていますが、そう伺うと当時の陸海軍は仲がよかったようですね。歴史の側面がよく分かります。おおきに有難うございました。

[2183 へのレス] Re: 豚斬りの真説ご紹介

投稿者：右行劣 投稿日：2003/11/25(Tue) 12:59

隠居さん。どうもどうもありがとうございました。小生の実家は谷干城将軍の生誕地のすぐ近くにあります。戦前は立派な銅像もあったようですが、戦時中に供出したそうで現在は石碑だけになっています。子供の頃は、よくそこで遊んだものでした。ありがとうございました。また使用刀は、兼定でしたか。以前ときどき刀剣通販誌に谷将軍遺愛刀が何振りかでていたようでしたその何れもバリッとした刀だったと覚えています。実戦をくぐり平時も鍛錬を怠らない名将達の愛刀はどのようなものだったでしょうか、興味をおぼえますね

[2183 へのレス] Re: 豚斬りの真説ご紹介

投稿者：出島屋 投稿日：2003/11/25(Tue) 18:49

隠居さん、名将の揃い踏みさん、ありがとうございます。
本に出ているからと何でも信じてしまうのも考えものですね、
また、刀剣使用操作のお話など、大変参考になります。

[2183 へのレス] Re: 豚斬りの真説ご紹介

投稿者：法城寺 投稿日：2003/11/29(Sat) 10:19

＞ご隠居さま、みなさま
突然の横レスで申し訳ございません。
ご隠居さまの親スレッドですが、非常に参考になりますので保存させていただいても構いませんでしょうか？

[2183 へのレス] Re: 豚斬りの真説ご紹介

投稿者：隠居 投稿日：2003/12/05(Fri) 19:32

法城寺さん、出典は文中に記載のとおりです。ただ原文は旧かな旧書体ですから、これを忠実に守ってください。

[2200] ラスト・サムライ

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/11/30(Sun) 02:47

http://www.lastsamurai.jp/index.html
↑
か、かっこいいです…。期待しちゃいます。
洋画でもこういうのなら…見てみたいです。
どなたか試写会で見た！なんて方はいらっしゃいませんか？

[2200 へのレス] Re: ラスト・サムライ

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/11/30(Sun) 06:28

子連れ狼を見るために週刊ポストを買った時、その中に紹介があり、私もとても見たくなりました。職場の２０代の男性同僚も、普段は時代劇は見ないけれども、これは見たい！と言っておりましたから、宣伝も相当浸透しているようですね。(~o~)。

先行上映がされているようですから、きっとご覧になられた方も大勢いるでしょうね。
うらやましい～。

我が家は現在、子供たちと『あずみ』の DVD にはまっております。(^^ゞ。

来月はターミネーター３が発売されるし、年明けはヒーローが発売されるようですし、映画に行けなかった分はこちらで取り返します。(^o^)丿。

ちなみに子供たちの一番人気の時代劇は、『クレヨンしんちゃん　あっぱれ戦国時代』です。これも意外と大人でも泣ける場面があります。
私も何度も一緒に見さされているうちに、好きになりました。(^^ゞ。

[2200 へのレス] Re: ラスト・サムライ

投稿者：越中国住人 投稿日：2003/11/30(Sun) 08:32

昨日、先行上映で見てきました。
トムクルーズが、コマーシャルで言うように気合が入っていたように思いました。
それ以上に、渡辺謙をはじめとする日本人の出演者が輝いていたように思います。
細かい話は、ネタばれになりますので興味のある方は劇場で見ていただきたいのですが、武士の切ないほどにまっすぐで毅然とした生き方、完璧を求め努力する日本人の生き方をうまく表現していたように思います。
日本人が失いつつあり、失ってはいけないものを再認識させられました。
私達が、愛してやまない日本刀の主であった武士の考え方や、生き方を思うとき、現代、日本刀に関わる者として常に心美しく曇りの無い生き方をしなくてはいけないと思いました。
そう言った意味でも、外国製の日本映画としては出来の良い作品だったと思います。
可能な方は、是非劇場で御覧下さい。

[2200 へのレス] Re: ラスト・サムライ

投稿者：薩州住無学 投稿日：2003/11/30(Sun) 11:49

まだ観ておりませんが外国映画であることを抜きにしても出来が良いそうですね。外国人スタッフも日本人スタッフ以上に勉強し資料もかなり揃え、日本人スタッフの間違いすら逆に指摘するほどの知識の豊富さだったそうです。そういう外国人スタッフの勤勉さに、こんにちの日本映画界、またＴＶの時代劇製作ももっと真剣に作らなければと出演者のかたがコメントされておりました。
刀剣の世界も外国の方にも愛好家がおられますが、日本人であるというだけで刀の知識は上だみたいな驕った考え方は恥ずべきで、むしろ資料の豊富な日本に住している日本人程更なる知識の吸収に励まなければならないと思う今日この頃です。

[2202] 手入れ用布

投稿者：隠居 投稿日：2003/11/30(Sun) 07:54

最近刀剣の手入れ用として”拭くだけで油がとれる”布か紙かが出ているそうですが皆さんご存知ですか？
そしてこのマジッククロスのような布は少しでも早く油をとることを好む居合の人たちや刀屋さんに歓迎されているようですが、如何ですか。

[2202 へのレス] Re: 手入れ用布

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/11/30(Sun) 08:29

はい。知っております。また、持っております。
確かに使用してみた感じでは、刀身に対してひけ等の悪影響を与えるようなことはありませんし、

油もしっかりと取ってくれます。
居合での使用は知りませんが、刀剣商さんの間でも使用しているようです。

この布を使用する前は、打ち粉で白ネルの生地を用いて手入れをしておりました。刀剣の解説書を見るとどの本も『奉書紙』を用いるとありますが、私自身は今まで奉書紙で拭っている人を見たことがありません。
それは、愛好家や職方を問いません。
もっとも、私のような地方に住んでいる者が見聞きする程度はしれているでしょうから、ネルを用いているほうが少ないのかもしれません。

刀剣の手入れをするにあたっては、刀剣に対して悪影響を与えない最も良い方法を選択したいし、尚且つ簡便であれば初心者でも刀剣に対して損傷を与えなくても済むあるいは、少なくて済むと思います。

打ち粉と奉書紙での手入れは最も基本的なことと思いますが、刀剣商さんのように一日に多数のお客さんを相手に刀を見せる立場の人では、毎回毎回、打ち粉と奉書、それに丁子油にて手入れを繰り返すのは大変と推察致します。
同じ刀を日に何度も見せる可能性も高いでしょう。
こうした場面での使用に今回の『布』は特に有効と思います。

刀身についた指の脂や飛んできた唾でさえも除去されると聞きました。

実際に触れてみると非常に柔らかいものです。

[2202 へのレス] Re: 手入れ用布

投稿者：波平 投稿日：2003/11/30(Sun) 18:06

ご隠居さん、真改さん。私もつい先日知りました。前から刀剣商の方が使用しているのに気付いて袱紗にしては変だなあと思っていました。そういえばかなり前からメガネのレンズなどの光学製品を清掃するのに、汚れよりも細かい粒子を持つクロスが使用されて話題になっていました。基本的には同じもののようです。シリコンクロスのように化学物質が付着しているのではなく、細かい繊維そのものに汚れを取り込んでしまうしくみなのでごく最近私も使用をはじめました。グレーのやや大ぶりのクロスです。以前は私も真改さんと同じように白ネルをよく洗ったものと打ち粉を使用していました。

[2202 へのレス] Re: 手入れ用布

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/11/30(Sun) 18:14

初めてこの布について知った方のために・・・。

実は、この『布』についての話題は、過去にも討論されたことがあります。
詳細は過去ログから入っていただき、過去ログ５ページの７２８を参照して下さい。

[2202 へのレス] Re: 手入れ用布

投稿者：隠居 投稿日：2003/11/30(Sun) 19:41

真改さん、波平さん、そうでしたね。〝す以前花散里さんが云っておられた「マイクロ繊維の布」でしたか。あれならポリエステルではありますが、刀身をつよく擦らない限り悪影響はないと思います。
ベンジンの使用は刀を脱脂しすぎるのでいい筈はありません。刀はミクロ的には無数の微小間隙をもつ海綿体なので内部の油成分まで完全に除去することは百害あって一利なく、危険きわまりないことです。油をとるのは一時的な鑑賞のために表面についた油だけ取ればでいいのですから、刀のオーナーであるわれわれが一分一秒を急ぐ刀屋さんの真似をする必要はありません。われわれの前には客などいないのです・・・。
われわれ刀のオーナーは、古式にのっとり丁子油の香りに心気を正して、ゆっくりと手入れしてください。
奉書紙は全体が真綿のようなソフトさになるまでゆっくり揉んだものを使用します。また打ち粉は内曇砥の研ぎ汁を精製したものを用い、刀身にはかるく「置くようにしても」粉が出るくらいたっぷり入った研師製のものを手に入れてください。（１～２万円程度です。）また打ち粉による手入れはたいへん難しいものですから、ちゃんとした手入れの仕方を伝えられている古参に実地指導を受けてください。そうしないと打ち粉と拭い紙による手入れによって研磨面をそこなうおそれがあり、逆効果なのです。

[2202 へのレス] Re: 手入れ用布

投稿者：波平 投稿日：2003/11/30(Sun) 19:48

真改さん、ご教示ありがとうございました。なるほど「過去ログ」は厚手の参考書のようで為になりますね。折りを見て過去ログを読んでみます。ご隠居さん、打ち粉についてのお話、よくわかりました。又、過去ログからも刀に向き合う姿勢の大切さを感じました。又、打ち粉が「研師」の方のつくられたものがベストでたっぷりと、そして刀身に置くようにするだけでも打ち粉がでるくらい・・・という表現が大変に具体的です。ところで今日、私は日光から帰ってまいりました。しばらくぶりの東照宮ですが紅葉の終わりにぎりぎりセーフという感じです。「一文字」をはじめとする名刀を楽しみましたが・・・昨日ホテルに到着して部屋に入ると茶菓子が散乱、ティッシュペーパーも引き出されていました。すわ泥棒かと思いきや猿のいたずらということでしばし友人と唖然！露天風呂でもその姿をみかけました。そういえば「猿（ましら）切り」と名のある刀があったと思いましたが、素早い猿を相手ではよほどの腕でなければできない技でしょうね。

[2202 へのレス] Re: 手入れ用布

投稿者：隠居 投稿日：2003/11/30(Sun) 20:49

古参に習え、と申しましたが、古いだけで我流の方も結構多いですから、本部の先生か、できれば信頼できる研師の方に習ってください。特別にむつかしいわけでありませんが、こういうものは「見て覚える」ものですし、そうしないとわかりません。何事にも法あり、百聞は一見にしかず。

[2202 へのレス] Re: 日光

投稿者：剣豪？さん 投稿日：2003/12/01(Mon) 11:52

皆様、こんにちは。
波平さま、とんだ災難でしたね（＾＾；私も、最近日光へ参りまして、東照宮などへ行きました。二荒山神社では、「太郎丸」という大太刀を見てきました。本当は、「祢々切丸」が見たかったのですが、どうも、近辺の地理がわからず、宝物殿へ辿りつけませんでした（＾＾；

[2202 へのレス] Re: 手入れ用布

投稿者：隠居 投稿日：2003/12/01(Mon) 12:47

波平さん、日光といえば昭和も終りに近い頃、宝物殿の特別鑑賞会に参加し、真恒の太刀を手にとった取ったところ、余りの豪壮と深い反りのため、思わず冷や汗をかきました。大包平よりごついのじゃありませんか。さすが日光です。

[2202 へのレス] Re: 手入れ用布

投稿者：波平 投稿日：2003/12/01(Mon) 22:00

ご隠居さん。大包平よりもごついとは驚きです。又「特別鑑賞会」というのは直接「太刀」を手にとれるのですか・・・それも驚きです。最近は短刀が気になってしかたありません。(伝)行光の短刀に見入りましたが、突然小学生の団体に取り囲まれて早々に退散するはめとなりました。
剣豪？さん。日光がいかに猿で有名とはいえ「聞きしにまさる」経験でした。

[2202 へのレス] Re: 手入れ用布

投稿者：ズク 投稿日：2003/12/01(Mon) 23:28

　打ち粉は、砥石の粉が引け傷を作ると思うなら、角粉だけの物でも、十分に油は落ちるので、それを使えば良いと思いますし、硬い繊維が交じっているかも知れない和紙を使うのがイヤならば、ティッシュを使えば良いと思います。
　これが、砥技師が一番使用している方法ですよ。仕事では、形にこだわっていても仕方が無いので、一番便利な物を使いますよ。

[2202 へのレス] Re: 手入れ用布

投稿者：隠居 投稿日：2003/12/02(Tue) 09:05

ズクさん、はじめまして。高齢者だから隠居と云っているだけの者です。
砥の粉（とのこ）と云ってもピンキリあります。有名刀剣店においている打ち粉は内曇砥のとぎ汁を濾して乾燥させた超微粉末ですから良いのですが、少量を固く巻いていますから、使うのにつよく打たねば粉が出ず、よくありません。２個を一つにしてゆったりめに仕立て直すか、研師の作った自家製のものにするかします。
角粉（つのこ）は主として漆器の磨きに使いますが、これも作る方法でピンキリあり、中には薦められない物もあります。

拭い紙にする越前和紙は、著名刀剣店で扱うものなら、道路脇の粉塵に晒すような作り方をせず、実に細心入念に精製しています。チッシュにしてもニューパルプのみの高級品から廃品の故紙を混ぜた粗悪品もあり、一概に良いとは云えません。
各手入れ用の品とも、専門の製造業者が精魂込めて作ったものを使用しても、正しい使い方をすれば２０年ぐらい毎日使用出来ますから、実に安いものです。
それから研師さんについてですが、日刀保の講習会だけで毎年数十人が育ち、わずかな期間の実習で「研師」を看板に刀の売買からなんでもありの「にわか研師」も数百名居ます。そしてその中にはグラインダーを使って能率アップを計る「量産研師」もいます。「能率的」「近代的」科学的」・・・こういう言葉はまやかしも大いにありそうに思います。良心的な研師は刀１本を研磨するのに１０日掛けるといいますが、「能率研師」は３日あれば十分です。だから研ぎ代が安くてもかえって儲かるのです。
要するに研師さんそのものがピンキリですから、よく人間を見極めることが大切ではないでしょうか。「近代的能率主義」には私は真向から反対です。

[2202 へのレス] Re: 鑑賞会

投稿者：隠居 投稿日：2003/12/02(Tue) 09:13

波平さん、そうです。日光の場合も和室で手にとって拝見しました。佐野美術館でも別室での「手にとって」の鑑賞会があります。
これは基本的にはどこかの刀剣研究会に所属されることです。できればレベルの高い会がいいです。

[2202 へのレス] Re: 地方支部のさまざま

投稿者：隠居 投稿日：2003/12/04(Thu) 08:56

波平さん、日刀保へお入りだそうで結構です。この会は支部が様々あって少数精鋭で地域独特の活動をされているところがいいですね。たとえば三多摩支部の後藤支部長さんは学識豊富で講演もおやりになるそうですし、上総介兼重、是一、小笠原長旨、武蔵太郎安国、などの江戸刀工を集めた展示会を福生市で催したり、よく活動なさっているようです。茨城の土浦市や古河市などのように地方自治体の刀剣収集熱とあわせて中々熱心な支部があるようです。

[2202 へのレス] Re: 手入れ用布

投稿者：波平 投稿日：2003/12/05(Fri) 06:23

ご隠居さま、ありがとうございます m(_ _)m・・・自分の居住している「江戸」の刀工についてまるで不勉強であったことに気付きました。郷土についてもっと知らなければなりませんね(反省)。
　茨城県の土浦市・古河市も熱心に活動している由、古河市は学生時代に城下町を調べていた時友人たちと訪れて強く印象に残っています。古河城はあの渡良瀬遊水池の底に沈んでしまいましたが、大手に近く出丸が今も(当時ですが)矩形に残り空き地となっていました。その近くには家老職をつとめた家が長屋門もそのままに残り大塩平八郎の乱の時に捕縛に使用した杖(当時は木刀のように思いましたが)や、古文書類を見せていただき大変親切にしてくださいました。隣接していたのが鷹見泉石邸址です。地元の人が御舟手組の話をしてくださりその雰囲気が周囲をはばかるようで「城下」に今も生活しているような感じでした。鉄道の駅が近くに出来るのを嫌い中心部からはずれて

いるのも一役かっているのかもしれません。渡良瀬川の夕日は幻想的でした。私の好きな固山宗次の名品が多く残されているのに再訪できなかったのは残念でした。

[2202 へのレス] Re: 小さな支部こそ大穴

投稿者：隠居 投稿日：2003/12/05(Fri) 19:19

そうですよ、波平さん、自分の住んでいる近くであれば、何かあれば足を運べますから汲み取る内容も濃いものがあります。刀工のいないところでも「註槌」がありますから諦めないことです。というのが私の場合、先祖伝来の地京都府福知山市に鍛冶はいませんが、「於丹陽福知山城下○○○○」というのが見つかりしかもこの刀の注文主が後にグンゼを興した遠藤三郎兵衛○○、以来天狗の鼻折り刀としてわが家の宝物としています。あっこりゃ脱線・・・
古河市には歴史博物館があり刀剣の展示は１１月末で終わりましたが０２８０－２２－５２１１で刀剣解説の講師をされている伊藤巌氏を訊ねてください。
また福生市の場合は同市中央図書館０４２－５３０－１１２０で、講師の後藤安孝日刀保評議員先生の予定を尋ねてください。日刀保は余りにも大きすぎますからこういう小さな支部がいいと思います。
尚、古河藩土井氏は八万石、仰るとおり宗次に泰龍齊宗寛を抱え工としていたらしく名品があります。

[2215] 本の紹介です。

投稿者：菊久 投稿日：2003/12/02(Tue) 08:33

無鑑査刀匠・河内國平さんが、中学生や高校生・大学生など若い人たちに、日本の伝統である刀にもっと近づいて欲しいという思いから、「刀匠が教える日本刀の魅力」という本を出版されました。
節としては、日本刀 Q&A、刀の上手な手入れと見方、歴史の中の日本刀物語、日本刀の出来るまで、刀匠の仕事、エッセイ・日本刀と刀匠の魅力となっており、カラー図版、イラストなどが多く、初心者やこれからこの趣味に入りたいと思っている方の入門書にぴったりかと紹介させていただきました。

私は、刀匠とは住まいが近いこともあり、直接お邪魔して購入した際に刀匠自ら一筆入れて頂き、宝物となっております。
もし、購入希望の方は書店でも今月４日から発売になるそうですが、私に連絡いただくか、河内國平一門だより「佳兆」まで直接 FAX(07464-4-0514)して一筆欲しい旨を連絡すると、時間の許す限りサインを入れますということでした。

ちなみに、一冊 1680（税込）＋送料となっております。

[2215 へのレス] Re: 本の紹介です。

投稿者：鎬 投稿日：2003/12/02(Tue) 15:24

是非わたしも宝物を手に入れたいと思います。
そして「一筆」お願いしようかな。

1,680 円って刀剣本にしては、安いような気がしますが
入門書の位置づけからの設定ですかね

[2223] 「ラスト　サムライ」みてきました。

投稿者：>菊久 投稿日：2003/12/08(Mon) 07:13

昨日、家族で観に行ったのですが、「ファイティング　ニモ」「あたしんち」も上映開始の最初の日曜と云うこともあり、普段より子ども連れのお客さんが多く、駐車場に入るのにも結構待たされました。しかし、他の家族連れのお客さんは、「ファイティングニモ」と「あたしんち」に流れたようで、「ラストサムライ」を家族で観ていたのは、私んちだけ・・・。

映画の感想ですが、No.2204 で「越中国住人」さんが仰られているように、ネタバレになりますので詳しく記しませんが、外国映画の中で「日本の心」をこれだけ撮れた作品は少ないだろうと感じました。
連れ合いは感涙しておりましたし、二人の姫（小 5&中 2）は感動したとの感想を述べておりました。

「DVD が発売になったら買ってもよいなぁー」、なんても思っています。

[2223 へのレス] Re: 「ラスト　サムライ」みてきました。

投稿者：花散里 投稿日：2003/12/08(Mon) 22:43

おおっ！　菊久さん、素早いですね(^^)
この作品は私も注目していて、時代劇好きの家内と共に見に行く予定です。
と、気持ちばかりは焦っても、なんと言っても今は師走・・・七転び八起きならぬ、七転八倒(^_^;)
早く仕事を片付けて、見に行かねば・・・(^^ゞ

[2223 へのレス] Re: 「ラスト　サムライ」みてきました。

投稿者：内記 投稿日：2003/12/08(Mon) 23:52

そうですか。奥様は感涙ですか。
ひとりで見に行こうかな。家族のなかで私一人が感涙してもまずいな～。
TV 版の「壬生義士伝」で私は嗚咽してしまったからな～。自信ないな(-_-;)
ところで菊久さん。
渡辺謙はアカデミー助演候補だそうですが、台詞は日本語で英語字幕スーパーですか、逆に英語台詞の日本語字幕なのでしょうか？
やはり見てのお楽しみですかね　(^_-)-☆

[2223 へのレス] Re: 「ラスト　サムライ」みてきました。

投稿者：菊久 投稿日：2003/12/09(Tue) 06:38

＞内記さんへ

渡辺謙さんの台詞は、日本人と話すときは日本語、トム・クルーズとは英語でと入り交じってました。

ちなみに我が家の姫は、トムクルーズより渡辺謙の方が良かったと申しておりました。

[2223へのレス] Re: 「ラスト　サムライ」みてきました。

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/12/09(Tue) 07:29

おはようございます。
私も昨日、午後から振休だったので、家族と一緒に映画館へ行ってきました。
私たちの場合は、妻と子供たちは『あたしんち』で私だけ『ラストサムライ』を観るというものになりました。

平日にもかかわらず、老若男女を問わず、多勢のお客さんでにぎわっておりました。
戦闘シーンの迫力や人間関係の心情をよく描いていると思いました。
最後の方では、私も鼻水が出て目を赤くしてしまいました。

言いたかった事もしっかりと伝わってくる映画でした。
ぜひ、ご覧下さい。

[2224] 愛蔵の刀は・・・

投稿者：波平 投稿日：2003/12/08(Mon) 19:47

皆々様師走に入り寒さも増してまいりました。私の暮らす街では明日からの「ボロ市」の準備が始まりました。その様な今日この頃朝刊の「○○歌壇」の中に面白い和歌を見つけました。曰く
「愛蔵の刀は南北朝のもの　嘘八百の父のうわ言」・・・佐々木幸綱選　う～ん　嘘八百と言われたお父さんの姿が目に浮かぶようですが不思議と馬鹿にされている様子よりも微笑ましさが先に立つのは私だけでしょうか？

[2224へのレス] Re: 愛蔵の刀は・・・

投稿者：花散里 投稿日：2003/12/08(Mon) 22:47

刀の歌が新聞の歌壇に選ばれるのは、珍しいですね。
しかし、思わずニヤリとしてしまう、いい味を出しています。
この掲示板に参加している皆さんなら、同じ気持ちではないでしょうか(^^)

[2224へのレス] Re: 愛蔵の刀は・・・

投稿者：波平 投稿日：2003/12/08(Mon) 22:57

花散里さん　まったく私もニヤリとしてしまいました。朝の出勤前に読んだので、今日一日なんとなく心楽しい一日でした。仕事しながらついつい思い出して「お父さんの気持ちがよ～くわかる」などと同病相哀れむというか共感するというか・・・良い味の歌でした。

[2224へのレス] Re: 愛蔵の刀は・・・

投稿者：内記 投稿日：2003/12/08(Mon) 23:33

＞「愛蔵の刀は南北朝のもの　嘘八百の父のうわ言」
私はニヤリよりちょっと嫉妬しましたね。この親子関係　(^_^;)
南北朝の重みを知っている娘（勝手に娘と断定します！）
この親にしてこの子あり。
うらやまし～。うちもまだまだこれから鍛えるぞ～。!(^^)!

[2224へのレス] Re: 愛蔵の刀は・・・

投稿者：花散里 投稿日：2003/12/08(Mon) 23:55

＞南北朝の重みを知っている
あ、そうですね。
そこまでは、読み取れませんでした(^_^;)

[2224へのレス] Re: 愛蔵の刀は・・・

投稿者：波平 投稿日：2003/12/09(Tue) 00:17

皆様のやさしさげな様子が伝わってきます。三十一文字の中から実に豊かな情感がふくらむものですね。私はこの和歌で先年亡くした父を思い出しました。実はこれを新聞紙面に発見したのは母です。それなりに骨董好きだった父を母はよくからかい半分で仲良くやっていました。李朝(最末期のものですが)の磁器にラーメン入れて出した時の飛び上がらんばかりの顔は今思っても愉快でした。私はそんな投稿者の「茶目」と父への愛情を感じたのです、奥津城に眠る父も「又俺のことをいってやがる」ときっと一緒に楽しんだと確信しています。私事で失礼しました。
m(_ _)m

[2224へのレス] Re: 愛蔵の刀は・・・

投稿者：花散里 投稿日：2003/12/09(Tue) 00:38

＞波平さん
「推敲に推敲を重ね、ぎりぎりまで削り取ることで、かえって豊かな情感を表現する」、日本人の知恵であり伝統なのでしょうね。
鐔の図案にある、「留守模様」と通じるものがあると思います。
「李朝の磁器にラーメン」出す方も出される方も、微笑ましい親御さんですね。
目に浮かぶようです。

[2224へのレス] Re: 愛蔵の刀は・・・

投稿者：隠居 投稿日：2003/12/13(Sat) 06:07

私などの年になりますと“南北朝”という言葉にはロマンを秘めた歴史の匂いがつよいです。
「留守たのむ（夫）人に　枕と太平記」という川柳がありますが、新田義貞の鎌倉攻めから千早城

の知恵、桜井父子の別れ、湊川の決戦・・・南北朝とはこういうロマンの響きをもっています。
句の中の“父”であるおやじは楠正成の物語で育ったんですよ。それを又、娘も知っている???

[2224 へのレス] Re: 愛蔵の刀は・・・

投稿者：内記 投稿日：2003/12/13(Sat) 11:47

師走も、はや半ば。来年は 2004 年、戦後も 60 年になります。

ご隠居さん、この年月は南北朝の 60 年とおなじ「としつき」なのですね。
太平記の壮大な絵巻の 60 年と戦後の 60 年は果たして同じ「としつき」といえるのだろうかと。時間の質的な「密度」について考えさせられてしまいます。わが祖先が形勢不利な南朝に最後まで組し、義を貫いたと教えられて育った私などは夢やロマンよりも切ない哀愁を感じてしまいます。
600 年後の私も科学技術や進歩に抗う形勢不利な「南朝」方のようです(^_^;)

[2224 へのレス] Re: 愛蔵の刀は・・・

投稿者：波平 投稿日：2003/12/13(Sat) 13:40

ご隠居さん・内記さん私は明治生まれの祖母と同居して育ちました。明治の教育はスゴイ！と思ったことが多々あります。それは尋常小学校の教科書がスラスラとでてくるのです。「鎌倉宮に詣でては尽きせぬ御子の御怨みに悲憤の涙ながすべし・・・」などは何度聞かされたことか。「青葉茂れる桜井の・・・」は愛唱歌で幼い私は「桜井の駅」とは何線の駅なのかと思っていました。祖母を喜ばすために湊川神社に参詣し「嗚呼忠臣楠子之墓」に光圀の業績を偲び明の遺臣である朱舜水に思いをはせました。最近の我が家では某宮家の詐称容疑事件で熊沢天皇のことが話題になりましたが。一振りの刀の句から豊かな話題が広がり心楽しい限りです。

[2224 へのレス] Re: 愛蔵の刀は・・・

投稿者：隠居 投稿日：2003/12/13(Sat) 19:31

そうですね。戦後の年月が南北朝期と同じ・・・。あまりにも意外なんで年表を広げて確認してみました。そうすると南北朝というのは天皇自体の担ぎ合いですからスケールが大きいですね。刀も先祖伝来の守るべ゛きものと大きく変えるべきものとのせめぎ合いというか、備前兼光長義、備中次直直次、相州秋広広光、長谷部国重国信、大左、等々、こうしてみると役者は揃っています。少なくとも刀鍛冶の分野では、戦後は南北朝の足元にも及びませんね。

[2224 へのレス] Re: 愛蔵の刀は・・・

投稿者：内記 投稿日：2003/12/14(Sun) 02:21

そうですか。60 年はあまりに以外でしたでしょうか。

＞新田義貞の鎌倉攻めから千早城の知恵、桜井父子の別れ、湊川の決戦・・・南北朝とはこういうロマンの響き・・・
『太平記』では巻第一から巻第十二の第一部と巻十二から巻二十一の第二部の後醍醐天皇が吉野山中に崩じて武家方（北朝）の優位が確立するまでですね。鎌倉幕府の滅亡（1333 年）から後醍醐天

皇崩御（1339 年）までのわずか６年間にこの壮大なロマンが展開し、今なお語り継がれているのですから、「南北朝」とはここがクライマックスですよネ。
しかし『太平記』は第三部として巻二十三から巻四十の細川頼之が管領として幼君足利義満の補佐をする為四国から上京する 1367 年まで続きます。

日本史における「南北朝」はこの三代将軍義満の権勢のもと 1393 年の統一までの約 60 年間なのですが、北は東北地方、南は九州にまで拡大した戦乱は、京の都で「シャンシャンの手打ち式」があったからといって、「ハイ、これで止めましょう」となるはずもなく地方では、守護・守護代と国人の果てしない戦いは続きやがて応仁の乱に始まる下克上の戦国時代へと加速していったのでありました。(>_<)

歴史はこのように断片的ではなく、暫時継続して続くのですが、刀剣の変遷も同じ様にここまでが「南北朝型」、ここからが室町初期の「応永型」と突然変異のように変身する訳がないと感じています。
政治的にも文化的にも同じ足利義満の全盛時代なのですから。
”無名○○　時代「応永」”なんて鑑定されても、ウッン？？　南北朝末期と応永初期にどんな違いがあるのかなアと穿ってみたくなります(ーー;)

しかし、この時代の刀は不思議な魅力があり、大好物です。
＞刀も先祖伝来の守るべ゛きものと大きく変えるべきものとのせめぎ合い
おっしゃる通りですね。
また、南朝方の菊地氏と供に「延寿」が消え、大和鍛治も一部を除き時を同じくして衰退していきました。この滅びの鍛治達を敢えて好みとする私は、判官贔屓のコテコテの日本人なのでしょうか(^_^;)

[2224 へのレス] Re: 愛蔵の刀は・・・

投稿者：隠居 投稿日：2003/12/14(Sun) 06:48

内記さん、南北朝はたった６０年でも前の時代である鎌倉期のものとは明らかに違う“時代的特徴”を持っていますね。これは“刀”が変革期のものであるだけでなく世の中全体が“はげしい変革の時代”だったのでしょう。刀に絞って云えばその特徴は“より大きく”造られた造形と“より烈しく”焼かれた地鉄と刃文、つまり皆焼（ひたつら）の大だんびらが一世を風靡しました。備前備中山城美濃大和その他地方の鍛冶にいたる全国すべての鍛治が“南北朝流相州伝”にかぶれます。この激しい大段平がなくなって応永のおとなしい太刀（盛光康光）になってきて、これを室町時代と区別して呼ぶわけですね。これは又不思議なほどの変わりようでたとえば「政光」は初期の長大なものから応永に入ってくると尋常な身幅のおとなしい太刀になってきます。同一人物でもこう変わりますから、南北朝の大段平はやっぱり飽きられてきたものとみえます。
しかしこの“おおづくりの特徴”は再び安土桃山期～慶長期に盛り上がってきます。「大切っ先」（大帽子）だけでも気宇が大きくなりますから、一本は持ちたい刀になりますね。（私は兼植の大切先をもち南北朝の壮気を偲んでいます）

[2246] 鍔の手入れはどのように？

投稿者：波平 投稿日：2003/12/15(Mon) 00:57

皆様のご教示を仰ぎたいことがあります。わずかですが鍔を所持しています。赤銅魚子地や山銅のものは特に何もしていません。尾張についても錆色がよくねっとりとした鉄味で特に必要を感じないのですがこれはそのままたまに手にとって鑑賞していればよいものなのでしょうか。

赤錆の浮いた状態の悪い鉄鍔については角でこすったりとは聞きますし、人によっては「丁字油」をブラシでつけて綿の白手袋をして日がな一日こすっていなさい。と聞いたこともあります。

皆様はどのように保管・鑑賞されているのでしょうか。ご教示願えれば幸いです。m(_ _)m

[2246 へのレス] Re: 鍔の手入れはどのように？

投稿者：花散里 投稿日：2003/12/16(Tue) 08:19

やはり、刀剣油をつけて鹿角などでこする、と言うのが一般的でしょうか。
私の場合は、赤錆の浮いた鐔を持っていないので、何とも言えないのですが・・・
赤錆の無い鉄鐔は、そのまま手にとって鑑賞しています。

また、過去ログ７７８にも同じ話題があります。

[2246 へのレス] Re: 鍔の手入れはどのように？

投稿者：波平 投稿日：2003/12/16(Tue) 12:47

花散里さん、ありがとうございます。私の鍔は赤錆は浮いていないのですが「鉄味」をよくしようと思ってうかがいました。「鼻の油」はよく耳にしますがハテどうしたものかと迷ってしまいました。過去ログも拝見してみます。

[2246 へのレス] Re: 鍔の手入れはどのように？

投稿者：内記 投稿日：2003/12/17(Wed) 00:36

鼻の油はよく聞きますが、「寝起きの油」が一番って本当でしょうか(~_~)

[2246 へのレス] Re: 鍔の手入れはどのように？

投稿者：花散里 投稿日：2003/12/17(Wed) 00:51

日本刀職人職談には、故本阿弥日洲師が以下のように述べています。（刀の中心ですが・・・）

【現代では薬品で簡単についてしまいますが、昔は錆付け一つについてものんびりしたものでした。まず、錆付けをする中心に工夫した赤土を塗り、一、二月して一応の錆がついた段階でその赤土を取り、今度は人肌で味わいをつけます。若い弟子たちが朝起きがけに、脂肪や塩分のついた顔へかわるがわる中心を押しつけます。こうしたことを二、三か月も続けると、黒い錆の上に飴色が乗り、自然ないい味わいの錆になりました。その間は絶対に柄に入れないで、空気やほこりにさらしておいたものでした。】

比較的造形が簡単な刀匠鐔や甲冑師鐔だったら、応用できそうですね。
秘伝の赤土が気になりますが、内記さんのおっしゃる「寝起きの油」は間違いないのでは？(^^)

[2246へのレス] Re: 鍔の手入れはどのように？

投稿者：波平 投稿日：2003/12/17(Wed) 06:54

内記さん、花散里さん、「寝起きの油」初めて聞きました。さっそく実行してみます。ありがとうございました。「日本刀職人職談」の記述の部分は読み落としていました。中茎の錆び付けを読んですぐ鍔に思いが至るとはさすがですね。そういえば耳学問で以前薩摩嶋津家伝来の刀は中茎に丁字油をたっぷりつけて永年保管していたので状態が悪いと聞いたことがありました。つけっぱなしにしてかえって酸化が進んだものと解釈したのですが、鍔に丁字油をつけて角で擦るのは鉄味が出て良いことなのですね。

[2246へのレス] Re: 鍔の手入れはどのように？

投稿者：刀剣ビギナー 投稿日：2003/12/21(Sun) 10:02

錆びかけの鍔ですが 少し金象嵌（めっき？）が残っている場合油で 金がうすくなったりしませんか？　どう手入れすべきでしょうかね・・・。

[2256] とうとう！（＾＾）

投稿者：久 投稿日：2003/12/17(Wed) 23:17

今日、久しぶりに電脳倶楽部表紙を拝見いたしましたらアクセス数
２００１９６件になっていました。およそ一年に５００００件といったところ
でしょうか？

第一回OFF会時には「アクセス５万行くか行かないか？」と話し合っていた時
が遠い過去に思えてなりませんでした。
第二回OFF会『正宗展』時には１０万件をこえ第３回時OFF会『大刀剣市』に
は１５万件、今回第４回OFF会時には間に合いませんでしたが約１ヶ月後には２０万件を達成！

この調子で行けば１６年後には１００万件アクセスが訪れます。１６年後
ネットやパソコンはどのように進化しているのか想像がつきませんが、電脳倶楽部の発展を祈っております。

ちなみにどなたが２００００００件をゲットしたのでしょうか？（＾o＾）

[2256へのレス] Re: とうとう！（＾＾）

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/12/17(Wed) 23:28

２００２００をゲットしました。
いつのまにかスゴイ数字になっていたんですね…o(〃^▽^〃)o

いつまでも嬉しい楽しい気持ちいいＨＰでありますよう、そしてますますのご発展、弥栄を祈っております。

…で、２００００００目は…どなた？

[2256 へのレス] Re: とうとう！（＾＾）

投稿者：内記 投稿日：2003/12/17(Wed) 23:48

私は 200001 でした。（結構ねらってたんだけどな～ （^_^;）

で、本当に 200000 はどなた？

昨日の 24：00 頃ですよね。

[2256 へのレス] Re: とうとう！（＾＾）

投稿者：花散里 投稿日：2003/12/18(Thu) 00:11

私は、確か 200002 だったはず・・・(^^)
100000 の時は取り損ねたので、私も狙ってました(^_^;)

で、200000 は？

[2256 へのレス] Re: とうとう！（＾＾）

投稿者：鬼丸 投稿日：2003/12/18(Thu) 15:28

１００００１は私がゲットしましたが、今回は、仕事の都合により
本日、拙宅に帰還しアクセスしたものの２００３０７でした。

残念です。　残念と言えばセリフ入れ大会再開して欲しいですけど・・・・

[2256 へのレス] Re: とうとう！（＾＾）

投稿者：花散里 投稿日：2003/12/18(Thu) 23:44

＞鬼丸さん
「セリフ入れ大会」は、絵心と洒脱な味のある空爺さんあっての企画なんです。
私には空爺さんのような才能はありませんし、真改さんを始めとする他の管理者にも難しいと思われます m(__)m

空爺さ～ん！
早く帰ってきてくださ～い m(__)m

[2244] 海部刀の謎を探る

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/12/14(Sun) 19:31

本日、徳島城博物館において『海部刀の謎を探る』という題名で博物館の講座がありました。
海南町立博物館館長の岡田一郎先生の講義でした。
参加者は約８０名で、着物姿の女性の参加者もあり、まったくの初心者の方も多数おられたようです。

これは本当に喜ばしいことですね。

さて、海部川流域で興った海部刀工群についてですが、古刀期に確認されているだけで６０名あまりの名があるそうですが、岡田先生作図の海部川流域地図を見ますと、南岸を主に川の傍は海部刀工で埋め尽くされたような感があります。
まさに、一大地場産業です。

海部川上流はもともと銅の産出で有名だそうで、砂鉄の産出はあまり聞かないそうです。
では、海部刀の鉄はどこからきたのでしょうか。
海部の地は交易が盛んで、その昔、薩摩郷という地もあったり、兵庫北関入船納帳というものには、カイフ船籍の多数の出入りが記録さているそうです。
このことから、薩摩波平の浜鉄や島根の鉄の輸入があったと考えられています。
刀の作風からも波平の影響は肯定できるようです。

遠い四国の南部の地で加工貿易が盛んであったとは驚きでした！

また、海部城主自らの作刀があったり、禅宗をもとめて加賀の国から高僧を招聘したり、まさに大きな武士団の存在が海部刀工群の繁栄を築いたといえるようです。

一地方の評価の低い刀という感じがする海部刀ですが、中には目を見張る作域を示すものもあり、大擦り上げの刀の中の海部刀の研究とあいまって、まだまだロマンは広がりそうです。

持参された刀も短時間ではありますが、鑑賞が許されましたが、刀なしでも本日の講義は大変有意義なものでした。
郷土の刀の成り立ちを学ぼうと、老若男女を問わず８０名あまりの方が参加されたということに感動しました。
刀の鑑賞ばかりでなく、ここまでつっこんだ歴史的背景を学ぶことによって、刀が愛しくなってきます。

刀と刀装具関係の講義が全部で４回ほど予定されているのですが、ここから興味を持っていただいて、愛好される人が増えることを期待しております。
思えば私も、同じ徳島城博物館の刀剣講座を機会に日刀保に入会しました。これも何かの縁でしょう。
これを機にいつか支部でお会いできる人がありますことを楽しみにしております。

今日は本当に楽しかったです。

[2244 へのレス] Re: 海部刀の謎を探る

投稿者：波平　投稿日：2003/12/15(Mon) 00:45

真改さん。楽しく有意義な一日をお過ごしになりましたね。不勉強な私はこちらで伺うまで「海部刀」についてはまったく無知でした m(_ _)m。しかし伺えば薩摩の波平とも深いつながりがあるとのこと。これは何としても勉強しなければなりません。先日さっそく初めて海部刀を手にとってまいりました。これからもいろいろと教えてください。
　今日はようやく一日自由な時間がとれましたので参宮橋の刀剣博物館にいってまいりました。大

刀剣市の時は行く元気がなかったもので(^^;)
　刀装具展の最終日にすべりこんだ感じです。時間と費用の都合がつけば是非私も講座に参加したかったです。私も日刀保に入会していますのでそのうち真改さんとご一緒できるかもわかりませんね。それまでにもっともっと勉強しなければ・・・

[2244 へのレス] Re: 海部刀の謎を探る

投稿者：隠居 投稿日：2003/12/15(Mon) 06:22

真改さん、今回の海部刀に関する講演は本格的なものと思いますので、町立博物館で「海部刀」をテーマにした小冊子を作っていませんか。もしあれば申し込み先等をご教示ください。

[2244 へのレス] Re: 海部刀の謎を探る

投稿者：隠居 投稿日：2003/12/15(Mon) 08:13

真改さん、海部刀の地鉄は薩摩ですか、道理で同田貫に似ているわけですね。材料鉄と共に鍛法も来た筈ですし、氏○という鍛冶名にもなにか関連がありそうです。ぜひ研究者の方に質問して頂きたいです。

[2244 へのレス] Re: 海部刀の謎を探る

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/12/15(Mon) 18:07

海部刀
上記海部刀の文字をクリックしていただければ、海部町立博物館にアクセスできます。

また、隠居さんのおしゃった『小冊子』と『同田貫』との関連性も、今週中にお電話にて質問してみます。
私も、同田貫との関連性に大変興味があります。

素晴らしいヒントを頂戴いたしましたことを感謝いたします。
ありがとうございます。

[2244 へのレス] 海部刀と同田貫の関連性と小冊子

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/12/20(Sat) 09:59

隠居さん。
たった今、海南町立博物館の岡田館長様から電話でお返事を頂戴致しました。

まずは、同田貫との関連性ですが、これについては、今のところ今後の研究課題ということで、未着手だそうです。
波平刀工との関連性は多くの書物や文献にもはっきり出ているそうですが、それ以外の刀工との関連性については『謎』のようです。

また、研究書籍につきましては、過去に出版したものはあるのですが、保存用にと１冊程度ずつ手元にあるのみで、最近の研究調査についての冊子書籍類は出していませんとのこと。

隠居さんの二つのご希望には添えない形になってしまいました。
お役に立てませず、申し訳ございませんでした。

近いうちに海南町立博物館を訪れて、今一度、講義の内容を思い出しながらじっくりと見てこようと思います。
刀剣を買うことも一つの鑑賞方法ですが、今回、このような講義を拝聴する機会を得て、歴史的背景を『よく知る』ということの重要性を学びました。
こういう機会を良縁と信じて、郷土の刀に関心を深めて参りたいと思います。

[2244 へのレス] Re: 海部刀の謎を探る

投稿者：花散里 投稿日：2003/12/20(Sat) 13:07

長船町史に岩切海部の記述がありましたので、画像掲示板に載せてみました。
代百貫の記述があります.

他の記述として・・・読めない・・・(T_T)

[2244 へのレス] Re: 海部刀の謎を探る

投稿者：隠居 投稿日：2003/12/20(Sat) 19:25

真改さん、そうですか。“小冊子”とは控えめに云ったまでで、折角の何回かの講義まで企画されたのですから、“図録”程度は準備なさったかと期待しておりました。結局、予算とかスタッフとかの問題もあったのでしょうね。残念です。また機会がありましたらお報せください。

[2244 へのレス] Re: 海部刀の謎を探る

投稿者：真改 2003 投稿日：2003/12/20(Sat) 19:29

長船町史に岩切海部の記載ですか！
意外でした。

岩切海部は黒田家伝来品として福岡県に現在はあるそうですが、いつかは生まれ故郷の阿波に戻ってほしいと思います。
ちょうど、ニッカリ青江が香川県丸亀市に戻ったように・・・。

[2244 へのレス] Re: 海部刀の謎を探る

投稿者：花散里 投稿日：2003/12/20(Sat) 19:45

え～、申し訳ありません m(__)m　私の言い方が不適切でした。

正確に言えば「長船町史に享保名物帳が写真で掲載されていて、その写真に「岩切海部」の項も写っている」と言うことです。
お騒がせしました m(__)m

[2267] 錆味はよくなるか

投稿者：隠居 投稿日：2003/12/21(Sun) 07:38

錆味、つまり鉄味とか茎の錆味とか云われる錆の状態のことですが、これを「良くする方法」として様々なことが云われています。「茎や鍔に丁子油などをつけてこする」などで中には「ねずみの糞をつける」とか珍無類のものまで色々あります。これは中々楽しみなものですが、実際は悪くはなっても良くなることはないと思っています。実際に鍔などは業者から買い求めた時が最高の状態であってこの状態をいかに長く保つかが持ち手に課せられた最善の手段です。
鍔とかり刀の中子しかりで、下手に油などをつけて擦るとろくなことはありません。テカテカと黒光りし卑しく「手擦れた」感じに堕してしまいます。ことに刀の中子錆は「うぶい」感じが最高であり、茶色であばたのあるようなものもその自然な感じ最高です。「いい中子だなあ」とほれぼれしているのに半年ほど経つとテカテカのひねたものにされてしまうものをよく見ます。こんなのを見ると「刀はさわって悪くする」とつくづく思います。錆はことに「持ち手の人品をあらわす」と云われています。「さわらないこと」もたいせつな保存法だと心得て頂きたいと思います。

[2267 へのレス] Re: 錆味はよくなるか

投稿者：花散里 投稿日：2003/12/21(Sun) 16:18

新作刀の中心は錆びておらず、新作鐔の鉄の部分は錆びています。
刀の中心は「錆びていくもの」ですから、時代を経て自然に錆が付き「うぶい」ものが珍重されます。
鉄鐔などの錆びは、作者によって「錆をつけられるもの」ですから、意識的な特徴でもあります。（例えば、夏雄の錆付けなど）
刀の中心にしろ、鉄鐔にしろ、錆びの状態が満足できるものならば、手に入れた私たちもそのまま楽しんでいれば良いのですが、問題は赤錆の浮いてしまったものです。黒錆は安定していますが、赤錆はそのままだと腐食が進んでしまいます。

ご隠居さんは、赤錆の対処をどのようにされているのでしょうか？
ぜひ、ご教授ください。

[2267 へのレス] Re: 錆味はよくなるか

投稿者：隠居 投稿日：2003/12/22(Mon) 06:53

花散里さん、前にもこの「錆」について議論しましたね。刀の本に「黒錆」がよくて「赤錆」はだめと書いてあるせいか、「黒い錆の中子」をなにか勘違いする向きもあります。また一部のプロが「油をつけて手でこすると黒い錆になる」と奨める話も聞きます。
どんどん錆の広がる悪性のさびを「赤錆」というなら、こういう悪性の錆が発生することはまずあり得ないことです。
時代を経た鍔であれ中子であれ、錆ののった鉄地自体が落ち着いているものだからです。無理に錆つけをした新作物では悪性な錆の発生はもちろんあり得ましょう。こういう「悪性の錆」については即プロに任すほかないでしょうね。

[2267へのレス] Re: 錆味はよくなるか

投稿者：花散里 投稿日：2003/12/22(Mon) 10:55

＞ご隠居さん

確かに赤錆は、良いイメージがありません。
車と刀・鐔を比べるのはそもそも間違いかもしれませんが、下地まで傷ついた車体に赤錆が進行しついには穴が開く、といったイメージです。
と言っても、刀や鐔は車と違って雨曝しにするわけではありませんので、確かに神経質すぎたかも知れませんね。

私は、今後余計なことはやらないことにします。
どうしても我慢できなかったら、懇意にしていただいている刀屋さんに相談してみます。
ご教授、ありがとうございました。

[2268] 郷土刀　とは？

投稿者：亀山 投稿日：2003/12/21(Sun) 08:14

皆さん、はじめまして。　教えて頂きたい事があり、お邪魔しました。
私の住む町は先の大戦で、市街地、周辺部を問わずほぼ焼き尽くされまして、お国のもの、郷土のものと呼べるものが、ほとんど残っていません。
江戸中期よりずっとこの地に住み着いていますが、我が家も同様、すべて伝わってきた物は灰と化して何も残っていません。
そこで、私の代で、せめて郷土縁の物、お国のものを購入して、子孫、或いは、市に寄贈して、この地に伝えていきたいと考えています。
そこで、一応武士の家系であることから、日本刀を、この地に伝えたいと思っています。
ところが、「お国刀」とか「郷土刀」と呼ばれる刀の範囲？が判りません。
この範囲は、どのように考えればよいのでしょうか？。
今の市町村の範囲？　県？　江戸期の藩？etc、例えば、一時期だけ住み付いた刀匠も含まれる？等。
感覚的なものかもしれませんが、愛刀家の皆様の、ご意見をお聞かせください。宜しくお願い致します。

[2268へのレス] Re: 郷土刀　とは？

投稿者：鬼丸 投稿日：2003/12/21(Sun) 10:49

亀山さん、始めまして鬼丸と申します。
「郷土刀」とは何か・・・このご質問に対して私が考えるには、
自分の出身県とか現に居住している土地に縁やゆかりのある刀匠
の作品を郷土刀としているのではないでしょうか？
その土地の区分はと言いますと、市町村も県も江戸期の藩も皆郷土という
範疇に入ると思います。
ある本に飯田一雄さんという方が郷土刀について次のように記述しています。「私どもが郷土刀と呼

んでいるものは、今日までの刀剣の歴史の中で
あまり知られていない刀工、日本刀の伝統的な著名製作地以外の場所で
作られた刀云々」とあります。
現在、私は静岡県に在住してますが、静岡県は廃藩置県までは、「伊豆・
駿河・遠江」の三国に分かれていました。ご存知のとおり静岡県は東海道
の宿場が半数以上占め、街道には富士川、大井川、天竜川があり古来より
通行の難所として知られていますが私が居住する場所は富士川以北なので
遠州の浜松あたりは郷土などと呼べる距離ではありません。
しかし、県という行政区分からいえばやはり、郷土なのかも知れません

一時期だけ、住み着いた刀匠については、駐槌銘のある刀も郷土に縁や
ゆかりのある刀匠としてその刀だけは郷土刀の仲間に入れてあげても
いいのではないでしょうか。
日刀保静岡県支部の「駿遠豆三州刀工の研究」と言う本には新刀期の
越前康継や南紀重国などの駿州打ちや新々刀期の大慶直胤にはイツや
エンシュウと駐槌銘の入った刀を静岡県ゆかりの刀ということで所載
されています。

結論と致しまして、自分の出身・現居住都道府県及びそれに該当する廃藩置県以前の国名に該当する地域で作刀されたものを郷土刀と呼びたいです。

[2268 へのレス] Re: 郷土刀　とは？

投稿者：薩州住無学 投稿日：2003/12/21(Sun) 21:24

久々の投稿で失礼致します。
亀山さま、はじめまして。
私の住する薩州にもかなりの数の刀工が居ります。しかしながら全国的に有名な刀工ばかりではなく専門書や銘鑑にしか出てこない刀工も多いです。古刀期には「波平」刀工がおりますが、本流と傍流があり傍流になると他国にも波平刀工一派が居ります。また南九州には薩州と隅州（大隅半島）もあり、ここにも波平と関係のある刀工が居ります。
南九州だけでも実に広い範囲にわたって刀工がいる訳で薩摩に住して居ない刀工でも大きい解釈では薩摩の刀工と言えるのではと思います。
亀山さまの「子孫、或いは、市に寄贈して、この地に伝えていきたいと考えています。」のお考え実に立派であると思います。有名刀工、無名刀工に関わらず亀山さまの自信を持って後代に伝えられる一振りをぜひ見つけて頂きたいと思います。

[2268 へのレス] 無題

投稿者：守重 投稿日：2003/12/21(Sun) 21:39

亀山様、はじめまして。当方も郷土等を探求しているものです。私の考えも以上の方々と同じです。
郷土刀工にも一生涯其の地に居座っている刀工もいれば途中で他国へ、また他国から其の地へ、といういろいろなパターンが多く、各個人の見識の違いもありますでしょうが、私は全て郷土刀工と

認識しています。肌物で有名な一貫齊中山義弘は鬼丸さんと同じ静岡生まれで死地は前橋でしたが、立派な上州刀工と考えています。
また郷土の範囲は如何でしょう？　当地上州は有名な刀工が少ないのですが、有名でない刀工も少なく、市場で見かけることも少ないので、目移りしなくてちょうどよい程度の国です。私の場合は上州全体を郷土刀と考えていますが、備前とか豊後とか美濃とか刀工数が多い国は限定された都市とか、地域を郷土刀の範囲としたほうが良いかもしれません。
でも--住とかで明らかに生産地が分かるものは嬉しいですが、無銘で鑑定書で郷土の刀工と判断されたものはちょっと刺激が少ないですね。
でも思わぬ無名の刀工の作刀が見つかったときの感激は相当なものです。

[2268 へのレス] Re: 郷土刀　とは？

投稿者：亀山 投稿日：2003/12/21(Sun) 23:20

鬼丸様、薩州住無学様、守重様、ご意見ありがとうございます。
私の感覚的には、隣の市は郷土の範囲に入り、県の範囲では、郷土と呼ぶには広すぎるのでは？と考えておりました。しかし、皆様のご認識では、案外と広範囲、かつ、面積的なもの以外に、縁的なものも関係してくると認識させられました。
できれば、もう少し此処に書き込まれている方のお考えを聞いて、たくさんのご意見を参考にして、自身の考えを固めてゆこうと思います。

[2268 へのレス] Re: 郷土刀　とは？

投稿者：隠居 投稿日：2003/12/22(Mon) 12:32

皆さんのご発言に少し付け加えますと
①郷土色豊かな拵や金具、これは郷土刀に錦を添えるものです。一つの例として将棋の駒形をした目貫など会津独特のものです。各地方にそれぞれあります。
②それに郷土の人物や歴史を語る「生き証人としての刀」、これも必ずあります。私の持っている「応需遠藤三郎兵衛正長之好　おいて丹陽福知山城下」も幕末の福知山における大庄屋の経済力をしめしています。藩主は山家藩谷家一万石、試し斬の宗家であり「子連れ狼」のモデルとなった藩です。この刀で語ることは一杯あり、この頁では書ききれません。要するに郷土刀とはこのように「物語」をいっぱいもった刀、と云えそうです。

[2268 へのレス] Re: 郷土刀　とは？

投稿者：隠居 投稿日：2003/12/22(Mon) 16:09

刀の勉強を少しばかり齧った人は、なまじ刀が見えるだけにその地方独特の嫁入り短刀なども中身が気に入らないといって見逃してしまうケースが多々あります。実例をもって申しましょう。庄内拵の嫁入り短刀で、合口拵の全体が銀の延べ板づくりで仕事の丁寧な素晴らしい出来の外装でした。しかし中身は偽物の月山、友人は購入を諦めましたがこういった程度のいいものは中々お目に掛かれません。こういうのは拵のみでも価値のあるもので、中身は「つなぎ」と考えればいいわけです。戦後刀屋さんが拵だけを残しており、地方にもうぶな名品がまだまだあると思われます。この郷土

色豊かな「刀装具」こそわれわれが誇りにすべき郷土刀であり、これを持つのは刀剣好き者の特権であり、反面から云えば義務だとも考えています。

[2268 へのレス] Re: 郷土刀　とは？

投稿者：亀山 投稿日：2003/12/23(Tue) 22:19

隠居様、はじめまして。
御教示、ありがとうございます。
私は、日本刀本体のみに頭が行き、拵えや金具には、考えが及んでいませんでした。
確かにこちらも重要な要素ですね。幸い、私の住む地方の名の付く鍔もあるようで、この鍔を研究？されている方も居られるようで、新聞記事に載っておりしたので、「刀装具」に付いては、この方に色々教えて頂こうと思います。

[2268 へのレス] Re: 郷土刀　とは？

投稿者：隠居 投稿日：2003/12/24(Wed) 06:24

亀山さん、始めまして。
私の郷土は三つあります。生まれて小学生時代を送った土地、少年時代から青年時代を送った土地、その後商いを学び続けてきた現住地、それぞれ思いは濃くあります。
第三の商いの土地としての郷土刀は、豪商が差し料とした“黄金造りの脇差拵”を求めました。後藤仙乗の一作金具は「切り花」で、鞘は茶渋色に金蒔絵の千段塗り、柄糸も金糸、都会らしい豪華な雰囲気をもっています。これは刀装具の専門家に頼んで求めました。こういうのはそれを見ただけで持ち手が想像できてタイムスリップしてその時代に行ったような気になれます。
刀は決して武士だけのものではありません。
どうぞ御地の歴史の生き証人である刀剣をお求めください。

[2268 へのレス] Re: 郷土刀　とは？

投稿者：亀山 投稿日：2003/12/27(Sat) 20:08

隠居様、再度ありがとう御座います。

＞どうぞ御地の歴史の生き証人である刀剣をお求めください。

当地の歴史が、どのように流れてきたか？　そして、其れにかかわったのはどのような刀なのか？探るだけでも、大変そうです。

新たに、郷土刀とは？の質問も立てられておられますので、そちらにも注目してゆこうと思います。

[2241] 忠臣蔵釣客伝

投稿者：花散里 投稿日：2003/12/14(Sun) 10:33

産経新聞（１２月１４日）の書評欄より。

「釣り」で元禄の暗闇を見る

【十二月は、忠臣蔵の季節である。古来、さまざまの四十七士物語が、作られてきた。もうはや語り尽くされて、新しい発見は無いのではないか。とんでもない。
ここに恐るべき絶妙の語り口で、全く意表をつく面から、赤穂浪士の討ち入りを描いた小説が登場した。何に驚いたか、といえば、剣客ならぬ釣客だからである。釣りの視線から見た、魚群ならぬ元禄武士たちの暗闇である。
わが国最古の釣りの本を著したのは、四千石の旗本、津軽采女（うねめ）といい、本の名を『何羨録（かせんろく）』と称する。采女は将軍綱吉の小姓をつとめ、忠臣蔵の仇役、吉良上野介の娘を妻に迎える。
以上は、事実である。これも事実だが、妻の名をあぐりといい、このユニークな名は、江戸城松の廊下で吉良に斬りつけた、浅野内匠頭の奥方の名と全く同じなのである。実に妙な暗号ではないか。
さて、小説の主人公はこの采女なのだが、主役の設定からして、すでにワクワクするではないか。上野介の婿が、釣りが大好きで本まで書いてしまうのである。その本は、有名なアイザック・ウォルトンの『釣魚大全』に匹敵する名著なのだ。
歴とした武士が、なぜ釣りにはまってしまったのか。謎は、たくさんある。赤穂浪士の戒名の秘密（全員に「剣」と「刃」の字が入っている）。将軍家にたたる妖刀村正と、先に挙げたあぐりという名。江戸湾に眠る沈没船の財宝。内匠頭の怨念と、元禄大地震。
釣り糸を垂れながら采女が追う謎を、畳み込むような文体で追う。いやはや、これは単なる忠臣蔵の物語ではない。歴史の謎を一つ一つ立証しつつ解き明かして見せた、壮大な時代小説なのである。元禄の世は鰯が豊漁だった。四十七士が浪人時代を食いつなげられたのは、安い鰯のおかげだった。
京大農学部出身の作者は、理詰めで物語を展開する。これが小説を重厚に作っている。新人と思えぬ。我を忘れさせる傑作である。　作家　出久根達郎】

忠臣蔵釣客伝　長辻象平著　講談社　ISBN:4-06-212131-X 本体価格１，７００円　発行年月日 2003 年 12 月 14 日(^^)

最近はしばらくご無沙汰していますが、長く黒鯛釣りにはまっていました。
五目釣りからだんだん釣種が絞られて行き、最後に残ったのは黒鯛。あの独特の三段引きをやり過ごし、銀黒色の黒鯛が海面に姿を現す時には、ドキドキワクワク。釣って良し、食べて良し(^^)
釣りと赤穂浪士と妖刀村正、早速注文いたしました m(__)m

[2241 へのレス] Re: 忠臣蔵釣客伝

投稿者：内記 投稿日：2003/12/14(Sun) 11:35

私は「釣り」は全くの不調法です。
子供の頃、近くの川でクチボソウを釣ったくらいですね。
そういえばその頃、兄がヤマメを釣って周りの大人が大騒ぎしていたのを思い出します。
新しい切り口の忠臣蔵ですね。読んでみます。

今日は 12 月 14 日でしたね。
忠臣蔵といえば未だに気になることがありまして・・・。

私は時代小説が大好きで、池波正太郎さんの「内蔵助論」の大ファンです。

単細胞の為、すぐ感化されて、大石内蔵助の愛刀の備前長船清光と康光が大石神社の宝物館にあると聞き、機会があれば拝見したいと思っているのですが・・・。

[2241 へのレス] Re: 忠臣蔵釣客伝

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/12/14(Sun) 17:22

買います！読みます！
といっても、花散里さんからご紹介いただいた、数々のビデオ（プライド）とか本（壬生義士伝）とか、いまもって手付かずです。すみません。^_^;。

正月にはちょっと頑張ってみようと思います。

そうそう、七人の侍もまだ見ていないんですけど・・・。(@_@;)。

[2241 へのレス] Re: 忠臣蔵釣客伝

投稿者：花散里 投稿日：2003/12/23(Tue) 11:48

【その１】忠臣蔵釣客伝
読みました・・・一気に(^^)　面白かったですね。
ただ、吉良方からの視点ですから、一般的な忠臣蔵ファンにはお勧めしません(^^ゞ
刀匠長曾根興正も絡み刀の話題も盛りだくさんで、楽しめると思いますよ。

【その２】どこかで誰かが見ていてくれる
斬られ斬られて４３年。出演回数２万回。代表作なし。
一瞬だけしか登場せず、名前もクレジットされない「その他大勢の大部屋俳優」。
日本一の斬られ役　福本清三氏の聞き書き。
目つき鋭く、彫りが深く、時代劇ファンなら誰でも顔を知っているが名前は知らない「必死の人」。（作品中で、必ず死ぬ人）
そんな名脇役が、トム・クルーズ主演の「ラスト・サムライ」でついにハリウッドデビュー。

集英社文庫 「どこかで誰かが見ていてくれる 日本一の斬られ役 福本清三」 福本清三・小田豊二著
ISBN4-08-747651-0 本体５７１円

【その３】切腹（ＤＶＤ）
寛永７年。井伊家上屋敷に津雲半四郎と名乗る浪人が訪れ、庭先を借りての切腹を申し出た。井伊家の家老、斎藤勘解由は春先にも同じ申し出をした若い浪人を思い出す。浪人の当世流のたかりを苦々しく思っていた勘解由は、切腹の場をしつらえてやるが、思惑外れた浪人は狼狽し、竹光で無残な最期を遂げた。
庭先に端座した半四郎は、介錯人に伊井家の剣客の名を指名。その到着を待つ間、静かに語りだす。それは伊井家を代表する武家社会の虚飾、不条理を暴き出す驚愕的な事実であった。
橋本忍の綿密なシナリオをもとに、「人間の条件」でセンセーションを巻き起こした小林正樹監督が、「静と動」、ダイナミックな殺陣シーンの演出で絶賛された名作。「ＨＡＲＡＫＩＲＩ」のタイトル

で上映されたカンヌ映画祭では激賞された衝撃作である。

三國連太郎演じる、小憎らしい江戸家老。当時２９歳でありながら、初老の男を見事に演じきった仲代達矢。
４０年前の作品ながら、これは傑作です。
発売元：SHV 松竹ホームビデオ 3,800 円 デジタルマスター修復版

お正月、これらの作品で楽しんでみてはいかがでしょうか？

[2241 へのレス] Re: 忠臣蔵釣客伝

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/12/24(Wed) 16:18

花散里さん御紹介の
「どこかで誰かが見ていてくれる」
ですが、これ、漫画にもなっています。
「京都太秦行進曲　斬られ屋一代」（作画　土山しげる）リイド社刊
漫画用に脚色されていると思いますが、原案として「どこかで誰かが見ていてくれる」が使われているようです。

お正月はどの番組（時代劇）を見たらいいのか…大忙しになりそうです。
結局ビデオに録って「いつかそのうち…」になってしまうんですが(;^_^A

今でも時代劇にはよく出てこられる役者さんですね。

[2241 へのレス] Re: 忠臣蔵釣客伝

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/12/24(Wed) 16:19

…↑最後の一行は余計でしたm(__　__ ;)m

[2241 へのレス] Re: 忠臣蔵釣客伝

投稿者：花散里 投稿日：2003/12/24(Wed) 23:11

＞こてつ。さん

漫画になっているとは、知りませんでした。
と、思って検索してみたら、
「うちのパパは斬られ役　集英社」、「斬王（ZANKING）～斬られ屋一代～　リイド社」
など、同じ原作を漫画にしたものがあるようです。
「斬王～」は、作者も土山しげるさんですし(^^)

福本清三さんも、知る人ぞ知る、結構人気者だったんですね(^^)
こうなったら、いっそ「某巨匠」にも、挑戦していただきたいものです(^^ゞ

[2284] 電脳デビュー　☆

投稿者：倭士 投稿日：2003/12/24(Wed) 20:20

　皆様始めまして・・・
　私は、関西のある都市に在住しております刀馬鹿です。
このサイトは４年程前に、鎬さんにご紹介して頂きました。

鎬さんとの約束で今年中には電脳にデビューすると・・・
何とか、ギリギリ間に合いましたよ～　・鎬さ～ん

　鎬さんからは菊久さんをご紹介頂き、菊久さんからは、久さんを紹介して頂き、メンバーの何人かは存じ上げております。

　勿論、真改代表の事も色々とお聞きしておりますよ
また一度、海を渡ってこちらにもお越し下さいませ。

　尚、私はアナログ派人間で、パソコンを持ち合せませんので、知人のパソコンを拝借してアクセスしております。
次回はいつになるか分かりませんが、その時は、皆様宜しくお願い申し上げます。

[2284 へのレス] Re: 電脳デビュー　☆

投稿者： 投稿日：2003/12/24(Wed) 21:44

倭士さん、はじめまして鬼丸と申します。

ひょっとして今年の大刀剣市のＯＦＦ会に居られた方では・・・？

間違っていたなら御免なさい。

これからも宜しくお願いします。

[2284 へのレス] Re: 電脳デビュー　☆

投稿者：波平 投稿日：2003/12/24(Wed) 21:55

倭士さん、はじめまして。波平と申します。
私もつい最近からこちらにおじゃましています。
どうぞよろしく m(_ _)m。

[2284 へのレス] Re: 電脳デビュー　☆

投稿者：花散里 投稿日：2003/12/24(Wed) 23:16

＞倭士さん
花散里（「はなちるさと」と、読んでください。「はなさんり」でも「きゃさりん」でもございません(^^)　）と申します、これからもよろしくお願いいたします。

そうですか、鎬さん・菊久さん・久さんのお知り合いですか(^^)・・・超強力なラインナップですね(^^ゞ

お時間の許す限り、どんどんご参加をお願いします m(__)m

[2284 へのレス] Re: 電脳デビュー　☆

投稿者：こてつ。　投稿日：2003/12/25(Thu) 00:33

＞倭士さん。
こてつ。と申します。宜しくお願いします。
ところで「倭士」は何とお読みしたら良いのでしょう？

[2284 へのレス] Re: 電脳デビュー　☆

投稿者：菊久　投稿日：2003/12/25(Thu) 08:13

＞倭士さん

「電脳デビュー」！
こちらでもよろしくお願いします。

今年は「刀友忘年会」出来なかったね。
新年会を楽しみにしています。
お仕事、お忙しいとは存じますが、またスケジュール合わせましょ(^^)/

[2284 へのレス] Re: 電脳デビュー　☆

投稿者：鎬　投稿日：2003/12/25(Thu) 14:05

ついにこの日が来ましたか。。。
クリスマスイブじゃないですか？？？
計算したんでしょう。
「倭士」さんお手柔らかに頼みますよ。
「刀友新年会大阪場所」でお会いしましょう。
また「刀友新年会大阪場所」の問合せは幹事の
「菊久」さんまで（菊さんごめん幹事です。）

[2284 へのレス] Re: 電脳デビュー　☆

投稿者：内記　投稿日：2003/12/25(Thu) 17:44

＞倭士さん

はじめまして。内記と申します。
よろしくお願い致します。

アナログ人間は私も同じです。私の場合、家内の PC を借りて投稿しています。一本指入力なので、いつも時間が掛かりひんしゅくものです　(ーー;)

[2284へのレス] Re: 電脳デビュー　☆

投稿者：鎬 投稿日：2003/12/25(Thu) 18:30

「わじ」さんとお読みするそうです。
「倭」日本「士」武士
と意味をこめたそうですよ。

[2284へのレス] Re: 電脳デビュー　☆

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/12/25(Thu) 19:10

＞鎬さん。
分かりました！ありがとうございました！
「刀友新年会大阪場所」の様子なんかも教えてくださいね～。
「関東場所」は無いんでしょうか…(#^▽^#)

[2284へのレス] Re: 電脳デビュー　☆

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/12/25(Thu) 19:22

こんばんは。
真改２００３です。
ようこそ　いらっしゃいました。m(__)m。

鎬さんからお噂をうかがっております。(~_~)。
また、ちょくちょくと覗いてくださいね！

[2284へのレス] Re: 電脳デビュー　☆

投稿者：内記 投稿日：2003/12/25(Thu) 19:36

＞こてつ。さん
私も「関東場所」参加した～い。

＞鎬さん。
もひとつ。鬼丸さんの「第六感」は当たりでしょうか。

最後に公共の掲示板をお借りして・・・

『村正さ～ん！！』
この機会に電脳デビュー　☆　お待ちしてま～す！

[2284へのレス] Re: 電脳デビュー　☆

投稿者：波平 投稿日：2003/12/25(Thu) 20:42

関東場所参加希望に私も一票です(^^)/

[2284へのレス] Re: 電脳デビュー　☆

投稿者：久 投稿日：2003/12/25(Thu) 23:00

　お久しぶりです。もう十ヶ月前のことでしょうか。大阪で菊久さんと三人でホルモン焼屋でプチOFF会をした時以来ですね。
　その後鍛冶仲間と合流して朝６時まで飲んでいましたのでその日に話した内容は殆ど吹っ飛んでしまったのですが（スミマセン。）
　大刀剣市OFF会参加宜敷くお願いいたします。

[2284へのレス] Re: 電脳デビュー　☆

投稿者：倭士 投稿日：2003/12/26(Fri) 15:46

皆さん多くの書き込み本当に有難う御座います。

鬼丸さん、残念ながらＯＦＦ会には、まだ参加した事が無いんですよ。
一度、是非参加したいで～す。

久さん、お久しぶりです。また呑み会しましょうよ

花散里さんは、古くからお名前は拝見しておりますし、
こてつさんは、長野の人だとか・・・　菊久さんよりお聞きしたと思いますが？

波平さんは、九州は薩摩の人でごあすかね？

皆さん、これからも宜しくお願いいたします。

ＰＳ／　私の写真は何度か悪名の高い刀友、Ｓさんによって、
　　電脳に無断使用されていた様ですが？
　　恥かしいので再アップはご勘弁を・・・
　　（Ｓ＝鎬）

　こら～ 、Ｓ,写真を無断で掲載するとは・・・
　　訴えてヤル～

次回は何か討論の議題でも書き込みたいと思っております。
その時は、御手柔らかにお願いいたします。

[2284へのレス] Re: 電脳デビュー　☆

投稿者：波平 投稿日：2003/12/26(Fri) 21:15

倭士さん
こちらこそよろしくお願いします。
私のハンドルネームは愛刀に因むもので、先祖が水運に関係していました。東京都の在住で子供のころは旧中山道が散歩道で板橋駅前の近藤さんのお墓にはよく立ち寄りました。(どうも「こてつさ

ん」がいらっしゃった近辺のようですが・・・？）
　「わじさん」とお呼びすればよいのですね。波平＝なみのひら・・・でもナミヘイでも結構ですよ。

[2284 へのレス] Re: 電脳デビュー　☆

投稿者：こてつ。　投稿日：2003/12/26(Fri) 23:20

＞波平さん。
おやまぁ！去年まで僕の最寄り駅は板橋と下板橋でした。
僕も旧中仙道は散歩コースでした！板橋から商店街抜けて仲宿の商店街へ。環七の手前から折り返して大山の商店街、んで下板橋へ帰る…。
商店街が大好きなんですよ(＃￣▽￣＃)ゞ
古本屋やディスカウントショップが…。でも板橋の商店街は随分景気が悪く、閉店するお店も多かったです。アーケードも無くなりました。
でも板橋駅前の近藤さんのお墓は以前よりキレイになりましたよ。
来年はまた新撰組ブームになりそうですね～。

関東ローカルな話題でした～m(__　__)m

[2284 へのレス] Re: 電脳デビュー　☆

投稿者：波平　投稿日：2003/12/27(Sat) 00:46

>こてつさん
なんとまぁ・・・私は生まれも育ちもあの辺で最寄り駅は三田線西巣鴨(子供の頃は地下鉄なんてなく都電でした。今の荒川線でしたら新庚申塚でしょうか)なんです。板橋駅前の近藤さんのお墓は子供のころは生け垣の目立たないものでしたね。しばらくして栗塚さんの「燃えよ剣」のころ木の慰霊碑がたちましたね。京都の若王子のお店でご本人にお会いしてそのお話をしたら「よくお守りくださって」と思いの外柔らかい声で握手してくれました。(何と答えてよいものやら絶句しましたが・・・)
　駅の側のレコード店は私の親戚が当時経営者でその店主が高校生の私に肥前刀を数振り初めて手にとって見せてくれました。
　私も商店街歩き大好き(^^)/ですが板橋～巣鴨にかけてよく歩きましたのでこてつさんとはちょうど反対側を歩いていたことになりますね。おぼろげな記憶では旧遊郭が「都荘」というアパートで残っていて今は取り壊されているとか・・・お寺の無縁様になった遊女の墓石など昔の面影がそこここにのこっていますね。
　鬼平ファンの私は「巣鴨の大百姓三沢家」の近くでそだったので本を読む楽しみもまた格別です。
　巣鴨に向かう商店街は「種は滝野川」といわれて野菜などの種で有名な種店がまだありその自家版の本には近藤勇の処刑を見に行ったご先祖の話なんかが載っていますよ。本をみつけてこちらで本邦初公開いたします。
　亀の子束子の西尾商店、つかこうへいお気に入りの餃子を出す店・・・そうそう「おばあちゃんの原宿」巣鴨とげ抜き地蔵周辺と同級生だらけです。こてつさんのおっしゃるとおり最近は税金対

策という感じの店が多いですねえ。刀装具美術館も閉館状態で寂しい限りです。
・・・どうも「ところの話題」で失礼しました m(_ _)m

[2284 へのレス] Re: 電脳デビュー　☆

投稿者：こてつ。　投稿日：2003/12/27(Sat) 16:49

ますます奇遇ですね～。
僕は１８歳で上京しましたが、最初に住んだ場所は巣鴨です。
西巣鴨から三田線で通学してました。
丁度「新庚申塚」近く、某都銀の裏手に下宿してました。
（今はその都銀もありませんが）

僕も板橋在住時は刀装具美術館へ散歩がてら歩いて行ってましたよ。
大変キレイな見やすい美術館でした。
板橋駅前のレコード屋さんは今はＰＣ教室みたいになっていたような…。
実は今でも板橋の近藤さんのお墓の対面にある床屋さんに通ってます。
どうも慣れたお店じゃないと…(´▽｀)ゞ

倭士さんの電脳デビューがあらぬ方向に話題が行ってしまいました。
失礼しました。

[2284 へのレス] Re: 電脳デビュー　☆

投稿者：内記　投稿日：2003/12/27(Sat) 17:49

こてつ。さん
床屋さんは月いちで通われるのですか？
私の共同住宅の隣家が歯医者さんで、板橋で開業してます。
先月まで毎週土曜日に治療で通ってました。(^_^;)

板橋商店街の「カフェオレ大福」が家内の好物です。
やっと治療が終ったので、毎週は参りませんが「板橋」私も馴染みということで、よろしくお願いします。　(~_~)

今度、「男前」でいらっしゃる時、ご連絡くださいネ。
波平さんと「東京場所」開催しましょう！

[2284 へのレス] Re: 電脳デビュー　☆

投稿者：こてつ。　投稿日：2003/12/27(Sat) 20:31

＞内紀さん。
床屋は二ヶ月に一度位です。仕事の打ち合わせもあるので上京するのは月に一～二回でしょうか。
それでも慌しくてなかなか刀屋さんまで足を伸ばせません。帰りの新幹線を気にしながら刀を見る

のはどうも落ち着かなくて…。
「東京場所」楽しみです～。

[2284 へのレス] Re: 電脳デビュー　☆

投稿者：花散里 投稿日：2003/12/27(Sat) 21:00

そうですね。
こてつ。さんの上京にあわせて、「東京場所」を開催しましょう(^O^)／

[2284 へのレス] Re: 電脳デビュー　☆

投稿者：波平 投稿日：2003/12/27(Sat) 23:42

＞こてつさん
某都銀って○○○戸○○銀行のことですか？
あのあたりは有名人のお墓がおおくて散策楽しみでした。
四谷怪談の「お岩さん」遠山の金さんや二葉亭四迷や高村光太郎 etc・・・
なんか懐かしくなってきました。関東大震災や空襲をくぐり抜けてきた一角ですから・・・
　きっとこてつさんも知っているお店の中に同級生のところがあると思います。

＞内記さん
おもわぬ板橋のご縁ですねぇ。うれしくなってきます
東京場所・・・グッドアイデアです(^o^)
＞花散里さん
是非今から楽しみにしています。そうそう「つるぎの屋」さんのところへはあのあたりから歩いていける距離ですよ。
　来年の楽しみが一つ増えました(^^)/

[2301] 郷土刀とは

投稿者：隠居 投稿日：2003/12/26(Fri) 19:41

郷土刀とは、と私からも問いかけたいです。
と云いますのは、「刀」と「郷土刀」との二つをどうお考えか？ということです。
具体的に云いましょう。魅力のある刀にぶつかり購入を考えました。ところがその刀の拵が「薩摩拵」なんです。明らかに幕末の「薩摩示現流」のものです。柄が長くて片手巻、鍔はさつまの金鍔、鍔が豪華なくせに金具は渋く鞘は何のへんてつもない殺伐たるものでした。あまりにも「お国もの」にすぎ、薩摩に縁のないわれわれの持つべき刀と思えなかったので購入をあきらめました。
こういう強い個性をもった刀ほど、刀のほうが持ち手を待っているような気がするのです。そういう意味で天下の名刀よりも自分の持つべき刀は別にあるのではないかと考えるようになりました。いい悪いとは別に相性の合う刀、その中に郷土刀もある、と思います。皆さんは如何思われますか？

[2301へのレス] Re: 郷土刀とは

投稿者：内記 投稿日：2003/12/27(Sat) 09:19

＞ご隠居さん
おはようございます。

＞強い個性をもった刀ほど、刀のほうが持ち手を待っているような気がするのです
今月号の「麗」に柳生拵えに入った新刀「宇多国宗」が掲載されていました。新刀「宇多」は前田利家、次いで青山佐渡守吉次の抱え工となり魚津に住す。江戸打ちもあり。とあります。面白いのは鍔で、尾張在住の「貞広」作。柳生拵えに鍔は尾張。
さてこの指し料は、尾張徳川のご家中の注文なのか、他国の柳生の使い手のものなのか。刀は「宇多国宗」茎は刃方片削ぎの加州茎です。
推移クイズのようですが、この柳生拵え入りの宇多国宗の「郷土」はどこなのでしょうか？　「郷土刀」・・・考えるだけで楽しくなります。

[2301へのレス] Re: 郷土刀とは

投稿者：隠居 投稿日：2003/12/27(Sat) 19:47

内記さん、難しい刀ですね。でも“尾張柳生”というのもありますから、その系流の人に持たせたいですね。しかし尾張柳生には秦光代という抱え工がいました・・・。

[2301へのレス] Re: 郷土刀とは

投稿者：numarokuya 投稿日：2003/12/27(Sat) 21:18

私の場合は郷土刀をどの様な定義とするならば、郷土の刀工、とする他にもう一つ拘りがあります。
郷土の刀工以外での刀を郷土刀と思うのは、それは則光銘の太刀です。
何故かと言いますと、その昔我家の祖先が戦国末の頃戦で武功をたて、主君より褒美として与えられたのが、則光の太刀と古記録に残っていたのを見たのが始まりでした。
備前則光か加州則光か、詳細の書付は有りませんのでどちらとは判断出来ませんが、それを見てから則光銘の刀剣は我家の郷土刀、と私自身思っているところです。（残念ながらその太刀は今は現存しておりません。）

[2301へのレス] Re: 郷土刀とは

投稿者：内記 投稿日：2003/12/27(Sat) 21:33

秦光代。江戸に上り日置常光の門人、江戸石堂ですね。
ご隠居さんのお話で、不思議なことを考えました。

以前、武州石堂秦守久（東連）の二尺一寸弱の刀を見たことがあります。
今思えば、この「宇多国宗」に体配がそっくりです。反り三分。元幅太くいかにも抜き打ちに適していそうな雰囲気でした。
拵えは現代の作でしたが、うぶ拵えは、今回同様「柳生拵え」だったのかも知れません（勝手な想

像です！)。
秦光代が柳生家の抱え工だった事と何らかの関係があったのでは・・・と。
今まで刀を見ると、うぶ拵えでもない限り、刀のみに気を取られておりましたが、想像を膨らませればまた面白い感動や不思議な縁にめぐりあえるやもとニヤニヤしております。
楽しいご教示ありがとうございました。

それにしても、「郷土刀」。奥が深く、皆様のご意見が楽しみです。

[2301 へのレス] Re: 郷土刀とは

投稿者：花散里 投稿日：2003/12/27(Sat) 23:35

私の場合も、numarokuya さんと同様の括りかもしれません。
私にとっての郷土刀は、【義光】です。
伝説では、花散里家の家祖は新羅三郎源義光となっておりますので・・・(^^ゞ
５年間の片思いが実り今年の１０月に入手して、大刀剣市のＯＦＦ会でご覧に入れた、例の大磨り上げ額銘の脇差しです。
大刀剣市では、大野義光刀匠のキーホルダーも手に入れました(^^)

[2301 へのレス] Re: 郷土刀とは

投稿者：内記 投稿日：2003/12/28(Sun) 01:22

＞花散里さん
あの刀を拝見した時、ピ～ンと来ましたよ　(^_-)-☆
花散里さんのお家の通字は「義」ですね。
我家は「顕」ですが先日某所で「顕国」を拝見しましたが残念ながら感じるものはありませんでした。(-_-;)
眉唾の伝承によると南北朝の武勇で南朝方大将「○×顕○」卿からの賜り字とのこと。花散里家とは敵方です。地理的に本当に戦場で会いまみえたかもしれませんね。不思議なご縁です。(~_~)

東京で育ったものの「武州住・・」や「於東都・・」の新刀、新々刀に「郷土刀」のイメージはありません。
やはり幕藩時代の「藩」の抱え工が頭に浮かんできます。その時代を自分が生きていたわけでも無いのに不思議ですね。
私の場合、実在の居所や時間と異なるメタフィジカルな観念の中で「郷土」刀が存在するのかもしれません。ゆっくり考えてみたいと思います。

[2301 へのレス] Re: 郷土刀とは

投稿者：菊久 投稿日：2003/12/28(Sun) 08:18

私の住まいの近くには、「伝・天國の井戸」なるものが存在致しますので、やはり、郷土刀となりますと「天國」を所持したいですが、到底無理な話です。
となると、私の住は宇陀という地名から昔は「宇太」→「宇多」と遡れるので、どうしても古宇多に落ち着くのでしょうね。

しかし、新・宇多はどうなのだろう・・・やはり郷土刀ということになるのだろうか。
それから、現在刀工の河内國平刀匠・月山貞利刀匠も近くにいらっしゃいますので、こちらも郷土刀となるのだろうか。

[2301 へのレス] Re: 郷土刀とは

投稿者：隠居 投稿日：2003/12/28(Sun) 08:25

内記さん、そう云えば柳生連也斎の指し料“鬼の包丁”秦光代作も、身巾広く反りの浅い脇差ですが、これも素早い対応の剣法を考えた刀ですね。戦国の世とは違う刀のあり方を柳生は考え作らせています。

菊久さん、宇陀と宇多は同じながれですね。越中の宇多も大和の流れでしょう。たいへん古調で品格の高い短刀などが多いですね。

[2301 へのレス] Re: 郷土刀とは

投稿者：花散里 投稿日：2003/12/28(Sun) 10:14

＞内記さん
お会いしたのが南北朝の頃なら、今のように友人にはなれなかったわけですね(^^ゞ
いや～、現代で良かったですね～(^^)

歴史的に見て住む場所が変わってしまうと、「郷土」もいろいろ・・・
花散里家の家祖の地と言うと numarokuya さんと同郷となりますが、その後「上司に逆らって減俸の上、左遷」になった土地も長かったですし、明治になってからは東京に出てきましたし（おかげで、関東大震災と東京大空襲）、戦後は神奈川に移り私が通った高校は鎌倉に。
鎌倉を「郷土」と考えれば、「郷土刀」は菊久さんにも匹敵する「五郎入道正宗」(^^ゞ

[2306] 登録書

投稿者：匿名希望 投稿日：2003/12/27(Sat) 11:23

以前 偽の登録書の刀剣を買ってしまった どうしようと言う書き込みがありましたが・・ 私は先日の大刀剣市で名の売れているお店から買いまして（名義変更聞きました） 数日前 気になり所属の教育委員会に問い合わせた所 発見以来 一度も名義変更されていないとの事で 自分でする事にしました。
この掲示板 関係者の方も見られていると思いますが この業界 結構その辺ルーズなのですか？

[2306 へのレス] Re: 登録書

投稿者：閻魔大王 投稿日：2003/12/27(Sat) 20:40

名義変更は１０日以内に登録の教育委員会に届けることになっておるはずだがが、確かに刀剣については比較的ルーズである。
日本では銃刀法と言って銃と刀剣をいっしょくたの法律で定めているが、現実の扱いは全く違う。
いまどき日本刀で切り込んだりしての犯罪など皆無に近い。
むしろ、犯罪に使われるのはナイフとか出刃包丁である。

そんな訳で日本刀についてはあまりそのへんはうるさくない。
一方、拳銃を打ち込むとどうなるかは最近の一連の事件が教えるとおりである。
日本は法治国家である。
皆の者、法律はきっちり守り、刀剣の趣味を世間に勘違いされないよう自らを律するべきである。

[2306 へのレス] Re: 登録書

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/12/27(Sat) 23:26

名義変更の件ですが、これは新たに所持した者の責任においてなされなければならないもので、売った者や譲った者には責任はなかったと思います。
刀剣を求める上で、刀剣を買ったらあるいは所持することになったら、名義変更などはどうするのかをちゃんと聞いたり調べたりしないといけませんね。

業界がルーズというよりも、所持者によってルーズな方もいるのでしょう。車を買って、名義変更やその他のことをまったく気にしないで、確認もしないで乗るような人は少ないと思いますが、これと同じで、自分が所持した刀のことは当然のことながら、きっちりと確認をするべきではないでしょうか。
その点、匿名希望さんは自分で確認実行され、素晴らしいと思います。

親切な刀剣商さんなら、名義変更の葉書を付けてくれます。
私は、そのような葉書を複写で書けるものを利用しています。

[2317] 忠臣蔵釣客伝

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/12/27(Sat) 23:31

忠臣蔵釣客伝を読みたいが、４件も書店を回ったがどこも置いていないんですよ。(T_T)。
入荷すらされていない状態でした。

最後の頼みで近所の書店に行ったら、２冊だけありました。(^^)v。
もうこれでなかったらネットで注文しないとダメだな、と思っておりましたので、最初から近くの書店へ行っていればよかったのに～と歯がゆいやら。

正月はこの本をじっくりと読んでみたいと思います。

花散里さん。ご紹介をありがとうございました。

[2317 へのレス] Re: 忠臣蔵釣客伝

投稿者：花散里 投稿日：2003/12/28(Sun) 11:12

内容を話すわけにはいきませんので、ただ「面白かった」としか言えないのが歯がゆいですね(^^)
本の帯を転載します。

【知者はそれ水を楽しむ。釣りの醍醐味は、糸の震えと、抵抗する獲物の手応え。吉良上野介の女婿は何を釣る？海底に眠る金銀か？何を解くや若き太公望。赤穂四十六士の、「刃」と「剣」字入り

法名の謎か？はた将軍家に祟る妖刀村正か。内匠頭の怨念とは！釣りの世界から見た元禄の世の奇怪。本邦初の「釣り時代ロマン」。満を持して登場。新人にして呑舟の魚。沸騰する海面に、見よ、煌く銀鱗。読者ゆめゆめ釣り落とすなかれ。】

[2317 へのレス] Re: 忠臣蔵釣客伝

投稿者：波平 投稿日：2003/12/29(Mon) 13:20

花散里さん、真改さん。
私も三軒目に近所の書店で見つけました。仕事や大掃除も一区切りつけましたのでゆっくりと読んでみるつもりです。昔読んだ小泉信三博士の本にご自身の読書方法が書いてあったのですが、一度目はおそらく夢中でサッと読み、二、三度目になるにつれて味わってゆっくり読みたいと思います。この季節になると忠臣蔵は定番ですが登場人物の一人に私はいつも注目しています。
　それは武林唯七です。彼の祖父は文禄・慶長の役(韓国では壬申倭乱と呼んでいますが)の時日本に連れてこられた明の人孟二寛で、孟子六一世にあたり、彼の出身地である杭州府武林に因んでの名前であるということで　す。日本武士道の精華のごとく伝えられる忠臣蔵ですが中国人を祖父に持つ彼の心境やいかにと感慨深いものがあります。
　想像のふくらむ楽しい本のご紹介ありがとうございました。

[2317 へのレス] Re: 忠臣蔵釣客伝

投稿者：花散里 投稿日：2003/12/30(Tue) 16:23

＞波平さん
小泉信三博士と言えば、「海軍主計大尉小泉信吉」の著者ですね。
子を思う親の気持ちと、誇りと祖国愛に溢れた名著でしたね。
最初に読んだのはずいぶん前ですが、久しぶりに探し出して正月に読んでみたいと思います。

[2317 へのレス] Re: 忠臣蔵釣客伝

投稿者：波平 投稿日：2003/12/30(Tue) 20:36

>花散里さん
よくぞその本の名前を出してくださいました。私が中学生の時、読書感想文を書いたのもこの本です。今でもことあるごとに文中の言葉を思い出します。
　自身テニスが得意でスポーツに理解があり「練習は不可能を可能にする」は名文句です。最後の早慶戦の時小泉塾長は自身球場まで足をはこんでいますね。抑制された文章に子を失った親の悲痛な叫びを聞く思いがいたします。
　あの本の中に信吉が刀好きで休みの日など自分の部屋で手入れに余念がないという記述もありました。特設艦八海山丸で戦死した信吉大尉とともに彼の愛刀も水底に眠っているのでしょう。
　私の大好きな本が花散里さんにとっても心に残る本と伺いとてもうれしく存じます。

[2317 へのレス] Re: 忠臣蔵釣客伝

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/12/30(Tue) 22:17

検索で、「海軍主計大尉小泉信吉」を探しました。

読者のコメントも父と子の心情を描いた素晴らしい作品との内容で、さっそく注文しました。

正月には間に合わないかもしれませんが、私も読んでみます。

[2317 へのレス] Re: 忠臣蔵釣客伝

投稿者：花散里 投稿日：2003/12/30(Tue) 22:34

＞真改さん
「海軍主計大尉小泉信吉」は、読んで損はありません。と言うよりは、親として、日本人として、読まなければならない名著です。
読み終わったときには、さまざまな感慨に包まれるはずです。
でも真改さん、読む本が増えて大変ですね(^^ゞ

＞波平さん
本から得られるものはいろいろとあるのですが、読んだときの自分自身の背景によって得られるものは様々ですね。
「海軍主計大尉小泉信吉」は、私にとって忘れられない作品であり、今後も、繰り返し、繰り返し、読み続けると思います。

[2317 へのレス] Re: 忠臣蔵釣客伝

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/12/30(Tue) 22:57

本を読む時間がないなんて言ったら、え～かげんなこと言うな！と言われそうで・・・。
(^^ゞ。

でも、ちょっと愚痴を言えば、祝日祭日も関係なく、仕事は基本的に土日のみ休み。しかも夜勤があって、たま～にその貴重な土日の休みの谷間に夕方から朝まで出勤しないといけないわけです。
(T_T)。
ちなみに、年末年始もお仕事。
今日も明日もあさっても・・・。
しかし、仕事があるありがたさを他人をみて嫌というほど知らされる職場にいるので、普段から愚痴っているわけじゃないですよ～。
ちょっと、言ってみたかっただけ。

そんなわけで（理由にはなりませんが）、なかなか読書が進みません。
子供と一緒に生活することが、生きた勉強読書でしょうか。
この前も長男と二男がささいなことで喧嘩して、二男が３針縫う頭部の裂傷。
これも修行ですね。

就職してからというもの人様相手の職業が多くて、そのために夜勤の多い仕事を続けてきたわけですが、その夜勤の合間によく本を読みました。
２０代前半は特に幕末時代小説を読みました。

あ～あ、読書からは遠ざかってます～。
たま～には読んでるかも。

つれづれなるままの、グチグチでした。^_^;。

さぁ～、明日も頑張るべ！！

[2317 へのレス] Re: 忠臣蔵釣客伝

投稿者：内記 投稿日：2003/12/30(Tue) 23:33

真改さん。
「海軍主計大尉小泉信吉」私も好きな 1 冊です。
私の手元にあるのはは亡父の蔵書で昭和 41 年 8 月 25 日の初版の第三刷です。初版の第一刷が 8 月 15 日ですから 10 日間で二刷三刷となったと思われ、当時の「待ち望んだ本の発売」の様子が想像されます。
というのは、この本は「慶応義塾塾長の小泉先生」の私家本として昭和 21 年 5 月に 300 部だけ刷られ、配布に洩れた希望者は写筆して愛蔵書としたと聞いています。今でも読み継がれている名著ではないでしょうか。
真改さんは子連れ狼の父と子の絆を大切にされておられるようですので、大東亜戦争の中の父と子の絆をぜひ堪能して頂きたいと思いました。
おせっかいで申し訳ありません。(^_^;)

[2317 へのレス] Re: 忠臣蔵釣客伝

投稿者：波平 投稿日：2003/12/31(Wed) 00:50

花散里さん、真改さん、内記さん
気持ちがピタリとあうとはこのようなことなのでしょうか。思いもかけず「海軍主計大尉小泉信吉」についてこのような広がりになるとは思っていませんでした。思いを共有することの感激を味わいました。
　内記さんのおっしゃるとおり昭和 41 年の出版でしたね。母のすすめで読んで大変印象に残った本の一冊です。その時の感動を感想文にしてささやかな表彰を受けました。
　花散里さんがおっしゃるとおり、本は自分の加齢とともに新たなものを与えてくれます。今読み返しても発見のあるまさに名著です。
　細かい説明は内記さんが書かれているとおりですが「小泉信吉」という名は福沢諭吉の門下生であった彼の祖父からもらった名前です。
　当時短期現役主計科士官(短現と呼称していました)であった彼の戦死については、当時兵科予備学生出身の海軍士官で作家の阿川弘之氏の著書の中に戦時中「慶応出身の士官集合」の連絡が隊内に流れ「小泉塾長のご子息戦死」が知らされたことが書かれています。その時阿川さんは「ああ自分たちと同じ学徒出身の士官が亡くなったんだな」と思ったそうです。
その後の小泉博士との交流についてはここでは長くなりそうですので・・
　博士のお嬢様お二人はご健在ですが先年「海軍主計大尉小泉信吉」が TV 化されるにあたり父小泉信三については後ろ姿(顔はみせないこと)のみを条件にしたことはよく知られています。

正直言いまして TV 化したことに私は疑問を感じてしまいました。この本の真骨頂はそのたんたんとした筆のはこびの中に親の深い悲しみを感じることにあると思っているからです。「シンキチ・シンキチ」と闇の中から呼ぶ声が映像では表現のしようがありませんから。
どうも感想めいたことばかりで失礼いたしました。m(_ _)m

[2317 へのレス] Re: 忠臣蔵釣客伝

投稿者：花散里 投稿日：2003/12/31(Wed) 09:59

波平さんや内記さんの投稿を見て、考えました。
この本は、まさに自分の子供に薦めたい本ですね。
私は本が好きで、刀剣書からコミックまでジャンルを問わず読むのですが、いざ自分の子供に薦められる本というと、意外とないものです。

年が明けたら、一陽来復でやってみましょうか？「自分の子供に読ませたい本ランキング」(^^)

[2332] 今年もお世話になりました

投稿者：花散里 投稿日：2003/12/31(Wed) 00:01

今年も、残すところ後一日。
ご常連の皆様には大変お世話になり、内記さん、波平さん、倭士さんを始め新しい刀友にも恵まれ、充実した一年を過ごさせていただきました。
心からお礼申し上げます。

「趣味が合う」人々は世の中に多々いらっしゃいますが、私にとって電脳倶楽部にお集まりの方々は「感性が合う」大事な方々です。
来たる年もご指導・ご鞭撻をお願いすると共に、ますます楽しい趣味の場となることを祈っております。

皆様、良いお年をお迎えください。

[2332 へのレス] Re: 今年もお世話になりました

投稿者：内記 投稿日：2003/12/31(Wed) 00:40

こちらこそ大変お世話になりました。
今後ともご指導ご鞭撻いただければ幸甚に存じます。

皆々様、良いお年をお迎えくださいませ。

[2332 へのレス] Re: 今年もお世話になりました

投稿者：波平 投稿日：2003/12/31(Wed) 00:54

私こそありがとうございました。うかがった初めは「波平」ならぬさざ波をたたせてしまいました。にもかかわらず皆々様には温かく受け入れていただきましてお礼の言葉もございません。来年は

折々皆様にお会いできますことを楽しみにしております。
　良いお年をお迎えくださいませ。

[2332 へのレス] Re: 今年もお世話になりました

投稿者：野 投稿日：2003/12/31(Wed) 05:51

　肝心のＢＢＳにはあまり顔を出さなくなり失礼しました。来年もよろしくお願いします。

[2332 へのレス] Re: 今年もお世話になりました

投稿者：隠居 投稿日：2003/12/31(Wed) 08:52

今年も皆様と楽しい話題をかわすことができ有難うございました、
「忠臣蔵釣客伝」も面白そうですが、「何羨録」もおもしろそうですね。

[2332 へのレス] Re: 今年もお世話になりました

投稿者：薩州住無学 投稿日：2003/12/31(Wed) 10:12

今年はオークションで買った刀の件で嫌な思いもしましたが、こちらのサイトに集う皆様のおかげで乗り越えることが出来ました、改めて御礼致します。あれからオークションを覗いたり変なものには手を出さず、ひたすら勉学に励んでおります。年末は忙しくなかなかこちらを覗くことは出来ませんでしたが、来年もこちらにお世話になり色々ご質問させて頂きたく思います。皆様にとって新年が良い年になりますように。

[2332 へのレス] Re: 今年もお世話になりました

投稿者：鬼丸 投稿日：2003/12/31(Wed) 11:15

１１月の大刀剣市やオフ会がつい昨日のように感じます。

来年も皆様方にとって良い年であるようお祈り申し上げます。

[2332 へのレス] Re: 今年もお世話になりました

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/12/31(Wed) 13:30

今年も一年、アッと言う間に暮れてしまいました。
東京を離れ、故郷に戻って最初の一年です。
ナ～ニしてたんだか…(;^_^A
こちらは刀屋さんが少ないため、ついついオークションに手を出してしまいました。良い買い物もあれば失敗した買い物もあります。
大失敗も…。これに懲りて今では書籍以外は買わないよう心がけております。当たり前のことなんですが、刀はやはり信頼出来る刀屋さんで買う物ですね。

来年も皆様にとって良い一年でありますよう。

[2332 へのレス] Re: 今年もお世話になりました

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/12/31(Wed) 23:53

今年も、もうちょっとですね。
明日も通常出勤アンド夜勤で連続勤務の私は、年末年始の実感がありましぇ～～ん。(T_T)。

今年の思い出は、行けなかったかもしれない大刀剣市に行けたこと。!(^^)!。

来年も良い年になりますように。

[2341] 刀剣行く年来る年

投稿者：代表監督 投稿日：2003/12/31(Wed) 12:26

後数時間で今年も終わりですね。
そこで、皆さんの今年思い出に残る刀、
そして来年こそは手にとって観たい刀を一振りづつお聞かせ下さい。

私が今年思い出に残った刀は偽物なんで詳細は言えませんが虎徹の刀です。
多くの先生方が引っかかってきたものらしいのですが、これは勉強になりました。と言っても説明されてもよく分かりませんでしたが・・・(^^;　出来は虎徹のなかでもずば抜けているものらしいです。
そして来年こそは古備前の太刀を拝みたいものです。友成辺りの・・・

[2341 へのレス] Re: 刀剣行く年来る年

投稿者：こてつ。 投稿日：2003/12/31(Wed) 13:41

思い出になった刀…。
僕も「偽物」だったんで“思い出”というより“教訓”かも知れません。
某オークションで知り合った方から「山浦物」の脇差を買いました。
これには見事に引っかかってしまいました(ノ＿・、)
○特こそ付いていましたが「保存」の付かないシロモノでした。
勉強になりました。自分の鑑定眼なんてまさに赤子のそれでした。

来年は…鎌倉期～南北朝期の刀が見たいですぅ。

[2341 へのレス] Re: 刀剣行く年来る年

投稿者：内記 投稿日：2003/12/31(Wed) 13:42

虎徹の偽物ですか。平岩弓枝氏の昭和 34 年直木賞受賞作『鑿師』の小説のようですね。

今年の思い出に残る刀
①感動した刀
坂城町の武家の名刀展に展示されていた徳川将軍家伝来品の備前三郎「国宗」　丁子乱れが美しく、特に腰刃の華やかやには息を呑みました。

②感激した刀
某所で拝見した「江」極め「正宗」
まさかこの手で正宗を持つことなど一生無いと思っていたので、鑑賞どころではなく目が虚ろで・・・
機会があれば今一度　(^_^;)

来年の希望
「山城物」をゆっくり
来や延寿をゆっくり拝見したいと考えています。

[2341 へのレス] Re: 刀剣行く年来る年

投稿者：花散里 投稿日：2003/12/31(Wed) 16:18

今年思い出に残った刀は、なんと言っても刀剣博物館で見た三尺を超える「友成」ですね。
地肌・刃文・映り・健全さ、とどれをとっても文句なし。

来年の希望は、「備前物」。
この際、徹底的に備前物を極めたいと（僭越ですが）思っています。

[2341 へのレス] Re: 刀剣行く年来る年

投稿者：備前介 投稿日：2003/12/31(Wed) 20:01

今年は肥前刀一色の年でした。
今年一年で初代から九代、脇系５振りの肥前刀を買い込んだ人間も珍しいのではないでしょうか？
この内幾振りかは不合格でしょうが・・・(＾＾；)

来年は古青江の太刀を、と考えています。

[2341 へのレス] Re: 刀剣行く年来る年

投稿者：真改２００３ 投稿日：2003/12/31(Wed) 23:57

いや、もう早よう書かないと、今年が終わってしまう～～。^_^;。

今年の思い出の刀は、号村雨の助広！！
３年連続で会うことができるとは思いませんでした。
またいつか会うことがあると信じております。

その時は、手にとって拝見したいと心から願っております。(^^ゞ。